

いえ の うち
家ノ浦遺跡

—一般国道7号仁賀保本荘道路建設事業に係る埋蔵文化財発掘調査報告書V—

2012・2

秋田県教育委員会



1 家ノ浦遺跡遠景（北→）



2 SK01 緡銭出土状況（北→）



家ノ浦遺跡調査区全景（上が北）

序

本県には、これまでに発見された約 4,900 か所の遺跡をはじめとして、先人の遺産である埋蔵文化財が豊富に残されています。これらの埋蔵文化財は、地域の歴史や伝統を理解し、未来を展望した彩り豊かな文化を創造していくうえで、欠くことのできないものであります。

一方、日本海沿岸東北自動車道をはじめとする高速交通体系の整備は、秋田県がめざす活発な地域の交流と連携のための、根幹を成す開発事業であります。本教育委員会では、これらの開発との調和を図りながら、埋蔵文化財を保存し、活用することに鋭意取り組んでおります。

本報告書は、一般国道 7 号仁賀保本荘道路建設工事に先立って、平成 22 年度に、にかほ市において実施した家ノ浦遺跡の発掘調査成果をまとめたものであります。調査の結果、平安時代から中世の掘立柱建物跡や井戸跡、溝跡等が検出され、緡銭、木簡、土師器、須恵器、須恵器系陶器などの遺物も見つかり、当時の人々の生活の一端が明らかになりました。

本書がふるさとの歴史資料として広く活用され、埋蔵文化財保護の一助となることを心から願うものであります。

最後になりましたが、発掘調査ならびに本報告書の刊行にあたり、御協力いただきました国土交通省東北地方整備局秋田河川国道事務所、にかほ市教育委員会など関係各位に対し、厚くお礼申し上げます。

平成 24 年 2 月

秋田県教育委員会

教育長 米 田 進

例 言

- 1 本書は、一般国道7号仁賀保本荘道路建設事業に伴い、平成22（2010）年度に発掘調査した秋田県にかほ市両前寺字家ノ浦25-4外に所在する家ノ浦遺跡の発掘調査報告書である。発掘調査の成果については、既にその一部が『秋田県埋蔵文化財センター年報29（平成22年度）』及び発掘調査報告会資料などによって公表されているが、本報告書を正式なものとする。
- 2 本書第4図は、国土地理院発行の1/25,000地形図『平沢』（平成15年発行）を、第6図は、国土交通省東北地方整備局秋田河川国道事務所提供の1/1,000工事用平面図をもとに作成した。
- 3 遺跡基本層序と遺構土層図中の土色表記は、農林水産省農林水産技術会議事務局・財団法人日本色彩研究所色票監修『新版標準土色帖2005年版』を使用した。
- 4 発掘調査および整理作業における以下の作業は下記の業者に委託した。
水準測量および方眼杭設置作業：株式会社鈴木測量事務所
遺跡空中写真撮影：株式会社北日本朝日航洋
木製品保存処理：株式会社吉田生物研究所
遺物写真撮影：株式会社みどり光学社
- 5 以下の自然科学的分析は、下記の業者に委託した。なお、本書ではその分析結果報告を第5章に掲載した。
放射性炭素年代測定：株式会社加速器分析研究所
樹種同定：株式会社加速器分析研究所
- 6 本書は、第5章を除いて、執筆と編集は築瀬圭二が行った。第5章は執筆機関を示した。
- 7 本書を作成するにあたり、次の方々から御指導・御助言を賜った。記して感謝申し上げます。
〔五十音順・敬称略〕
土田秀喜 八重樫忠郎 両前寺自治会

凡 例

1 本報告書に掲載した平面図（遺構実測図）の方位は、世界測地系平面直角座標第X系による座標北を示す。原点（MA50）における座標北と磁北との偏角は西偏 $8^{\circ}12'$ である。本文および巻末の報告書抄録記載の経緯度は世界測地系に基づく。

2 遺構については検出順にその種類を示す略記号と通し番号を付したが、後に遺構ではないと判断したものは欠番とした。遺構に使用した略記号は以下のとおりである。

S B：掘立柱建物跡 S I：竪穴建物跡 S E：井戸跡 S K：土坑 S N：焼土遺構
S D：溝跡 S K P：柱穴様ピット

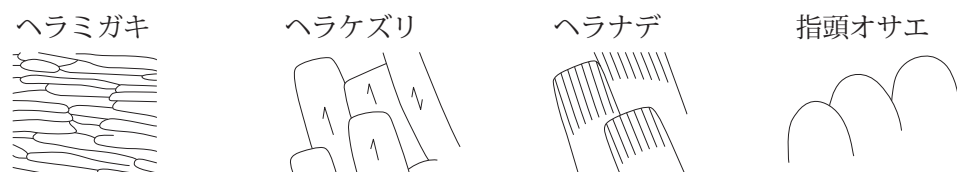
3 遺跡基本層位にはローマ数字を、遺構内層位には算用数字を使用した。

4 遺構実測図および遺物実測図には、それぞれスケールバーを付して縮尺を示した。

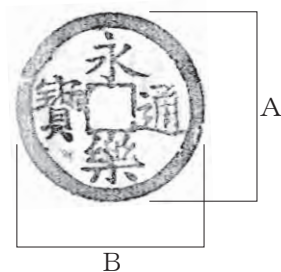
5 挿図中に使用した網伏せは以下の通りである。これ以外については、個々の頁に示した。

 黒色処理 炭化物 漆

6 土師器の実測図に用いた調整の表現は下記の通りである。



7 銭貨表の計測点は次の通りである。なお、銭貨の厚さは外縁厚の最高値と最小値である。また、S K 01出土銭貨観察表内の「表裏」は土坑内銭貨を東側から見た時の「表裏」である。



8 出土した土器類については、酸化炎焼成ののちに内面黒色処理を施した土器を内黒土師器、内外面黒色処理を施した土器を両黒土師器と呼称する。また酸化炎焼成のみの土器を土師器、還元炎焼成の土器を須恵器と呼称する。

9 図版に付した出土遺物番号のうち、番号の前に「外」のつくものは遺構外出土遺物番号を示す。

目 次

巻頭図版

序
例言
凡例
目次
挿図目次
表目次
図版目次

第1章	はじめに	1
第1節	調査に至る経過	1
第2節	調査要項	2
第2章	遺跡の環境	3
第1節	遺跡の位置と立地	3
第2節	歴史的環境	5
第3章	発掘調査の概要	12
第1節	遺跡の概観	12
第2節	調査の方法	12
1	発掘調査	12
2	室内整理	13
第3節	調査の経過	13
第4章	調査の記録	15
第1節	基本層序	15
第2節	検出遺構と出土遺物	23
1	掘立柱建物跡	23
2	竪穴建物跡	32
3	井戸跡	33
4	土坑	34
5	焼土遺構	47
6	溝跡	48
7	柱穴様ピット	53
8	出土遺物	54
第5章	自然科学的分析	164
第1節	放射性炭素年代測定	164
第2節	樹種同定	167
第6章	まとめ	169

図版
報告書抄録
付図1

挿 図 目 次

第1図	遺跡位置図	3	第41図	遺構内出土遺物(7)	105
第2図	鳥海山周辺地域の切峰面図	4	第42図	遺構内出土遺物(8)	106
第3図	地形区分図	4	第43図	遺構内出土遺物(9)	107
第4図	家ノ浦遺跡と周辺遺跡図	8	第44図	遺構内出土遺物(10)	108
第5図	字切図と家ノ浦遺跡調査範囲	11	第45図	遺構内出土遺物(11)	109
第6図	遺跡周辺地形図・基本土層断面位置図	16	第46図	遺構内出土遺物(12)	110
第7図	基本土層図(1)	17・18	第47図	遺構内出土遺物(13)	111
第8図	基本土層図(2)	19・20	第48図	遺構内出土遺物(14)	112
第9図	主要遺構配置図	21・22	第49図	遺構内出土遺物(15)	113
第10図	SB19	71	第50図	遺構内出土遺物(16)	114
第11図	SB80・81・82・83	72	第51図	遺構内出土遺物(17)	115
第12図	SB84・85・86・87	73	第52図	遺構内出土遺物(18)	116
第13図	SB88・89・90・91	74	第53図	遺構内出土遺物(19)	117
第14図	SB92・93・94	75	第54図	遺構内出土遺物(20)	118
第15図	SB95・96・97	76	第55図	遺構内出土遺物(21)	119
第16図	SB98・99	77	第56図	遺構内出土遺物(22)	120
第17図	SB100・101・102・103	78	第57図	遺構内出土遺物(23)	121
第18図	SI22	79	第58図	遺構内出土遺物(24)	122
第19図	SI24	80	第59図	遺構内出土遺物(25)	123
第20図	SE20・28・SK29・31・32・38・58・59・81・82	82	第60図	遺構内出土遺物(26)	124
第21図	SK01	83	第61図	遺構内出土遺物(27)	125
第22図	SK06・07・10	84	第62図	遺構内出土遺物(28)	126
第23図	SK13・16・17・78	85	第63図	遺構内出土遺物(29)	127
第24図	SK21・25・27・34・35	86	第64図	遺構内出土遺物(30)	128
第25図	SK39・41・42・43	87	第65図	遺構内出土遺物(31)	129
第26図	SK44・45・47	88	第66図	遺構内出土遺物(32)	130
第27図	SK50・51・53・54・57	89	第67図	遺構内出土遺物(33)	131
第28図	SK60・64・65	90	第68図	遺構内出土遺物(34)	132
第29図	SK72・73・75	91	第69図	遺構内出土遺物(35)	133
第30図	SK76・77・SN30・52・71	92	第70図	遺構内出土遺物(36)	134
第31図	SD02・09・11・79	93・94	第71図	遺構内出土遺物(37)	135
第32図	SD46・55・56・61	95・96	第72図	遺構内出土遺物(38)	136
第33図	SD08・12	97	第73図	遺構内出土遺物(39)	137
第34図	SD62・67・68	98	第74図	遺構内出土遺物(40)	138
第35図	遺構内出土遺物(1)	99	第75図	遺構外出土遺物(1)	139
第36図	遺構内出土遺物(2)	100	第76図	遺構外出土遺物(2)	140
第37図	遺構内出土遺物(3)	101	第77図	遺構外出土遺物(3)	141
第38図	遺構内出土遺物(4)	102	第78図	遺構外出土遺物(4)	142
第39図	遺構内出土遺物(5)	103	第79図	遺構外出土遺物(5)	143
第40図	遺構内出土遺物(6)	104			

表 目 次

第1表	家ノ浦遺跡周辺の遺跡一覧	9	第21表	遺構外出土遺物観察表(2)	148
第2表	柱穴様ピット一覧表(1)	56	第22表	SK01出土銭貨一覧表(1)	149
第3表	柱穴様ピット一覧表(2)	57	第23表	SK01出土銭貨一覧表(2)	150
第4表	柱穴様ピット一覧表(3)	58	第24表	SK01出土銭貨一覧表(3)	151
第5表	柱穴様ピット一覧表(4)	59	第25表	SK01出土銭貨一覧表(4)	152
第6表	柱穴様ピット一覧表(5)	60	第26表	SK01出土銭貨一覧表(5)	153
第7表	柱穴様ピット一覧表(6)	61	第27表	SK01出土銭貨一覧表(6)	154
第8表	柱穴様ピット一覧表(7)	62	第28表	SK01出土銭貨一覧表(7)	155
第9表	柱穴様ピット一覧表(8)	63	第29表	SK01出土銭貨一覧表(8)	156
第10表	柱穴様ピット一覧表(9)	64	第30表	SK01出土銭貨一覧表(9)	157
第11表	柱穴様ピット一覧表(10)	65	第31表	SK01出土銭貨一覧表(10)	158
第12表	柱穴様ピット一覧表(11)	66	第32表	SK01出土銭貨一覧表(11)	159
第13表	柱穴様ピット一覧表(12)	67	第33表	SK01出土銭貨一覧表(12)	160
第14表	柱穴様ピット一覧表(13)	68	第34表	SK01出土銭貨一覧表(13)	161
第15表	柱穴様ピット一覧表(14)	69	第35表	SK01出土銭貨一覧表(14)	162
第16表	柱穴様ピット一覧表(15)	70	第36表	SK01出土銭貨種別一覧表	163
第17表	遺構内出土遺物観察表(1)	144	第37表	測定試料及び処理・結果	166
第18表	遺構内出土遺物観察表(2)	145	第38表	放射性炭素年代測定及び暦年校正の結果	166
第19表	遺構内出土遺物観察表(3)	146	第39表	樹種同定結果	168
第20表	遺構外出土遺物観察表(1)	147			

図 版 目 次

卷頭図版 1	1 家ノ浦遺跡遠景(北→)		3 SK32完掘(南→)
	2 SK01縹銭出土状況(北→)		4 SK34遺物出土状況(南→)
卷頭図版 2	家ノ浦遺跡調査区全景(上が北)		5 SK35完掘(東→)
図版 1	1 SB19P 3 柱材出土状況(南→)		6 SK42刀子出土状況(南→)
	2 SB19P 6 柱材出土状況(南→)		7 SK43断面(南西→)
	3 SB84P 6 刀子出土状況(南→)		8 SK44遺物出土状況(南西→)
	4 SI22断面(南西→)	図版 4	1 SK47断面(南東→)
	5 SI22完掘(南西→)		2 SK60完掘(南東→)
	6 SI24断面(南西→)		3 SK65完掘(南西→)
	7 SI24完掘(南西→)		4 SK73断面(南西→)
	8 SE20断面(東→)		5 SK76断面(南→)
図版 2	1 SE28断面・SK38完掘(北→)		6 SK77遺物出土状況(南東→)
	2 SE28完掘(北→)		7 SD02完掘(東→)
	3 SK01縹銭断面(南東→)		8 SD46・55・56・61付近作業風景(東→)
	4 SK06断面(南→)	図版 5	出土遺物(1)
	5 SK10完掘(西→)	図版 6	出土遺物(2)
	6 SK13断面(東→)	図版 7	出土遺物(3)
	7 SK13完掘(東→)	図版 8	出土遺物(4)
	8 SK16断面(東→)	図版 9	出土遺物(5)
図版 3	1 SK17完掘(南→)	図版 10	出土遺物(6)
	2 SK21断面(南東→)	図版 11	出土遺物(7)
		図版 12	木材・炭化物

付 図

付図1 家ノ浦遺跡遺構配置図

第1章 はじめに

第1節 調査に至る経過

日本海沿岸東北自動車道は、新潟県新潟市を起点として日本海に沿い、山形県を経て秋田県小坂町で東北縦貫自動車道と連結し、青森市に至る高規格幹線道路である。この道路は、総延長約322kmで、新潟市以北の日本海沿岸の高速交通体系を改善し、沿線諸地域の生産活動や情報・物資の交通を促進するために計画された。

家ノ浦遺跡が所在する仁賀保本荘道路は、平成11年5月18日に日本海沿岸東北自動車道の一部として計画決定された仁賀保インターチェンジ（I.C）～本荘I.C間の12.5kmである。この道路は一般国道7号線のバイパスとして位置づけられ、供用開始後は自動車専用道路として無料開放される。計画では車道幅員は全幅23.5mの4車線になるが、当面は2車線の対面通行で供用される。平成19年9月17日、仁賀保本荘道路12.5kmのうち、にかほ市両前寺交差点の暫定仁賀保I.C～本荘I.C間の11.2kmは、日本海沿岸東北自動車道の本荘I.C～岩城I.C間の21.6kmと同時に開通した。このことにより、由利本荘市や秋田市へのアクセスが向上し、住民生活、地域経済及び救急医療の面で大きな効果が出ている。

仁賀保本荘道路は平成10年4月に路線が発表された。これを受けて、秋田県教育委員会は、平成18年12月26日と27日に両前寺字家ノ浦の建設工事予定地内の試掘調査を実施した^(註1)。調査の結果、土師器が出土したことから、新発見の家ノ浦遺跡とし、確認調査を実施することとした。確認調査は路線内の3,400㎡を対象に平成21年10月30日から11月6日まで秋田県埋蔵文化財センターが実施した^(註2)。調査の結果、遺構は土坑3基、柱穴様ピット17基、性格不明遺構3基を検出し、遺物は土師器や須恵器などを中心に陶磁器片や鉄滓等が出土したので、平安時代～中世の集落跡と推定され、工事区内の2,000㎡について発掘調査が必要であることがわかった。発掘調査は平成22年6月1日から8月2日まで秋田県埋蔵文化財センターが実施した。

註1 秋田県教育委員会 『遺跡詳細分布調査報告書』秋田県文化財調査報告書第420集 2007(平成19)年

註2 秋田県教育委員会 『遺跡詳細分布調査報告書』秋田県文化財調査報告書第456集 2010(平成22)年

第2節 調査要項（※職名等は発掘調査当時のものである）

遺 跡 名	家ノ浦遺跡（遺跡略号：6 I N U）
遺跡所在地	秋田県にかほ市両前寺字家ノ浦25-4外
調査期間	平成22（2010）年6月1日～8月2日
調査目的	一般国道7号仁賀保本荘道路建設事業に係る埋蔵文化財発掘調査
調査面積	2,000㎡
調査主体者	秋田県教育委員会
調査担当者	築瀬 圭二（秋田県埋蔵文化財センター中央調査班 学芸主事） 山田 徳道（秋田県埋蔵文化財センター中央調査班 学芸主事）
整理担当者	築瀬 圭二（秋田県埋蔵文化財センター中央調査班 学芸主事）
総務担当者	平成22年度 久米 保（秋田県埋蔵文化財センター総務班 主査） 高村知恵子（秋田県埋蔵文化財センター総務班 主任） 平成23年度 菊地 尚久（秋田県埋蔵文化財センター中央調査班 主査）
調査協力機関	国土交通省東北地方整備局秋田河川国道事務所 にかほ市教育委員会

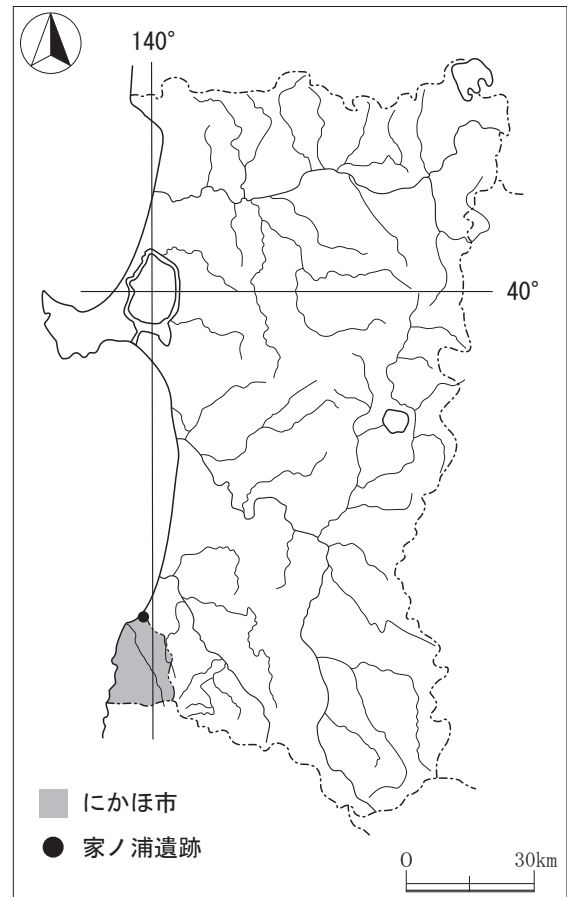
第2章 遺跡の環境

第1節 遺跡の位置と立地

家ノ浦遺跡が所在するにかほ市は、秋田県の南西部端の沿岸、北緯 $39^{\circ} 19' \sim 39^{\circ} 47'$ 、東経 $139^{\circ} 52' \sim 140^{\circ} 04'$ に位置し、北～東側は由利本荘市に、南側は山形県飽海郡遊佐町に接している(第1図)。その面積は 240.61km^2 で秋田県で第15位、東西に約 16.6km 、南北に約 23.0km の範囲に広がる。市域は、南東にある独立峰の標高 $2,236\text{m}$ の鳥海山を取り巻く同心円状のほぼ北北西～西側部分を占め、西～北西方向の海岸線に向かって規則的に高度を下げ、傾斜する(第2図)。

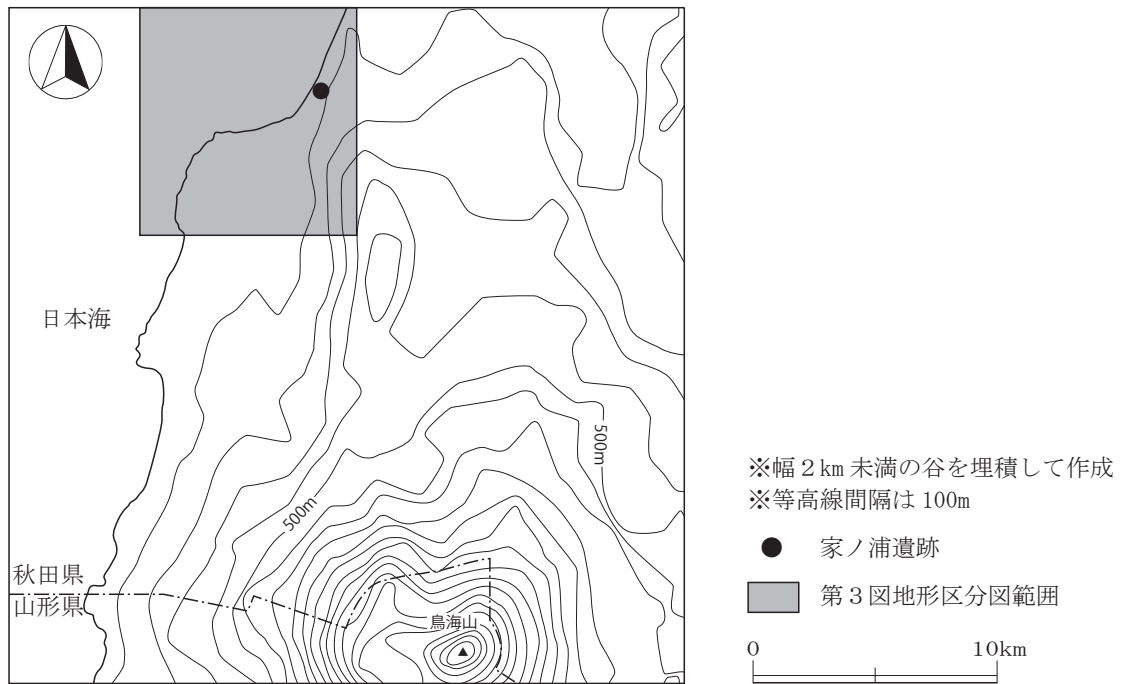
にかほ市を構成する地形は、山地・丘陵・台地・低地であるが、鳥海火山とその近傍に位置していることを反映して、火山活動に起因する地形を主としている。家ノ浦遺跡は、南北方向に伸びる非火山性の仁賀保丘陵地(Ia)の西縁にある。この丘陵地は新第三系天徳寺層・笹岡層、第四系西目層の堆積岩から構成される海底隆起地塊であり、西縁に沿って南北方向に仁賀保衝上断層群が認められる。西縁の低地との境界は直線的である。遺跡の周辺地形は南方には象潟泥流台地(IIc)が広がり、南西部の海岸線に至る地域を占めている。遺跡西方には仁賀保沖積低地(IIIa)があり、この地形は象潟泥流台地上に沖積作用によって形成されている。遺跡北方から西方の海岸線を仁賀保新期砂丘地(IIIe)が細長く縁取って分布する(第3図)。なお、基本層序でも触れているが、遺跡の南西側は仁賀保丘陵の縁辺部に南北に断続的に確認される仁賀保古期砂丘地(IIe)の一部と考えられる。

家ノ浦遺跡は、およそ北緯 $39^{\circ} 17' 46''$ 、東経 $139^{\circ} 58' 37''$ にあり、にかほ市の北端、JR羽越本線仁賀保駅より北東へ約 1.2km 、TDK株式会社秋田工場(立沢遺跡)の北東側約 200m に位置する。遺跡は、にかほ市両前寺地区の標高 $28 \sim 36\text{m}$ の丘陵地の裾部に立地する。同一丘陵上には遺跡に隣接して北側に前田表遺跡、北東側に阿部堂遺跡、南東側に阿部館遺跡、南側に家ノ浦II遺跡がある。また、丘陵地の裾部の一部を南北に断ち切る形で国道7号線が通っているが、国道を挟んで北西側に前田表II遺跡が立地する。西側約 0.6km には日本海が広がる。^(註1)

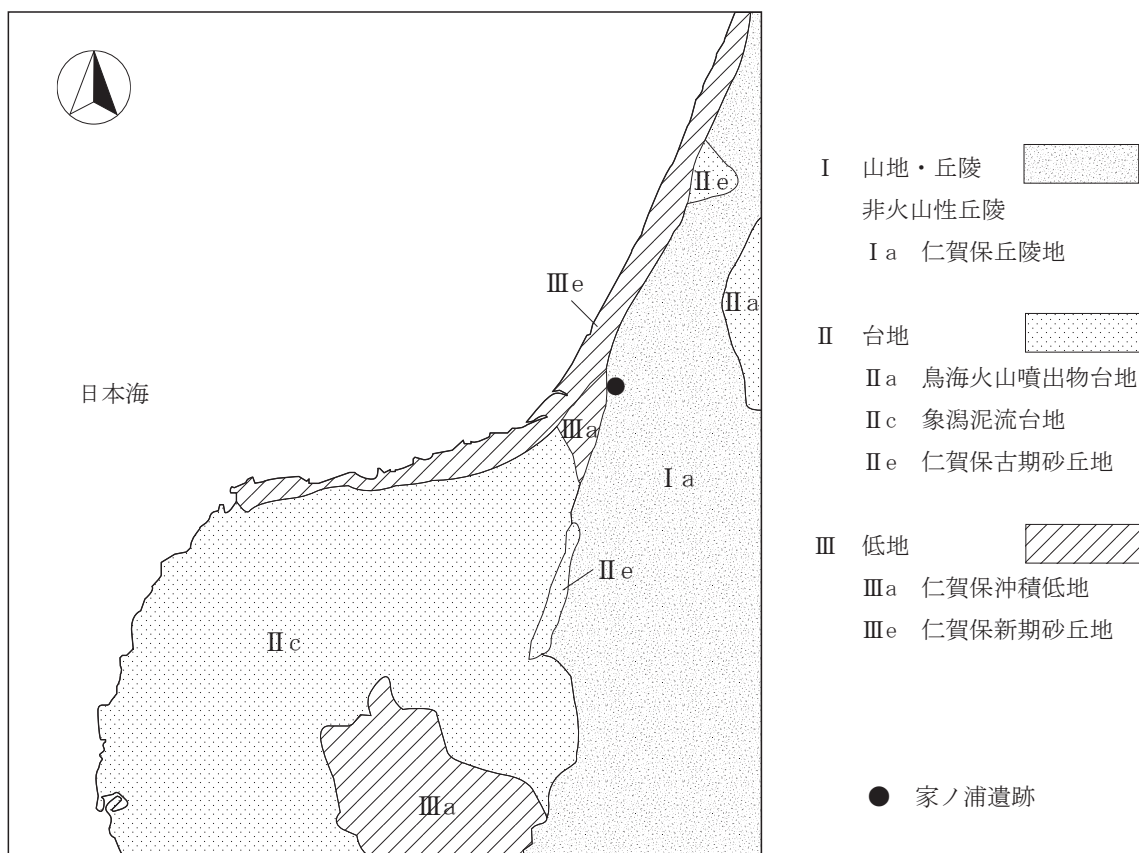


第1図 遺跡位置図

註1 本節の地形、地層等に関する記述は次の文献に基づく。秋田県 『土地分類調査象潟・吹浦』 2003(平成16)年



第2図 鳥海山周辺地域の切峰面図（註1文献をもとに作成）



第3図 地形区分図（註1文献をもとに作成）

第2節 歴史的環境

家ノ浦遺跡のある両前寺字家ノ浦は平成17(2005)年に古くから仁賀保郷と呼ばれる仁賀保町、金浦町、象潟町の三町が合併して誕生した、にかほ市の最北端にある。江戸時代には両前(善)寺村は最上領、本田正純領を経て、元和8(1622)年10月から本荘藩領になる。村は大西目田高の名主斎藤与助に属し、西目とは深いつながりがあったと考えられる。村名の初見は由利十二頭記に元和8年の村の年貢高25石5斗8升5合とある。明治維新後の明治21(1888)年市制、町村制の公布によって、翌年、当初属していた西目村(現由利本荘市)から平沢村(現にかほ市)に所属替えが行われた。^(註1) 家ノ浦遺跡と周辺遺跡位置図(第4図)は、南北方向に伸びる仁賀保高原の丘陵地とその高原を源にして西流する白雪川、北流する西目川によって形成された、それぞれの沖積低地の東西8km、南北11.75kmの地域を示している。ここでは、第4図に記載された本遺跡を取り巻く105遺跡のうち、発掘調査が実施された遺跡や文献資料等が残っている遺跡を中心に、旧石器時代から中世までを概観する。以下の記述は家ノ浦遺跡周辺の遺跡一覧(第1表)にある文献を参考にした。

旧石器時代の遺跡は新林(96)、四角井戸(103)遺跡の2か所が確認されている。発掘調査はされていないが、新林遺跡では石刃や剥片が、四角井戸遺跡ではナイフ形石器や彫器、搔器などが採集されている。

縄文時代の遺跡は黒瀨(33)、下岩ノ沢(42)、西ノ沢(48)、寺ヶ沢Ⅲ(53)、根子の沢(57)、碁石(71)、客殿森(74)、鷹橋(75)、井岡(76)、中ノ目Ⅰ(79)、堅田沢(81)、大森橋(86)、湯ノ沢(89)、内野(91)、角間台(93)、中ノ道(94)、中湯沢Ⅰ(95)、新林、北ノ股(98)、大森台(99)、二ツ森(100)、孫七山(101)、鰻沢(102)、四角井戸、船岡台(105)遺跡である。このうち、白雪川流域は黒瀨、下岩ノ沢遺跡の2か所のみである。これは烏海山の大規模な山体崩落(山崩れ)によって、岩屑なだれがこの地域の縄文時代の遺跡を覆ってしまった可能性が考えられている。縄文時代の遺跡を出土遺物から細分すると、早期は、寺ヶ沢Ⅲ遺跡、前期は寺ヶ沢Ⅲ、根子の沢、中ノ目Ⅰ、碁石、四角井戸、北ノ股、孫七山、鰻沢、船岡台遺跡、中期は下岩ノ沢、根子の沢、中ノ目、碁石、湯ノ沢、新林遺跡、後期は寺ヶ沢Ⅲ、根子の沢、堅田沢、井岡、西ノ沢、客殿森、内野、北ノ股、碁石、角間台、大森橋遺跡、晩期は西ノ沢、鷹橋、中湯沢Ⅰ、北ノ股、根子の沢、角間台遺跡である。これらのうち発掘調査された遺跡は下岩ノ沢と寺ヶ沢Ⅲ遺跡の2か所である。下岩ノ沢遺跡は縄文時代の陥し穴1基を検出し、縄文中期の土器片が出土した。寺ヶ沢Ⅲ遺跡は早期・前期・後期土器片が出土した。他の遺跡は発掘調査はされていないが、根子の沢遺跡では前期から晩期までの数多くの土器が採集されている。中には火炎土器などの北陸系の土器が含まれる。中ノ目Ⅰ遺跡では前期～中期までの土器が採集されている。船岡台遺跡では縄文中期の円筒上層式b式土器、大木7b式土器及び北陸系土器が採集されている。

弥生時代の遺跡には、本遺跡のほかに、家ノ浦Ⅱ(7)、根子の沢、宮崎(65)遺跡などがある。いずれの遺跡も少量の土器が採集されているだけである。本遺跡からは、弥生中期後半の壺や甕の破片が出土している。弥生時代の遺構と判断できる例はない。

古墳時代の遺跡には沼田(59)、宮崎、井岡遺跡などがある。このうち、宮崎遺跡は昭和62年に旧西目町教育委員会によって発掘調査された。古墳時代中期頃と推定される竪穴建物跡1棟、土坑1基のほか、北海道の続縄文文化の終末期に属する北大式土器が検出されている。井岡遺跡からは古墳時

代中期の祭祀遺物と考えられている子持勾玉が発見されている。これは日本海沿岸では最北の例である。

本遺跡周辺には古代(奈良・平安時代)の遺跡は40か所余りある。これらのうち発掘調査された遺跡は前田表Ⅱ(2)、前田表(3)、阿部館(6)、家ノ浦Ⅱ(7)、立沢(8)、横枕(9)、清水尻Ⅰ(10)、清水尻Ⅱ(11)、上谷地Ⅱ(18)、六日市(30)、下岩ノ沢、猿田(45)、寺ヶ沢Ⅲ、宮崎遺跡である。前田表Ⅱ遺跡は本遺跡の北西側約100mの低地部にある。居住施設は検出されなかったが、平安時代の遺物が多く出土し、集落の一部を形成していたことが明らかになった。特に沢状の落ち込みなどから出土した須恵器甕破片には、意図的に破碎して内面に墨を塗布し、広域に散布したと考えられる例がある。払田柵跡の祭祀域とされる厨川谷地遺跡に類例^(註2)があり、その性格を評価する際に注意される。前田表遺跡は小規模な竪穴建物内などから、平安時代の遺物が多く出土し、本遺跡と隣接する南側の丘陵端の経塚から12世紀頃の須恵器系陶器の四耳壺が出土した。阿部館遺跡は9世紀半ば前後に埋没したと推定される最大幅5m以上、深さ1.6m以上の大規模な弧状の溝跡が検出され、その内側を区画したものと想定される。家ノ浦Ⅱ遺跡は南西側に流れる沢状遺構から大量の木製品が出土したほか、北流する溝跡からは大量の完形の土師器坏や円形に石を敷き詰めた敷石遺構が検出された。水辺の祭祀に関わる遺構と推定される。横枕遺跡は丘陵斜面に竪穴建物跡や鍛冶作業等の工房跡が点在する。立沢遺跡は本遺跡の南西側約150mにあり、発掘調査は遺跡の一部しか実施されていないが、平安時代の掘立柱建物跡5棟のほか、溝跡、柱穴様ピット、土坑、焼土遺構などを検出した。さらに秋田県で初めての製塩土器や円面硯、墨書土器、輸入陶磁器等が出土した。詳細は後述するが、本遺跡と前田表Ⅱ、前田表、阿部館、家ノ浦Ⅱ、横枕、立沢遺跡は同一丘陵部やその裾部に近接して立地し、大きくは同時期に併存したものと見られ、相互に密接な関係があるものと想定される。上谷地Ⅱ遺跡は掘立柱建物跡1棟、溝跡、土坑等を検出し、土師器、須恵器等が出土した。下岩ノ沢遺跡は竪穴建物跡3棟、溝跡、土坑等を検出した。いずれの遺跡も集落跡である。猿田遺跡は田畑の整地工事に先だって平成4年に旧西目町教育委員会によって発掘調査され、土師器や須恵器を伴う溝跡1条と数基の土坑が検出された。寺ヶ沢Ⅲ遺跡からは土師器や須恵器片が出土した。宮崎遺跡からは土師器や須恵器とともに竪穴建物跡が3棟検出された。発掘調査はされていないが、沼田遺跡からは8世紀中頃の土師器高坏・長胴甕等が、井岡遺跡からは76点の墨書された土師器、須恵器が採取されている。

中世の由利地方は由利氏、大弐局、仁賀保氏を始めとする所謂由利十二頭など、小領主の支配が変遷し、これらと関係があると考えられる城館遺跡が数多くある。中世の城館遺跡は安倍館(5)、鴻ノ巣館(16)、平沢館(25)、山根館(36)、丸山館(41)、待居館(44)、浜館(47)、田高館(54)、エゾ館(63)、豊後館(80)、瀧保館(84)、花館(104)跡がある。このうち安倍館跡は本遺跡の東側、約500mの丘陵地にある。築城者とその年代は不明であるが、三つの郭からなり、その第一の郭(小館)は標高115mにあり、郭の広さは約300㎡で帯郭を有する。第二の郭は520㎡のやや方形、西側は急斜面で眺望広く、日本海も望む。二段の帯郭が北に40mほど伸びて小館との関連を持つ。底箱堀の空堀が南から北にあり、また、郭と平行に土塁が二筋現存する。第三の郭は標高137m。四段の腰郭があるほか、土塁の痕跡もあり、第一、二郭間との通路を思わせる。館全体の西南側は急斜面、東側は山地を背負い、複雑な地形である。安倍館跡の西側、本遺跡の北東側に隣接して阿部堂(4)遺跡があり、日本では中世に流通した中国(唐・宋)の古銭が約360枚出土した。本遺跡からも同種の銭貨が縋になって1,201

枚出土している。詳細は後述するが、銭貨出土地点(第6図)間の距離は約90mほどであり、2つの事象には関連があると考えられる。また、香取神社を經由して丘陵へ続く道は明治時代に作成された字切図(第5図)には現在地とほぼ同じ位置に記載されているが、本遺跡の発掘調査によって平安時代から中世まで利用された、ほぼ東西方向に平行に延びる何本かの溝跡(道路側溝)が検出された。現在は急斜面につくられている道が、当時はなだらかな斜面につくられていたものと推測できる。この道は西側に広がる日本海と本遺跡を含めた丘陵上に展開した施設とを結んでいたものと推測され、古代の大溝に区画された施設を持つ阿部館遺跡や中世の城館跡の安倍館跡との関連性が考えられる。

註1 西目町史編集委員会 『西目町史 通史編』 2001(平成13)年

註2 秋田県教育委員会 『厨川谷地遺跡－県営ほ場整備事業(土崎・小荒川地区)に係る埋蔵文化財発掘調査報告書Ⅰ－』 秋田県文化財調査報告書第383集 2005(平成17)年



第4図 家ノ浦遺跡と周辺遺跡図

第1表 家ノ浦遺跡周辺の遺跡一覧

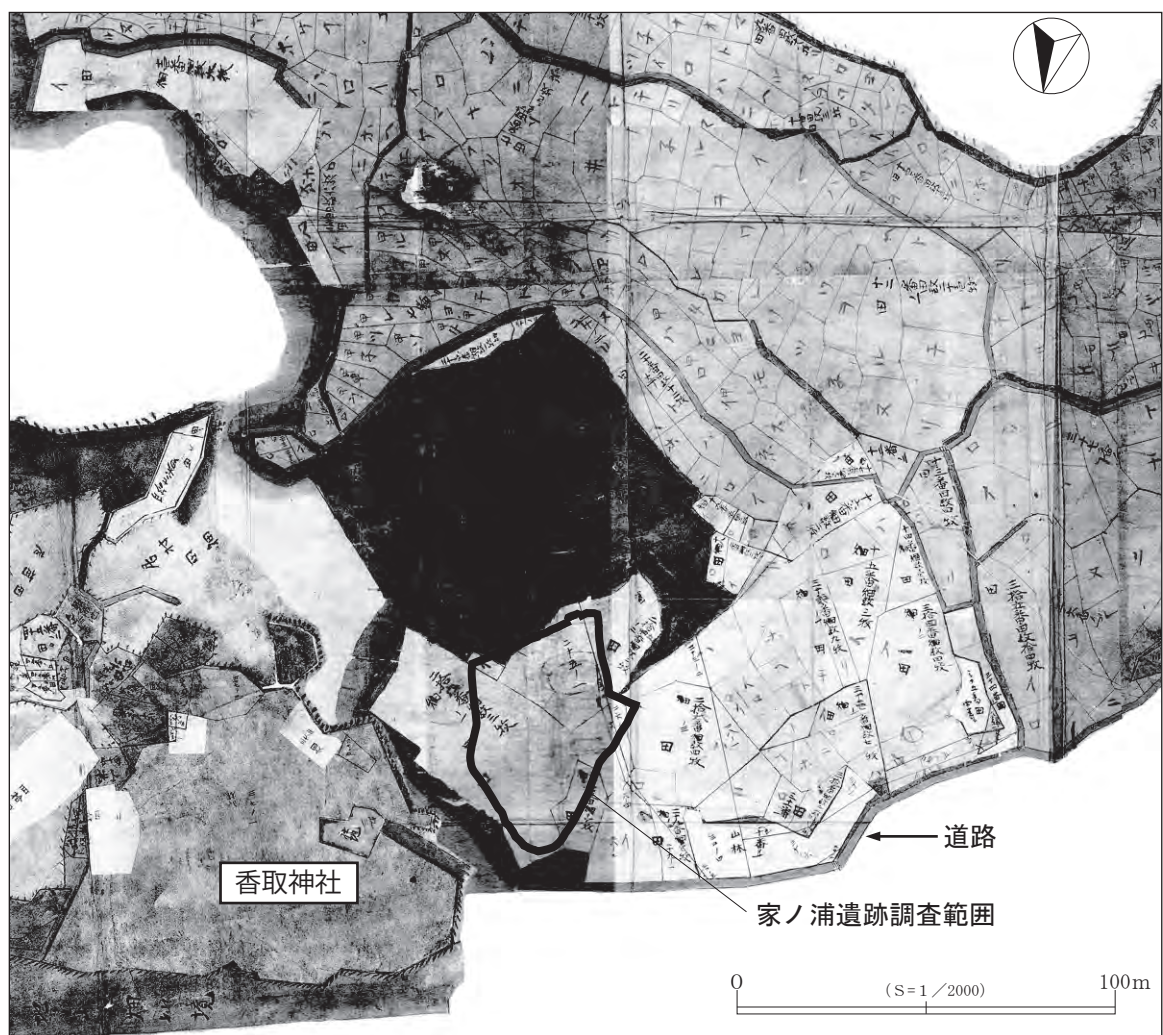
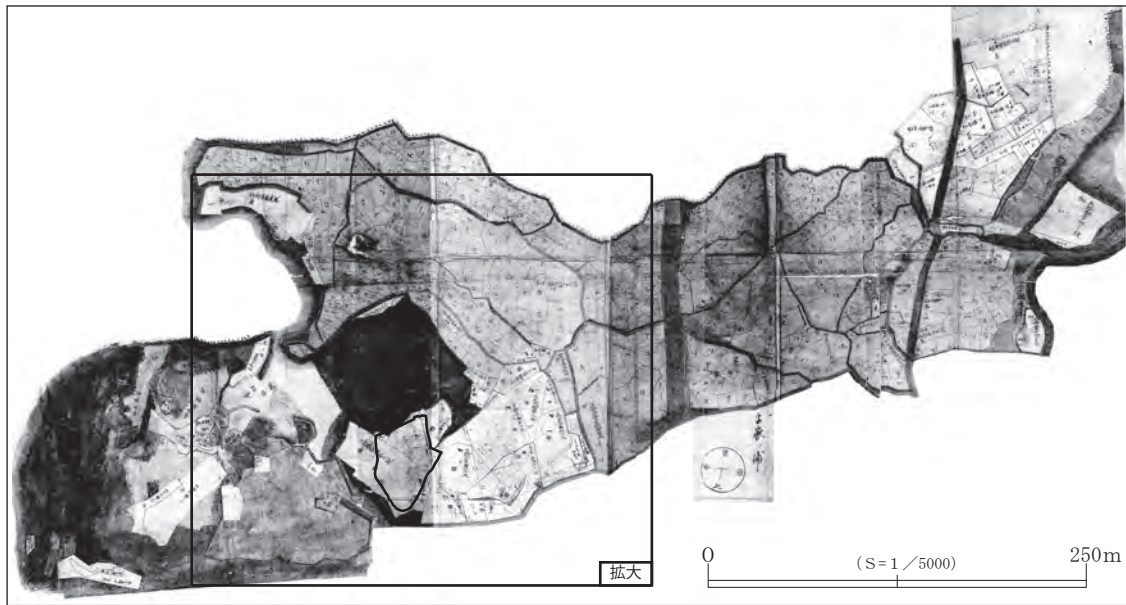
番号	遺跡地図番号	遺跡名	種別	文献	番号	遺跡地図番号	遺跡名	種別	文献
1	214-35-61	家ノ浦	集落跡	本書・1	54	210-41-19	田高館	館跡	6・15
2	214-35-57	前田表Ⅱ	集落跡	2・3	55	210-41-42	大西目Ⅱ	包含地	
3	214-35-36	前田表	集落跡	1・4・5	56	210-41-40	大西目	包含地	
4	214-35-15	阿部堂	包含地	6・7・8	57	210-41-10	根子の沢	包含地	15・17・21
5	214-35-30	安倍館	館跡	6・8	58	210-41-52	小深田	包含地	
6		阿部館	集落跡	1・9	59	210-41-33	沼田	包含地	15
7	214-35-65	家ノ浦Ⅱ	集落跡	1・9	60	210-41-24	大股	寺院跡	17
8	214-35-34	立沢	集落跡	10	61	210-41-61	下山	番所跡	
9	214-35-62	横枕	集落跡	1・11	62	210-41-30	里道	砲台跡	17
10		清水尻Ⅰ	集落跡	9	63	210-41-4	エゾ館	館跡	15・17
11		清水尻Ⅱ	集落跡	9	64	210-41-28	柄下	包含地	
12	214-35-16	旧熊野神社	寺院跡	7	65	210-41-3	宮崎	包含地	15・22・23・24
13	214-35-49	須郷谷地	包含地		66	210-41-2	オンダテ	包含地	
14	214-35-48	出ヶ沢	包含地		67	210-41-1	土花	貝塚	17・22・25
15	214-35-17	旧雄野寺	寺院跡		68	210-41-31	弁天前	番屋跡	
16	214-35-39	鴻ノ巣館	館跡	6	69	210-41-35	向谷地	包含地	
17	214-35-59	上谷地Ⅰ	包含地	11	70	210-41-37	中沢	包含地	
18	214-35-60	上谷地Ⅱ	集落跡	11・12	71	210-41-34	碁石	包含地	
19	214-35-58	新脇田	包含地	11		210-5-81			
20	214-35-63	深堰	石垣	1・11	72	210-41-36	新堰	包含地	
21	214-35-14	平沢・琴浦境の立石	境界石		73	210-41-38	川袋	包含地	
22	214-35-13	仁賀保家陣屋	陣屋跡	8	74	210-41-7	客殿森	包含地	
23	214-35-11	建武碑Ⅰ	板碑	8	75	210-41-9	鷹橋	包含地	
24	214-35-12	建武碑Ⅱ	板碑	8	76	210-41-8	井岡	包含地	15・21・23 26・27・28
25	214-35-53	平沢館	館跡	6	77	210-41-43	堅田	包含地	
26	214-35-10	丁刃森方角石	方角石	8	78	210-41-56	中ノ目Ⅱ	包含地	
27	214-35-6	吉兵井戸	井戸跡		79	210-41-21	中ノ目Ⅰ	包含地	15
28	214-35-5	淀切不動	磨崖仏	8	80	210-41-17	豊後館	館跡	6・15
29	214-35-7	千石家陣屋	陣屋跡		81	210-41-45	堅田沢	包含地	
30	214-35-64	六日市	集落跡	1・9	82	210-41-46	大森	包含地	
31	214-35-8	法界寺	寺院跡	8	83	210-41-63	清水沢	包含地	19
32	214-35-9	高寺	包含地	8	84	210-41-11	湯保館	館跡	6・15・21
33	214-35-47	黒瀧	包含地		85	210-41-58	前ヶ沢	包含地	
34	214-35-18	七高神社	寺院跡	7・8	86	210-41-47	大森橋	包含地	
35	214-35-50	南野	包含地		87	210-41-18	大学館	館跡	6・15
36	214-35-②	山根館	館跡	6・7・8・30・32	88	210-41-57	館ノ後	包含地	
37	214-35-40	研石	包含地		89	210-41-55	湯ノ沢	包含地	
38	214-35-41	十文字	包含地		90	210-41-51	松ノ木	包含地	
39	214-35-33	細久保	包含地	8	91	210-41-50	内野	包含地	
40	214-35-19	八森屋敷	包含地		92	210-41-48	中湯沢Ⅱ	包含地	
41	214-35-38	丸山館	館跡	6・7	93	210-41-13	角間台	包含地	15
42	214-35-35	下岩ノ沢	集落跡	8・13	94	210-41-14	中ノ道	包含地	
43	214-35-51	上小国	包含地		95	210-41-20	中湯沢Ⅰ	包含地	
44	214-35-32	待居館	館跡	6・7・8	96	210-41-12	新林	包含地	15・21
45	210-41-6 214-35-55	猿田	包含地	15・16	97	210-41-53	大湯沢	包含地	
46	210-41-29	浜田	一里塚	17	98	210-41-49	北ノ股	包含地	15
47	210-41-5	浜館	館跡	6・15・17・18	99	210-41-54	大森台	包含地	
48	210-41-39	西ノ沢	包含地	15	100	210-41-44	二ツ森	包含地	
49	210-41-25	大平	寺院跡	17	101	210-41-27	孫七山	包含地	
50	210-41-59	寺ヶ沢Ⅱ	包含地		102	210-41-15	鱒沢	包含地	
51	210-41-41	内山	包含地		103	210-41-16 214-35-56	四角井戸	包含地	15・21
52	210-41-23	寺ヶ沢Ⅰ	寺院跡	17	104	210-5-28	花館	館跡	
53	210-41-62	寺ヶ沢Ⅲ	包含地	19・20	105	210-5-27	船岡台	包含地	29・30・31

※種別欄の「包含地」は、「遺物包含地」の略。

第2章 遺跡の環境

第1表 文献（表中の番号は文献番号に対応する。）

- 1 秋田県教育委員会 『遺跡詳細分布調査報告書』 秋田県文化財調査報告書第456集 2010(平成22)年
- 2 秋田県教育委員会 『遺跡詳細分布調査報告書』 秋田県文化財調査報告書第439集 2008(平成20)年
- 3 秋田県教育委員会 『前田表Ⅱ遺跡—一般国道7号仁賀保本荘道路建設事業に係る埋蔵文化財発掘調査報告書Ⅲ—』 秋田県文化財調査報告書第451集 2010(平成22)年
- 4 秋田県教育委員会 『遺跡詳細分布調査報告書』 秋田県文化財調査報告書第420集 2007(平成19)年
- 5 秋田県教育委員会 『前田表遺跡—一般国道7号仁賀保本荘道路建設事業に係る埋蔵文化財発掘調査報告書Ⅳ—』 秋田県文化財調査報告書第469集 2011(平成23)年
- 6 秋田県教育委員会 『秋田県の中世城館』 1981(昭和56)年 秋田県文化財調査報告書第86集
- 7 仁賀保町史編纂委員会 『仁賀保町史』 1972(昭和47)年
- 8 仁賀保町教育委員会 『仁賀保町史普及版』 2005(平成17)年
- 9 秋田県教育委員会 『遺跡詳細分布調査報告書』 秋田県文化財調査報告書第465集 2011(平成23)年
- 10 仁賀保町教育委員会 『立沢遺跡発掘調査報告』 1987(昭和62)年
- 11 秋田県教育委員会 『遺跡詳細分布調査報告書』 秋田県文化財調査報告書第446集 2009(平成21)年
- 12 秋田県教育委員会 『上谷地Ⅱ遺跡—一般国道7号象潟仁賀保道路建設事業に係る埋蔵文化財発掘調査報告書Ⅰ—』 秋田県文化財調査報告書第461集 2010(平成22)年
- 13 仁賀保町教育委員会 『下岩ノ沢遺跡発掘調査報告』 1986(昭和61)年
- 14 にかほ市教育委員会 『にかほ探訪』 2006(平成18)年
- 15 西目町史編集委員会 『西目町史 資料編』 1998(平成10)年
- 16 西目町教育委員会 『猿田遺跡遺構確認調査報告書』 1994(平成6)年
- 17 佐々木孝一郎 『西目村の話』 1970(昭和45)年
- 18 西目町教育委員会 『浜館遺跡調査報告』 1976(昭和51)年
- 19 秋田県教育委員会 『遺跡詳細分布調査報告書』 秋田県文化財調査報告書第401集 2005(平成17)年
- 20 秋田県教育委員会 『寺ヶ沢Ⅲ遺跡—一般国道7号仁賀保本荘道路建設事業に係る埋蔵文化財発掘調査報告書Ⅰ—』 秋田県文化財調査報告書第419集 2007(平成19)年
- 21 西目町史編集委員会 『西目町史 通史編』 2001(平成13)年
- 22 奈良修介・豊島昂 『秋田県の考古学』 1967(昭和42)年 吉川弘文館
- 23 富樫泰時 『日本の古代遺跡 秋田県』 1985(昭和60)年
- 24 西目町教育委員会 『宮崎遺跡発掘調査報告』 1987(昭和62)年
- 25 秋田県教育委員会 『八郎潟の研究』 1965(昭和40)年
- 26 池田正治・高橋学 『由利郡西目町で採集された墨書土器-土の下の歴史を求めて-』 秋田考古学第39号 1987(昭和62)年
- 27 高橋学 『西目町井岡遺跡で採集された遺物について』 秋田考古学第40号 1990(平成2)年
- 28 秋田県埋蔵文化財センター 『秋田県埋蔵文化財センター研究紀要第1号』 1986(昭和61)年
- 29 本荘市教育委員会 『遺跡発掘調査報告書』 1971(昭和46)年
- 30 本荘市 『本荘市史 史料編Ⅰ上』 1984(昭和59)年
- 31 本荘市 『本荘市史 通史編』 1986(昭和61)年
- 32 伊藤清郎・山口博之編 『中世出羽の領主と城館 奥羽史研究叢書2』 2002(平成14)年 高志書院



第5図 字切図と家ノ浦遺跡調査範囲

第3章 発掘調査の概要

第1節 遺跡の概観

家ノ浦遺跡は、標高28～36mの丘陵地(仁賀保高原北西端)に立地する。西側約0.5kmには日本海が広がる。遺跡は同一丘陵上の北に前田表遺跡、北東に安倍館跡、南東に阿部館遺跡が隣接する。丘陵の縁辺部、または縁辺部に隣接した沖積地には南に家ノ浦Ⅱ遺跡、北西に前田表Ⅱ遺跡が隣接する。遺跡と同一丘陵上の南にある横枕遺跡や沖積地にある立沢遺跡との間には両前寺川が丘陵地から西流する。調査対象区域(2,000㎡)は家ノ浦遺跡のうち、遺跡分布調査や遺跡確認調査時に遺構や遺物の分布が確認された遺跡の北側で、調査以前は水田として利用されていた。発掘調査では平安時代から中世の掘立柱建物跡25棟、竪穴建物跡2棟、井戸跡2基、土坑39基、溝跡13条、焼土遺構3基、柱穴様ピット1,298基を検出した。発掘調査で検出された遺構や遺物から、この遺跡が平安時代から室町時代の人々の生活の場であったことが明らかになった。平成19・20年に発掘調査した前田表Ⅱ遺跡の調査区内からは竪穴建物跡や掘立柱建物跡などの居住施設が見つかっておらず、祭祀的な行為や土坑・溝跡等を設置した人々が住む集落の中心からは離れていたと推測されたが、本遺跡が集落の中心であった可能性が考えられる。また、隣接する前田表遺跡や阿部館遺跡、家ノ浦Ⅱ遺跡、本遺跡の南西側にある平安時代の掘立柱建物跡が見つかった立沢遺跡など周辺遺跡との密接な関係も考えられる。

また、香取神社を経由して丘陵へ続く道は明治時代に作成された字切図(第5図)には現在地とほぼ同じ位置に記載されているが、本遺跡の発掘調査によって平安時代から中世までのほぼ東西方向に並行に延びる何本かの溝跡(道路側溝)が検出され、現在は急斜面につくられている道が、当時はなだらかな斜面につくられていたものと推測できる。この道によって本遺跡と古代の大溝に区画された阿部館遺跡や中世の城館跡と推定されている安倍館跡との関連性が考えられる。

第2節 調査の方法

1 発掘調査

調査は確認調査結果に基づき表土の除去を重機によって行った。V・VI層上面までの粗掘り、遺構精査は移植ベラ・ジョレン等を使用して人力で作業を行った。排土運搬はベルトコンベアーを使用し、排土置き場は調査区外の南側の隣接地を利用した。

調査はグリッド法で行った。対象範囲全域に方眼杭を打設するため、調査区内に任意の1点を選定して、これをグリッドの原点MA50(世界測地系平面直角座標第X系X=-77804 Y=-73874)の基準杭とした。基準杭の座標北方向に南北基線、これに直交するラインを東西基線とし、両基線を延長して当該区内に4×4mメッシュのグリッドを組み、その交点に方眼杭を打設した。方眼の原点を通る南北線をMA、同じく東西線を50とし、南北線はアルファベットの符号を西に向かって昇順となるよう、東西線は数字の符号を北に向かって昇順となるよう、それぞれ付した。なお、南北線に付した2文字のアルファベットはA～Tまでの20文字の繰り返しとなっている。この方眼によって画する4m

四方の区画は、その南東隅を通る南北線の符号と東西線の符号とを組み合わせ、MA50グリッドのように呼ぶこととした。調査対象全域にグリッドを設定することにより、計画的な調査と同時に遺構の平面的な位置の把握に努めた。

遺構は、検出順に01からの通し番号を付して遺構種別を表す記号と組み合わせで呼称した。また、最終的に遺構でないと判断したものについては欠番とした。遺構の掘削は、原則として半截または十字に土層ベルトを残し、2分割法、4分割法による精査を行った。調査の記録は、平面図・土層断面図及び写真で記録化した。平面図・土層断面図は原則として1/20の縮尺で作成し、遺構細部の図面を必要とする際には1/10の縮尺で作成した。遺物の取り上げについては、基本的に遺構外遺物には出土グリッド・層位・出土年月日を、遺構内遺物には出土遺構名・遺構内層位・出土年月日をそれぞれチャック付きポリ袋もしくは耐水性荷札に記入し、取り上げた。なお遺構内およびその周辺の遺物については、適宜出土地点の位置を記録した。発掘調査時の写真撮影は、遺構の検出状況・断ち割り状況・完掘状況の順で撮影し、適宜遺物の出土状況、遺構細部の拡大撮影などを加えた。また、広範囲の撮影、俯瞰状況での撮影にはローリング・タワーを使用した。さらに、調査完了時の全景撮影としてラジコン・ヘリコプターを使用しての空中写真撮影を行い、写真は35mm判のモノクロ及びカラーリバーサルフィルム、6×7判のリバーサルフィルムとTIFF及びJPEGデータでCD-Rに保存している。写真撮影は、基本的に35mm判のモノクロ及びカラーリバーサルフィルムを使用し、デジタルカメラでの撮影も行った。

2 室内整理

各遺構は、現場で作成した図を第1原図とし、これを基に平面図と断面図を組み合わせた図を第2原図とした。第2原図をスキャニングし、Adobe社「Photoshop CS3」・Adobe社「Illustrator CS3」を使用し、トレース・レイアウトまでの作業を行った。

遺物は、洗浄・注記後、報告書に記載する遺物の選別を行い、その後基本的に1/1で実測図を作成し、報告書に記載するにあたっては適宜縮尺を変えトレースした。図にはスケールバーを入れて縮尺を示している。また、土器片などは拓影図の作成を合わせて行い、これらの作業後、デジタルカメラによる写真撮影を行った。また、写真撮影は銭貨を除き、例言に記した機関に委託した。

第3節 調査の経過

発掘調査は、6月1日～8月2日まで実施した。なお、調査区の本調査に先立ち、5月10日～17日までバックホー、キャリアダンプによる表土除去、5月19日～25日までグリッド杭打設を行った。各週ごとの調査経過については、以下のとおりである。

【第1週】6月1日～6月4日 ベルトコンベアーを設置した。コンテナハウスヤード周辺では、発掘機材の機材庫搬入・整頓、作業員棟と機材庫間に屋根設置などの環境整備を行った。調査区周辺では、周辺の草刈りや看板設置などの整備を行った。発掘調査(粗掘)は基本層序用南北ベルトの東側と東西ベルト南側から開始した。表土除去時に確認した緞銭を埋納した土坑(SK01)の精査を実施する。銭貨の中に洪武通寶が含まれる。緞銭が

検出された面で陶磁器(青磁)の底部～高台が出土し、見込みには文様がある。場所によっては古代と中世の遺構検出面に明らかな違いがある。緞銭は盗難の危険も考えられるので、シート、コンパネ、歩み板、土嚢のできる限りの養生をした。見学者(延べ人数)8名。

【第2週】6月7日～6月11日 基本層序(南北・東西ベルト)調査、北西側の粗掘、精査(地山面)を行った。南北・東西ベルト交差南西側の精査(地山面)を行った。SK01(緞銭)周辺の中世遺構(V a・VI層)の精査を継続する。緞銭を検出した土坑の西側約2mの隅丸方形の柱穴様ピットから銭貨3枚が出土した。基本層序と緞銭の検出面を参考に中世の遺構の検出に努め、調査区に広がる中世遺構範囲を早急に確定することとする。来週16日の公開後に緞銭を一括で速やかに取り上げるための箱枠を作る。

【第3週】6月14日～6月18日 調査区北西側のV a・V b層とVIII層(地山)上面精査。調査区南西側のV a・V b層精査。MA、MB51・52グリッド周辺でφ50cm強の二間二間の柱穴を検出(S B19)。浅い土坑(S K16)からほぼ完形の土師器坏が重なった状態で出土した。緞銭を包含する土坑を切り取り(60×50×20cm)し、現場事務所に保管。15日に報道機関記者発表。16日に見学会(来跡者数90名)、NHK、読売新聞社取材。18日に小林班長、緞銭を包含する土坑切り取りを埋蔵文化財センターに移送。見学者2名(見学会以外)。

【第4週】6月21日～6月25日 調査区北西側の精査をほぼ終了。土層ベルトを北側と西側から撤去し、中世の遺構精査を継続中である。調査区中央西側境界法面で井戸跡(S E20)を検出。深さ約1m、下部に井戸枠が現存し、底部から曲物の一部と箸が出土する。約2m四方の竪穴建物跡を調査区中央部で2棟検出、主軸方向はほぼ共通である。S K21から両黒土師器坏等が集中して出土。遺構外から石帯の一部(丸軋)が出土した。見学者1名。次週は中央調査班移転作業のため、現場作業を休止する。

【第5週】7月5日～7月9日 調査を再開する。先週の降雨により、調査区北西～西側は水没、月曜日は排水しながら、調査区東側の粗掘りと調査区中央～北東側・南端の精査を進めた。覆土や遺物から古代の掘建柱建物跡(S B19)と考えている柱穴から検出された柱根は角柱である。調査区南端の土坑としていたものが、深さ約2mの中世の素掘りの井戸跡(S E28)であった。見学者1名。

【第6週】7月12日～7月16日 調査区東～南側の粗掘りと調査区中央～東側・南西側の基盤・地山面(VII・VIII層)の精査、南側はV・VI層の精査を進めた。調査区東側の土坑(S K42)から長さ30cm弱の刀子が、南東側の柱穴様ピットから刀子茎片や釘等が複数検出された。中世と古代の二面での精査によって、柱穴様ピットが予想以上に検出されている。遺構数の確定作業を進めるために、上面での精査を急ぎ、下面での検出に速やかに移行する必要がある。見学者1名。

【第7週】7月20日～7月23日 先週に引き続き、調査区東側・南西側のVII・VIII層の精査、南側はV・VI層、一部でVII・VIII層の精査を進めた。調査区南端の柱穴様ピット(S B84P6)から刀子、同(S K P896)の底部から3枚の銭貨(開元・皇宋・治平通寶)が検出された。見学者2名。

【第8週】7月26日～7月30日 引き続き、調査区東側・南西側・南側のVII・VIII層の精査と調査区全域で新たに検出された遺構の精査を進めた。29日、空中撮影実施。見学者5名。

【第9週】8月2日 残った遺構の精査および図面等の最終チェックを行った。調査区内の土坑等の埋め戻しを行った。2日、国交省秋田河川国道事務所矢口監督官、文化財保護室新海文化財主任、中央調査班児玉班長、築瀬学芸主事が立ち会い、現場引き渡し。全発掘調査終了。

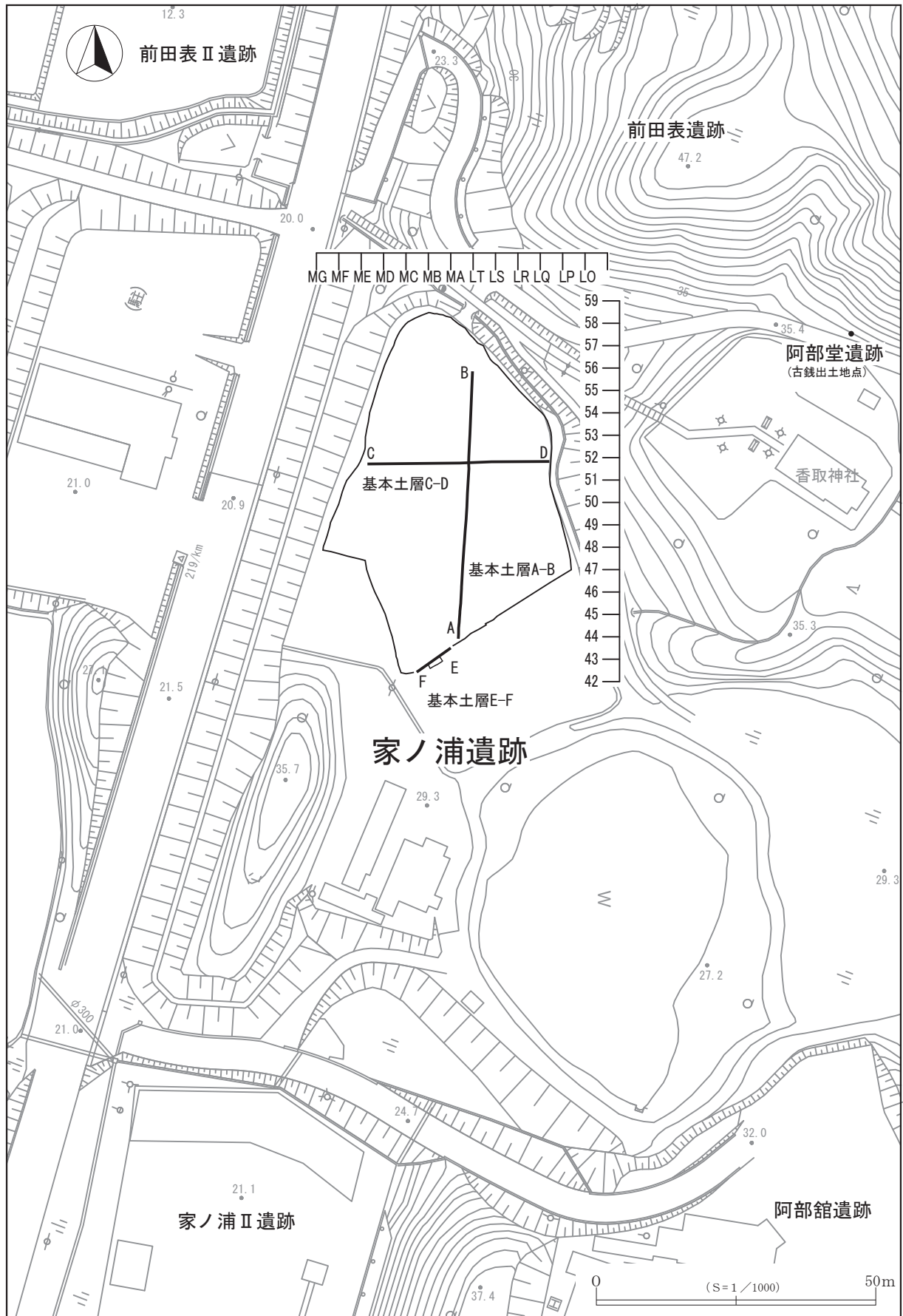
第4章 調査の記録

第1節 基本層序

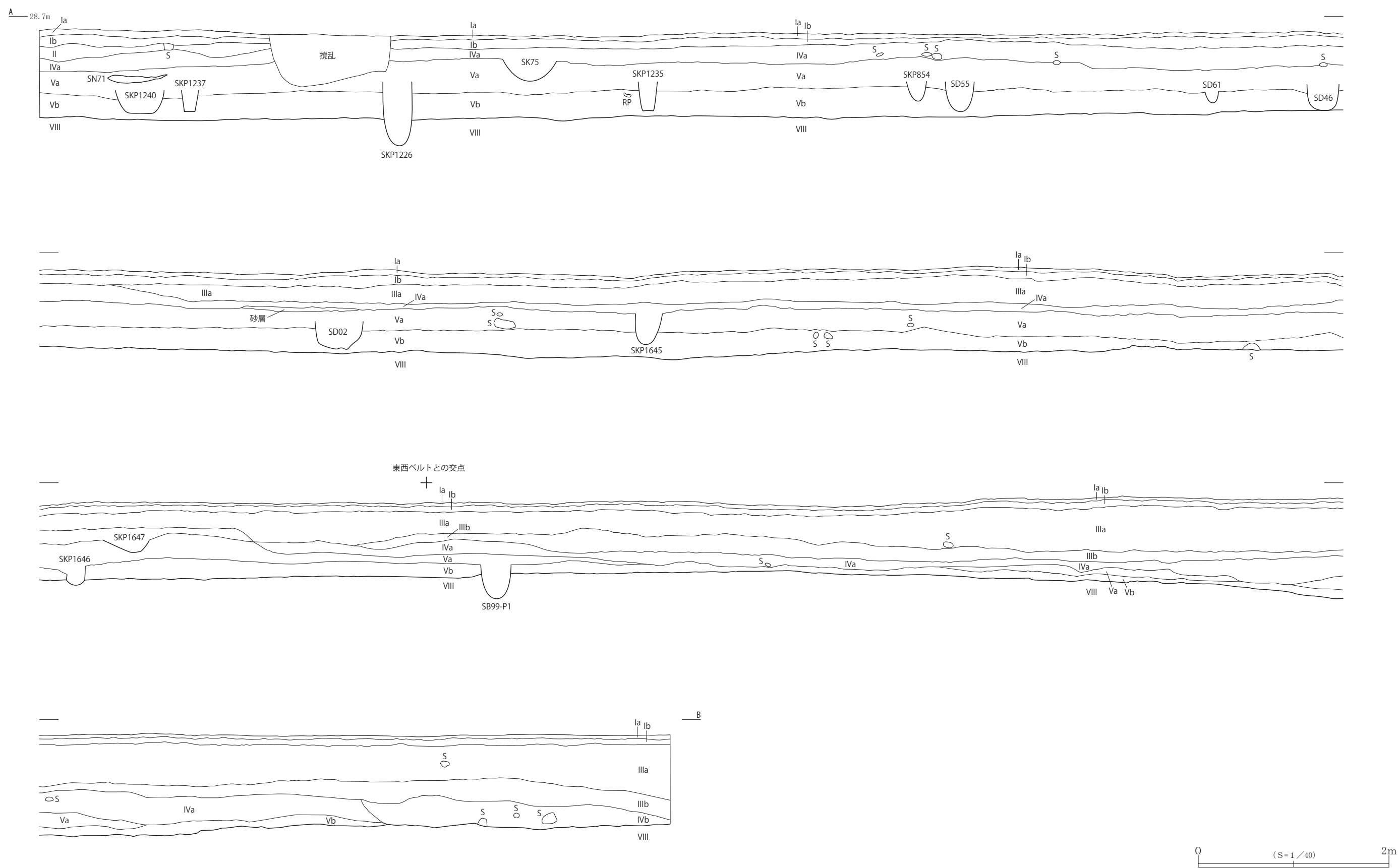
家ノ浦遺跡は標高28.6～35.7mの丘陵地に立地する。今回発掘調査の対象になったのは南北方向に約65m、東西方向に約44mの範囲で、近年は水田として利用され、調査開始前は雑草が繁茂する荒地となっていた。遺跡の層序は地形を考慮して任意の地点にベルトを設定し、各地点の土層観察結果を相互に比較しながら検討を行い、遺跡の基本層序(第7・8図)を以下のⅠ～Ⅷ層に分け、さらに混入物等で細分化した。

- 第Ⅰa層 褐色土(10YR4/4) 土性HC 粘性強 しまり強
- 第Ⅰb層 褐色土(10YR4/4) 土性HC 粘性強 しまり強
- 第Ⅱ層 にぶい黄褐色土(10YR5/4) 土性SL 粘性弱 しまり中
- 第Ⅲa層 灰黄褐色土(10YR6/2) 土性HC 粘性強 しまり強
- 第Ⅲb層 灰色土(10Y5/1) 土性HC 粘性強 しまり強
- 第Ⅳa層 褐灰色土(10YR4/1) 土性SiC 粘性強 しまり強
- 第Ⅳb層 褐灰色土(10YR4/1) 土性SiC 粘性強 しまり強
- 第Ⅴa層 黒色土(10YR2/1) 土性SiC～SL 粘性中～弱 しまり中
- 第Ⅴb層 黒褐色土(10YR3/2) 土性SiC～SL 粘性中～弱 しまり中
- 第Ⅵ層 にぶい黄褐色土(10YR5/4) 土性SCL 粘性中 しまり中
- 第Ⅶ層 黄褐色土(10YR5/6) 土性SC 粘性中 しまり強
- 第Ⅷ層 にぶい黄褐色土(10YR5/4)～褐灰色土(10YR5/1) 土性SiC～HC 粘性強 しまり強

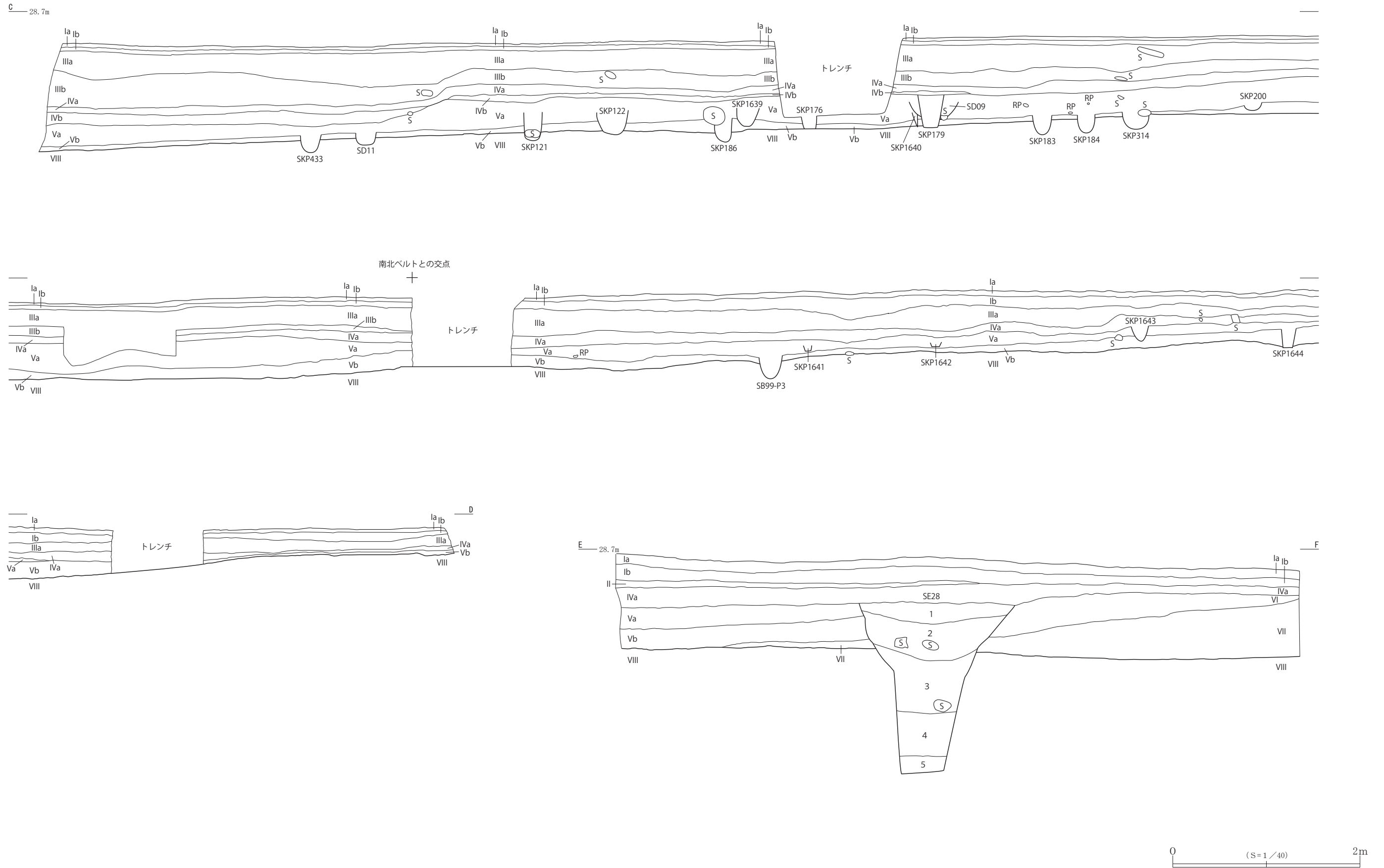
- 第Ⅰ層 現表土で、水田耕作土である。a・b層とも水田の規格を拡大するための区画整理の際の造成による盛土である。b層には地山(Ⅷ層由来)塊が混入する。
- 第Ⅱ層 調査区南西側にある下位の水田耕作土である。水田の規格を拡大するための区画整理の際の造成によるⅧ層由来の盛土である。
- 第Ⅲ層 旧地形の低位部に盛られた地山(Ⅷ層由来)質水田造成土、a・b層とも植物遺体が多量に混入する。a層は酸化する。
- 第Ⅳ層 区画整理前の旧表土・水田耕作土である。a層は植物遺体と炭化物粒(ϕ 1～5 mm 5%)が多量に混入する。b層は植物遺体と炭化物粒(ϕ 1～5 mm 1%)が少量混入する。
- 第Ⅴ層 a層は旧表土(中世の生活面・遺構検出面)である。地山土粒・塊(ϕ 1～20mm 5%)、炭化物粒(ϕ 1～20mm 3%)が混入する。b層は旧表土(古代の生活面・遺構検出面)である。地山土粒・塊(ϕ 1～10mm 10%)、炭化物粒(ϕ 1～5 mm 3%)が混入する。遺物が集中する地点がある。調査区中央西側は砂質土になる。調査区南側ではa・b層ともⅦ層由来土の黄褐色土が斑状に混入する。a・b層とも比較的厚く堆積し、部分的に砂・礫層が堆積



第6図 遺跡周辺地形図・基本土層断面位置図



第7図 基本土層図(1)



第8図 基本土層図(2)



第9圖 主要遺構配置圖

する状況から、丘陵の上位からの土の流入が度々あったものと推測される。

第Ⅵ層 基本的に遺跡南西側に分布する風成砂層(第Ⅶ層)の上位が土壌化した層である。黒色土が斑状に20%、地山土粒・塊(φ1～20mm 5%)、炭化物粒(φ1～10mm 3%)が混入する。中世から古代の生活面・遺構検出面である。第Ⅴ層に見られる中世と古代の堆積土の層界を判断することはできなかった。

第Ⅶ層 調査区南西側に分布する風成砂層(遺構検出面)である。第3図地形区分図でもわかるように遺跡の南西側の地形は仁賀保丘陵地と西部の低地との境界部に南北に断続的に分布する仁賀保古期砂丘地の影響を受けていると推測される。遺跡南西側から北東側に扇状に堆積しているものと推定する。

第Ⅷ層 地山(遺構検出面)。

第2節 検出遺構と出土遺物

今回の調査では掘立柱建物跡25棟、竪穴建物跡2棟、井戸跡2基、土坑39基、溝跡13条、焼土遺構3基、柱穴様ピット1,298基の遺構を検出した。遺構内出土遺物は内黒土師器や両黒土師器を含む土師器(14,9287kg)、須恵器(1,4374kg)、須恵器系陶器(1,1361kg)、椀形鍛冶滓・鍛冶滓(10,2540kg)が大多数を占める。この他に、弥生土器、土製品(土製支脚)、陶磁器(青磁、瀬戸産等)、石器(剥片石器、砥石)、金属製品(銭貨、刀子、釘等)、鍛冶滓以外の鍛冶関連遺物(羽口、鍛造剥片・粒状滓)、木製品(井戸枠構造材、箸状木製品、曲物)などが出土した。遺構は出土遺物の年代と出土柱材・炭化材の放射性炭素年代測定の結果から、平安時代から中世に帰属すると推定する。

1 掘立柱建物跡

25棟検出した。桁行2間、梁行2間のおおよそ正方形平面の総柱建物跡と想定されるものが19棟、梁行1間の長方形もしくは正方形平面の側柱建物跡と想定されるものが6棟である。後者のうち1棟は庇がつくものと考えられる。遺構の構築時期は柱材の放射性炭素年代測定結果、検出層位面と遺構間の切り合い、出土遺物、建物の方位や規模(全長や柱間)、建物の重複関係などから平安時代から中世に及ぶと考える。なお、建物の変遷については第6章に記載した。柱穴様ピットの個々の堆積土については詳細に記録していないことから、S B19以外は記載していない。

S B 19(第10図、図版1)

MA52・53、MB52・53グリッドに位置する。S B91・100、S K21・27・34・S K P1615と重複し、S K P1615を切る。他の遺構とは直接の切り合いはないが、本遺構P6、S B91P5、S B100P2のそれぞれの柱根の放射性炭素年代測定結果からは本遺構がS B91・100より古いと推測される。

桁行2間、梁行2間の総柱建物跡で、全長約5.17×5.14mである。桁行の方位はN-1°-Eである。柱間寸法は桁行がP1-2、P4-5、P7-8間2.56m、P2-3、P5-6、P8-9間2.61m、梁行がP1-4、P2-5、P3-6間2.55m、P4-7、P5-8、P6-9間2.59mである。柱

穴は第V b層上面において確認した。平面形状は略円・楕円形で、長径0.47～0.61m、短径0.23～0.59m、深さ0.21～0.57mで、P 3・6には角柱の柱根(第35図1・2)が遺存していた。柱痕跡はP 8で直径0.21mを確認した。他は未確認である。P 5は長径が短径より極端に長い楕円であることから、柱を抜き取った可能性がある。

遺物はP 1から土師器坏破片(26.2g)が出土した。埋め戻しの際に混入したものと考えられる。本遺構の時期はP 6の柱根の放射性炭素年代測定(暦年較正年代)結果が西暦981～1148年の年代値を示すことから、平安時代中期(10世紀後半)以降に帰属すると考える。

S B 80(第11図)

MA44・45、MB44・45グリッドに位置する。S B 81～84、S K 45・73、S K P 1134・1203・1587・1638・1654と重複する。S K 73、S K P 1654を切り、S K P 1134・1203・1587・1638に切られる。S B 81～84、S K 45とは直接の切り合いはないため、新旧関係は不明である。

桁行2間、梁行2間の総柱建物跡で、全長約4.20×4.20mである。桁行の方位はN-40°-Wである。柱間寸法は桁行がすべて2.10m、梁行がすべて2.10mである。柱穴は第V aまたはVI層上面において確認した。平面形状は略円・隅丸方・楕円形で、長径0.22～0.41m、短径0.18～0.40m、深さ0.35～0.66mである。柱痕跡は未確認で、建物廃絶の際に柱を抜き取った可能性がある。

遺物はP 2底面付近から一端を欠損する砥石1点(第35図3)が出土した。柱を抜き取った際の埋め戻し時に意図的に残置した可能性が考えられる。

本遺構の詳細な時期は不明である。

S B 81(第11図)

L T 44、MA43～45、MB44・45グリッドに位置する。S B 80・82～84、S K 45、S K P 875と重複し、S B 83 P 5、S K 45、S K P 875を切る。S B 80・82・84とは直接の切り合いはないため、新旧関係は不明である。

S B 83 P 2と重複するため、中柱は未確認であるが、本来、総柱建物跡であったと想定される。身舎規模は桁行2間、梁行2間の全長約4.50×4.35mである。桁行の方位はN-50°-Eである。柱間寸法は桁行がすべて2.25m、梁行がP 1-4、P 3-5間2.10m、P 4-6、P 5-8間2.25mである。柱穴は第V aまたはVI層上面において確認した。平面形状は略円・隅丸方・楕円形で、長径0.18～0.33m、短径0.14～0.29m、深さ0.13～0.46mである。柱痕跡は未確認で、建物廃絶の際に柱を抜き取った可能性がある。

遺物はP 1から土師器坏破片(32.2g)、P 2から釘(16.7g)が出土した。このうち、P 2の釘(第35図4)はくの字に変形しており、底面付近から出土した。柱を抜き取った際の埋め戻し時に意図的に残置した可能性が考えられる。他は埋め戻しの際に混入したものと考えられる。

本遺構の詳細な時期は不明である。

S B 82(第11図)

L T 44、MA43～45、MB44グリッドに位置する。S B 80・81・83・84、S K 59・73、S K P

1181・1214・1315・1317と重複し、SK73、SKP1181・1214・1315・1317を切り、SB84P5、SK59に切られる。SB80・81・83とは直接の切り合いはないため、新旧関係は不明である。なお、本遺構の南端の柱穴はSK59の設置により消滅したものとする。

桁行2間、梁行2間の総柱建物跡で、全長約3.90×3.60mである。桁行の方位はN-38°-Wである。柱間寸法は桁行がすべて1.95m、梁行がすべて1.80mである。柱穴は第V aまたはVI層上面において確認した。平面形状は略円・隅丸方・楕円形で、長径0.22～0.38m、短径は0.20～0.38m、深さは0.17～0.45mである。柱痕跡は未確認で、建物廃絶の際に柱を抜き取った可能性がある。出土遺物はない。

本遺構の時期はSK59(15世紀)より古い、詳細な時期は不明である。

SB83(第11図)

LT44、MA43～45グリッドに位置する。SB80・81・82・84、SKP1323・1324と重複し、SKP1323・1324を切り、SB81P7に切られる。SB80・82・84とは直接の切り合いはないため、新旧関係は不明である。

北東隅の柱穴はトレンチ掘り下げのため未検出であるが、総柱建物跡であったと想定される。身舎規模は桁行2間、梁行2間の全長約4.20×3.60mである。桁行の方位はN-44°-Eである。柱間寸法は桁行がP1-2、P4-5、P7-8間1.50m、P2-3、P5-6間2.70m、梁行がP1-4、P2-5、P3-6間2.10m、P4-7、P5-8間1.50mである。柱穴は第V aまたはVI層上面において確認した。平面形状は略円・隅丸方・楕円形で、長径0.20～0.41m、短径は0.18～0.29m、深さは0.15～0.46mである。柱痕跡は未確認で、建物廃絶の際に柱を抜き取った可能性がある。

遺物はP6から土師器坏破片(5.4g)、P8から土師器甕破片(27.2g)が出土した。埋め戻しの際に混入したものと考えられる。

本遺構の詳細な時期は不明である。

SB84(第12図、図版1)

LT44、MA43・44グリッドに位置する。SB80～83、SK32、SKP1255・1314と重複し、SB82P5、SK32、SKP1314を切り、SKP1255に切られる。SB80・81・83とは直接の切り合いはないため、新旧関係は不明である。

桁行2間、梁行2間の総柱建物跡で、全長約4.20×4.20mである。桁行の方位はN-5°-Wである。柱間寸法は桁行がP1-4、P2-5、P3-6間1.80m、P4-7、P5-8、P6-9間2.40m、梁行がすべて2.10mである。柱穴は第V aまたはVI層上面において確認した。平面形状は略円・楕円形で、長径0.16～0.40m、短径0.16～0.40m、深さ0.12～0.36mである。柱痕跡は未確認で、建物廃絶の際に柱を抜き取った可能性がある。

遺物はP3から土師器坏破片(5.0g)、P4から土師器甕破片(24.8g)、P6から刀子(130.0g)が出土した。このうち、P6の刀子(第35図5)は茎を上にして垂直に立てた形で出土し、柱を抜き取った際に意図的に残置した可能性が考えられる。他は埋め戻しの際に混入したものと考えられる。

本遺構の時期はSK32より新しく、中世に帰属する可能性が高い。

S B 85(第12図)

MD49・50、ME49・50グリッドに位置する。S B 86、S K P 406・550・719と重複し、S K P 550・719を切り、S K P 406に切られる。S B 86とは直接の切り合いはないため、新旧関係は不明である。

桁行2間、梁行2間の総柱建物跡で、全長約3.75×3.50mである。桁行の方位はN-42°-Wである。柱間寸法は桁行がP 1-2、P 4-5、P 7-8間1.95m、P 2-3、P 5-6、P 8-9間1.80m、梁行がP 1-4、P 5-8間1.80m、P 2-5、P 4-7間1.70m、P 3-6間1.60m、P 6-9間1.90mである。柱穴は第V a層上面において確認した。平面形状は略円・隅丸方・楕円形で、長径0.21～0.40m、短径0.17～0.38m、深さ0.05～0.26mである。柱痕跡は未確認で、建物廃絶の際に柱を抜き取った可能性がある。

遺物はP 4から土師器甕破片(24.8g)、P 9底部付近から銭貨4枚が出土した。銭貨は元豊通寶2枚、開元通寶、永樂通寶各1枚である(第35図6～9)。銭貨の出土状況から、地鎮のための祭祀儀礼として埋納された可能性が高いものと考えられる。他は埋め戻しの際に混入したものと考えられる。本遺構の時期は永樂通寶(初鑄年1408年)の出土から中世(15世紀以降)に帰属すると考える。

S B 86(第12図)

MC49・50、MD49・50グリッドに位置する。S B 85・87～89、S K P 748・1282・1382と重複し、S B 87 P 7、S K P 1282・1382を切り、S K P 748に切られる。S B 85・88・89とは直接の切り合いはないため、新旧関係は不明である。

桁行2間、梁行2間の総柱建物跡で、全長約3.90×3.75mである。桁行の方位はN-14°-Wである。柱間寸法は桁行がP 1-2、P 4-5、P 7-8間1.80m、P 2-3、P 5-6、P 8-9間2.10m、梁行がP 1-4、P 2-5、P 3-6間1.35m、P 4-7、P 5-8、P 6-9間2.40mである。柱穴は第V a層上面において確認した。平面形状は略円・隅丸方・楕円形で、長径0.11～0.29m、短径0.11～0.23m、深さ0.11～0.23mである。柱痕跡は未確認で、建物廃絶の際に柱を抜き取った可能性がある。

遺物はP 8から土師器坏破片(8.4g)が出土した。埋め戻しの際に混入したものと考えられる。

本遺構の詳細な時期は不明である。

S B 87(第12図)

MC49～51、MD50グリッドに位置する。S B 86・88～90・92、S K P 744・1282・1657と重複し、S K P 1282・1657を切り、S B 86 P 2、S B 92 P 5、S K P 744に切られる。S B 88～90とは直接の切り合いはないため、新旧関係は不明である。

桁行2間、梁行2間の総柱建物跡で、全長約4.35×4.00mである。桁行の方位はN-27°-Wである。柱間寸法は桁行がP 1-2、P 4-5、P 7-8間1.95m、P 2-3、P 5-6、P 8-9間2.40m、梁行がP 1-4、P 2-5、P 3-6間1.65m、P 4-7、P 5-8、P 6-9間2.35mである。柱穴は第V a層上面において確認した。平面形状は略円・隅丸方・楕円形で、長径0.16～0.35m、短径0.11～0.29m、深さ0.09～0.22mである。柱痕跡は未確認で、建物廃絶の際に柱を抜き取った可

能性がある。

遺物はP 5から土師器甕破片(43.2g)、P 7から土師器坏破片(4.1g)が出土した。埋め戻しの際に混入したものと考えられる。

本遺構の詳細な時期は不明である。

S B 88(第13図)

MB51、MC50・51、MD50グリッドに位置する。S B 86・87・89・90・92と重複し、S B 89 P 8に切られる。S B 86・87・90・92とは直接の切り合いはないため、新旧関係は不明である。

桁行2間、梁行2間の総柱建物跡で、全長約3.90×3.75mである。桁行の方位はN-15°-Eである。柱間寸法は桁行がP 1-2、P 4-5、P 7-8間1.80m、P 2-3、P 5-6、P 8-9間2.10m、梁行がP 1-4、P 2-5、P 3-6間1.95m、P 4-7、P 5-8、P 6-9間1.80mである。柱穴は第V b層上面において確認した。平面形状は略円・隅丸方・楕円形で、長径0.21～0.31m、短径0.17～0.29m、深さ0.21～0.40mである。柱痕跡は未確認で、建物廃絶の際に柱を抜き取った可能性がある。

遺物は出土せず、本遺構の詳細な時期は不明である。

S B 89(第13図)

MB50・51、MC50・51グリッドに位置する。S B 86～88・90・92と重複し、S B 88 P 8、S B 90 P 4・7を切る。S B 86・87・92とは直接の切り合いはないため、新旧関係は不明である。

桁行2間、梁行2間の総柱建物跡で、全長約3.90×3.25mである。桁行の方位はN-21°-Eである。柱間寸法は桁行がすべて1.95m、梁行がP 1-4、P 2-5、P 3-6間1.65m、P 4-7、P 5-8、P 6-9間1.60mである。柱穴は第V a層上面において確認した。平面形状は略円・隅丸方・楕円形で、長径0.21～0.33m、短径0.18～0.27m、深さ0.13～0.29mである。柱痕跡は未確認で、建物廃絶の際に柱を抜き取った可能性がある。

遺物は出土しなかった。

本遺構の時期はS B 90(1300～1400年代)より新しく、中世に属する可能性が高い。

S B 90(第13図)

MB50・51、MC50・51グリッドに位置する。S B 87～89・91と重複し、S B 89 P 5・8に切られる。S B 87・88・91とは直接の切り合いはないため、新旧関係は不明である。

桁行2間、梁行2間の総柱建物跡で、全長約3.75×3.45mである。桁行の方位はN-21°-Eである。柱間寸法は桁行がP 1-2、P 4-5、P 7-8間2.25m、P 2-3、P 5-6、P 8-9間1.50m、梁行がP 1-4、P 2-5、P 3-6間1.95m、P 4-7、P 5-8、P 6-9間1.50mである。柱穴は第V a層上面において確認した。平面形状は略円・隅丸方形で、長径0.18～0.36m、短径0.16～0.29m、深さ0.15～0.27mである。柱痕跡は未確認で、建物廃絶の際に柱を抜き取った可能性がある。

遺物はP 8から須恵器系陶器播鉢口縁部～体部破片(81.9g)が出土した(第36図10)。口縁部は僅か

に肥厚し、口縁端部を広く面取りする。体部には深い卸し目を施す。珠洲系陶器編年のIV期(1300年代)相当と考える。埋め戻しの際に混入したものと考えられる。

本遺構の時期は出土遺物から中世に属すると考える。

S B 91(第13図)

MA51・52、MB51・52グリッドに位置する。S B 90・97、S D 09と重複し、S D 09に切られる。S B 90・97とは直接の切り合いはないため、新旧関係は不明である。

桁行2間、梁行2間の総柱建物跡で、全長約4.20×3.75mである。桁行の方位はN-4°-Wである。柱間寸法は桁行がP 1-4、P 2-5間1.95m、P 4-6、P 5-7間2.25m、梁行がP 1-2、P 4-5、P 6-7間1.80m、P 2-3、P 7-8間1.95mである。柱穴は第V a層において確認した。平面形状は略円・隅丸方・楕円形で、長径0.22～0.58m、短径0.18～0.32m、深さ0.18～0.43mで、P 2には角柱の柱根(第36図11)が遺存していた。P 2は長径が短径より極端に長い楕円であることから、抜き取り痕は未確認であるが、柱を抜き取ろうとして途中で折れた可能性がある。その他の柱穴は柱痕跡を確認していない。

遺物はP 1から土師器甕破片(14.8g)、P 6から弥生土器壺甕破片(13.0g)が出土した。埋め戻しの際に混入したものと考えられる。

本遺構の時期はP 2の柱根の放射性炭素年代測定(暦年較正年代)結果が西暦1270～1385年の年代値を示すことから、鎌倉時代中期(13世紀後半)以降に属すると考える。

S B 92(第14図)

MB49・50、MC49・50グリッドに位置する。S B 87～89、S K 35、S N 30、S D 09、S K P 480・763・776・1355と重複し、S B 87 P 3、S K 35、S K P 480・763・776・1355を切る。S B 88・89、S N 30、S D 09とは直接の切り合いはないため、新旧関係は不明である。

桁行2間、梁行2間の総柱建物跡で、全長約3.30×3.15mである。桁行の方位はN-70°-Wである。柱間寸法は桁行がすべて1.65m、梁行がP 1-4、P 2-5、P 3-6間1.50m、P 4-7、P 5-8、P 6-9間1.65mである。柱穴は第V a層上面において確認した。平面形状は略円・隅丸方・楕円形で、長径0.19～0.43m、短径0.17～0.38m、深さ0.09～0.30mである。柱痕跡は未確認で、建物廃絶の際に柱を抜き取った可能性がある。

遺物はP 9から土師器甕破片(28.0g)が出土した。埋め戻しの際に混入したものと考えられる。

本遺構の詳細な時期は不明である。

S B 93(第14図)

L T 48・49、MA48・49、MB48・49グリッドに位置する。S B 94～96、S I 24、S K 44、S D 02と重複し、S I 24を切り、S D 02に切られる。S B 94～96、S K 44とは直接の切り合いはないため、新旧関係は不明である。

桁行2間、梁行2間の総柱建物跡で、全長約6.00×5.70mである。桁行の方位はN-13°-Eである。柱間寸法は桁行がすべて3.00m、梁行がP 1-4、P 2-5、P 3-6間2.70m、P 4-7、P 5-8、

P 6－9間3.00mである。柱穴はP 7以外は第V b層上面において確認した。平面形状は略円・隅丸方・楕円形で、長径0.27～0.52m、短径0.25～0.49m、深さ0.12～0.43mである。柱痕跡は未確認で、建物廃絶の際に柱を抜き取った可能性がある。

遺物はP 1・5からそれぞれ土師器坏破片(4.2g・5.5g)が出土した。埋め戻しの際に混入したものと考えられる。

本遺構の時期はS D02(15世紀以降)より古い。

S B 94(第14図)

L T 48・49、MA 48・49、MB 49グリッドに位置する。S B 93・95・96、S I 24、S K 44、S K P 771と重複し、S B 96 P 7、S I 24、S K 44を切り、S K P 771に切られる。S B 93・95とは直接の切り合いはないため、新旧関係は不明である。

桁行3間、梁行1間の側柱建物跡で、全長約6.45×3.30mである。桁行の方位はN-64°-Wである。柱間寸法は桁行がP 1-2、P 5-6間2.25m、P 2-3、P 6-7間2.40m、P 3-4、P 7-8間1.80m、梁行が3.30mである。柱穴は第V b層上面において確認した。平面形状は略円・隅丸方形で、長径0.25～0.40m、短径0.25～0.35m、深さ0.19～0.50mである。柱痕跡は未確認で、建物廃絶の際に柱を抜き取った可能性がある。

遺物はP 1から土師器坏破片(3.8g)、石器(剥片)1点(4.0g)、P 5から土師器坏破片(52.7g)、P 8から土師器甕破片(89.0g)、須恵器壺破片(7.1g)が出土した。埋め戻しの際に混入したものと考えられる。

本遺構の詳細な時期は不明である。

S B 95(第15図)

L T 49・50、MA 49・50、MB 49グリッドに位置する。S B 93・94・96～98、S I 24と重複し、S I 24を切る。S B 93・94・96～98とは直接の切り合いはないため、新旧関係は不明である。

南面庇を伴う側柱建物跡で、身舎規模は桁行2間、梁行1間の約5.10×2.40m、庇部分を含めると全長約5.10×3.15mである。桁行の方位はN-77°-Wである。柱間寸法は桁行がP 1-2、P 4-5間2.70m、P 2-3、P 5-6間2.40m、梁行が2.40mで、庇部分が南側に0.75mである。柱穴は第V b層上面において確認した。平面形状は略円・隅丸方・楕円形で、身舎部分が長径0.32～0.50m、短径0.24～0.42m、深さ0.39～0.70m、庇部分が長径0.18～0.33m、短径0.18～0.29m、深さ0.17～0.20mである。柱痕跡は未確認で、建物廃絶の際に柱を抜き取った可能性がある。

遺物はP 2・6からそれぞれ弥生土器壺・甕破片(14.3g・53.0g)、P 4・9からそれぞれ土師器甕破片(28.0g・54.6g)、P 5から土師器坏破片(5.0g)が出土した。埋め戻しの際に混入したものと考えられる。

本遺構の詳細な時期は不明である。

S B 96(第15図)

L T 49・50、MA 49・50グリッドに位置する。S B 93～95・97・98、S I 24、S K 16と重複し、

S B 94 P 2 に切られる。S B 93・95・97・98、S I 24、S K 16とは直接の切り合いはないため、新旧関係は不明である。

桁行2間、梁行2間の総柱建物跡で、全長約5.85×4.80mである。桁行の方位はN-78°-Wである。柱間寸法は桁行がP 1-2、P 3-4、P 6-7間2.70m、P 4-5、P 7-8間3.15m、梁行がP 1-3、P 2-4間2.10m、P 3-6、P 4-7、P 5-8間2.70mである。柱穴は第V a層上面において確認した。平面形状は略円・隅丸方形で、長径0.30～0.50m、短径0.28～0.42m、深さ0.24～0.42mである。柱痕跡は未確認で、建物廃絶の際に柱を抜き取った可能性がある。

遺物はP 3・5からそれぞれ土師器坏破片(1.5g・1.1g)が出土した。埋め戻しの際に混入したものと考えられる。

本遺構の詳細な時期は不明である。

S B 97(第15図)

L T 50・51、M B 50・51グリッドに位置する。S B 91・95・96、S K 16、S K P 139と重複し、S K 16、S K P 139を切る。S B 91・95・96とは直接の切り合いはないため、新旧関係は不明である。

桁行2間、梁行2間の総柱建物跡で、全長約4.65×4.50mである。桁行の方位はN-17°-Eである。柱間寸法は桁行がP 1-2、P 4-5、P 7-8間2.25m、P 2-3、P 5-6、P 8-9間2.40m、梁行がP 1-4、P 2-5、P 3-6間2.10m、P 4-7、P 5-8、P 6-9間2.40mである。柱穴は第V b層上面において確認した。平面形状は略円・隅丸方・楕円形で、長径0.23～0.34m、短径0.16～0.32m、深さ0.21～0.45mである。柱痕跡は未確認で、建物廃絶の際に柱を抜き取った可能性がある。

遺物はP 7から土師器甕破片(45.5g)が出土した。埋め戻しの際に混入したものと考えられる。また、建物の中心付近の床面からほぼ完形の土師器坏(第36図12～17)、内黒土師器壺(第36図18)が集中して出土した。15・16は逆位に、他は正位で出土した。13は口縁部内外面の一部に煤状炭化物が付着する。灯明皿に転用された可能性がある。18は小形の壺で内面が黒色処理され、外面はほぼ全面にケズリが施されている。これらは建物の廃絶時の儀礼的行為として残置された可能性が考えられる。

本遺構の時期は出土遺物から平安時代に属する可能性が高いと考える。

S B 98(第16図)

L S 49・50、L T 49～51、M A 49・50グリッドに位置する。S B 95・96・99・103、S I 24、S K 10・76・77、S D 79、S K P 219・1418と重複し、S I 24を切り、S K P 219・1418に切られる。S B 95・96・99・103とは直接の切り合いはないため、新旧関係は不明である。

東側桁行中央の柱穴を欠くが、総柱建物跡と想定され、身舎規模は桁行2間、梁行2間の全長約6.00×5.85mである。桁行の方位はN-14°-Eである。柱間寸法は桁行がすべて3.00m、梁行がP 1-4、P 2-5、P 3-6間2.85m、P 4-7、P 6-8間3.00mである。柱穴は第V b層上面において確認した。平面形状は略円・楕円形で、長径0.29～0.47m、短径0.28～0.42m、深さ0.15～0.57mである。柱痕跡は未確認で、建物廃絶の際に柱を抜き取った可能性がある。

遺物はP 4から土師器坏破片(7.0g)、P 5から土師器甕破片(28.0g)が出土した。埋め戻しの際に

混入したものと考えられる。

本遺構の詳細な時期は不明である。

S B 99(第16図)

L S 51、L T 51グリッドに位置する。S B 98、S K P 1006・1652と重複し、S K P 1006・1652を切る。S B 98とは直接の切り合いはないため、新旧関係は不明である。

桁行2間、梁行1間の側柱建物跡で、全長約4.05×2.10mである。桁行の方位はN-84°-Wである。柱間寸法は桁行がP 1-2、P 4-5間1.95m、P 2-3、P 5-6間2.10m、梁行が2.10mである。柱穴は第V b層上面において確認した。平面形状は略円・楕円形で、長径0.20～0.46m、短径0.16～0.33m、深さ0.29～0.41mである。柱痕跡は未確認で、建物廃絶の際に柱を抜き取った可能性がある。

遺物はP 1から土師器甕破片(32.2g)が出土した。埋め戻しの際に混入したものと考えられる。

本遺構の詳細な時期は不明である。

S B 100(第17図)

L T 51・52、MA 51・52グリッドに位置する。S B 19・101、S K 21、S K P 568・1483と重複し、S B 101P 2、S K 21を切り、S K P 568・1483に切られる。S B 19とは直接の切り合いはないため、新旧関係は不明である。

桁行2間、梁行2間の総柱建物跡で、全長約4.00×3.90mである。桁行の方位はN-84°-Wである。柱間寸法は桁行がP 1-2、P 6-7間2.10m、P 2-3、P 7-8間1.90m、梁行がP 1-4、P 3-5間2.10m、P 4-6、P 5-8間1.80mである。柱穴は第V a層上面において確認した。平面形状は略円・楕円形で、長径0.22～0.40m、短径0.21～0.31m、深さ0.15～0.38mである。P 2には柱根(第36図19)が遺存する。その他の柱穴の柱痕跡は未確認で、建物廃絶の際に柱を抜き取った可能性がある。

遺物はP 1から土師器坏破片(16.9g)が出土した。埋め戻しの際に混入したものと考えられる。

本遺構の時期はP 2の柱根の放射性炭素年代測定(暦年較正年代)結果が西暦1299～1410年の年代値を示すことから、鎌倉時代後期(13世紀末期)以降に帰属すると考える。

S B 101(第17図)

L T 51・52グリッドに位置する。S B 100、S K P 339・1578と重複し、S K P 339・1578を切り、S B 100P 3に切られる。

桁行2間、梁行1間の側柱建物跡で、全長約4.05×1.80mである。桁行の方位はN-60°-Wである。柱間寸法は桁行がP 1-2、P 4-5間2.25m、P 2-3、P 5-6間1.80m、梁行が1.80mである。柱穴は第V b層上面において確認した。平面形状は略円・隅丸方形で、長径0.19～0.31m、短径0.18～0.29m、深さ0.09～0.29mである。柱痕跡は未確認で、建物廃絶の際に柱を抜き取った可能性がある。

遺物は出土せず、本遺構の詳細な時期は不明である。

S B 102(第17図)

L S 47・48、L T 47・48グリッドに位置する。S K 60、S D 02、S K P 1566と重複し、S K P 1566を切り、S D 02に切られる。S K 60とは直接の切り合いはないため、新旧関係は不明である。

桁行1間、梁行1間の側柱建物跡で、全長約3.00×2.10mである。桁行の方位はN-12°-Eである。柱間寸法は桁行が3.00m、梁行が2.10mである。柱穴はS D 02底面と第V b層上面において確認した。平面形状は略円・楕円形で、長径0.30～0.55m、短径0.28～0.45m、深さ0.20～0.62mである。柱痕跡は未確認で、建物廃絶の際に柱を抜き取った可能性がある。

遺物はP 4から土師器坏破片(1.7g)が出土した。埋め戻しの際に混入したものと考えられる。

本遺構の時期はS D 02(15世紀以降)より古い。

S B 103(第17図)

L S 49・51グリッドに位置する。S B 98、S K 77、S D 79と重複し、S K 77を切る。S B 98、S D 79とは直接の切り合いはないため、新旧関係は不明である。

桁行2間、梁行1間の側柱建物跡で、全長約3.15×3.00mである。桁行の方位はN-5°-Eである。柱間寸法は桁行がP 1-2、P 4-5間1.65m、P 2-3、P 5-6間1.50m、梁行が3.00mである。柱穴は第V b層上面において確認した。平面形状は略円・楕円形で、長径0.24～0.58m、短径0.22～0.49m、深さ0.10～0.40mである。柱痕跡は未確認で、建物廃絶の際に柱を抜き取った可能性がある。

遺物はP 1から土師器坏破片(5.2g)が出土した。埋め戻しの際に混入したものと考えられる。

本遺構の詳細な時期は不明である。

2 竪穴建物跡

2棟検出した。2棟とも竪穴平面形は歪な方形で、その規模や軸方向が類似する。いずれも検出層位と出土遺物から平安時代後半に属すると考えられる。

S I 22(第18図、図版1)

MA 53・54、MB 53・54グリッドに位置し、第V b層上面で確認した。遺構の南東側以外は上面が削平を受け、残りが悪い。S K P 1660と重複し、同遺構に切られる。平面形規模は長径2.44m、短径2.20mで、確認面からの深さ0.20mである。主軸方向はN-75°-Wである。周壁は急角度で立ち上がる。壁溝は検出されない。床面は掘方底面の地山上面を利用しており、若干の凹凸を有するもののほぼ平坦で、標高は27.10～27.17mである。床面積は約4.7㎡である。

堆積土は4層に分けた。1～3層は旧表土由来の黒褐～褐灰色土を主体とし、地山土塊を多く含む。4層は地山土由来のにぶい黄褐色土塊を主体とする。1～4層は一括の人為的な埋め戻し土と考える。

柱穴は床面と周壁付近から10基検出した。平面形はいずれも略円形で、直径0.20～0.36m、床面からの深さ0.16～0.28mである。このうち隅角にあるP 1～3、P 8は主柱穴の可能性がある。P 2とP 3には切り合いがあることから建て替えが行われたと考えられる。堆積土は地山土塊を含む旧表土由来の黒褐～暗褐色土を主体とする。柱痕跡は確認されず、建物廃絶時に柱を抜き取った後の一

括の人為的な埋め戻し土と考えられる

遺物は土師器甕破片(21.2g)が出土した。埋め戻しの際の混入と考えられる。

S I 24(第19図、図版1)

L T 49・50、MA 49・50グリッドに位置し、基本土層用A Bベルト西側断面では第V b層上面で確認した。S B 93～96・98と重複し、S B 93 P 9・94 P 3・95 P 3・98 P 1に切られる。S B 96とは直接の切り合いはないため、新旧関係は不明である。平面形規模は長径2.84m、短径2.04mの歪な隅丸長方形である。各壁の確認面からの深さは0.14～0.28mである。主軸方向はN-63°-Wである。周壁は北東側が緩やかに、他は急角度で立ち上がる。壁溝は検出されない。床面は掘方底面の地山上面を利用しており、若干の凹凸はあるがほぼ平坦で、固く締まり、標高は27.54～27.61mである。床面積は約4.3㎡である。堆積土は3層に分かれ、1～3層は旧表土由来の黒～暗褐色土を主体とする。1・2層は地山土塊・炭化物粒を多量、焼土粒を僅かに含み、人為的な埋め戻し土、3層は周囲からの流入土と考える。

柱穴は床面と周壁付近から9基検出した。平面形はいずれも略円形で、直径0.16～0.36m、床面からの深さ0.10～0.30mである。規則的な配列が認められないが、このうち隅角にあるP 8・9は支柱穴の可能性がある。堆積土は地山土塊を多量に含む旧表土由来の黒褐～オリーブ黒色土を主体とする。柱痕跡は確認されず、建物廃絶時に柱を抜き取った後の一括の人為的な埋め戻し土と考えられる。

遺物は弥生土器甕破片(7.7g)、土師器坏破片(5.0g)・甕破片(40.8g)、須恵器壺破片(21.4g)・甕破片(16.3g)が1・2層から出土した。埋め戻しの際の混入と考えられる。

本遺構は堆積土に焼土粒に加えて炭化物粒を多量に含むことから、本遺構の東約2.4mにあるS K 76、北東約2.6mにあるS K 77と関わる鍛冶作業関連施設の可能性がある。

3 井戸跡

2基検出した。放射性炭素年代測定結果と出土遺物から、それぞれ平安時代と中世に属すると考えられる。平安時代の井戸跡は井戸枠を設置したもので、中世の井戸跡は素掘りのものである。

S E 20(第20図、図版1)

MD 51～52グリッドにあり、調査区西側法面では第V b層上面で確認した。重複する遺構はない。西側は未調査のため全体形状は不明であるが、掘方平面形規模は西側境界法面断面径1.20mで略円形と推定される。確認面から底面までの深さ1.20m、底面標高25.98mを測る。底面はほぼ平坦でグライ化し、周壁は急角度で外傾して立ち上がる。井戸掘方内には縦板組隅柱横棧留構造の井戸枠を構築している。堆積土は1～3層が表土由来の黒～黒褐色土主体、4層が地山土由来のグライ化した灰色土を主体とする。1層は井戸廃棄後の窪みにV a層土の流入による自然堆積土、2層は井戸廃棄時の人為的な埋め戻し土、3層は井戸機能時の堆積である。4層は井戸枠を設置した際の裏込め土と考えられる。井戸枠は2方向にホゾ穴を穿った隅柱(第37図20・21)と両端にホゾを作り出した横棧(第37図22・23)を方形にホゾ組みし、その外側に幅12cm、厚さ1cm、現存長50cm前後の板材(第37図24・25)を縦方向に埋設して構築する。最下層からは曲物の側板と底板の小片が出土していることか

ら、水溜には曲物を利用したものと考える。

遺物は井戸枳材の他に、土師器坏破片(39.1g)・甕破片(68.8g)、箸状木製品(第37図26・27)2点が出土した。箸状木製品は井戸の廃棄儀礼に関連して投入された可能性が考えられる。井戸枳材のうち、隅柱、縦板は井戸底面から約30～50cm前後まで残存する。堆積土の4層の崩れがなく、2層と4層が明確に分離していることから上位部分は廃棄後に朽ちてしまったものと思われる。縦板材には端部に方形の穿孔があるものが5枚あり、屋根材等の転用品と考えられる。

遺構の時期は隅柱の放射性炭素年代測定(暦年較正年代)結果が西暦726～935年の年代値を示し、奈良～平安時代中期である。本遺構からは8世紀代の遺物は検出されていないことから、平安時代に帰属するものと考ええる。

S E 28(第20図、図版2)

MA42・43グリッドにあり、基本土層用トレンチ南側断面の第V a・VI層上面で確認した。重複する遺構はない。北側が基本土層用トレンチによって上位が削平されているため全体形状は不明であるが、平面形規模は推定長径値1.92m、推定短径値1.76mで略円形と推定される。確認面から底面までの深さ1.84m、底面標高26.30mを測り、主軸方向はN-36°-Wである。底面はほぼ平坦でグライ化し、平面形が隅丸方形である。周壁は中位までほぼ垂直に、中位から上位まではやや開きながら立ち上がる。堆積土は1～5層が遺構構築時の旧表土由来の灰黄褐～オリーブ黒色土を主体とする。1～4層が井戸廃棄時の一括の人為的堆積で、5層は井戸機能時の堆積と考えられる。遺構内に井戸枳材や曲物は現存しないが、現状でも水が十分に溜まることから井戸跡とした。

遺物は須恵器系陶器片口鉢破片2点(505.0g)が4層から出土し、両者は接合した。口縁部～体部破片(第37図28)で、口縁部は僅かに肥厚し、端部は広く面取りする。体部には深い卸し目を8本で一単位で施す。体部内面下位は卸し目が擦り減り、よく使われた痕跡が見られる。珠洲系陶器編年のIV～V期(1300～1400年代)相当と考える。また、2・3層には30cm前後の礫が多量に含まれる。井戸の廃棄儀礼に関連して投入された可能性が高いと考えられる。

本遺構の時期は検出層位と出土遺物から中世に帰属すると考える。

4 土坑

土坑は39基検出した。平面形状が略円形や楕円形の土坑が多い。調査区南東側には時期不明のものもあるが、遺構検出層位や出土遺物から平安時代と中世の時期に大きく分類できる。また、調査区中央付近の楕円形(S K 16・21・34・41)や略円形(S K 35・44・78)の比較的浅い土坑からは完形または完形に近い土器が遺構中央から西寄りで多く出土し、意図的に残置したのと考えられる。さらに埋め戻しの際に比較的大きな礫が投入されているものが多い。また、楕円形の土坑からは土師器坏が比較的多く出土するが、略円形の土坑からは土師器坏に出土割合が偏らず、他の器種も多く出土する。性格の詳細は不明であるが、それぞれは共通の性格を持った土坑群と考えられる。なお、L T～M B 48グリッドにあるS K 44・78の下位層から出土した複数の個体の土師器甕破片が10m以上離れたL T 45グリッド内出土片と接合している。意図的に広域に廃棄した可能性も考えられる。調査区中央付近のS K 76・77からは鍛冶滓や鍛造剥片・粒状滓などが大量に出土した。周辺からは鍛冶炉

遺構は検出されなかったが、当時の生活面からは椀形鍛冶滓などの遺物も相当数出土したことから、鍛冶関連の遺構であると想定される。

S K01(第21図、巻頭図版1、図版2・10・11)

MD49グリッドにあり、第V a層上面で確認した。S D02と重複し、同遺構を切る。平面形規模は長径0.41m、短径0.24mの楕円形で、確認面からの深さは0.09mである。主軸方向はN-52°-Wである。底面はほぼ平坦で、周壁は緩やかに立ち上がる。堆積土は1層で旧表土由来の黒褐色土を主体とする。人為的な埋め戻し土と考えられる。

遺物は銭貨が1,201枚(3.86286kg)出土した。銭貨は植物性の繊維を紐状にしたもので束ねられ、80数枚を1単位(緡銭A~I)として2段に折り曲げられた状態で覆土上面で検出している。銭貨は中国の唐・北宋・南宋・金・元・漢・明銭の渡来銭と模鑄銭が混在し、銭種は46種類ある。個々の法量などの詳細なデータは第22~35表S K01出土銭貨観察表(1)~(14)、第36表S K01出土銭貨種別集計表に記載した。

本遺構の時期は出土銭貨の最新銭が永楽通寶(初鑄年1408年)であることから、中世(15世紀以降)に帰属すると考える。本遺構は埋没したS D02上を意図的に掘り込んで大量の銭貨を埋納したものと想定される。S D02の埋没と廃棄が新たな土地区画の造成と関連すると捉えるならば、本遺構は集落の再開発に伴う地鎮のための祭祀儀礼に関わる可能性が考えられる。

S K06(第22図、図版2)

L T45・46グリッドにあり、確認調査南北トレンチ内の第V b層中位面で確認した。重複する遺構はない。平面形規模は長径0.78m、短径0.74mの略円形で、確認面からの深さは0.22mである。主軸方向はN-1°-Eである。底面はほぼ平坦で、周壁はほぼ垂直に立ち上がる。堆積土は1層が旧表土由来のオリブ黒色土、2層は地山土由来のにぶい黄褐色土を主体とする。一括の人為的な埋め戻し土と考えられる。出土遺物はない。

本遺構の時期は南側約3.7mにあるS K07と堆積土が類似しており、時期差のないものと推定し、平安時代後半に帰属すると考える。性格は不明である。

S K07(第22図)

L T44・45グリッドにあり、確認調査南北トレンチ東側断面の第V b層上面とトレンチ内の第V b層中位面で確認した。重複する遺構はない。平面形規模は長径1.24m、短径1.10mの略円形で、確認面からの深さは0.26mである。主軸方向はN-44°-Wである。底面はほぼ平坦で、周壁は急角度に立ち上がる。堆積土は1層が旧表土由来のオリブ黒色土、2層は地山土由来のにぶい黄褐色土を主体とする。一括の人為的な埋め戻し土と考えられる。

遺物は土師器坏破片(63.4g)・甕破片(103.4g)が出土した。埋め戻しの際に混入した可能性が高いと考えられる。

本遺構の時期は検出層位と出土遺物から平安時代後半に帰属すると考える。北側約3.7mにあるS K06と堆積土が類似しており、時期差のないものと推定する。性格は不明である。

S K 10(第22図、図版2)

L T 50・51グリッドにあり、基本土層用南北ベルト西側断面の第V b層上面で確認した。S B 98と重複するが、直接の切り合いがないため、新旧関係は不明である。平面形規模は、長径1.24m、短径1.16mの略円形で、確認面から底面までの深さ0.80m、底面標高26.88mを測り、主軸方向はN-45°-Wである。底面は中央部が僅かに窪み、周壁は南～東側が中位まで急角度に、他はやや急に立ち上がる。堆積土は1～3層が旧表土由来の暗褐色～黒褐色土を主体とし、2・3層はグライ化する。1層は土坑の埋め立て後の窪みにV a層土の流入による自然堆積土、2・3層は土質が類似しており、一括の人為的な埋め戻し土と考えられる。出土遺物はない。

本遺構の時期は検出層位から平安時代後半に帰属すると考える。周辺の土坑に比べ、底面標高が低く、現状でも水が溜まることから素掘りの井戸跡であった可能性が考えられる。

S K 13(第23図、図版2)

M B 48・49グリッドにあり、第V a層上面で確認した。S K 78、S D 02、S K P 766・1375・1376・1378～1380と重複し、S D 02、S K 78を切り、S K P 766・1375・1376・1378～1380に切られる。平面形規模は長径2.92m、短径2.52mの不整円形で、確認面からの深さは0.24mである。主軸方向はN-1°-Wである。底面は一部が窪み、周壁は緩やかに立ち上がる。堆積土は1層が旧表土由来の黒褐色土、2層が地山土由来のにぶい黄褐色土を主体とする。1・2層とも一括の人為的な埋め戻し土と考えられる。

遺物は弥生土器鉢破片(9.1g)、土師器坏破片(73.8g)・甕破片(470.4g)、内黒土師器坏破片(7.9g)、須恵器系陶器壺甕破片(163.0g)・播鉢破片(12.7g)、青磁碗破片(8.9g)、鍛冶滓(7.2g)が出土した。このうち、1層から土師器甕破片(第69図1230)と青磁碗破片(第69図1231)が出土した。1230は口縁部～体部破片でS K 78出土破片と接合した。両遺構は切り合い関係にあることから、S K 78にあった遺物が本遺構の構築時に掘り返され、埋め戻しの際に混入したと考えられる。また、約11m以上離れたL T 45グリッド出土破片とも接合している。1231は青磁碗口縁部～体部破片で、口縁端部が輪花様に作られ、内面の口縁端部に沿って櫛もしくは篋で沈線を1～2条、口縁部に篋の片彫りでやや太い斜状の二線が交叉する文様を施す。15世紀の中国産である。いずれの出土遺物も埋め戻しの際に混入した可能性が高いと考えられる

本遺構の時期は出土遺物から中世(15世紀以降)に帰属すると考える。性格は不明である。

S K 16(第23図、図版2)

M A 50グリッドにあり、第V b層上面で確認した。S B 96・97と重複し、S B 97 P 8に切られる。S B 96とは直接の切り合いはないため、新旧関係は不明である。平面形規模は長径1.28m、短径1.00mの楕円形で、確認面からの深さは0.18mである。主軸方向はN-8°-Wである。底面はほぼ平坦であり、周壁はやや緩やかに立ち上がる。堆積土は1層が地山土由来のにぶい黄褐色土、2層が旧表土由来の褐灰色土を主体とする。一括の人為的な埋め戻し土と考えられる。

遺物は土師器坏破片(282.9g)、内黒土師器坏破片(151.3g)が出土した。このうち、完形の土師器坏(第69図1232)及び高台付き内黒土師器坏(第69図1233)各1点が北西端側底面直上から正位に重な

った状態で出土した(図版2-8)。意図的に埋納したものと考えられる。他の出土遺物は小破片で、埋め戻しの際に混入したものと考えられる。

本遺構の時期は出土遺物から平安時代後半に帰属すると考える。本遺構の北北西約4mにあるSK41など調査区中央には比較的規模や遺物の出土状況が類似する複数の土坑が検出された。共通の性格を持った土坑の可能性が考えられる。

SK17(第23図、図版3)

MC53グリッドにあり、第Vb層上面で確認した。重複する遺構はない。平面形規模は長径0.72m、短径0.60mの略円形で、確認面からの深さは0.48mである。主軸方向はN-88°-Wである。底面はほぼ平坦で、周壁はほぼ垂直に立ち上がる。堆積土は1層が地山土由来の灰黄褐色土、2・3層が旧表土由来のグライ化したオリブ黒色土を主体とし、いずれの層にも炭化物粒を多量に含む。一括の人為的な埋め戻し土と考える。出土遺物はない。

本遺構の時期は検出層位から平安時代後半に帰属すると考える。性格は不明である。

SK21(第24図、図版3)

MA52グリッドにあり、第Vb層上面で確認した。SB19・100、SKP393と重複し、SB100P4、SKP393に切られる。SB19とは直接の切り合いはないため、新旧関係は不明である。平面形規模は長径1.76m、短径1.00mの楕円形で、確認面からの深さは0.22mである。主軸方向はN-17°-Eである。底面は北側に向かって緩やかに傾斜する。周壁は緩やかに立ち上がる。堆積土は1層が旧表土由来のオリブ黒色土、2層が地山土由来の暗灰黄色土を主体とし、グライ化する。一括の埋め戻し土と考える。1層には直径約15cmの礫が混入する。

遺物は土師器坏破片(234.8g)・甕破片(200.2g)、内黒土師器坏破片(241.5g)、両黒土師器破片(120.9g)、須恵器坏破片(13.4g)、鍛冶滓(842.0g)が出土した。このうち、遺構中央部の1層から両黒土師器坏(第69図1234)、2層から高台付き内黒土師器坏(第69図1235)が逆位で出土した(図版3-2)。また、同じく2層から椀形鍛冶滓(第69図1236)が出土した。意図的に残置したものと考えられる。他の出土遺物は小破片で、埋め戻しの際に混入した可能性がある。ただし、一部の土器片は意図的に残置された完形の土器が新しい柱穴様ピットによって壊された可能性も推測できる。

本遺構の時期は出土遺物から平安時代後半に帰属すると考える。性格は不明であるが、本遺構の南南西約1.4mにあるSK41など調査区中央には比較的規模や遺物の出土状況が類似する複数の土坑が検出された。共通の性格を持った土坑の可能性が考えられる。

SK25(第24図)

ME49・50グリッドにあり、第Vb層上面で確認した。SKP1665と重複し、同遺構に切られる。平面形規模は長径0.96m、短径0.80mの略円形で、確認面からの深さは0.30mである。主軸方向はN-8°-Wである。底面はほぼ平坦で、周壁はやや急に立ち上がる。堆積土は1・2層とも旧表土由来のオリブ黒色土を主体とする。1層は人為的な埋め戻し土、2層は土坑開口時に流入した自然堆積土と考える。出土遺物はない。

本遺構の時期は検出層位から平安時代後半に帰属すると考える。性格は不明である。

S K 27(第24図)

M B 52グリッドにあり、第V b層上面で確認した。S B 19と重複するが、直接の切り合いはないため、新旧関係は不明である。平面形規模は長径0.68m、短径0.51mの楕円形で、確認面からの深さは0.52mである。主軸方向はN-75°-Eである。底面はほぼ平坦で、壁はほぼ垂直に立ち上がる。堆積土は1・2層が地山土由来の灰黄褐～にぶい黄褐色土である。1層上面には直径18～28cmの円礫がまとまって混入する。3～5層は旧表土由来のオリーブ黒～暗褐色土を主体とする。いずれも一括の人為的な埋め戻し土と考える。

遺物は土師器坏破片(164.7g)・甕破片(79.8g)、内黒土師器坏破片(13.1g)が出土した。このうち、1層から土師器坏(第69図1237)が出土した。摩滅が著しく、完形ではないが、意図的に残置した可能性も想定される。他の土器は小破片で、埋め戻しの際に混入したと考えられる。

本遺構の時期は検出層位と出土遺物から平安時代後半に帰属すると考える。上面に礫群を埋めることから、土坑墓であった可能性も想定されるが、現状では断定できない。

S K 29(第20図)

M A 43グリッドにあり、基本土層用トレンチ北側断面の第VI層上面で確認した。S K 58・S K P 912と重複し、同遺構に切られる。南側が基本土層用トレンチによる削平のため全体形状は不明であるが、平面形規模は長径残存値0.72m、短径残存値0.66mの略円形が推定される。確認面からの深さは0.92mである。主軸方向はN-41°-Wである。底面は平坦であり、周壁は急角度で立ち上がる。堆積土は1～3層が基盤土由来の灰黄褐～黒褐色土を主体とする。一括の人為的な埋め戻し土と考える。

遺物は土師器坏破片(136.2g)・甕破片(116.4g)、須恵器系陶器壺甕破片(171.3g)、釘(7.0g)が出土した。このうち、1層から釘(第70図1240)、3層から土師器坏破片(第69図1238)、須恵器系陶器壺甕破片(第70図1239)が出土した。1239は体部片で緻密なタタキ目が扁球面状の当て具で叩き締められている。埋め戻しの際に混入したと考えられる。

本遺構の時期は検出層位と出土遺物から中世に帰属すると考える。性格は不明である。

S K 31(第20図)

M B 43グリッドにあり、基本土層用トレンチ北側断面の第VI層上面で確認した。重複する遺構はない。南側が基本土層用トレンチによる削平のため全体形状は不明であるが、平面形規模は長径残存値0.96m、短径0.52mの楕円形が推定される。確認面からの深さは0.44mである。主軸方向はN-41°-Eである。底面はほぼ平坦であり、周壁はほぼ垂直に立ち上がる。堆積土は中位の層状炭化物を包含する薄層を境に1～3層に分けた。いずれも基盤土由来の黒褐～灰黄褐色土を主体とする埋め戻し土と判断する。

遺物は須恵器系陶器播鉢破片(47.5g)が3層から出土した。播鉢体部片(第70図1241)は深い卸し目が施され、珠洲系陶器編年のⅢ～Ⅳ期(1250～1300代)相当と推測する。埋め戻しの際に混入した可

能性が考えられる。

本遺構の時期は出土遺物から中世に帰属すると考える。性格は不明である。

S K 32(第20図、図版3)

MA43グリッドにあり、基本土層用トレンチ北側断面の第VI層上面で確認した。S B 84、S K 58と重複し、S K 58を切り、S B 84P 7に切られる。調査時には基本土層用トレンチにより南側が削平されていたため全体形状は不明であるが、平面形規模は長径残存値1.44m、短径1.64mの楕円形が推定される。主軸方向はN-31°-Wである。確認面からの深さは0.42mである。底面はほぼ平坦で、周壁は急角度に立ち上がり、開口部付近で緩やかに外傾する。堆積土は1～4層が基盤土由来の灰黄褐～褐色土を主体とする。層界は不明瞭で土質は類似しており、一括の人為的な埋め戻し土と考える。

遺物は土師器坏破片(5.6g)・甕破片(10.7g)、須恵器系陶器壺甕破片(27.2g)・播鉢破片(46.8g)が出土した。このうち、3層から須恵器系陶器壺甕体部破片(第70図1242)・播鉢胴部～底部破片(第70図1243)が出土した。1243は卸し目はないが、よく使い込まれ、滑らかな内面を持つ播鉢である。埋め戻しの際に混入した可能性が高いと考えられる。

本遺構の時期は出土遺物から中世に帰属すると考える。性格は不明である。

S K 34(第24図、図版3)

MA53グリッドにあり、第V b層上面で確認した。S B 19、S K P 332と重複し、S K P 332に切られる。S B 19とは直接の切り合いはなく、新旧関係は不明である。平面形規模は長径0.66m、短径0.54mの楕円形で、確認面からの深さは0.12mである。主軸方向はN-75°-Eである。底面は鍋底状で、周壁は緩やかに立ち上がる。堆積土は地山土由来の灰黄褐色土を主体とする。人為的な埋め戻し土と考える。

遺物は土師器坏破片(279.9g)が出土した。このうち、遺構西寄りの1層上面から土師器坏2点(第70図1244・1245)の一部が重なり合って正位で出土した。意図的に残置したものと考えられる。他の土器は小破片で、埋め戻しの際に混入した可能性が高いと考えられる。

本遺構の時期は出土遺物から平安時代後半に帰属すると考える。性格は不明であるが、本遺構の南東約2.0mにあるS K 21など調査区中央には比較的規模や遺物の出土状況が類似する複数の土坑が検出された。共通の性格を持った土坑の可能性が考えられる。

S K 35(第24図、図版3)

MB50グリッドにあり、第V b層上面で確認した。S B 92P 2、S D 09、S K P 171・172・477・684と重複し、同遺構に切られる。平面形規模は長径1.66m、短径1.44mの楕円形で、確認面からの深さは0.24mである。主軸方向はN-45°-Wである。底面はほぼ平坦で、周壁はやや急に立ち上がる。堆積土は旧表土由来のオリーブ黒～黒褐色土を主体とする。層界は不明瞭で土質は類似しており、一括の人為的な埋め戻し土と考える。

遺物は土師器坏破片(866.2g)・甕破片(276.0g)・鍋破片(170.0g)、内黒土師器坏破片(22.3g)、土製支脚破片(101.0g)が出土した。このうち、遺構中央付近の底面直上から土師器坏(第70図1246・

1247)が出土した。1247は薄い口縁部を失っているが逆位で出土し、底面中央付近にある直径約20cmの円礫とともに残置されたものと考えられる。他の土器小片は埋め戻しの際に混入した可能性が考えられる。

本遺構の時期は出土遺物から平安時代後半に帰属すると考える。性格は不明であるが、調査区中央には比較的規模や遺物の出土状況が類似する複数の土坑が検出される。その中でも本遺構の南東約7.3mにあるS K 44、南南東約6.0mにあるS K 78は主軸方向もほぼ同一で、共通の性格を持った土坑の可能性が考えられる。

S K 38(第20図)

MA43グリッドにあり、第VI層上面で確認した。重複する遺構はない。平面形規模は長径0.30m、短径0.28mの略円形で、確認面からの深さは0.08mである。主軸方向はN-45°-Wである。底面は鍋底状であり、周壁は緩やかに立ち上がる。堆積土は基盤土由来の褐色土を主体にする。周辺表土の流入による自然堆積土と考える。出土遺物はない。

本遺構の時期は近接するS E 28とほぼ同一標高で検出していることから中世以降に帰属する可能性が高いと考える。性格は不明である。

S K 39(第25図)

MB43グリッドにあり、第VI層上面で確認した。重複する遺構はない。平面形規模は長径0.44m、短径0.36mの楕円形で、確認面からの深さは0.12mである。主軸方向はN-78°-Wである。底面は鍋底状であり、周壁は緩やかに立ち上がる。堆積土は1・2層とも基盤土由来の黒～明褐色土を主体とする。本遺構周辺での焼成行為に伴う炭化物等を含んだ一括の人為的な埋め戻し土と考える。出土遺物はない。

本遺構の時期と性格は不明である。

S K 41(第25図)

MA51・52グリッドにあり、第V b層上面で確認した。S K P 623～626・1626と重複し、同遺構に切られる。平面形規模は長径1.35m、短径0.87mの楕円形で、確認面からの深さは0.34mである。主軸方向はN-67°-Wである。底面は鍋底状であり、周壁はやや急に立ち上がる。堆積土は旧表土由来の暗褐色土を主体とする。人為的な埋め戻し土と考える。

遺物は土師器坏破片(693.3g)・甕破片(372.3g)、内黒土師器坏破片(66.6g)、両黒土師器破片(54.5g)が出土した。このうち、遺構西寄りの1層上面から土師器坏4点(第70図1248～1251)が完形ではないが比較的残りがよい状態で出土した。意図的に残置したものと考えられる。1249は器高が低く皿状で口径が大きい。他の土器は小破片で、埋め戻しの際に混入した可能性が考えられる。

本遺構の時期は出土遺物から平安時代後半に帰属すると考える。性格は不明であるが、本遺構の北北東約1.4mにあるS K 21など調査区中央には比較的規模や遺物の出土状況が類似する複数の土坑が検出された。共通の性格を持った土坑の可能性が考えられる。

S K 42(第25図、図版3)

L S 50グリッドにあり、第V b層上面で確認した。S K P 1623と重複し、同遺構を切る。平面形規模は長径0.48m、短径0.42mの長方形で、確認面からの深さは0.27mである。主軸方向はN-89°-Wである。底面はほぼ平坦で、周壁はほぼ垂直に立ち上がる。堆積土は1・2層とも旧表土由来のオリーブ黒～褐灰色土を主体とし、2層はグライ化する。ともに本遺構周辺での焼成行為に伴う被熱した土や炭化物等を含んだ一括の人為的な埋め戻し土と考える。

遺物は刀子(長さ30.1cm、重さ95.0g)、鍛冶滓(51.3g)が出土した。刀子(第70図1252)は、埋め戻しの際に意図的に残置されたものと考えられる。

本遺構の時期は検出層位から平安時代に帰属する可能性が高いと考える。性格は不明であるが、出土遺物や堆積土から想定して、本遺構の北0.7mにあるS N 52、鍛冶滓や鍛造剥片が多量に出土した南西1.9mにあるS K 77、南南西2.7mにあるS K 76と関連する鍛冶作業に伴う遺構の可能性を想定できる。

S K 43(第25図、図版3)

L R 50グリッドにあり、第V b層上面で確認した。重複する遺構はない。平面形規模は長径0.88m、短径0.63mの楕円形で、確認面からの深さは0.44mである。主軸方向はN-20°-Wである。底面は凹凸が顕著で、周壁は垂直に立ち上がる。堆積土は1・2層とも地山土由来の褐灰色土を主体とし、直径20cm前後の円礫が複数混入する。ともに本遺構周辺での焼成行為に伴う炭化物等を含んだ一括の人為的な埋め戻し土と考える。出土遺物はない。

本遺構の時期は検出層位から平安時代に帰属する可能性が高いと考える。性格は不明であるが、本遺構の北西1.0mにあるS N 52、鍛冶滓や鍛造剥片が多量に出土した西南西4.0mにあるS K 77、南西4.2mにあるS K 76と関連する鍛冶作業に伴う遺構を想定できる。

S K 44(第26図、図版3)

L T 48、MA 48・49グリッドにあり、第V b層上位で確認した。S B 93・94、S K P 769・770・772と重複し、S B 94 P 7、S K P 769・770・772に切られる。S B 93とは直接の切り合いはないため、新旧関係は不明である。平面形規模は長径2.00m、短径1.72mの略円形で、確認面からの深さは0.42mである。主軸方向はN-47°-Wである。底面はほぼ平坦であり、周壁はやや急に立ち上がる。堆積土は1層が地山土由来の灰黄褐色土、2～4層は旧表土由来の黒～黒褐色土を主体とし、2・3層には炭化物を多量に、3・4層には直径25cm前後の円礫が複数混入する。本遺構周辺での焼成行為に伴う炭化物等を含んだ一括の人為的な埋め戻し土と考える。

遺物は土師器坏破片(1,672.3g)・甕破片(2,810.3g)・鍋破片(87.9g)、内黒土師器坏破片(100.8g)、須恵器壺破片(95.9g)、土製支脚破片(787.7g)、石器(二次加工のある剥片)1点(9.9g)、礫1点(87.7g)が出土した。このうち、1層から土師器坏(第71図1253)、3層から土師器坏(第71図1254～1260)・鍋(第71図1261)・甕(第71図1262～1269)、土製支脚(第72図1270)が出土した。1254は一部が礫の下になり壊れていたが正位の状態で出土し、ほぼ完形に復元された。内面の一部に煤状炭化物が付着し、灯明皿に転用されたものと推測できる。1270の土製支脚は土坑内の広い範囲から破片が出土し、

ほぼ完形に復元された。3層出土遺物は、一部は個別に残置されたものもあると考えられるが、多くは一括に投入され、その後に礫が投入されたものと推測される。4層の礫は3層から沈み込んだものとする。3層以外からの小破片の出土土器や石器等は埋め戻しの際に混入した可能性が考えられる。

本遺構の時期は出土遺物から平安時代後半に帰属すると考える。性格は不明であるが、調査区中央には比較的規模や遺物の出土状況が類似する複数の土坑が検出される。本遺構の北西約7.3mにあるS K 35、西約4.4mにあるS K 78は主軸方向もほぼ同一で、共通の性格を持った土坑の可能性が考えられる。

S K 45(第26図)

M B 44グリッドにあり、第VI層で確認した。S B 80・81と重複し、S B 81 P 1に切られる。S B 80とは直接の切り合いはないため、新旧関係は不明である。平面形規模は長径0.80m、短径0.70mの略円形で、確認面からの深さは0.24mである。主軸方向はN-27°-Wである。底面は鍋底状で、周壁は急角度に立ち上がる。堆積土は1・2層とも基盤土由来の褐色土を主体とし、炭化物を多量に含む。本遺構周辺での焼成行為に伴う炭化物等を含んだ一括の人為的な埋め戻し土と考える。

遺物は鍛冶滓(33.4g)が出土した。

本遺構の時期と性格は不明である。本遺構の北西約2mのS K 57と規模、堆積土が類似し、関連する遺構の可能性はある。

S K 47(第26図、図版4)

M C 46グリッドにあり、第VII層上面で確認した。重複する遺構はない。平面形規模は長径1.20m、短径1.03mの略円形で、確認面からの深さは0.64mである。主軸方向はN-57°-Eである。底面は鍋底状で、周壁はほぼ垂直に立ち上がる。堆積土は1～3層が基盤土由来のにぶい黄褐～灰オリーブ色土を主体とし、3層はグライ化する。層界は不明瞭で土質は類似しており、一括の人為的な埋め戻し土と考える。

遺物は土師器坏(9.2g)が出土した。埋め戻しの際に混入した可能性が高いと考えられる。

本遺構は第VI層が削平され、出土遺物が小片のため帰属時期と性格は不明である。南南西約2.1mにあるS K 51と規模が類似することから関連する遺構の可能性が考えられる。

S K 50(第27図)

M C 45グリッドにあり、第VII層上面で確認した。S K P 862・863・999・1000・1659・1666～1669と重複し、同遺構に切られる。平面形規模は長径1.68m、短径0.90mの長方形で、確認面からの深さは0.20mである。主軸方向はN-60°-Eである。底面は北東側に緩やかに傾斜する。周壁はほぼ垂直に立ち上がる。堆積土は1～3層が基盤土由来の褐色土を主体とし、炭化物を多量に含む。層界は不明瞭で土質は類似しており、本遺構周辺での焼成行為に伴う炭化物等を含んだ一括の人為的な埋め戻し土と考える。出土遺物はない。

本遺構は第VI層が削平され、遺物が出土しなかったことから、帰属時期と性格は不明である。

S K 51(第27図)

MC 45・46グリッドにあり、第Ⅶ層上面で確認した。S K P 861と重複し、同遺構に切られる。平面形規模は長径0.96m、短径0.86mの隅丸方形で、確認面からの深さは0.44mである。主軸方向はN-30°-Wである。底面はほぼ平坦で、周壁は垂直に立ち上がる。堆積土は1・2層とも基盤土由来の褐色土を主体とする。層界は不明瞭で土質は類似しており、一括の人為的な埋め戻し土と考える。出土遺物はない。

本遺構は第Ⅵ層が削平され、遺物が出土しなかったことから、帰属時期と性格は不明である。北北東約2.1mにあるS K 47と規模が類似することから関連する遺構の可能性が考えられる。

S K 53(第27図)

MC 45グリッドにあり、第Ⅶ層上面で確認した。S K 54と重複し、同遺構に切られる。S K 54と重複により全体形状は不明であるが、平面形規模は長径0.56m、短径推定値0.48mの不整形で、確認面からの深さは0.30mである。主軸方向はN-51°-Eである。底面は鍋底状で、周壁はほぼ垂直に立ち上がる。堆積土は1～3層が基盤土由来の褐色土を主体とし、炭化物粒・塊を多量に含む。層界は不明瞭で土質は類似しており、一括の人為的な埋め戻し土と考える。出土遺物はない。

本遺構は第Ⅵ層が削平され、遺物が出土しなかったことから、帰属時期と性格は不明である。

S K 54(第27図)

MC 45グリッドにあり、第Ⅶ層上面で確認した。S K 53、S K P 869と重複し、S K 53を切り、S K P 869に切られる。平面形規模は長径推定値0.64m、短径0.52mの略円形で、確認面からの深さは0.24mである。主軸方向はN-85°-Eである。底面は中央部が窪み、周壁は垂直に立ち上がる。堆積土は1・2層が基盤土由来の褐色土を主体とし、炭化物粒を多量に含む。層界は不明瞭で土質は類似しており、一括の人為的な埋め戻し土と考える。出土遺物はない。

本遺構は第Ⅵ層が削平され、遺物が出土しなかったことから、帰属時期と性格は不明である。

S K 57(第27図)

MB 45グリッドにあり、第Ⅵ層で確認した。S K P 985と重複し、同遺構に切られる。平面形規模は長径0.56m、短径0.52mの略円形で、確認面からの深さは0.13mである。主軸方向はN-65°-Eである。底面は平坦で、周壁は急角度に立ち上がる。堆積土は1・2層とも基盤土由来の褐色土を主体とし、炭化物を多量に含む。本遺構周辺での焼成行為に伴う炭化物等を含んだ一括の人為的な埋め戻し土と考える。出土遺物はない。

本遺構の時期と性格は不明である。本遺構の南東約2mのS K 45と規模、堆積土が類似し、関連する遺構の可能性がある。

S K 58(第20図)

MA 43グリッドにあり、基本土層用トレンチ北側断面の第Ⅵ層上面で確認した。S K 29・32・59と重複する。S K 29・59を切り、S K 32に切られる。南側が基本土層用トレンチによる削平とS K

32に大きく切られるため全体形状は不明であるが、平面形規模は長径推定値1.68m、短径推定値1.40mの楕円形が推定される。確認面からの深さは0.44mである。主軸方向は推定でN-27°-Wである。底面はほぼ平坦で、周壁は垂直に立ち上がる。堆積土は1・2層とも基盤土由来の暗褐色土を主体とし、炭化物粒・塊を多量に含む。一括の人為的な埋め戻し土と考える。

遺物は土師器坏破片(5.0g)、須恵器系陶器播鉢破片(33.8g)、鍛冶滓(51.9g)が出土した。播鉢破片は珠洲系陶器編年のV期(1400年代)相当と考える。埋め戻しの際に混入した可能性が高いと考えられる。

本遺構の時期は出土遺物から中世(15世紀)に帰属すると考える。性格は不明である。

S K 59(第20図)

MA43グリッドにあり、第VI層上面で確認した。SB82、SK58、SKP874・1321・1661・1670と重複し、SB82・SKP911を切り、SK58、SKP874・1321・1661・1670に切られる。平面形規模は長径1.04m、短径推定値1.02mの略円形で、確認面からの深さは1.00mである。主軸方向はN-25°-Wである。底面はほぼ平坦で、周壁は中位までほぼ垂直に、中位で北側は一旦緩やかになるが、他は開口部まで急角度で立ち上がる。堆積土は1・2層が基盤土由来の灰黄褐色土、3・4層は旧表土由来のオリーブ黒色土を主体とし、炭化物粒・塊を多量に含む。人為的な埋め戻し土と考える。

遺物は瀬戸系碗破片(41.1g)、鍛冶滓(52.0g)が出土した。このうち、瀬戸系碗口縁部～体部片(第73図1271)は灰釉のツケガケで外面体部下位が露胎で、15世紀に帰属すると考えられる。埋め戻しの際に混入した可能性が高いと考えられる。

本遺構の時期は出土遺物から中世(15世紀)に帰属すると考える。性格は不明である。

S K 60(第28図、図版4)

LS48グリッドにあり、第Vb層上面で確認した。SB102と重複するが、直接の切り合いはないため、新旧関係は不明である。平面形規模は長径1.92m、短径1.14mの楕円形で、確認面からの深さは0.32mである。主軸方向はN-15°-Eである。底面は凹凸が顕著で、周壁は急角度に立ち上がる。堆積土は1～3層が旧表土由来の黒～暗褐色土、4・5層が地山土由来の灰黄褐～褐灰色土を主体とする。一括の人為的な埋め戻し土と考える。出土遺物はない。

本遺構の時期は検出層位から平安時代後半に帰属する可能性が高いと考える。性格は不明である。

S K 64(第28図)

LR46グリッドにあり、第Vb層上面で確認した。重複する遺構はない。平面形規模は長径0.96m、短径0.64mの楕円形で、確認面からの深さは0.23mである。主軸方向はN-65°-Wである。底面はほぼ平坦で、周壁は西側がほぼ垂直に、他は急角度に立ち上がる。堆積土は1・2層とも地山土由来の灰黄褐～オリーブ灰色土を主体とする。一括の人為的な埋め戻し土と考える。

遺物は土師器坏破片(1.6g)が出土した。埋め戻しの際に混入した可能性が高いと考えられる。

本遺構の時期は検出層位から平安時代後半に帰属する可能性が高いと考える。性格は不明である。本遺構の南南西約2.6mのSK65と規模、堆積土が類似し、関連する遺構の可能性はある。

S K 65(第28図)

L R 45グリッドにあり、第V a層上位で確認した。重複する遺構はない。平面形規模は長径0.98m、短径0.68mの楕円形で、確認面からの深さは0.22mである。主軸方向はN-69°-Wである。底面はほぼ平坦で、周壁は東側が急角度に、他はほぼ垂直に立ち上がる。堆積土は1・2層とも地山土由来の灰黄褐～オリーブ灰色土を主体とする。層界は不明瞭で土質は類似しており、一括の人為的な埋め戻し土と考える。出土遺物はない。

本遺構の時期は検出層位から平安時代後半に帰属する可能性が高いと考える。性格は不明である。本遺構の北北東約2.6mのS K 64と規模、堆積土が類似し、関連する遺構の可能性がある。

S K 72(第29図)

MA 45グリッドにあり、第VII層上面で確認した。S K P 947～950・1053・1054・1671・1672と重複し、同遺構に切られる。平面形規模は長径1.16m、短径0.68mの楕円形で、確認面からの深さは0.22mである。主軸方向はN-81°-Eである。底面は僅かに凹凸があり、周壁はほぼ垂直に立ち上がる。堆積土は1・2層とも地山土由来の灰黄褐～褐色土を主体とする。一括の人為的な埋め戻し土と考える。

遺物は須恵器壺破片(12.4g)が出土した。埋め戻しの際に混入した可能性が高いと考えられる。

本遺構の時期は出土遺物から平安時代後半に帰属すると考える。性格は不明である。

S K 73(第29図、図版4)

MA 44・45グリッドにあり、第VI層で確認した。S B 80～84、S K P 1124～1127と重複し、S B 80 P 6・82 P 1、S K P 1124～1127に切られる。S B 81・83・84とは直接の切り合いはないため、新旧関係は不明である。平面形規模は長径2.96m、短径2.14mの不整形円で、確認面からの深さは0.30mである。主軸方向はN-68°-Wである。底面は僅かに凹凸があり、周壁は南西側がやや急で、他は緩やかに立ち上がる。堆積土は1～4層が基盤土由来のにぶい黄褐～暗褐色土を主体とする。一括の人為的な埋め戻し土と考える。

遺物は土師器坏破片(69.1g)・甕破片(253.7g)、須恵器壺破片(41.8g)、剥片石器(スクレイパー)1点(7.0g)が出土した。埋め戻しの際に混入した可能性が高いと考えられる。

本遺構の時期は出土遺物から平安時代後半に帰属すると考える。性格は不明である。

S K 75(第29図)

L T 45グリッドにあり、確認調査用南北トレンチ西側断面の第V a層上面で確認した。重複する遺構はない。平面形規模は確認調査南北トレンチに東側が削平されたため全体形状は不明であるが、長径0.58m、短径推定値0.52mの略円形が推定され、確認面からの深さは0.22mである。主軸方向はN-10°-Eである。底面は若干の凹凸が認められるがほぼ平坦で、周壁は緩やかに立ち上がる。堆積土は1層が旧表土由来の黒褐色土、2層が地山土由来のにぶい黄褐色土を主体とする。一括の人為的な埋め戻し土と考える。

遺物は土師器坏破片(3.6g)が出土した。埋め戻しの際に混入した可能性が高いと考えられる。

本遺構の時期は検出層位から中世に帰属すると考える。性格は不明である。

S K 76(第30図)

L S 49グリッドに位置し、第V b層下位面で確認した。S B 98・S K P 850・1673・1674と重複し、S K P 850・1673・1674に切られる。S B 98とは直接の切り合いはないため、新旧関係は不明である。平面形規模は長径推定値0.84m、短径0.60mの楕円形で、確認面からの深さは0.14mである。主軸方向はN-74°-Eである。底面はほぼ平坦で、周壁はほぼ垂直に立ち上がる。堆積土は1・2層が旧表土由来のオリーブ黒～オリーブ灰色土を主体とし、炭化物粒を多量に含む。層界は不明瞭で土質は類似しており、一括の人為的な埋め戻し土と考える。

遺物は土師器坏破片(2.2g)、鍛冶滓(2,322.6g)、鍛造剥片・粒状滓(346.0g)が出土した。このうち、図中に示した2層上面から鍛冶滓(1,428.0g)、鍛造剥片・粒状滓(346.0g)がまとめて出土した。

遺構の時期は2層から出土した炭化材の放射性炭素年代測定(暦年較正年代)結果が西暦987～1149年の年代値を示し、平安時代中期～後期に帰属するものとする。遺構の周壁や底面には被熱し硬化した痕跡が観察できないが、鍛冶滓や鍛造剥片・粒状滓が多量に出土したことから、周辺での鍛冶作業に伴う遺構を想定できる。本遺構の北北西約1.0mのS K 77と規模、堆積土が類似し、関連する遺構の可能性はある。

S K 77(第30図)

L S 50グリッドに位置し、第V b層下位面で確認した。S B 98・103、S K P 849と重複し、S B 103 P 3、S K P 849に切られる。S B 98とは直接の切り合いはないため、新旧関係は不明である。平面形規模はS K P 849に切られるため全体形状は不明であるが、長径0.74m、短径推定値0.60mの楕円形で、確認面からの深さは0.14mである。主軸方向はN-30°-Eである。底面はほぼ平坦で、周壁は急角度に立ち上がる。堆積土は1・2層とも旧表土由来の黒～オリーブ黒色土を主体とし、1層は炭化物粒・塊、焼土塊を多量に、2層は炭化物粒・塊を多量に含む。

遺物は椀形鍛冶滓(1,113.0g)、鍛冶滓(3,807.1g)、鍛造剥片・粒状滓(276.0g)が出土した。このうち、2層から椀形鍛冶滓(第73図1272)、図中に示した2層上面の土を含んだ塊から鍛冶滓(2,824.0g)、鍛造剥片・粒状滓(276.0g)が出土した。

本遺構の南南東約1.0mにあるS K 76と規模、堆積土が類似し、関連する遺構の可能性があり、時期差がない遺構と推測し、平安時代中期～後期に帰属するものとする。遺構の周壁や底面には被熱し硬化した痕跡が明瞭ではないが、鍛冶炉の可能性も想定される。

S K 78(第23図)

M B 48グリッドにあり、S K 13の完掘中にその周壁と底面の一部で確認した。その後、周辺を精査し、第V b層上面で平面形を確認した。S K 13、S D 02、S K P 1377と重複し、同遺構に切られる。平面形規模はS K 13、S D 02に切られるため全体形状は不明であるが、長径推定値1.40m、短径推定値1.36mの略円形で、確認面からの深さは0.24mである。主軸方向はN-37°-Wである。底面はほぼ平坦で、周壁は急角度で立ち上がる。堆積土は1・2層が地山土由来のにぶい黄褐色土、3～5

層が旧表土由来の黒褐色土を主体とし、炭化物粒・塊、焼土粒を多量に含む。本遺構周辺での焼成行為に伴う炭化物等を含んだ一括の人為的な埋め戻し土と考える。

遺物は土師器坏破片(374.0g)・甕破片(540.0g)、内黒土師器坏破片(16.0g)、石器(剥片)1点(3.6g)が出土した。このうち、3層から土師器坏(34.0g、第73図1273)、5層から土師器甕(102.7g、第73図1274)が出土した。1273は底部を回転糸切りで切り離し後に、ヘラナデの調整が観察できる。1274は口縁部～体破部片で体部が僅かに内傾し、頸部で外反する。口縁部は中位で厚くなり、僅かに外傾し、口唇部が直立気味に先細る。1230はS K13の項で記載済みだがS K13・L T45グリッド出土遺物片と接合した。本遺構出土片は最下層からの出土であり、破片も比較的大きいことから残置した可能性がある。他の遺物は埋め戻しの際に混入した可能性が高いと考えられる。

本遺構の時期は出土遺物から平安時代後半に帰属すると考える。性格は不明であるが、調査区中央には比較的規模や遺物の出土状況が類似する複数の土坑が検出される。その中でも本遺構の北北西約6.0mにあるS K35、東約4.4mにあるS K44は主軸方向もほぼ同一で、共通の性格を持った土坑の可能性が考えられる。

5 焼土遺構

焼土遺構は3基検出された。そのうち、2基は調査区中央付近で、他の1基は調査区南側で検出され、検出層位から前者は平安時代に、後者は中世に帰属する可能性が高いと考える。遺構の内外から鉄製品や椀形鍛冶滓、鍛造剥片・粒状滓などが多く出土していることから鍛冶炉関連の遺構と考える。

S N30(第30図)

MB49・50グリッドに位置し、第V b層上面で確認した。S B92、S D09と重複し、S D09に切られる。S B92とは直接の切り合いはないため、新旧関係は不明である。平面形規模はS D09に切られるため全体形状は不明であるが、長径0.56m、短径推定値0.52mの略円形で、確認面から底面までの深さは0.12mである。主軸方向はN-23°-Eである。堆積土は1・2層が旧表土由来の黒褐色土を主体とし、炭化物粒・塊、焼土粒、鍛冶滓、鍛造剥片・粒状滓を多量に含む。3層は被熱し、固く締まる褐色土である。

遺物は鍛冶滓(693.0g)、鍛造剥片・粒状滓(16.0g)が出土した。

本遺構の時期は検出層位から平安時代に帰属する可能性が高いと考える。ここでは焼土遺構としたが鍛冶滓や鍛造剥片・粒状滓の出土状況から鍛冶炉の一部の可能性もある。

S N52(第30図)

L S50グリッドに位置し、第V b層上面で確認した。重複する遺構はない。平面形規模は長径0.23m、短径0.22mの略円形で、確認面から底面までの深さは0.04mである。主軸方向はN-65°-Eである。堆積土は単層で被熱し赤変した暗赤褐色土を主体とし、炭化物粒・塊を多量に含む。出土遺物はない。

本遺構の時期は検出層位から平安時代に帰属する可能性が高いと考える。周辺の遺構外からは椀形鍛冶滓などが多数出土したことから、鍛冶作業に関連する遺構を想定できる。

S N71(第30図)

L T44グリッドに位置し、確認調査南北トレンチ西側断面の第V a層上位面で確認した。重複する遺構はない。平面形規模は確認調査南北トレンチに東側が削平されたため全体形状は不明であるが、長径推定値0.76m、短径推定値0.56mの楕円形が推定され、確認面からの深さは0.10mである。主軸方向はN-35°-Eである。重複する遺構はない。堆積土は1・3層に焼土塊を多量に、2層に炭化物粒を多量に、焼土粒を少量、4層に炭化物粒を少量含む。5層は被熱し赤変した赤褐色土である。この地点で何らかの焼成行為が行われた後に、掻き出し等が行われ、5層の一部が壊され、1～4層が生じたものと考えられる。出土遺物はない。

本遺構の時期は検出層位から中世に帰属する可能性が高いと考える。性格は不明である。

6 溝跡

溝跡は13条検出された。検出層位と堆積土、出土遺物からS D08・11・12・56・61・68・79が平安時代に、S D02・09・46・55・62・67が中世に帰属するものと考えられる。このうち、東-西方向にほぼ並行に延びるS D02・46・55・56・61は、調査では明確な路面は未確認であるが、当該地点は周囲よりも相対的に遺構分布が疎らであり、調査区を東西に横断する道路の側溝であった可能性も想定される。なお、本項では柱穴様ピットとの切り合いによる新旧関係については省略し、第2～16表柱穴様ピット一覧表(1)～(15)に記載した。

S D02(第31図、図版4)

L S～L T47、L S～MC48、MC～ME49グリッドにある。確認調査南北トレンチ西・東側両断面の第V a層中位面で確認後、東-西方向に直行する不明瞭な溝状プランとして平面形を確認した。S B93・102、S D67、S K01・13・78と重複し、S B93・102、S K78を切り、S K01・13、S D67に切られる。S D09とMC49グリッドで、S D62とL S47グリッドでそれぞれほぼ直角に交差するが、切り合い関係が認められないことから、時期差のない遺構であったと考えられる。残存部の計測値は全長24.0m、幅0.20～0.68mの帯状で、確認面から底面までの深さ0.16～0.28mである。主軸方向はN-73°-Wである。底面標高値は断面A-Bで約27.94m、断面E-Fで約27.34mである。底面はほぼ平坦で、西に向かって緩やかに下る傾斜をなし、壁は急角度で立ち上がる。堆積土は離れた3地点の断面A-B～E-Fを観察し、断面A-B・C-Dは2層に、E-Fは1層に分層した。下部の堆積土は砂質土を主体とし、レンズ状に堆積する溝機能時の水成堆積と考えられる。一方上部の堆積土は粘土を僅かに、炭化物粒を多量に含んだ旧表土由来のシルト質土を主体とし、土の流入による短期間の自然堆積土と考えられる。

遺物は土師器甕破片(16.4g)、須恵器甕破片(31.9g)が出土した。周辺から流入したものと考えられる。

本遺構の時期は検出層位とS K01との新旧関係から中世(15世紀)以前に帰属すると考える。他の東-西方向に直行する溝と同様に、道路の側溝として設置された可能性が考えられる。

S D08(第33図)

MA57・58、MB56・57、MC55・56グリッドにある。第V b層上面において南西方向にほぼ直

行する不明瞭な溝状プランとして確認した。SD12と重複し、同遺構を切る。北側は調査区外に延び未調査であるが、残存部の計測値は全長14.40m、幅0.25～0.49mの带状で、確認面から底面までの深さ0.14～0.18mである。主軸方向はN-45°-Eである。底面標高値は断面A-Bで26.90m、断面C-Dで26.82mである。底面は僅かに凹凸があり、南西に向かって緩やかに下る傾斜をなし、壁は急角度で立ち上がる。堆積土は離れた2地点の断面A-B・C-Dを観察し、2層に分層した。堆積土は2層が砂質土を主体とし、レンズ状に堆積する溝機能時の水成堆積、1層が地山土塊や炭化物粒を多量に含むことから、人為的に埋め戻されたものと考えられる。

遺物は土師器坏破片(15.5g)・甕破片(50.4g)、釘(9.4g)が出土した。このうち、1層から釘(第73図1275)が出土した。埋め戻しの際に混入したと考える。

本遺構の時期は出土遺物から平安時代に帰属する可能性が高いと考える。底面の標高差が小さく、周囲の土地と区画するために設置された可能性が考えられる。

SD09(第31図)

MB49～51、MC49グリッドにある。確認調査東西トレンチ南側断面の第Va層中位面で確認後、南-北方向にほぼ直行する不明瞭な溝状プランとして平面形を確認した。SB91・92、SK35、SN30と重複し、SB91、SK35、SN30を切る。SB92とは直接の切り合いはないため、新旧関係は不明である。SD02とMC49グリッドでほぼ直角に交差するが、切り合い関係が認められないことから、時期差のない遺構であったと考えられる。残存部の計測値は全長12.40m、幅0.12～0.56m、確認面から底面までの深さ0.08～0.22mである。主軸方向はN-20°-Eである。底面標高値は断面G-Hで27.54m、断面I-Jで27.47mである。底面はほぼ平坦で、南に向かって緩やかに下る傾斜をなし、壁は下部が急角度で立ち上がる。堆積土は離れた3地点の断面G-H・I-J・C-Dを観察した。堆積土はいずれも単層で、粘土を僅かに、炭化物粒を多量に含んだ旧表土由来のシルト質土を主体とし、土の流入による短期間の自然堆積土と考えられる。

遺物は土師器甕破片(4.5g)、須恵器甕破片(80.2g)が出土した。周辺から流入したものと考えられる。

本遺構の時期はSD02と同時併存するものと判断し、中世(15世紀以前)に帰属すると考える。SD62とほぼ並行し、同様に道路の側溝か周囲の土地と区画するために設置された可能性が考えられる。

SD11(第31図)

MC51・52グリッドにある。確認調査東西トレンチ南側断面の第Vb層上面で確認後、南-北方向に延びる不明瞭な溝状プランとして平面形を確認した。SKP1601・1602に切られる。残存部の計測値は全長4.96m、幅0.18～0.28m、確認面から底面までの深さ0.09～0.14mである。主軸方向は残存部両端を結んだラインでN-10°-Eである。底面標高値は北端が27.16m、南端で27.19mである。底面は多少の凹凸が認められるもののほぼ平坦で、壁は下部が急角度で立ち上がる。堆積土は断面K-Lを観察した。堆積土は単層で、細砂質土を主体とし、レンズ状に堆積する溝機能時の水成堆積と考えられる。出土遺物はない。

本遺構の時期は検出層位から平安時代に帰属する可能性が高いと考える。底面の標高差が小さく、周囲の土地と区画するために設置された可能性が考えられる。

S D 12(第33図)

MA56、MB56グリッドにある。第V b層上面において東-西方向に延びる不明瞭な溝状プランとして確認した。S D 08に切られる。残存部の計測値は全長6.35m、幅0.24～0.32m、確認面から底面までの深さ0.05～0.09mである。底面標高値は東端で27.09m、S D 08と切り合う西端で26.91mである。主軸方向は残存部両端を結んだラインでN-74°-Wである。底面はほぼ平坦で、壁は急角度で立ち上がる。堆積土は離れた2地点の断面E-F・G-Hを観察し、2層に分層した。堆積土は2層が砂質土を主体とし、レンズ状に堆積する溝機能時の水成堆積、1層が地山土塊や炭化物粒を多量に含むことから、人為的に埋め戻されたものと考えられる。

遺物は土師器甕破片(93.7g)が出土した。埋め戻しの際に混入したと考える。

本遺構の時期は出土遺物から平安時代後半に帰属すると考える。底面の標高差が比較的小さく、周囲の土地と区画するために設置された可能性が考えられる。

S D 46(第32図、図版4)

LS46・47、LT47、MA47・48、MB48、MC48、MD48・49、ME49グリッドにある。確認調査南北トレンチ西・東側両断面の第V a層上位面で確認後、東-西方向に直行する不明瞭な溝状プランとして平面形を確認した。S D 67に切られる。遺構は上面が削平されて一部消失するが、残存部の両端を結んだ計測値は全長23.90m、幅0.28～0.45mの带状で、確認面から底面までの深さ0.08～0.30mである。底面標高値は確認調査南北トレンチ西側断面で27.78m、断面E-Fで27.30mである。主軸方向は残存部両端を結んだラインでN-64°-Wである。底面は全体的にやや丸く窪み、西に向かって緩やかに下る傾斜をなし、壁は急角度で立ち上がる。堆積土は離れた3地点の断面A-B～E-Fを観察し、断面A-Bは1層に、C-D・E-Fは2層に分層した。下部の堆積土は砂質土を主体とし、レンズ状に堆積する溝機能時の水成堆積と考えられる。一方上部の堆積土は粘土を僅かに、炭化物粒を多量に含んだ旧表土由来のシルト質土を主体とし、土の流入による短期間の自然堆積土と考えられる。出土遺物はない。

本遺構の時期は検出層位から中世に帰属すると考えられる。他の東-西方向に直行する溝と同様に、道路の側溝として設置された可能性が考えられる。中でも中世に属するS D 55と本溝跡は約2.5m間隔でほぼ平行する。路面そのものは未確認であるが、両者が同一道路両側の側溝であった可能性も想定される。

S D 55(第32図、図版4)

LS44・45、LT45・46、MA46・47、MB47、MC47・48グリッドにある。確認調査南北トレンチ西・東側両断面の第V a層上位面で確認後、LS・LTグリッドで南東-北西方向に、MA～MCグリッドで東-西方向に延びる不明瞭な溝状プランとして平面形を確認した。S D 56を切る。両遺構はほぼ同位置に設置され、本遺構がより直線的に作り替えられた可能性が考えられる。LS・LTグリッド付近では南東-北西方向に延び、MA～MCグリッドでは東-西方向に直線的である。南東側は調査区外に延び未調査であるが、残存部の計測値は全長23.80m、幅0.12～0.48m、確認面から底面までの深さ0.24～0.48mである。底面標高値は南東端付近で28.13m、西端付近で27.45mで

ある。主軸方向は残存部両端を結んだラインで $N-58^{\circ}-W$ である。底面は全体的にやや丸く窪み、西に向かって緩やかに下る傾斜をなし、壁は急角度に立ち上がる。堆積土は離れた3地点の断面G-H～K-Lを観察し、断面G-Hは3層に、I-J・K-Lは2層に分層した。堆積土は2層が砂質土を主体とし、レンズ状に堆積する溝機能時の水成堆積、1層が粘土を僅かに、炭化物粒を多量に含んだ旧表土由来のシルト質土を主体とし、土の流入による短期間の自然堆積土と考えられる。断面G-H 3層は溝を掘削後、深さの調整を意図した人為的な盛土と考えられる。

遺物は土師器坏破片(11.4g)・甕破片(253.3g)、須恵器坏破片(3.7g)・甕破片(48.8g)、中世陶器壺破片(33.3g)、鍛冶滓(46.5g)が出土した。このうち、中世陶器甕体部片は外面が赤褐色、胎土が灰色で砂粒を含むが緻密である。周辺から流入したものと考えられる。

本遺構の時期は検出層位と出土遺物から中世に帰属すると考える。他の東-西方向に直行する溝と同様に、道路の側溝として設置された可能性が考えられる。中でも上述のようにS D46とともに同道路の側溝であった可能性も想定される。

S D 56(第32図、図版4)

L S 44・45、MA47、MB47、MC47・48グリッドにあり、第V b層上面でS D55の精査中に不明瞭な帯状プランを確認した。S D55に切られる。S D55がほぼ本遺構の位置に作り替えて設置されたと推測され、遺構は南東側のL S 44・45と西側のMA47、MB47、MC47・48グリッドの2か所に残存し、南東側は蛇行し、調査区外に延びる。残存部の計測値は南東側が全長2.96m、西側が全長9.05m、幅0.10～0.40mの帯状で、確認面から底面までの深さ0.08～0.16mである。主軸方向は残存部両端を結んだラインで $N-56^{\circ}-W$ である。底面標高値はL S 45グリッド付近で27.80m、断面K-Lで27.50mである。底面は全体的にやや丸く窪み、西に向かって緩やかに下る傾斜をなし、壁は急角度に立ち上がる。堆積土は離れた2地点の断面I-J・K-Lを観察し、2層に分層した。堆積土は2層が砂質土を主体とし、レンズ状に堆積する溝機能時の水成堆積、1層が粘土を僅かに、炭化物粒を多量に含んだ旧表土由来のシルト質土を主体とし、土の流入による短期間の自然堆積土と考えられる。

遺物は土師器坏破片(11.6g)が出土した。周辺から流入したものと考えられる。

本遺構の時期は中世に帰属するS D55より古い、ほぼ同位置に設置されていることから、本遺構の埋没とS D55の設置時期が連続しているものと推定される。他の東-西方向に直行する溝と同様に、道路の側溝として設置された可能性が考えられる。中でも古代に属する可能性があるS D61と本溝跡は約2m間隔で平行するものと推定でき、両者は同道路両側の側溝であったことも想定される。S D46・55も道路両側の側溝であったとする想定も認めると、調査区を東西に横断する当初幅2m前後の道路が主として北側に0.5～1mほど拡幅されたものと判断されよう。

S D 61(第32図、図版4)

L S 46、L T 46・47、MA47グリッドにある。確認調査南北トレンチ西・東側両断面の第V b層上面で確認後、L S・L Tグリッドで南東-北西方向に、MAグリッドで東-西方向に直行する不明瞭な溝状プランとして平面形を確認した。S K P 847に切られる。両端は削平を受け、消失したものと考える。残存部の計測値は全長10.00m、幅0.12～0.20m、確認面から底面までの深さ0.10～

0.16mである。底面標高値は断面M-Nで27.90m、西端で27.62mである。主軸方向は残存部両端を結んだラインで、N-59°-Wである。底面は全体的にやや丸く窪み、西に向かって緩やかに下る傾斜をなし、壁はほぼ垂直に立ち上がる。堆積土は断面M-Nを観察した。堆積土は単層で、砂質土を主体とし、レンズ状に堆積する溝機能時の水成堆積と考えられる。出土遺物はない。

本遺構の時期は検出層位から平安時代に帰属する可能性があるが、確実ではない。他の東-西方向に直行する溝と同様に、道路の側溝として設置された可能性が考えられる。中でも、上述のようにSD56とともに同一道路の側溝であった可能性も想定される。

SD62(第34図)

LS47～49、LR49グリッドにあり、第Ⅷ層上面において南-北方向にほぼ直行する明瞭な溝状プランとして確認した。SD67に切られる。北側は削平のため消失したものと考える。SD02とLS47グリッドでほぼ直角に交差するが、切り合い関係が認められないことから、時期差のない遺構であったと考えられる。残存部の計測値は全長8.44m、幅0.12～0.24m、確認面から底面までの深さ0.04～0.22mである。底面標高値は断面C-Dで27.98m、断面E-Fで27.88mである。底面はほぼ平坦で、北方向に向かって緩やかに下る傾斜をなし、壁はほぼ垂直に立ち上がる。主軸方向は残存部両端を結んだラインで、N-15°-Eである。堆積土は離れた2地点の断面C-D・E-Fを観察し、1層と2層に分層した。下部の堆積土は砂質土を主体とし、レンズ状に堆積する溝機能時の水成堆積と考えられる。一方上部の堆積土は粘土を僅かに、炭化物粒を多量に含んだ旧表土由来のシルト質土を主体とし、土の流入による短期間の自然堆積土と考えられる。

遺物は土師器坏破片(23.1g)、羽口破片(19.3g)が出土した。周辺から流入したものと考えられる。

本遺構の時期はSD02と堆積土が類似することから時期差がないものと推測し、中世(15世紀以前)に帰属すると考える。SD09とほぼ平行し、同様に道路の側溝か周囲の土地と区画するために設置された可能性が考えられる。

SD67(第34図)

LS45～49、LR49・50グリッドにある。第Ⅷ層上面において南-北方向にやや弓なりに延びる明瞭な溝状プランとして確認した。SD02・46・62・68と重複し、すべての遺構を切る。両端は削平のため消失したものと考える。残存部の計測値は全長19.85m、幅0.12～0.80m、確認面から底面までの深さ0.08～0.22mである。底面標高値は断面A-Bで27.92m、断面C-Dで27.96m、LS45グリッド付近で27.92mあり、主軸方向は残存部を結んだラインで、N-6°-Eである。底面はやや凹凸があり、壁は断面A-B付近でほぼ垂直に、他はやや急に立ち上がる。堆積土は3地点の断面A-B～E-Fを観察し、断面A-B・C-Dは1層に、断面E-Fは2層に分層した。堆積土は1層が砂質土を主体とし、レンズ状に堆積する溝機能時の水成堆積と考えられる。断面E-F 2層は溝を掘削後、深さや幅の調整を意図した人為的な盛土と考えられる。溝掘削当初は北から南に流下するよう作り始めたが、南側で掘削を中止し、北側に流下するように南側を盛土したものと堆積状況から推測される。出土遺物はない。

本遺構の時期はSD02・46・62・68との新旧関係から最も新しく、中世(15世紀)以降に帰属する

と考える。道路の側溝か周囲の土地と区画するために設置された可能性が考えられる。

S D 68(第34図)

L R 49グリッドにあり、第Ⅷ層上面において、東－西方向にほぼ直行する明瞭な溝状プランとして確認した。S D 67に切られる。東側は削平のため消失したものと考える。残存部の計測値は全長1.55m、幅0.28～0.30m、確認面から底面までの深さ0.04～0.06mである。底面標高値は断面G－Hで27.99mである。主軸方向はN－87°－Wである。

底面はほぼ平坦で、西方向に緩やかに下る傾斜をなし、壁はやや急に立ち上がる。堆積土は断面G－Hを観察した。堆積土は単層で、砂質土を主体とし、レンズ状に堆積する溝機能時の水成堆積と考えられる。S D 67に切れ、S D 62との直接の新旧関係は不明であるが、L R 49グリッド付近でほぼ直角に交差していた可能性がある。出土遺物はない。

本遺構の時期はS D 62と堆積土が類似することから時期差のない遺構と推測し、中世(15世紀以前)に帰属すると考える。S D 02にほぼ並行し、S D 09・62にほぼ直交し、同様に道路の側溝か周囲の土地と区画するために設置された可能性が考えられる。

S D 79(第31図)

L R 50、L S 49～50グリッドにあり、確認調査南北トレンチ東側断面の第V b層上面で確認後、東側は第Ⅷ層上面、西側は第V b層下位面において、L Rグリッドで北－南方向から東－西方向に曲折する明瞭な溝状プランとして確認した。S B 98・103、S K P 1062・1294・1565と重複し、S K P 1062・1294・1565に切られる。S B 98・103とは直接の切り合いはないため、新旧関係は不明である。両端は削平のため消失したものと考える。残存部の計測値は全長5.24m、幅0.16～0.24m、確認面から底面までの深さ0.08～0.18mである。底面標高値はL R 50グリッド付近で27.76m、断面M－Nで27.40m、西端で27.61mであり、主軸方向は残存部が長いラインで、N－89°－Wである。底面はほぼ平坦で、壁はほぼ垂直に立ち上がる。堆積土は断面M－Nを観察し、2層に分層した。堆積土は1・2層とも地山土由来のにぶい灰黄褐～オリーブ灰色土を主体とし、地山土塊と炭化物粒を多量に含む。一括の人為的な埋め戻し土と考える。出土遺物はない。

本遺構の時期は検出層位から平安時代に帰属すると考える。検出当初は溝跡を想定したが、一方向に流れを伴う施設ではなく、また、堆積状況も水成堆積ではないことから、建物の壁溝の一部の可能性も考えられる。

7 柱穴様ピット

柱穴様ピットは第V～Ⅷ層において総計1,501基を検出した。検出層位及び出土遺物から、他の検出遺構と同様に基本的に平安時代から中世に属すると推定される。これらのピット群のうち、203基は合計25棟の掘立柱建物跡を構成するものと認定し、残りの1,298基には規則的な配列を認めることができなかった。柱穴様ピットの帰属時期は出土遺物の他に、基本土層ベルト断面にかかる遺構を判断基準とし、遺構の堆積土の類似性や周辺遺構との検出標高値等の比較を交えながら、時期を平安時代(第V b層)と中世(第V a層)に分類した。堆積土は当時の生活面の土壌を反映して、中世の堆積土

は相対的に黒色が強く、平安時代のものはそれより明るい褐色系のものが多く検出された。但し、VI層が広がる範囲においては堆積土の違いを判断できなかった。柱穴様ピットの位置については遺構配置図(付図1)を、ピット個々の規模、出土遺物については、第2～16表柱穴様ピット一覧表(1)～(15)を参照していただきたい。なお、表中の括弧内数字は推定値、時期はaが中世、bが古代、空欄が不明のものである。

8 出土遺物

出土遺物には遺構内及び遺構外を合わせて、弥生時代の土器、平安時代の土師器・須恵器・灰釉陶器・石製品(丸軋)・木製品(木筒・箸など)、中世のかわらけ、中国産磁器・朝鮮陶器・須恵器系陶器、常滑産・瀬戸産・大畑窯産・瓦質系陶器などの中世陶器、平安時代～中世にかけての金属製品や鍛冶関連遺物、近世の陶磁器などがある。このうち、土師器、須恵器、須恵器系陶器が大多数を占める。

個々の掲載遺物の特徴等については、各遺物観察表に記載した。なお、S K 01出土遺物についてはS K 01出土銭貨観察表に加えてS K 01出土銭貨種別集計表も参照していただきたい。

以下では時代ごとに主として特徴的な遺物について略述する。

弥生時代の遺物

弥生中期の甕あるいは鉢破片が42点(1.7697kg)出土した。当該遺物は平安時代以降の遺構内に混入もしくは第Vb層中からの出土である(第73図1276、第75図1～4)。調査では弥生時代の遺構は未確認であるが、第Vb層周辺に当時の生活面が存在した可能性が考えられる。なお、第V層～第VII層からは剥片石器が出土している。内訳は石鏃2点(第78図50・51)、石匙1点(第78図52)、スクレイパー12点(0.3559kg)、二次加工ある剥片4点(0.0519kg)、剥片24点(0.1555kg)である。詳細な時期は不明であるが、当該時代もしくは縄文時代の所産であろう。

平安時代の遺物

土器・陶器は全体で土師器(59.4031kg)、須恵器(8.9264kg)、灰釉陶器破片1点(0.0818kg)、かわらけ2点が出土した。土師器は坏が過半を占め、そのうち黒色処理を施さないものが重量比で96.8%に達する。図化したものでは口径11.9～17.2cm、底径4.0～7.6cm、器高3.2～6.4cm、底径指数0.31～0.54の範囲に、高径指数21.33～49.97の範囲に分布する。

このほかに、石帯の一部である丸軋が1点出土した(第79図53)。丸軋は黒色の粘板岩系の石材を素材とし、表面及び側面は入念に研磨されている。裏面は素材の節理面を残し、2個1組で相互に貫通する小孔が3か所に穿孔されている。本遺跡のものよりやや大きいが石材や加工の仕方が類似するものが、^(註1) 払田柵跡から真北に6kmにあり、払田柵跡との関連性を指摘されている小鳥田I遺跡で出土している。また、須恵質の風字硯破片1点が出土した(第76図26)。内面には使用痕と推察できる摩耗痕が認められ、外面は細かいヘラケズリ整形がほぼ全面に施される。木製品の中には木筒が1点ある(第78図49)。一端を欠失し、現存長4.2cm、幅1.8cm、厚さ0.4cmの杉板材の先端側に、「中將」と墨書される。題箋軸木筒の先端部分と推定される。^(註2) 題箋軸木筒は県内では払田柵跡の祭祀域とされる厨川谷地遺跡で出土している。

中世の遺物

中国産白磁破片3点(0.0509kg)、中国産青磁破片14点(0.2976kg)、朝鮮陶器破片1点(0.0640kg)、須恵器系陶器破片(7.4397kg)、瀬戸産陶器碗破片4点(0.0771kg)、常滑産陶器壺破片1点(0.0490kg)、大畑窯産壺甕破片2点(0.2665kg)、瓦器系陶器破片1点(0.0840kg)などが出土した。

中国産白磁は15世紀代の皿、中国産青磁は13世紀～15世紀前後の碗もしくは皿がそれぞれ少量認められる。国産陶器は主として13世紀代から15世紀代に属するものが散見される。

検出遺構の特徴及び分布状況からは、遺跡は10世紀前後から15世紀前後まで基本的に継続して営まれたものと推定されるが、特に土器については、平安時代に属するものに比して、中世に属するものは極めて少ない。

このほかに、中世に流通した銭貨1,214点(3,8914kg)が出土した。王朝毎の銭貨出土数は唐82枚(6.75%)、北宋574枚(47.28%)、金1枚(0.08%)、南宋22枚(1.81%)、元2枚(0.16%)、漢1枚(0.08%)、明387枚(31.88%)、判読不明・無文銭145枚(11.94%)である。このうち、漢の大義通寶は日本での出土数が20枚以下で希少な銭貨である^(註3)。本遺跡のS K 01出土銭と同様に1,000枚以上の銭貨が発掘調査によって出土した遺跡は全国で217遺跡、東北では27遺跡である。出土銭の時期決定は出土銭に存在する最新銭の上限年代によって定まり、1期～8期に区分される^(註4)。本遺跡の出土銭は永楽通寶を上限年代とした4期に区分され、全国に25遺跡ある^(註5)。特徴は同期の遺跡の出土銭割合と比較して、明銭(洪武通寶、永楽通寶)の割合が極端に高く、所謂、16世紀以降に東日本で顕著になる永楽通寶の撰銭化^(註6)に先行している。反面、無文銭の割合も高く、矛盾する傾向も窺えるが、状態のよい明銭を選んでいく可能性が高いと考える。

平安時代～中世の遺物

銭貨を除く金属製品と鍛冶関連遺物、砥石は遺構外出土のものを主として層位が曖昧なものが多いため、時代が特定できないものもある。ここでは平安時代～中世の遺物として記載する。

当該時代の主な遺物として、刀子3点(0.2393kg)、釘26点(0.2578kg)、鍛冶関連遺物の羽口14点(0.3371kg)、椀形鍛冶滓14点(4.489kg)、鍛冶滓346点(15.0911kg)、鍛造剥片・粒状滓(0.638kg)、砥石9点(0.429kg)などがある。

近世以降の遺物

陶磁器は肥前産を主とする近世陶磁器破片24点(0.2252kg)が出土した。このほかに、寛永通寶1点がある(第79図63)。字体から新寛永である。

註1 秋田県教育委員会 『厨川谷地遺跡－県営ほ場整備事業(土崎・小荒川地区)に係る埋蔵文化財発掘調査報告書Ⅰ－』 秋田県文化財調査報告書第383集 2005(平成17)年

註2 秋田県教育委員会 『小島田Ⅰ遺跡－県営ほ場整備事業(中仙南部地区)に係る埋蔵文化財発掘調査報告書Ⅰ－』 秋田県文化財調査報告書第385集 2005(平成17)年

註3 永井久美男 『中世出土銭の分類図版』 2002(平成14)年 高志書院

註4・5・6 鈴木公雄 『出土銭貨の研究』 1999(平成11)年 東京大学出版会

第4章 調査の記録

第2表 家ノ浦遺跡柱穴様ピット一覧表(1)

SKP 番号	グリッド	長径 (cm)	短径 (cm)	深さ (cm)	平面形	時期	新旧関係	出土遺物等
101	MC48	22.0	20.4	10.0	長方形	a		
102	MC48	26.0	25.2	11.5	隅丸方形	a	SD46を切る	
103	MC49	21.2	20.8	9.0	略円形	a	SD02を切る	開元通寶 第74図1291、熙寧通寶 第73図1292、政和通寶 第73図1293
104	MC49	20.4	20.0	19.0	隅丸方形	a		
105	MB49	26.4	23.2	40.7	隅丸方形	a		土師器(坏3.0g)
107	LT48	24.4	22.4	0.0	略円形	a		
109	LT49	19.6	20.0	21.6	略円形	a		
110	LT49 LT50	28.8	28.4	30.2	略円形	a		
111	MD51	26.0	16.8	6.2	楕円形	a		土師器(坏2.0g)
112	MD51	24.8	22.8	18.0	隅丸方形	a		土師器(甕79.2g)、炭化物(1.0g)
113	MD51	36.0	26.0	19.0	長方形	b		
114	MD51	20.4	16.4	13.2	略円形	b		
115	MC51	31.2	24.0	7.3	楕円形	a		土師器(坏3.4g)
117	MC51	19.6	14.4	15.7	楕円形	b		
118	MC50 MC51	22.0	16.8	5.4	隅丸方形	a		
119	MC50	28.0	26.0	25.2	隅丸方形	a		
121	MC51	22.4	20.8	13.6	隅丸方形	a		基本土層C-D断面
122	MC51	(34.0)	(31.2)	13.2	隅丸方形	a	446を切る	基本土層C-D断面
123	MC51	38.0	36.0	19.0	長方形	a		土師器(坏2.3g)、青磁(碗2.8g)
125	MC51	26.0	23.6	16.9	隅丸方形	a		
127	MA51	25.6	24.0	13.9	隅丸方形	a		
128	MA51	20.0	18.4	8.6	長方形	a		土師器(坏2.9g)
129	MB51	32.0	22.8	20.2	楕円形	a		
130	MB51	28.4	25.6	29.0	隅丸方形	a		
131	MB51	18.0	14.4	24.9	隅丸方形	a		土師器(坏1.9g)
133	MB51	20.8	18.0	11.4	隅丸方形	a		
134	MB51	26.0	23.2	29.1	隅丸方形	a		
136	MB51	28.4	27.2	23.6	隅丸方形	a		
139	MB50	(16.0)	(14.4)	17.3	長方形	b	SB97-P2に切られる	
140	MB50	29.2	25.6	18.8	長方形	a	SD09を切る	
141	LT47	38.0	26.0	21.8	楕円形	a	142、1253、1563を切る	
142	LT47	(24.0)	21.0	19.3	楕円形	a	1253、1563を切り、141に切られる	
143	LT47	13.2	11.6	12.4	略円形	a		
144	LT48	30.0	21.6	15.0	楕円形	a		
145	LT49	22.0	22.0	19.8	隅丸方形	a		土師器(坏17.2g・甕6.5g)、内黒土師器(坏4.2g)
146	MB50	24.0	20.0	13.2	隅丸方形	a	SD09を切る	
147	MB50	30.4	26.4	11.6	長方形	a		
150	ME50	18.0	17.6	9.6	略円形	a		
151	ME50	26.0	24.8	9.4	略円形	a		土師器(坏1.2g・甕26.6g)
152	ME50	24.0	22.0	11.8	略円形	a		
153	ME50	19.6	16.0	10.1	略円形	a		
154	ME50	22.0	17.2	8.1	楕円形	a		
155	ME50	19.6	19.2	13.5	略円形	a		
165	MB50	28.0	25.2	11.4	隅丸方形	a		
166	MB50	24.0	15.6	27.1	楕円形	a		
167	MB50	33.2	24.4	10.2	長方形	a		
168	MB50	19.2	12.8	9.5	楕円形	a	SD09を切る	
169	MB50	23.2	20.0	15.0	隅丸方形	a	SD09を切る	
171	MB50	(44.8)	(24.0)	6.0	略円形	a	SK35を切り、SD09に切られる	
172	MB50	31.6	20.0	35.8	楕円形	a	SK35、SD09を切る	土師器(甕41.4g・坏85.5g)、炭化物(0.6g)
173	MB50	32.4	24.4	21.5	長方形	a		
174	MB51	24.4	19.6	15.9	隅丸方形	b		
175	MB51	24.0	18.8	8.9	隅丸方形	a		
176	MB51	16.4	15.2	8.9	略円形	a		基本土層C-D断面
177	MB51	24.4	21.6	13.2	長方形	b	178に切られる	
178	MB51	23.2	18.0	11.8	隅丸方形	a	177を切る	
179	MB51	23.2	20.0	20.8	隅丸方形	a	SD09を切る	基本土層C-D断面
180	MB51	32.8	17.6	35.4	長方形	a		
181	MB51	24.4	18.4	21.0	隅丸方形	a		
182	MB51	24.0	18.8	17.9	隅丸方形	b		
183	MA51 MB51	22.8	20.8	19.6	隅丸方形	b		基本土層C-D断面
184	MA51	22.0	19.6	21.1	隅丸方形	b		基本土層C-D断面
185	MB51	21.2	20.0	2.3	隅丸方形	a		
186	MB51	(22.0)	(20.4)	15.2	隅丸方形	b		基本土層C-D断面
187	MC51	30.0	24.8	20.7	楕円形	a		
188	MC50	22.8	22.4	13.1	隅丸方形	a		
190	MC50	20.8	20.4	29.7	略円形	a		
191	MC50	32.0	22.8	26.3	楕円形	a		
192	MC50	28.0	25.2	39.0	略円形	a		砥石(18.0g) 第74図1288
193	MC50	32.0	30.4	14.4	隅丸方形	a		
194	MB51	42.0	31.6	7.7	楕円形	a		
196	MA51	24.0	22.4	13.9	略円形	a		
198	MA51	22.8	21.6	19.2	略円形	b		
199	MA51	29.6	19.6	10.8	楕円形	b		
200	MA51	20.0	16.0	5.0	略円形	b		基本土層C-D断面
201	MA51	33.2	31.2	18.6	略円形	b		
202	MA51	(26.0)	(24.0)	18.0	略円形	b	203に切られる	
203	MA51	28.8	25.6	5.1	略円形	b	202を切る	
204	MA51	24.8	21.2	18.4	略円形	b		
205	MA51	22.4	20.4	12.9	隅丸方形	a		
206	MA51	22.0	19.6	6.0	略円形	b		
207	MA51	20.0	18.0	8.7	略円形	a		
209	MA51	26.0	22.4	14.1	隅丸方形	b		
210	LT51 MA51	22.0	18.0	7.3	略円形	a		
211	MC48	22.0	18.8	11.4	隅丸方形	a	818を切る	
213	MC49	28.8	24.4	4.5	長方形	a		釘(4.5g)、炭化物(4.0g)
214	MC49	21.6	20.0	7.0	長方形	a		
215	LT51	24.8	19.6	10.2	楕円形	b		
216	LT51	22.4	21.2	11.2	略円形	a		
217	LT51 MA51	15.6	15.2	6.9	略円形	b		
218	LT51	37.2	32.4	36.2	楕円形	b		

第3表 家ノ浦遺跡柱穴様ピット一覧表(2)

SKP 番号	グリッド	長径 (cm)	短径 (cm)	深さ (cm)	平面形	時期	新旧関係	出土遺物等
219	LT51	26.8	23.6	21.8	略円形	b	SB98-P3を切る	
221	MB57	25.6	21.2	20.7	楕円形	b		
222	MB57	20.0	14.0	19.6	隅丸方形	b		
223	MB56	18.4	14.0	12.5	楕円形	b	SD12を切る	
224	MB56	26.0	22.4	29.0	隅丸方形	b		
225	MB55	21.2	16.4	35.0	楕円形	b		
226	MB55	24.0	22.4	21.0	略円形	b		
227	MB55	24.8	19.2	19.0	隅丸方形	b		
228	MB55	34.0	30.0	13.2	略円形	b		
229	MB55	27.6	22.8	20.5	楕円形	b		
230	MC55	21.2	16.8	28.8	略円形	b		
231	MC55	21.2	20.0	14.0	略円形	b		
232	MB57	20.4	20.0	23.0	隅丸方形	b		
233	MB56	26.0	20.0	20.0	楕円形	b		
234	LT55	16.8	16.0	9.5	略円形	b		
235	LT55	46.0	42.4	28.2	略円形	b		
236	MA54	32.0	30.0	18.9	略円形	b		
237	MA54	34.8	28.0	23.5	隅丸方形	a	398を切る	
238	MA54	28.4	23.6	16.4	楕円形	a		須恵器(坏2.0g)
239	MA53 MA54	28.0	27.2	29.2	略円形	a		
240	MA53	26.0	22.4	26.3	略円形	a		
242	MC50	32.4	30.4	29.2	略円形	a		
243	MC50	27.2	19.6	16.3	楕円形	a		
244	MC50	(37.6)	(23.2)	22.7	長方形	a	1347を切り、1348に切られる	
247	MC50	20.4	20.0	15.0	隅丸方形	a	367を切る	
249	MB50	28.0	27.2	12.6	隅丸方形	a		
252	MA50	20.8	19.2	24.3	略円形	b		土師器(坏2.7g) 基本土層A-B断面
253	MA50	15.6	11.6	8.0	略円形	a		
254	MA50	23.6	21.2	23.3	略円形	b		
255	MA50	18.0	16.4	4.7	隅丸方形	b		
259	MA50	23.2	22.0	21.0	略円形	a		
260	MA50	28.0	23.6	13.3	略円形	a		
261	MA50	26.8	23.6	26.8	隅丸方形	a		
263	MB51	29.6	22.4	12.5	楕円形	a		
264	MA50 MB50	45.2	28.8	28.7	楕円形	a		
265	MA50	14.0	13.6	5.6	隅丸方形	a		
267	MA50	20.8	14.4	5.8	楕円形	a		
270	LT50	22.8	18.4	7.9	略円形	b		
271	LT50	22.4	20.4	10.8	隅丸方形	b		
272	LT50	28.0	24.0	12.1	略円形	b		
273	LT50	24.4	20.0	12.1	楕円形	b		土師器(糞4.3g)
274	LT50	20.0	16.8	8.4	略円形	b		
275	LT50	23.2	22.8	10.0	略円形	b		
277	MA49	24.0	22.8	29.9	隅丸方形	a		
278	MA49	30.4	24.4	40.9	隅丸方形	a		
279	MA49	32.4	28.0	20.5	略円形	a		
280	MA49	20.0	20.0	34.1	隅丸方形	a		
281	MB49	23.6	22.0	42.8	隅丸方形	a		
282	MB49	16.0	15.6	28.6	略円形	a	283を切る	
283	MB49	(24.8)	(19.6)	33.0	楕円形	a	282に切られる	
284	MB49	28.0	28.0	35.5	正方形	a		鍛冶滓(104.4g)
285	MB49	18.4	18.0	6.6	隅丸方形	a		
287	MB49	20.8	19.2	13.1	隅丸方形	a		
288	MB49	23.2	22.0	19.2	隅丸方形	a		土師器(坏7.0g)
290	MB49	19.2	18.8	19.2	隅丸方形	a	SD09、1633を切る	
292	MB51	26.4	22.0	16.4	長方形	a		
295	ME51	41.6	40.4	8.3	隅丸方形	a		土師器(坏62.3g・糞63.3g)
296	ME51	30.0	26.0	11.5	略円形	a		
297	ME51	52.0	42.0	15.8	正方形	b		
298	MD51	32.8	26.8	33.0	隅丸方形	a		土師器(坏13.3g・糞5.3g)
299	ME51	40.8	29.6	11.1	長方形	a		
300	ME51	42.8	32.8	15.9	不整円	a		
301	MD51	30.0	25.2	24.5	隅丸方形	a	302に切られる	
302	MD51	20.8	16.0	10.2	長方形	a	301を切る	
303	MD51	22.0	16.8	23.9	楕円形	a		
305	MB51	36.0	30.8	19.2	長方形	a		
306	MB51	22.4	20.0	24.0	隅丸方形	a		
307	MA51	19.2	10.4	23.1	隅丸方形	a		土師器(坏0.7g)
308	MA51	13.2	12.4	9.9	隅丸方形	b		
309	MA50	12.8	11.2	3.5	略円形	a		
310	MA50	16.0	13.2	21.6	略円形	a		
311	MA50	17.2	16.0	7.2	略円形	a		
312	MA50	16.8	16.4	9.7	略円形	a		
313	MA50	24.0	23.6	9.5	長方形	a		
314	MA51	(27.6)	(24.0)	16.3	略円形	b		土師器(坏15.7g) 基本土層A-B断面
315	MA51	22.8	21.6	10.8	長方形	a		土師器(坏3.6g)
316	MA51	20.8	18.8	7.4	略円形	a		土師器(糞5.9g)
317	MA51	18.8	17.6	26.6	略円形	a		
318	MA51	13.2	12.8	4.6	略円形	a		
319	MA51	54.0	51.2	10.1	略円形	a		
320	LT51 MA51	31.6	26.4	10.1	隅丸方形	b		
322	MA53	23.2	19.6	10.2	楕円形	b	1658を切る	
323	MA53	29.2	24.8	42.4	隅丸方形	b		
324	MA53	20.0	18.8	21.6	隅丸方形	b		
325	MA53	26.0	18.8	18.6	楕円形	a		
326	MA53	(42.0)	40.0	24.0	隅丸方形	b	327に切られる	
327	MA53	25.2	20.8	22.4	楕円形	b	326を切る	
328	MA53	21.2	19.2	5.0	略円形	a	1651を切る	
329	MA53	18.8	18.0	6.5	隅丸方形	a		
330	MA51 MA52	34.4	27.2	17.3	略円形	a		
331	MA52	26.0	23.2	17.7	略円形	b		

第4章 調査の記録

第4表 家ノ浦遺跡柱穴様ピット一覧表(3)

SKP 番号	グリッド	長径 (cm)	短径 (cm)	深さ (cm)	平面形	時期	新旧関係	出土遺物等
332	MA52 MA53	23.2	20.8	5.0	隅丸方形	a	SK34を切る	
333	LT53	22.4	20.8	26.0	略円形	b		
334	LT53	22.0	22.0	17.5	略円形	b		
335	LT53	22.0	20.0	16.9	略円形	a		
336	LT53	32.0	28.0	18.1	楕円形	b		
339	LT52	24.0	(20.8)	10.6	略円形	b	SB101-P4に切られる	
340	LT52	32.4	20.0	21.9	楕円形	b		
341	LT51	30.4	19.2	13.3	楕円形	b		
342	LT51	45.2	41.2	12.7	略円形	b		
343	LT51	41.6	27.2	16.8	楕円形	b		
344	MA50	14.4	9.2	20.2	長方形	a		
347	MA48	20.0	11.6	19.9	長方形	a		
348	MA48	31.2	20.8	13.4	隅丸方形	a		
350	MA48	22.0	20.0	7.5	隅丸方形	a		
351	MA48	22.4	20.4	24.0	長方形	a		
352	MA48	(28.0)	(24.8)	30.9	楕円形	a	353,1627に切られる	
353	MA48	50.0	34.4	36.8	長方形	a	352を切る	土師器(坏3.1g)
354	MA48 MB48	14.4	12.4	27.4	略円形	b		
355	MA48	(19.2)	(16.0)	21.4	長方形	a	SD02に切られる	
356	MA48	23.2	20.0	16.0	隅丸方形	a	SD02を切る	
357	MA48	22.8	22.4	10.7	正方形	a		土師器(坏14.4g・甕74.9g)
358	MA48	26.4	26.0	22.5	正方形	b		
359	MA48	20.0	19.6	29.4	略円形	a		
360	MA48	22.0	20.4	25.7	略円形	a		
361	MA48	12.8	10.4	10.9	略円形	a		
362	MA48	20.4	20.0	18.9	隅丸方形	a		
363	MA48	20.4	(17.2)	24.6	隅丸方形	a		
364	MA48	20.8	18.8	15.6	略円形	a		
365	MA47 MA48	29.2	26.0	21.8	長方形	a	SD46を切る	
366	MA47 MA48	18.0	17.6	16.4	隅丸方形	a		
367	MC49 MC50	(20.8)	(14.0)	16.3	楕円形	a	247に切られる	
368	MA48	21.6	20.4	9.9	長方形	a	SD02を切る	
369	MA48	22.0	19.2	12.0	略円形	a	SD02を切る	土師器(坏16.5g)、釘(2.7g) 第74図1284
370	MA48	17.6	17.2	32.9	隅丸方形	a	SD02を切る	
371	MA48	16.4	16.4	21.2	隅丸方形	a	SD02を切る	
373	MA50	15.2	10.4	9.0	楕円形	a		
375	MA49	20.8	20.0	14.1	隅丸方形	a		土師器(坏3.5g)
376	MA49	15.6	15.2	11.9	略円形	a		
379	MA49	24.0	23.6	10.9	隅丸方形	a		
380	MA49	27.2	21.6	16.9	楕円形	a		
381	MA49	21.2	20.8	6.5	隅丸方形	a		土師器(坏5.4g)
382	MA49	16.0	14.0	7.4	略円形	a		
385	MA49	15.6	13.6	12.9	略円形	a		
386	MA49	(15.2)	(12.0)	9.2	略円形	a		
387	LT49	14.0	14.0	12.0	正方形	a		
391	MA52	24.8	21.6	8.9	略円形	a		土師器(坏3.4g)
392	MA52	22.0	20.0	11.5	略円形	b		
393	MA52	35.6	31.2	14.3	略円形	a	SK21を切る	
394	MA52	28.0	24.4	23.1	略円形	a		
395	MA52	44.0	28.0	36.8	楕円形	a		
396	MA52	26.0	25.6	23.7	略円形	a		
397	MA52	26.0	22.0	39.1	略円形	a		
398	MA54	37.2	32.0	31.1	略円形	b	237に切られる	
399	MA52	20.8	20.4	21.2	略円形	b		
400	MB52	25.2	22.4	23.6	略円形	a		土師器(坏1.8g)
401	ME50	26.4	25.2	29.6	隅丸方形	a	402を切る	元豊通寶 第74図1294
402	ME50	24.4	(18.0)	21.2	隅丸方形	b	401,403に切られる	
403	ME50	26.0	24.0	33.4	隅丸方形	a	402を切る	
404	ME50	32.0	19.2	23.1	長方形	a		
405	ME50 ME51	40.0	32.8	74.3	長方形	b		
406	ME50	24.0	20.0	5.3	長方形	a	SB85-P1を切る	
407	ME50 ME51	28.0	28.0	73.2	隅丸方形	b		
408	ME50	40.0	39.6	13.0	正方形	a		
409	ME50	20.0	18.8	17.2	隅丸方形	a		
410	ME50	22.0	20.0	8.6	隅丸方形	a		
412	ME50	32.0	28.0	14.5	隅丸方形	a		
413	ME50	20.4	18.4	9.7	隅丸方形	a	414を切る	土師器(甕35.9g)
414	ME50	(18.0)	13.0	9.2	長方形	a	413に切られる	
415	ME50	(20.0)	15.6	11.7	楕円形	a	416に切られる	
416	ME50	18.8	14.0	4.9	楕円形	a	415を切る	
417	ME49	24.0	16.0	3.3	楕円形	b		
419	ME49	32.4	27.6	21.5	楕円形	a	420を切る	
420	ME49	(32.4)	(25.2)	18.5	長方形	b	419に切られる	
421	MB51	20.3	18.6	13.4	隅丸方形	a		
422	MB51	18.0	16.4	11.4	略円形	a		
423	MB51	44.4	27.6	11.2	長方形	a		
424	MB51	30.0	20.0	9.4	楕円形	a		
425	MB51	22.8	22.4	23.9	隅丸方形	a		
426	MB51	22.3	18.8	30.9	楕円形	a		
427	MB51	20.8	20.0	11.1	正方形	a		
428	MB51	20.0	18.0	27.3	略円形	a		
429	MC51	37.6	28.8	16.8	長方形	a	552を切る	
430	MC51 MC52	25.6	22.4	18.7	略円形	a		
431	MC51	27.2	24.0	10.1	長方形	a		
432	MC51	29.2	28.0	37.1	隅丸方形	a		
433	MC51 MD51	21.2	20.8	19.7	略円形	b		基本土層C-D断面
434	MD51	16.8	16.0	9.6	略円形	b		
435	MD51	22.4	21.2	9.8	隅丸方形	b		
436	MA50	36.0	27.2	22.0	長方形	b		
437	LT49	22.0	20.0	30.5	略円形	a		
438	MA47	30.0	28.8	18.7	略円形	a		

第5表 家ノ浦遺跡柱穴様ピット一覧表(4)

SKP 番号	グリッド	長径 (cm)	短径 (cm)	深さ (cm)	平面形	時期	新旧関係	出土遺物等
439	MA47	24.0	14.0	14.2	楕円形	a		
440	MA47	28.0	18.0	19.0	長方形	a		
441	MA47	46.8	20.0	11.3	楕円形	a		
442	MA47	25.2	22.0	7.6	長方形	a		
443	MA47	16.0	14.0	12.8	略円形	a		
444	MB48	22.4	16.0	14.8	長方形	a	SD02を切る	
445	MB51	17.5	13.7	14.8	長方形	a		
446	MC51	(24.4)	(16.8)	15.8	長方形	a	122に切られる	
447	MC51	24.8	23.2	27.3	正方形	a		
448	MD51	18.4	15.6	5.6	略円形	b	449を切る	
449	MD51 MD52	(30.4)	(28.0)	16.7	長方形	b	448に切られる	
450	MA56	20.0	17.6	19.4	隅丸方形	b		
451	MB53	22.0	20.4	22.0	略円形	b		
452	MB53	25.2	24.0	14.4	略円形	b		
453	MB53	26.0	24.4	21.4	略円形	b		
454	MB53	20.4	18.4	20.6	略円形	b		
455	MB53	22.0	20.0	27.8	略円形	b		
456	MB53	42.4	33.2	8.0	楕円形	b		
457	MB53	28.8	26.4	19.3	隅丸方形	b		
458	MB53	26.0	22.0	2.0	隅丸方形	b		
459	MB53	20.8	20.4	19.7	略円形	b		
460	MB53	18.0	14.0	6.0	略円形	b		
461	MB52 MB53	20.0	16.4	6.3	略円形	a		
462	MB52 MB53	29.2	24.0	20.7	隅丸方形	b		
463	MB52 MC52	42.4	39.2	17.4	楕円形	b		
464	MB52	24.8	24.0	23.7	略円形	b		土師器(甕14.8g)
465	MB52	34.4	34.0	23.8	隅丸方形	b		
466	MB52 MC52	18.0	16.8	20.2	隅丸方形	b		
467	MB52	(24.0)	(22.0)	34.7	略円形	b	1600に切られる	
468	MB52	38.0	29.2	34.0	楕円形	a		
469	MA52	18.0	16.0	7.9	略円形	b		土師器(坏6.8g・甕143.0g)
470	MA52 MB52	(27.2)	(25.2)	7.0	略円形	b	1612に切られる	
471	MB48	16.8	8.0	21.2	長方形	a	SD02を切る	
472	LT48	30.0	24.4	12.9	楕円形	a	SD02を切る	
474	LT48	17.2	15.6	13.2	略円形	a		
476	MC50	18.0	15.2	11.6	略円形	a		
477	MB50	32.0	29.6	16.7	隅丸方形	a	SK35を切る	
478	MC50	16.0	14.0	8.9	略円形	a		
480	MC50	(32.4)	(31.6)	13.2	長方形	b	SB92-P4に切られる	
481	MC52	35.6	30.4	13.4	隅丸方形	b		
482	MC52	22.4	21.2	27.0	略円形	a		柱材(角材115g、杉) 第74図1282
483	MC52	31.6	26.0	23.0	楕円形	b		
484	MC52	30.0	26.8	29.7	略円形	b		
485	MC52	27.2	24.8	12.8	略円形	b		
486	MC52	24.0	22.4	36.3	略円形	b		
487	MC52	28.8	28.0	27.3	略円形	b		
488	MC52	20.8	20.0	15.8	略円形	b		
489	MC52	28.4	24.0	16.9	楕円形	b		
490	MC52	30.0	28.0	28.6	隅丸方形	b		
491	MC52	26.8	24.8	30.0	略円形	b		
493	MA52	26.8	22.0	24.3	楕円形	b	1572を切る	土師器(甕7.8g・坏9.9g)
494	MA52	48.0	40.4	33.6	楕円形	b		
495	MB52	31.2	25.2	29.9	楕円形	a		土師器(坏7.5g)
496	LT52 MA52	52.8	51.2	16.0	略円形	b		弥生土器(壺・甕83.1g)
497	MA52	28.0	26.0	11.9	略円形	b		
498	MB52	24.8	22.4	19.9	略円形	b		
499	MB52	22.0	20.0	17.3	略円形	b		
500	MC52	18.0	16.4	14.0	隅丸方形	b		
501	MC49	26.0	22.8	11.9	略円形	a		
502	MC49	(20.0)	(17.2)	19.8	隅丸方形	b	1367に切られる	
504	MC49	17.6	16.8	23.3	略円形	a		
505	MC49	20.0	16.0	13.1	楕円形	a	776を切る	
506	MB49	25.2	23.2	15.1	長方形	a	SD09を切る	
507	MC49	21.2	15.2	19.2	長方形	a		
508	MC49	31.2	28.4	27.2	長方形	a		
509	MC49	20.0	17.2	20.6	略円形	a	SD02を切る	
510	LT51	26.0	19.2	39.9	楕円形	a		
511	LT51	26.4	24.0	39.9	隅丸方形	a		
513	LT51	29.6	25.6	41.0	略円形	a		
514	LT51	24.0	22.4	36.3	略円形	a		
515	LT51	20.0	18.4	31.7	隅丸方形	a		
516	MC51 MD51	19.6	19.2	13.0	略円形	b		
517	MD51	20.0	17.2	15.9	略円形	b		
518	MD51	22.0	21.6	4.2	正方形	a		
519	MC51	17.6	15.6	17.6	略円形	a		
520	MC51	23.2	17.6	13.2	楕円形	a		
521	MD51	32.0	24.8	16.5	長方形	b		
522	MD51	20.8	18.4	24.9	略円形	b		
523	MD51	36.8	30.8	61.0	長方形	b		石器(スクレイパー 7.0g)
524	MD51	52.0	47.2	68.9	長方形	b		弥生土器(壺178.9g) 第73図1276、土師器(坏25.8g・甕27.5g)、須恵器(壺47.5g)、内黒土師器(坏11.9g)
525	MD51	25.2	22.0	22.7	略円形	a		
526	MD51	30.4	28.8	78.9	長方形	a		
527	MD51	18.0	17.9	6.8	隅丸方形	a		
528	MD51	26.0	20.8	8.8	隅丸方形	a		
529	MD51	20.0	18.0	10.0	隅丸方形	a		
530	MD51	19.6	19.2	8.8	隅丸方形	a		
531	MD50 MD51	31.6	19.2	16.0	隅丸方形	a	532に切られる	
532	MD51	24.0	19.2	15.4	略円形	a	531を切る	
533	MD51	28.8	26.0	26.3	隅丸方形	b		
534	MD50 MD51	38.0	34.0	22.4	隅丸方形	a		

第4章 調査の記録

第6表 家ノ浦遺跡柱穴様ピット一覧表(5)

SKP 番号	グリッド	長径 (cm)	短径 (cm)	深さ (cm)	平面形	時期	新旧関係	出土遺物等
535	MD50	24.0	18.4	18.0	隅丸方形	a		
536	MD50	24.0	24.0	10.3	隅丸方形	b		
537	MD50	(18.0)	(17.6)	7.7	略円形	b	538に切られる	
538	MD50	28.0	(20.8)	12.1	楕円形	b	537を切る	
539	MD50	16.0	15.6	15.8	略円形	b		
541	MD50	(17.2)	(14.0)	14.1	略円形	b	1285に切られる	
542	MD50	23.2	19.6	14.3	長方形	b		
543	MD50	18.4	16.4	9.0	略円形	b		
544	MD50	(32.0)	(30.8)	5.0	長方形	b	545に切られる	
545	MD50	28.8	28.4	12.2	正方形	a	544を切る	
546	MD50	16.4	16.0	8.8	略円形	a		
547	ME50	18.0	16.0	7.4	略円形	a		
550	MD50	(24.0)	(23.6)	18.1	略円形	a	SB85-P5に切られる	
552	MC51	(21.6)	(18.0)	11.6	隅丸方形	a	429に切られる	
553	MD50 MD51	24.0	23.6	69.3	長方形	a		
554	ME50	40.0	28.0	7.9	長方形	b		
561	MD50	33.6	28.0	8.1	長方形	b		
563	LT50	48.4	44.0	10.9	略円形	a		
564	LT51	26.0	20.0	4.0	長方形	a		
565	LT51	31.2	23.6	4.4	長方形	a		砥石(26.0g) 第74図1289
566	LT51	26.0	15.2	1.3	長方形	a		
567	LT51	21.6	20.8	8.7	隅丸方形	a		
568	LT51	24.8	22.0	9.1	長方形	a	SB100-P8を切る	
570	LS56	30.4	24.8	35.5	楕円形	b		
571	LS56	20.0	19.6	23.7	略円形	b		
572	LS56	32.8	24.0	35.2	楕円形	a		
573	LS55 LS56	23.6	20.4	16.7	楕円形	b		
574	LS55 LS56	25.6	21.2	8.1	楕円形	b		
575	LS55	22.8	19.2	14.9	楕円形	b		
577	LQ54	31.2	30.8	20.5	不整円	b		
578	LQ54	27.2	24.8	28.5	隅丸方形	b		椀形鍛冶滓(661.0g)第74図1290
579	LQ54	32.0	31.2	22.6	略円形	b		
580	LQ54	(26.0)	(25.6)	38.4	略円形	b	1575に切られる	
581	LQ53 LQ54	50.4	37.6	11.3	楕円形	b		
582	LQ53 LQ54	24.0	20.8	13.4	略円形	a		
583	LQ53	37.2	30.0	18.3	隅丸方形	a	1576を切る	
584	LQ53	16.0	15.2	10.7	略円形	b		
585	LQ53	27.2	24.4	21.0	略円形	b		
586	LQ53	20.4	16.8	11.3	略円形	b		
587	LQ53	20.8	16.0	79.4	楕円形	a		
588	LQ53	22.0	20.4	32.1	略円形	b		
589	LQ53	27.2	26.8	23.8	略円形	a		
590	LQ53	30.0	28.0	6.1	略円形	b		
591	LQ53	18.8	18.0	17.1	略円形	b		
592	LQ53	25.2	24.0	11.5	略円形	b		
593	LQ53	23.2	21.2	19.4	略円形	a		
594	LQ53	20.0	16.8	11.8	略円形	a		
595	LR53	24.8	22.8	24.9	隅丸方形	b		
596	LQ53 LR53	32.8	30.4	34.2	略円形	b		
597	LQ53	42.0	40.8	25.8	略円形	b		
598	LQ52 LQ53	32.0	31.2	28.3	略円形	b	1577を切る	
599	LQ52	35.2	20.0	21.9	長方形	a		
600	LQ52	18.0	17.6	17.0	隅丸方形	b		
601	LP52 LQ52	28.8	26.8	6.6	略円形	b		
602	LP52 LQ52	20.4	14.8	9.0	楕円形	b		
603	LQ52	32.0	27.2	6.6	楕円形	a		
606	LS55	24.0	20.8	9.2	楕円形	b		
607	LT53	28.4	26.0	33.2	略円形	b		
608	LS53 LT53	24.0	22.4	33.3	隅丸方形	b		
609	LS53	24.8	19.6	21.0	楕円形	b		
610	LS53	40.8	28.8	36.8	楕円形	b		
611	LT52	39.2	22.8	37.0	楕円形	b		
612	LS52	20.4	16.0	9.9	隅丸方形	b		
613	LS52	26.0	24.4	15.0	略円形	b		
614	LT52	18.4	18.0	19.2	隅丸方形	b		
616	LS52 LT52	29.6	26.0	32.0	略円形	b		
617	LS52	20.4	18.0	29.6	略円形	b		
618	LT52	24.8	21.2	22.6	略円形	a		
619	LT52	25.2	21.6	26.9	略円形	a		
621	MA51	52.0	45.6	13.4	隅丸方形	a		
623	MA51	20.8	20.8	21.5	略円形	a	SK41を切る	
624	MA51	20.0	14.4	11.0	楕円形	a	SK41を切る	
625	MA51	19.2	17.2	29.8	略円形	a	SK41を切る	
626	MA51	22.4	21.2	39.9	略円形	a	SK41を切る	
627	MA51	22.0	19.6	9.0	略円形	a		
628	MA51 MB51	34.0	31.6	30.0	略円形	b		
629	MB51	22.4	17.2	39.9	楕円形	b		
630	MB51	28.0	18.4	37.7	楕円形	a	631を切る	土師器(坏8.0g)
631	MB51	(25.6)	(17.6)	20.4	楕円形	b	630に切られる	
632	MB51	24.4	20.0	33.5	隅丸方形	b	SD09に切られる	土師器(坏1.3g)
633	MB51	16.0	15.2	31.9	略円形	b		
635	MB51 MB52	20.0	18.0	37.0	略円形	b		
636	MB51 MB52	34.4	22.8	38.4	楕円形	b		
638	MB51 MB52	19.2	18.0	28.7	略円形	b		
639	MB51 MC51	21.6	20.8	24.1	略円形	b		
640	MC51	25.6	24.0	8.1	隅丸方形	b		
641	MC51	14.0	11.2	8.9	略円形	a		
642	MC52	19.2	18.8	12.8	略円形	a		
643	MC51	26.0	22.4	9.8	略円形	b		
644	MC51	20.8	19.6	9.4	隅丸方形	b		
645	MD52	26.8	20.0	19.5	楕円形	a		

第7表 家ノ浦遺跡柱穴様ピット一覧表(6)

SKP 番号	グリッド	長径 (cm)	短径 (cm)	深さ (cm)	平面形	時期	新旧関係	出土遺物等
646	MD51	20.0	16.8	12.8	隅丸方形	b		
647	MD51 MD52	19.2	14.4	13.7	楕円形	b		
648	MD52	15.6	14.4	7.4	略円形	b		
650	MD51	24.0	19.6	0.0	楕円形	b		
652	MD51	24.4	20.8	37.4	略円形	a		土師器(坏3.7g)
654	MD51	22.4	20.0	83.2	略円形	b		土師器(坏5.1g)
655	MD51	26.4	25.2	91.2	隅丸方形	b		
656	MD51	22.0	19.6	21.1	長方形	b		
657	MD50 MD51	27.6	22.4	25.3	隅丸方形	b		
658	MC50 MD50	18.0	15.2	45.6	略円形	b		
659	MC51 MD51	12.0	10.4	5.7	略円形	b		
661	MC51	19.6	19.6	24.4	隅丸方形	b		
663	MD50	19.2	19.2	4.3	略円形	a		
664	MC51	29.2	26.0	24.3	長方形	b		
665	MC51	27.6	27.2	28.3	略円形	b		
667	MC51	18.4	14.0	23.9	略円形	b		
668	MC51	38.4	28.0	35.9	長方形	b	670に切られる	
669	MD50	20.4	16.0	8.4	楕円形	a		
670	MB51 MC51	19.6	18.4	14.9	長方形	b	668を切る	
671	MC51	16.4	14.0	19.8	略円形	b		
675	MD52	22.0	17.2	21.6	長方形	a		
676	MB51	22.4	20.0	20.6	略円形	a	SD09を切る	
677	MB51	33.6	26.4	35.0	楕円形	b		
678	MB50	21.6	20.8	16.8	隅丸方形	a	SD09を切る	
679	MB50	22.4	20.0	19.5	隅丸方形	a	SD09を切る	
682	MB50	26.4	22.4	8.3	略円形	a		
683	MB50	23.2	20.4	31.4	隅丸方形	b		
684	MB50	24.8	22.4	26.8	略円形	b	SK35を切る	
685	MB49 MB50	21.6	20.0	33.7	隅丸方形	b		
686	MB49	22.8	20.8	25.6	長方形	b		
687	MB50 MC50	30.0	24.4	12.7	隅丸方形	a		
688	MB50 MC50	31.2	30.8	31.7	隅丸方形	b		
689	MC50	27.6	26.0	42.7	隅丸方形	b		
691	MC50	18.0	17.2	14.3	略円形	a		
692	MC50	44.4	30.0	33.8	長方形	b		
693	MC50	20.4	16.8	19.9	略円形	b		
694	MC50	20.0	19.6	16.7	隅丸方形	b		
695	MC50	28.8	28.8	41.2	略円形	b		
696	MC50	22.8	21.2	0.0	略円形	b		
697	MC50	22.0	18.4	12.6	隅丸方形	a		
698	MC50 MC51	26.0	24.0	13.5	略円形	a		
699	MC50	28.8	26.8	25.0	略円形	b		
700	MC50	32.0	26.0	8.0	隅丸方形	a		土師器(坏21.2g・甕15.2g)
701	MC50	21.6	18.4	21.7	略円形	b		
703	MC50	24.8	21.2	13.8	略円形	b		
704	MC50	21.6	16.8	16.4	楕円形	b		
705	MC50 MD50	18.0	18.0	20.3	略円形	b		土師器(坏10.2g)
708	MC50	27.6	27.2	25.2	正方形	b		
709	MC50	32.0	27.2	30.7	長方形	b	1351を切る	土師器(坏3.8g)・内黒土師器(坏2.5g)
710	MC51	21.2	19.2	37.6	略円形	b		
711	MC51	20.8	19.6	34.9	略円形	b		
714	MC50	20.0	18.0	8.4	略円形	a		
715	MC50	26.8	19.2	32.4	楕円形	b		
716	MC49	16.8	15.2	20.4	略円形	a		
717	MC49	20.4	17.2	26.4	長方形	b		
718	MC49	24.0	18.8	15.7	隅丸方形	b		
719	ME49	(22.4)	(21.6)	5.4	長方形	a	SB85-P9に切られる	
721	MC50	30.4	27.2	10.7	隅丸方形	b		
722	MC49 MC50	41.2	34.0	26.8	隅丸方形	b		
723	MC49	31.2	29.2	16.6	長方形	b		
724	MC49	24.8	20.0	18.7	長方形	b	725を切る	
725	MC49	(28.8)	(26.4)	33.3	略円形	b	724に切られる	
726	MC49	40.4	37.2	19.7	長方形	b		
727	MC49	21.6	20.0	29.8	略円形	b		
728	MC49	29.6	28.0	20.6	長方形	b		
729	MC49	23.2	20.8	26.4	略円形	b		土師器(坏8.3g)
731	MC49 MD49	30.0	21.6	18.3	楕円形	b		
732	MC50 MD50	26.8	24.8	23.3	隅丸方形	a	733を切る	土師器(坏2.0g)
733	MD50	(31.6)	30.0	32.7	略円形	a	732に切られる	
734	MD50	31.2	26.8	12.5	楕円形	a		
735	MC50	23.2	20.8	10.7	略円形	b		
741	MD50	18.4	15.6	7.5	略円形	b		
743	MD49 MD50	22.0	18.8	11.8	略円形	b		
744	MD50	(28.0)	(24.0)	26.5	隅丸方形	b	SB87-P8に切られる	
745	MD49 MD50	24.8	24.0	17.9	正方形	b		
746	MC50 MD50	32.4	30.0	38.2	隅丸方形	b		
747	MD49	32.8	31.2	21.8	隅丸方形	b		
748	MD49	18.4	18.0	20.2	隅丸方形	a	SB86-P8を切る	
749	MD49	28.0	20.8	22.1	長方形	b		
750	MD49	30.4	28.0	14.0	長方形	b		
751	MD49	27.6	22.8	20.9	隅丸方形	b		
752	MD49	23.2	19.2	18.7	略円形	b		
753	MC49	37.6	20.8	13.5	楕円形	b		
756	ME51	16.8	14.4	66.3	楕円形	b		
757	ME50	30.0	30.0	31.4	正方形	b		
758	ME50	16.0	15.2	10.9	略円形	b		
759	MB49	34.0	29.2	37.5	長方形	b		板材(11.0g)
760	MB50	24.0	24.0	23.1	略円形	b		
761	MB50	24.0	23.6	4.3	隅丸方形	a		
762	MB49 MB50	21.6	20.8	14.6	略円形	a		
763	MB49	(30.0)	(28.0)	31.4	楕円形	b	SB92-P6、1597に切られる	

第4章 調査の記録

第8表 家ノ浦遺跡柱穴様ピット一覧表(7)

SKP 番号	グリッド	長径 (cm)	短径 (cm)	深さ (cm)	平面形	時期	新旧関係	出土遺物等
766	MB49	30.0	26.8	32.2	略円形	a	SK13を切る	
767	MC49	24.0	24.0	16.6	正方形	a		土師器(坏2.8g)
769	MA48	22.4	19.2	16.9	隅丸方形	a	SK44を切る	
770	MA48	30.0	28.0	45.6	隅丸方形	a	SK44を切る	
771	LT48	26.0	24.4	8.8	長方形	a	SB94-P8、1251を切る	
772	MA48	20.8	18.4	11.8	略円形	a	SK44を切る	
773	MA48	16.8	16.4	10.8	隅丸方形	b		
774	MA48	18.8	16.8	16.7	隅丸方形	b		
776	MC49	22.8	(15.2)	2.6	隅丸方形	b	SB92-P8、505に切られる	
777	MA47	26.0	20.8	18.2	長方形	b		
778	MA47	22.4	20.8	15.0	略円形	a	SD46を切る	
779	MA47	24.8	20.0	18.0	略円形	b		
780	MA47	19.6	18.4	12.3	略円形	b		
781	LT53	41.6	30.0	28.0	隅丸方形	b	782に切られる	
782	LT53	32.0	24.8	47.7	隅丸方形	b	781、783を切る	
783	LT53	(26.4)	(26.0)	16.4	隅丸方形	b	782に切られる	
784	LT53	23.2	20.0	6.0	隅丸方形	b		
785	LT52	LT53	17.2	16.0	6.8	隅丸方形	b	
786	LT52	28.8	22.4	30.4	楕円形	b		
787	LT52	32.8	31.2	32.0	略円形	b		
788	LT52	34.0	20.4	33.2	楕円形	b		
789	LT52	37.6	24.8	27.2	楕円形	b		
791	LT52	23.2	20.8	22.5	略円形	b		
792	LT52	22.0	20.4	6.4	略円形	b		
793	LT52	24.4	22.0	24.1	隅丸方形	b		
794	LT52	18.0	12.8	13.5	隅丸方形	a		
796	LT52	38.0	36.0	39.6	略円形	a	1579を切る	土師器(坏48.5g)
799	LT51	(26.0)	(24.4)	18.1	略円形	b	1581に切られる	
800	LT51	20.4	18.4	14.5	略円形	a		
801	MA47	22.8	22.8	13.7	略円形	a		
802	MA47	14.0	10.4	9.3	略円形	a		
803	LT47	30.4	26.4	14.0	楕円形	b		
804	LT47	24.0	20.8	11.4	略円形	a		
805	LT47	38.8	36.0	24.9	略円形	a		
807	MA47	32.0	30.8	19.0	略円形	b	808を切る	
808	MA47	22.4	(17.2)	7.3	長方形	b	807に切られる	
809	MA47	MB47	26.4	20.8	20.7	長方形	b	
810	MB48	20.0	17.6	23.5	略円形	b		
811	MB48	28.8	21.2	18.4	長方形	b		
812	MB48	38.0	27.6	18.3	長方形	b		
813	MB48	34.8	19.2	17.5	長方形	b		
814	MB48	20.0	18.4	23.6	隅丸方形	b		
815	MB48	24.4	20.4	20.7	長方形	b		
816	MB48	20.8	17.2	23.2	略円形	b		土師器(坏2.6g)
817	MB47	26.8	22.4	21.0	隅丸方形	b		
818	MC48	(10.8)	(10.4)	17.2	略円形	a	SD46を切り、211に切られる	
819	MC48	MB48	10.4	10.0	16.0	隅丸方形	b	
820	MC48	18.4	18.0	13.7	正方形	a	SD46を切る	
821	MC48	30.0	24.0	35.8	長方形	b		
822	MC48	29.2	20.0	25.0	楕円形	a		
823	MD49	32.0	20.0	35.6	楕円形	a		土師器(坏9.6g)
825	MA47	20.0	18.8	9.5	略円形	b		土師器(坏2.1g)
826	MA47	23.6	20.8	10.0	略円形	a		
827	MA50	20.8	20.4	8.0	隅丸方形	a		
828	MA49	16.0	16.0	10.1	略円形	a		
832	MA49	20.0	18.0	22.6	隅丸方形	b	833を切る	
833	MA49	(28.0)	(27.2)	25.9	隅丸方形	b	832に切られる	土師器(坏12.0g)
834	MA49	23.2	19.6	3.7	略円形	a		
835	MB45	27.6	24.0	23.5	略円形	a		土師器(坏6.9g)、釘(36.4g) 第74図1285、釘(3.7g) 第74図1286
838	MA49	18.0	17.2	26.3	略円形	b		
839	MA48	16.4	15.2	16.2	略円形	b		土師器(坏1.2g)
843	LT49	20.0	18.8	19.3	略円形	a		
845	LT47	19.2	16.0	8.0	略円形	b		
846	LT47	25.2	15.2	12.0	長方形	b		
847	MA47	23.2	16.8	8.9	隅丸方形	b	SD61を切る	
848	LS50	22.4	22.0	13.0	隅丸方形	b		鍛冶滓(234.0g)、炭化物(52.0g)
849	LS50	17.2	12.8	18.1	楕円形	a	SK77を切る	羽口?(2.7g)、鍛冶滓(39.0g)
850	LS49	28.0	24.4	23.9	略円形	b	SK76を切る	鍛冶滓(86.0g)
851	LS49	25.2	20.8	29.1	略円形	b		
852	LT46	20.0	16.8	23.7	略円形	b		
853	LT46	22.0	22.0	22.6	略円形	b		
854	LT46	(19.6)	(14.8)	1.0	略円形	a		基本土層A-B断面
855	LT46	30.8	18.4	4.8	長方形	b		
856	MA46	18.0	16.8	24.4	略円形	b		
857	MA46	22.0	16.0	26.3	楕円形	b		
858	MA46	(21.6)	(19.6)	13.9	略円形	b	859に切られる	
859	MA46	18.4	16.0	14.2	略円形	b	858を切る	
861	MC45	12.4	6.4	41.1	楕円形	a	SK51を切る	
862	MC45	21.6	20.4	22.5	隅丸方形	a	SK50を切る	
863	MC45	21.2	19.2	29.8	略円形	a	SK50を切る	
864	MC45	22.8	18.8	21.0	略円形	a		
865	MC45	22.4	18.0	26.0	隅丸方形	a		
866	MC45	19.6	17.6	32.9	略円形	a		
867	MC45	21.2	20.8	24.4	略円形	a		
868	MC45	15.6	15.2	25.7	略円形	a		
869	MC45	24.0	22.0	15.1	長方形	a	SK54を切る	
870	MC45	21.2	11.2	34.8	隅丸方形	a		
871	MC45	26.4	24.4	27.2	略円形	a		
872	MC45	28.0	27.2	40.1	略円形	a		
873	MA43	22.8	19.6	22.8	隅丸方形	a		
874	MA43	25.5	18.6	6.8	隅丸方形	a	SK59を切る	須恵器系陶器(播り鉢52.8g) 第73図1280

第9表 家ノ浦遺跡柱穴様ピット一覧表(8)

SKP 番号	グリッド	長径 (cm)	短径 (cm)	深さ (cm)	平面形	時期	新旧関係	出土遺物等
875	MA43 MA44	(24.9)	19.5	9.6	長方形	a	SB81-P6に切られる	
877	MA43	26.4	26.0	30.6	正方形	a		
878	MA43	31.6	24.8	41.6	楕円形	a		釘(11.6g) 第74図1287
879	MA43	20.0	16.8	11.1	略円形	a		
880	MB43	15.6	14.8	10.9	略円形	a		
881	MB43	40.8	27.2	3.7	長方形	b		
885	MB43	(26.0)	(20.8)	9.1	隅丸方形	a	894に切られる	
886	MB43 MB44	35.6	25.2	48.1	楕円形	a		
887	MB44	23.2	18.8	12.3	略円形	a		
888	MB44	44.8	34.8	48.1	楕円形	a		
889	MB44	30.0	26.4	21.9	隅丸方形	a		
891	MA43	20.0	18.4	7.2	略円形	a		
892	MB43	25.2	20.4	26.4	楕円形	a		
893	MB43	42.0	36.4	27.6	略円形	a		
894	MB43	22.4	21.2	8.6	隅丸方形	a	885を切る	
895	MB43	20.8	19.2	11.4	略円形	a		
896	MB43	30.0	27.6	44.1	略円形	a		開元通寶 第74図1295、皇宗通寶 第74図1296、治平元寶 第74図1297
897	MB44	22.0	19.6	23.4	略円形	a		
898	MB44	27.2	24.0	25.3	隅丸方形	a		
899	MB44	20.0	17.6	10.7	略円形	a		
900	MB44	30.0	24.0	13.4	楕円形	a		
901	MB44	33.6	30.0	45.3	略円形	a	1655を切る	
902	MB44	29.2	25.2	19.8	楕円形	a	1594を切る	
903	MB44	20.8	21.2	41.1	略円形	a		
904	MB44	19.6	17.6	12.4	略円形	b		
905	MB44	22.0	21.2	29.8	略円形	a		
906	MB44	32.8	25.2	23.7	楕円形	a		
909	MB44	35.2	25.6	12.0	楕円形	b		
910	MB44 MB45	21.6	16.0	23.4	隅丸方形	b		
911	MA43	(36.0)	(24.4)	27.7	長方形	a	SK59に切られる	
912	MA43	20.4	19.6	18.1	隅丸方形	a	SK29を切る	
913	MA45 MA46	23.2	22.4	14.7	略円形	b		
914	MA45 MA46	32.0	30.0	30.7	略円形	b		
915	MA45	22.4	22.0	12.5	略円形	a		
916	MA46	19.6	18.4	25.0	隅丸方形	a		
917	MA45	(22.0)	(21.6)	24.7	略円形	b	1101に切られる	
918	MA43 MA44	24.0	24.0	29.9	正方形	a		
919	MA43 MB43 MA44 MB44	36.8	23.6	53.7	楕円形	a		
921	MB45 MC45	22.4	16.0	13.5	楕円形	a		
922	MB45	28.0	23.2	11.0	隅丸方形	a		
923	MB45	(23.2)	(20.4)	17.8	略円形	a	924に切られる	
924	MB45	28.4	25.6	22.0	隅丸方形	a	923を切る	
925	MB45	20.0	19.6	16.8	略円形	b		
926	MB45 MB46	28.0	22.8	17.0	楕円形	b		
927	MB45	28.4	25.2	21.9	隅丸方形	b		
928	MB45 MB46	20.0	18.0	12.8	略円形	b		
929	MB45	26.0	24.0	26.9	略円形	b		
930	MB45	25.6	24.4	27.4	略円形	b		
931	MB45 MB46	27.6	24.0	27.7	隅丸方形	b		
932	MB46	21.6	19.6	5.6	隅丸方形	a		
933	MB45	34.0	32.0	34.4	隅丸方形	a	934を切る	
934	MB45	(26.8)	(18.0)	21.4	隅丸方形	b	933に切られる	
935	MA45 MB45	28.4	28.0	9.1	隅丸方形	b	936を切る	
936	MA45	(24.0)	(23.2)	29.0	隅丸方形	b	935に切られる	
937	MB45	23.2	20.8	30.4	略円形	b		
938	MB45	25.2	22.4	25.7	長方形	b		
939	MB45	28.0	20.8	30.7	楕円形	b		
940	MB45	24.8	24.0	21.1	略円形	b		
941	MB45	29.2	19.6	15.1	隅丸方形	b		
943	MB45	24.0	23.2	30.4	略円形	a		
944	MB45	17.2	14.4	13.1	隅丸方形	b		
945	MB45	14.8	14.4	9.3	略円形	b		
946	MB45	28.0	19.6	3.2	長方形	b		
947	MA45	19.6	18.0	40.0	隅丸方形	b	SK72を切り、1054に切られる	
948	MA45	23.6	20.0	30.0	略円形	b	SK72、949を切り、1671に切られる	
949	MA45	(21.6)	(18.4)	9.0	略円形	b	SK72を切り、948、1671に切られる	
950	MA45	25.0	25.0	28.9	隅丸方形	a	SK72を切る	
951	MC52 MD52	24.4	18.0	19.3	楕円形	b		
952	MC52 MD52	24.8	22.0	14.9	略円形	b		
953	MD52	24.0	20.8	17.2	長方形	b		
954	MD52	30.4	28.4	31.3	隅丸方形	b		
955	MD52 MD53	24.0	22.0	7.6	略円形	b		
956	MB54	28.0	23.2	121.9	隅丸方形	b	1584を切る	
957	MB54	24.0	22.0	112.1	略円形	b		
958	MA54	23.2	20.0	15.0	略円形	b		
959	MA54	22.4	20.4	12.4	隅丸方形	b		
965	LT51	14.4	12.0	26.8	隅丸方形	b		
966	LT51	17.6	14.0	23.9	略円形	b		
968	LS51 LT51	32.8	24.8	14.4	楕円形	b		
969	LT51	16.0	15.2	9.6	略円形	b		
970	MB44 MB45	18.0	12.8	7.2	隅丸方形	b		
971	MB44 MB45	29.2	28.0	30.0	隅丸方形	b		
972	LS51	32.0	22.0	13.3	隅丸方形	b		
973	LS51	28.8	26.0	24.7	略円形	b		
975	LS51	42.0	39.2	24.9	略円形	b		
976	LR51 LS51	24.0	21.6	24.2	略円形	b		
977	LS51	22.0	18.0	20.0	楕円形	b	1585を切る	
978	LS51	21.2	20.8	30.4	略円形	b		
980	LS51	21.6	20.0	41.3	略円形	b		
981	MA44	30.8	30.0	50.0	略円形	a		

第4章 調査の記録

第10表 家ノ浦遺跡柱穴様ピット一覧表(9)

SKP 番号	グリッド	長径 (cm)	短径 (cm)	深さ (cm)	平面形	時期	新旧関係	出土遺物等
982	MB45	21.6	18.8	(15.1)	略円形	a	1586を切り、983に切られる	
983	MB45	25.6	24.0	54.1	略円形	a	982、1586を切る	
984	MB45	22.0	18.4	12.5	略円形	a		
985	MB45	32.0	17.2	15.5	略円形	a	SK57を切る	
986	MB45	28.4	17.6	20.7	隅丸方形	a		
987	MB45 MC45	23.2	21.2	9.8	略円形	a		
988	MB45	37.2	24.4	20.8	長方形	a		
989	MB45 MC45	24.0	23.2	29.4	隅丸方形	a		
990	MB45	21.2	19.2	30.9	略円形	b		
991	MB45	24.4	18.4	25.4	楕円形	a		
992	MB45	28.0	25.6	22.8	略円形	a		
993	MC45	30.0	29.2	27.5	略円形	b		
994	MC45	30.0	30.0	48.3	正方形	b		
995	MC44 MC45	36.0	24.0	16.2	長方形	b		
996	MC44 MC45	22.0	22.0	40.1	略円形	b		
997	MC45	26.8	24.0	13.0	略円形	a		
998	MC45	24.4	24.4	77.9	略円形	b		
999	MC45	21.2	18.0	14.6	略円形	a	SK50を切る	
1000	MC45	14.0	12.0	55.3	略円形	a	SK50を切る	
1001	LS51	29.6	24.0	12.8	隅丸方形	a		
1002	LS51	24.0	23.6	25.5	略円形	b		
1003	LS51	32.4	26.8	34.4	略円形	b		
1004	LS51	23.6	22.0	24.0	略円形	b		
1005	LS51	24.0	20.8	18.7	略円形	b		
1006	LS51	(32.0)	(30.0)	39.9	略円形	b	SB99-P6に切られる	
1007	LS51	(22.0)	(20.0)	37.5	略円形	b	1552に切られる	
1008	LS51	38.0	33.2	37.5	楕円形	b		
1010	LR51	31.6	26.4	31.7	隅丸方形	b		
1011	LR51	29.6	24.0	32.9	楕円形	b		
1012	LS50 LS51	25.6	25.2	36.5	略円形	b		
1013	LS50	22.0	19.6	18.0	略円形	a		
1014	LS50	22.4	20.0	23.2	略円形	a		
1015	LS50	26.4	24.8	35.7	略円形	b		
1016	LS50	40.0	32.0	45.3	楕円形	b		
1017	LS50	26.4	26.0	31.9	略円形	b		
1018	LS50	(40.0)	(30.0)	10.8	楕円形	b	1603に切られる	
1019	LS50	24.0	22.8	37.1	隅丸方形	b		
1020	LS50 LT50	35.2	26.4	21.1	楕円形	b		
1022	LS50 LT50	25.2	18.8	25.4	楕円形	b		
1024	LS50	23.2	19.6	37.0	略円形	b		
1025	LS50	18.4	14.4	21.2	長方形	a		
1026	LS50	32.0	29.2	33.9	略円形	a		鍛冶滓(88.0g)
1027	LR50 LR51	34.0	24.4	29.7	楕円形	b		
1028	LR50	(27.6)	(25.2)	9.0	略円形	b	1553に切られる	
1029	LR50	20.0	18.4	35.5	隅丸方形	b		
1030	LR50	30.8	28.4	18.7	略円形	a		
1031	LR50	25.2	20.0	25.5	楕円形	b		
1032	LR50 LS50	(44.0)	(37.2)	23.2	楕円形	b	1554に切られる	
1033	LR50	20.8	20.4	19.2	略円形	b		
1034	LR50	28.0	21.2	30.5	略円形	b		
1035	LR50	19.6	19.6	18.0	隅丸方形	a		
1036	LR50	20.8	20.4	47.0	略円形	b		
1037	LR49 LR50	20.0	20.0	18.2	隅丸方形	a		
1038	LR49	23.6	20.4	22.4	略円形	b		
1039	LR49	22.0	22.0	23.7	略円形	b		
1040	LR49	20.8	20.8	11.6	略円形	a		
1042	MA45	32.0	26.8	40.8	略円形	b		
1043	MA45 MB45	36.4	25.2	38.6	隅丸方形	a		
1044	MA45	25.6	24.0	25.6	隅丸方形	a		
1045	MB46	24.0	24.0	9.2	略円形	b		
1046	MB46	30.0	18.0	17.6	隅丸方形	b		
1047	MB46	22.4	22.4	14.7	隅丸方形	b		
1048	MB46	14.0	12.8	19.6	隅丸方形	b		
1049	MB47	16.0	14.8	13.8	略円形	a		
1051	MB45	24.0	24.0	24.6	正方形	b		須恵器(甕74.3g)
1052	MB47	15.2	13.2	8.7	略円形	b	SD56を切る	
1053	MA45	14.4	13.6	5.1	略円形	b	SK72を切る	
1054	MA45	20.0	19.2	33.1	略円形	a	SK72、947を切る	
1055	MA46	28.0	14.8	17.4	楕円形	b		
1056	MA46	43.2	32.0	49.6	楕円形	a		
1057	LT46	22.4	18.4	21.9	略円形	b		
1058	LT46	22.4	17.2	13.6	略円形	a		
1059	MA45	26.4	24.0	24.9	略円形	b		
1062	LS49	37.2	34.8	33.9	略円形	a	SD79を切る	
1063	LS49	36.4	24.0	27.5	楕円形	a		
1064	LS49	(36.0)	(27.6)	4.7	楕円形	a	1556に切られる	鍛冶滓(21.6g)
1066	LS49	22.4	21.2	25.7	隅丸方形	a		
1067	LS49	23.2	16.4	13.2	長方形	a		
1068	LS49	16.0	15.2	9.5	略円形	a		
1070	LS48	(48.0)	(46.0)	11.3	隅丸方形	a	1557に切られる	
1072	LS49	18.0	12.8	9.4	楕円形	b		
1073	LS49	12.4	11.2	6.8	略円形	b		土師器(坏8.4g)
1074	LS49	20.4	17.6	18.3	略円形	b		
1075	LS49	18.0	18.0	22.2	略円形	a		
1076	LS49	20.0	19.6	76.4	隅丸方形	a		
1077	LS48 LS49	18.4	16.4	12.3	略円形	b		
1078	LS48	18.4	16.0	15.5	略円形	b		
1079	LS48	22.0	21.6	10.2	略円形	b		
1080	LS48	24.8	22.0	10.9	略円形	b		
1081	LS48	21.2	19.2	29.4	略円形	b		
1082	LS48	26.4	26.0	24.7	略円形	b		

第11表 家ノ浦遺跡柱穴様ピット一覧表(10)

SKP 番号	グリッド	長径 (cm)	短径 (cm)	深さ (cm)	平面形	時期	新旧関係	出土遺物等
1083	LS48	22.0	17.6	17.9	隅丸方形	b		
1085	LS48	24.0	20.4	25.3	略円形	a	SD62を切る	
1086	LS48	(24.4)	(22.4)	9.7	楕円形	b	SD62を切り、1558に切られる	
1087	LS48	16.0	16.0	12.6	隅丸方形	a	SD67を切る	
1089	LS48	20.0	20.0	14.3	略円形	b		
1090	LS48	13.6	13.6	8.7	略円形	b		
1091	LR49	22.4	22.0	13.5	隅丸方形	b		
1092	LR49	25.6	24.8	18.6	隅丸方形	a		
1093	LR48	30.0	25.2	27.4	隅丸方形	b		
1094	LR48	19.2	17.2	47.5	略円形	b		
1095	LR48	22.0	22.0	41.6	略円形	b		
1096	LR48	20.0	13.2	23.5	楕円形	b		
1097	LR48	15.6	15.2	11.4	略円形	b		
1098	LR48	25.2	22.4	14.5	長方形	b		
1099	LR48 LS48	22.4	19.6	13.3	隅丸方形	b		
1100	LS48 LS49	34.0	32.0	13.5	略円形	a	SD67を切る	
1101	MA45	31.6	25.2	27.7	楕円形	b	917を切る	
1102	MA45	18.4	18.4	10.4	隅丸方形	b		土師器(甕8.1g)
1104	MA45	24.0	21.2	8.8	隅丸方形	b		
1105	MA45	15.6	13.2	5.4	隅丸方形	b		
1106	MA45	27.6	24.8	24.2	隅丸方形	b		
1107	MA45	22.0	19.6	11.0	隅丸方形	b		
1111	LT45	22.4	20.4	34.3	略円形	b		
1112	LT45	22.8	20.8	33.3	略円形	b		須恵器(坏13.2g)
1113	LT45	18.4	16.0	22.4	略円形	b		
1114	LT45	26.0	24.4	47.0	略円形	b		
1115	LT45	24.0	16.8	25.9	楕円形	b		
1116	LT45	21.2	18.0	19.3	略円形	b		
1117	LT45	24.0	24.0	21.2	略円形	b		土師器(坏2.2g)
1118	LT45	22.0	18.8	27.9	略円形	b		
1119	LT45	22.0	20.8	27.4	略円形	b		
1120	LT44 LT45	28.0	26.0	10.0	略円形	b		
1121	MB43	12.0	10.4	19.3	略円形	b		
1122	MB43	14.4	14.0	9.4	略円形	b		
1123	MB43	20.8	18.0	5.8	略円形	b		
1124	MA44	36.0	36.0	27.3	隅丸方形	a	SK73を切る	
1125	MA44	26.0	25.2	13.9	略円形	a	SK73を切る	
1126	MA44	22.0	20.8	25.5	隅丸方形	a	SK73を切る	
1127	MA45	20.8	18.8	30.0	略円形	a	SK73を切る	
1129	MA44	21.2	20.8	13.0	略円形	a		
1131	MA44	20.8	20.0	17.6	隅丸方形	b		
1133	MA44	16.0	16.0	7.6	略円形	b		
1134	MA44	22.0	19.6	15.4	隅丸方形	a	SB80-P9を切る	
1136	MA44	32.0	28.8	38.5	隅丸方形	a		
1137	MA44	24.0	22.0	7.9	略円形	b		
1138	MA44	26.8	26.0	22.8	略円形	b		土師器(坏1.7g)
1139	MA44	20.0	19.6	15.9	略円形	b		
1140	MA44	28.0	25.2	17.3	略円形	a		
1142	LS47	20.0	17.6	8.6	隅丸方形	b		
1143	LR47	22.0	20.8	31.9	略円形	b		
1144	LR47	46.0	44.8	31.0	略円形	b		
1145	LR47	16.8	12.4	15.6	楕円形	a		
1146	LR47	15.6	12.4	9.9	略円形	a		
1147	LR47	24.0	24.0	12.6	略円形	a		
1148	LS47	18.4	15.2	29.3	略円形	a		
1149	LS47	19.2	17.2	16.3	略円形	a		
1150	LR46	28.0	25.6	19.5	略円形	a		
1151	LS46	26.0	12.8	19.8	楕円形	a		
1152	LS46	18.0	16.8	17.2	略円形	a		
1153	LS47	21.6	20.0	29.9	略円形	a		
1154	LS47	28.8	26.0	27.0	楕円形	a		
1155	LS47	23.2	22.0	31.5	略円形	a		
1156	LS47	20.0	18.4	11.2	略円形	a		
1157	LS47	30.4	30.0	32.3	略円形	b		
1158	LS47	27.2	22.0	18.4	楕円形	b		
1159	LS47	22.4	22.0	11.9	略円形	a		
1160	LS47	23.2	18.0	25.4	楕円形	b		土師器(甕15.9g)、須恵器(甕33.8g)
1162	LS49	33.6	30.0	25.9	隅丸方形	a		須恵器(甕11.2g)
1163	LS46	23.2	20.8	26.6	略円形	b		土師器(坏20.8g)
1164	LT45	24.0	20.8	27.0	隅丸方形	a		
1165	LS45	40.4	38.4	47.5	略円形	b		
1166	LT45	19.2	18.8	22.2	隅丸方形	a		
1167	LT44 LT45	33.6	31.2	15.5	略円形	a		
1168	LS44 LT44	41.2	34.0	52.2	隅丸方形	b		土師器(坏10.1g)
1169	LT44	(21.6)	(18.4)	35.7	楕円形	b	1260に切られる	
1170	LT44	22.0	22.0	20.0	略円形	b		
1171	LT44	28.0	(25.2)	13.8	略円形	b	1560に切られる	
1172	LT44	22.8	22.4	27.9	略円形	b	1560を切る	
1173	LT44	24.0	20.8	13.7	略円形	b		
1174	LS44 LS45	32.0	31.6	23.5	略円形	a	SD55を切る	土師器(坏2.3g)
1175	LS44 LS45	18.4	18.0	19.3	略円形	a	SD56を切る	
1176	LS44 LT44	20.0	18.4	39.5	略円形	b		
1177	LR44 LS44	34.4	34.0	24.5	略円形	a	SD55を切る	
1178	LS44	24.8	24.0	13.3	略円形	a		
1179	LS44	28.0	24.8	11.3	略円形	a		
1180	LS45	23.2	23.2	99.2	略円形	a	SD56を切る	須恵器系陶器(甕152.3g)
1181	MA44	(32.8)	(32.4)	32.6	略円形	b	SB82-P2に切られる	
1183	MA44	28.0	22.0	10.7	隅丸方形	a	1184を切る	土師器(坏1.8g)
1184	MA44	28.0	(21.2)	10.9	楕円形	a	1183に切られる	
1185	MA44	40.0	34.0	33.4	略円形	a	1186を切る	
1186	MA44	42.0	(34.4)	41.0	楕円形	a	1185に切られる	

第4章 調査の記録

第12表 家ノ浦遺跡柱穴様ピット一覧表(11)

SKP 番号	グリッド	長径 (cm)	短径 (cm)	深さ (cm)	平面形	時期	新旧関係	出土遺物等
1189	MA44	23.2	22.4	20.2	略円形	a	1190を切る	土師器(坏4.8g)
1190	MA44	(26.0)	(24.8)	22.2	隅丸方形	b	1189に切られる	
1191	MA44	26.4	23.6	36.6	略円形	b		
1192	MA44	26.0	22.8	10.0	隅丸方形	a		
1193	MA44	(24.0)	(20.4)	16.5	隅丸方形	a	1194に切られる	
1194	MA44	28.8	24.0	21.7	隅丸方形	a	1193を切る	
1197	MA44	28.8	28.0	27.4	隅丸方形	a		
1198	MA44	24.4	24.0	4.8	隅丸方形	a		
1199	MA44	26.4	26.0	13.6	略円形	a		土師器(坏2.2g)
1201	MA44	21.2	20.8	35.9	略円形	b		
1202	MA44	20.8	20.0	13.1	略円形	b		
1203	MA44	22.0	20.8	23.3	略円形	a	SB80-P8を切る	
1205	MA44	26.0	24.4	26.1	略円形	a	1206を切る	
1206	MA44	(25.6)	(17.6)	17.8	長方形	a	1205に切られる	
1207	MA44	15.2	11.2	4.2	略円形	a		
1209	MA44	29.6	25.2	28.9	楕円形	b		
1210	MA44	20.0	20.0	12.2	隅丸方形	a		
1212	MA44	(28.8)	(28.4)	26.7	略円形	b		土師器(坏5.6g)
1214	MA44	(36.0)	(32.4)	16.6	略円形	b	SB82-P6、1215に切られる	
1215	MA44	(36.0)	(32.4)	41.3	略円形	b	1214を切り、1216に切られる	
1216	MA44	(21.6)	(20.0)	13.2	略円形	a	1215を切る	
1217	MA43	31.6	29.2	22.1	隅丸方形	b		
1218	MA43	20.8	20.4	17.3	略円形	a		
1219	MA43	22.4	20.4	16.6	隅丸方形	b		
1221	LT44	(24.0)	(24.0)	57.6	略円形	b	1222に切られる	
1222	LT44	20.4	16.4	27.2	略円形	a	1221を切る	
1224	LT44	23.6	23.2	49.1	略円形	b		
1226	LT44	(38.0)	(16.0)	53.0	略円形	a		土師器(坏15.0g) 基本土層A-B断面
1227	LT44 MA44	24.0	20.0	14.1	隅丸方形	a		
1228	LT44	24.0	22.4	23.0	略円形	a		
1229	LT44 MA44	25.2	20.8	18.9	楕円形	a	1230を切る	
1230	LT44	(32.0)	(26.8)	17.1	長方形	a	1562を切り、1229に切られる	
1231	LT44	(39.2)	(34.8)	33.2	楕円形	a	1232、1233に切られる	
1232	LT44	23.6	21.2	21.0	略円形	a	1231、1233、1234を切る	
1233	LT44	33.6	32.0	42.9	略円形	a	1231、1234を切り、1232に切られる	
1234	LT44	(38.4)	(28.0)	36.4	楕円形	a	1232、1233に切られる	
1235	LT45	(16.0)	(5.2)	17.0	略円形	a		基本土層A-B断面
1236	LT44	25.6	23.2	21.0	略円形	a		基本土層A-B断面
1237	LT44	(19.6)	(11.2)	17.8	略円形	a		基本土層A-B断面
1240	LT44	(47.6)	(27.2)	42.8	略円形	a		基本土層A-B断面
1243	LT47	36.0	35.6	2.3	略円形	a	1244を切る	
1244	LS47 LT47	(46.4)	(39.2)	15.1	楕円形	b	1243、1245に切られる	須恵器(甗789.0g)
1245	LS47 LT47	54.8	49.2	16.6	略円形	a	1244を切る	
1246	LT49 LT50	24.8	22.8	25.1	略円形	b		
1247	LT49	26.4	23.6	23.5	略円形	b		
1248	LT49	26.0	20.4	22.2	楕円形	b		
1249	LT49	24.8	18.0	23.8	楕円形	b		
1250	LT48	21.2	19.6	12.2	略円形	b		
1251	LT48	(25.6)	(24.0)	20.9	略円形	b	771に切られる	
1253	LT47	(22.0)	(20.0)	8.8	楕円形	b	141、142に切られる	
1255	MA44	21.2	19.2	21.9	長方形	a	SB84-P4を切る	
1256	LS45	32.4	30.4	52.2	略円形	a	1564を切る	
1257	LS45	24.8	24.4	20.7	正方形	a		
1258	LS44	21.2	15.6	17.1	楕円形	b		
1259	LS44	50.4	42.4	37.3	楕円形	b		
1260	LS44 LT44	29.6	24.8	46.2	楕円形	b	1169を切る	
1261	LT44	26.0	25.2	10.5	略円形	b		
1262	LT44	(24.0)	(12.4)	7.8	略円形	a		南側境界外
1263	LS44 LT44	24.0	18.0	10.1	楕円形	a		
1264	LS44	40.0	35.6	25.9	楕円形	b		
1265	MC46	18.0	17.2	31.3	略円形	b		土師器(坏2.0g)、刀子(茎? 14.3g) 第74図1283
1266	MC46	22.0	20.8	37.1	略円形	b		
1267	MC46	24.0	23.6	47.3	略円形	b		
1268	MB46	22.0	22.0	5.0	隅丸方形	a		
1269	MB46	26.4	24.8	11.5	略円形	a		
1270	MB46	22.0	20.8	8.2	略円形	a		
1271	MB45 MB46	21.6	20.0	16.6	隅丸方形	b		
1272	MB45 MB46	28.4	28.0	19.7	略円形	b		
1273	MB45	27.2	20.8	18.0	隅丸方形	b		
1274	MB45	26.4	24.4	26.4	略円形	a		
1275	MB45	20.0	17.2	16.1	略円形	b		
1276	MB45	18.4	18.4	16.1	隅丸方形	b		
1277	MB45	16.8	12.8	26.3	略円形	b		
1278	MB45	22.4	20.0	21.1	略円形	b		
1279	MB45	26.4	23.6	36.2	略円形	b		
1280	MA46	24.0	18.8	32.9	楕円形	b		
1281	MA46	31.2	22.0	23.0	長方形	b		
1282	MD50	(17.6)	(16.0)	18.3	略円形	b	SB86-P2、SB87-P7に切られる	
1284	MD50	24.8	21.2	15.2	楕円形	b		土師器(坏1.3g)
1285	MD50	18.0	17.2	20.1	略円形	a	541を切る	
1287	ME50	18.0	18.0	4.5	略円形	b		
1288	MD50	16.0	14.4	30.4	略円形	b		
1289	MD49 MD50	22.4	20.4	21.3	略円形	b		
1291	LT47	24.0	22.0	26.0	隅丸方形	a		
1292	LS47	20.0	16.8	9.2	略円形	b		
1293	LS47 LT47	40.4	40.0	13.1	略円形	b		
1294	LS49	25.2	21.2	22.2	略円形	a	SD79、1565を切る	
1297	LS49	26.0	22.4	10.6	略円形	b		
1299	LS48	36.4	34.4	41.0	略円形	b	1567を切る	
1300	LT48	22.4	20.4	16.8	略円形	b		
1301	MA46	18.4	13.2	25.0	楕円形	a	SD55を切る	

第13表 家ノ浦遺跡柱穴様ピット一覧表(12)

SKP 番号	グリッド	長径 (cm)	短径 (cm)	深さ (cm)	平面形	時期	新旧関係	出土遺物等
1302	LT48 MA48	20.0	17.2	19.4	略円形	a	SD02を切る	
1303	MA48	21.2	20.0	27.2	略円形	a	SD02を切る	
1304	LT48	22.8	21.2	14.8	略円形	a		
1305	LT48	28.0	27.2	9.8	正方形	a		
1306	LT48	22.0	22.0	4.4	隅丸方形	a	SD02を切る	
1307	LS44	24.8	21.6	26.6	略円形	a		
1308	LT44	24.4	24.4	30.0	略円形	a		
1309	LS46	24.0	21.2	11.4	略円形	b		
1310	LR46 LS46	16.0	15.6	10.8	隅丸方形	b		
1311	LT44	22.0	20.0	30.6	略円形	b		
1313	LT44	24.0	21.2	42.0	略円形	b		
1314	LT44	(26.8)	(24.0)	28.0	略円形	a	SB84-P6、1315に切られる	
1315	LT44	(24.4)	(20.4)	42.0	略円形	a	1314を切り、SB82-P3に切られる	
1316	LT44	19.2	16.8	16.0	略円形	b	1317を切る	
1317	LT44	(30.8)	(26.0)	41.8	略円形	b	1316、SB82-P3に切られる	
1321	MA43	32.8	24.8	29.0	楕円形	a	SK59を切る	
1323	MA43	(34.0)	(22.8)	26.9	楕円形	b	1324を切り、SB83-P7に切られる	
1324	MA43	(23.6)	(22.0)	15.4	略円形	b	SB83-P7、1323に切られる	
1325	LT43	30.4	27.6	13.3	略円形	b		
1327	LT43	(25.2)	(12.8)	25.8	楕円形	b		土師器(坏138.9g 第73図1277、1278・甕55.8g・銅85.7g)・須恵器(坏20.2g・甕34.6g・壺22.4g)
1328	LT43	24.8	24.5	21.1	略円形	b		
1329	LT43	(29.6)	(10.0)	5.8	楕円形	b		南側境界断面
1330	LT43	25.6	21.2	29.5	楕円形	b		
1332	MC50	22.4	18.8	9.7	略円形	b		
1333	MC50	28.0	14.0	5.7	楕円形	b		土師器(甕25.0g)
1335	MC50	20.8	17.2	8.0	略円形	b		
1337	MC50	16.8	12.4	6.6	楕円形	b		
1338	MC51	19.6	18.8	10.8	略円形	b		
1341	MC50	20.0	17.2	9.7	略円形	b		
1342	MC50	19.6	18.4	7.7	略円形	b		
1344	MC50	22.0	19.2	5.3	略円形	b		
1345	MC50	26.0	26.0	6.9	隅丸方形	b		
1347	MC50	(18.4)	(18.0)	36.7	略円形	b	244に切られる	
1348	MC50	23.6	19.2	22.2	隅丸方形	a	244を切る	
1350	MC50	20.4	17.6	14.6	略円形	a		
1351	MC50	(35.2)	(28.8)	3.5	楕円形	b	709に切られる	
1352	MC49	18.0	16.0	6.6	略円形	b		
1353	MC49	20.0	19.2	7.7	略円形	b		
1355	MC49	(20.0)	(19.2)	28.7	略円形	b	SB92-P7に切られる	
1356	MC49	28.0	24.8	16.1	隅丸方形	b		
1358	MC49	20.0	16.8	13.9	略円形	b		
1359	MC49	18.0	16.8	5.9	略円形	b		
1360	MC49	19.2	16.4	7.9	略円形	b		
1361	MC49	22.0	20.8	7.1	隅丸方形	b		
1362	MC49	22.4	21.6	6.6	隅丸方形	a	SD09を切る	
1363	MC49	24.0	18.4	13.5	隅丸方形	a	SD09を切る	
1364	MC49	18.4	18.0	11.4	隅丸方形	a	SD02を切る	
1365	MC49	15.6	15.6	5.2	略円形	b		
1366	MC49 MD49	44.0	39.2	23.4	楕円形	b		
1367	MC49	19.6	19.0	6.5	略円形	b	502を切る	
1369	MC48	18.4	16.8	5.0	略円形	a	SD02を切る	
1370	MC48	20.0	18.4	4.8	略円形	b		
1371	MC48	17.6	16.0	8.2	略円形	b		
1372	MC48	19.2	18.4	10.5	略円形	b		
1373	MC48	19.2	16.0	10.6	略円形	b	1374を切る	
1374	MC48	(22.4)	(20.0)	11.2	略円形	b	1373に切られる	
1375	MB48	22.8	20.8	9.8	略円形	a	SK13を切る	
1376	MB48	24.8	21.2	9.9	略円形	a	SK13を切る	
1377	MB48	17.6	15.6	35.5	略円形	a	SK78・SD02を切る	
1378	MB49	(25.6)	(20.8)	19.0	楕円形	a	SK13を切り、1379に切られる	
1379	MB49	(16.8)	(15.6)	15.8	略円形	a	SK13、1378を切り、1380に切られる	
1380	MB49	20.0	20.0	14.6	略円形	a	SK13、1379を切る	
1381	MD50	23.6	21.6	14.1	略円形	b		
1382	MD50	(22.8)	(20.4)	15.1	長方形	b	SB86-P4に切られる	
1383	MD49	32.0	18.8	7.2	長方形	b		
1385	MD49	24.8	19.6	23.4	長方形	b		
1386	MD49	30.4	30.0	30.9	略円形	b		
1387	MD49	54.0	48.8	25.1	楕円形	b		
1388	MD49	20.0	19.2	16.5	隅丸方形	b		
1389	MD49	30.4	30.0	24.5	略円形	b		
1391	MD49	24.8	(18.0)	18.0	隅丸方形	a	1392に切られる	土師器(坏2.3g)
1392	MD49	18.0	16.0	11.6	略円形	a	1391を切る	須恵器(壺16.3g)
1393	MD49	16.0	15.6	23.1	略円形	a	SD02を切る	
1394	MD49	22.0	20.4	27.4	略円形	a	SD02を切る	
1395	MD49	21.2	20.8	17.9	略円形	b		土師器(坏5.6g)
1396	MD49	25.6	15.2	11.8	長方形	a		
1397	MD48	26.0	23.2	16.7	隅丸方形	a	SD46を切る	
1398	MB49	16.0	12.0	7.0	略円形	b		
1399	MB49 MC49	(23.2)	21.2	7.6	隅丸方形	b	SN30に切られる	
1400	MB49	10.4	10.4	5.2	略円形	b		
1401	LR53	50.8	32.8	52.2	楕円形	b		土師器(坏11.4g)
1402	LR53	34.0	30.8	19.6	略円形	b		
1403	LR53	24.4	22.0	22.7	略円形	b		
1404	LQ53	20.0	19.2	10.9	略円形	b		
1405	LQ53	26.0	17.2	2.4	楕円形	b		
1406	LQ52 LQ53	27.2	22.4	16.3	略円形	b		
1407	LR52	28.4	26.0	13.5	略円形	b		
1408	LR52	32.8	31.2	17.2	略円形	b		
1409	LS51	16.8	16.8	15.2	略円形	b		
1410	LS51	20.8	20.0	5.8	略円形	b		

第4章 調査の記録

第14表 家ノ浦遺跡柱穴様ピット一覧表(13)

SKP 番号	グリッド	長径 (cm)	短径 (cm)	深さ (cm)	平面形	時期	新旧関係	出土遺物等
1411	LS51	28.0	24.4	132.6	略円形	a		
1412	LT51	22.8	21.6	21.0	略円形	b		
1413	LR50 LR51	21.6	21.2	31.3	隅丸方形	b		
1414	LS45	18.8	16.8	21.6	略円形	b		
1415	LS45	34.0	27.2	15.6	楕円形	a		
1416	LS45	26.0	23.6	31.7	楕円形	b		
1417	LS51	30.4	29.6	22.0	隅丸方形	b		土師器(甕12.4g)
1418	LS51	32.4	30.4	25.4	隅丸方形	b	SB98-P8を切る	土師器(甕21.5g)
1419	LS50	26.0	25.2	30.0	略円形	b		
1420	LS50 LT50	41.2	39.6	42.8	略円形	b		
1421	MA50	32.4	30.8	0.0	略円形	a		
1422	ME49	24.4	20.0	22.9	隅丸方形	b		
1423	ME49	24.8	22.0	15.5	略円形	b		
1424	ME49	21.6	15.2	27.6	楕円形	b		
1425	ME50	23.2	20.8	10.3	隅丸方形	b		
1426	LR49 LR50 LS49 LS50	28.4	24.4	18.3	楕円形	b		
1427	LS49 LT49	30.8	30.0	24.9	略円形	b		土師器(坏8.9g)
1428	LS49	24.0	23.2	1.7	略円形	b	1624を切る	
1429	LS49	25.2	23.6	19.9	略円形	b		
1430	LS49	20.0	20.0	29.0	略円形	b		
1431	LT49	20.8	17.2	6.8	略円形	b		
1432	LR50	24.4	22.4	40.3	略円形	a		
1433	LR50	46.0	42.4	28.0	略円形	a		
1434	LR49 LR50	48.8	41.2	24.5	楕円形	b		
1435	LQ49 LR49	22.0	20.0	21.4	略円形	b		
1436	LR49	19.2	16.8	14.4	略円形	a		
1437	LR47	24.8	16.0	13.4	楕円形	b		
1438	LR47	32.0	26.0	31.1	楕円形	a		
1439	LR47	20.4	18.4	19.2	略円形	a		
1440	LR47	20.4	18.0	8.0	略円形	a		
1441	LR46	25.6	24.8	16.9	略円形	a		
1442	LR46	40.0	31.6	29.3	楕円形	a		
1443	LR46	22.0	20.4	19.2	略円形	b		
1444	LR45	23.2	21.2	6.2	略円形	b		
1445	LS46	44.0	40.8	21.5	楕円形	b		
1446	LQ50	22.8	19.2	25.5	略円形	b		
1447	LQ50	23.2	22.0	24.5	隅丸方形	b		
1448	LQ50	40.0	35.2	27.6	略円形	b		
1449	LQ50	36.0	28.4	7.6	楕円形	b		
1450	LQ50	22.0	20.0	12.6	略円形	b		
1451	LQ50	27.2	24.8	11.6	略円形	b		
1452	LQ50	27.2	24.4	37.6	略円形	a		
1453	LQ50	23.6	21.6	14.0	略円形	b		
1454	LQ50	33.2	20.0	8.7	楕円形	a		
1455	LQ50	28.0	26.0	15.5	隅丸方形	a		
1456	LQ49	22.8	20.8	16.1	略円形	b		
1457	LQ49	24.0	21.6	27.1	隅丸方形	a		
1458	LQ49	24.0	23.2	22.1	略円形	b		
1459	LQ49	22.8	20.4	17.7	略円形	b		
1460	LQ49	24.0	23.6	24.3	隅丸方形	a		
1461	LQ49	22.0	22.0	10.0	略円形	a		
1462	LQ49	42.0	34.0	8.7	楕円形	b		
1463	LP49 LQ49	26.0	22.8	11.9	略円形	b		
1464	LQ48	40.0	36.4	7.9	楕円形	b		
1465	LQ48	34.0	32.0	29.7	略円形	b		
1466	LQ48	18.0	16.0	4.9	略円形	b		
1467	LQ48	28.8	28.4	6.6	略円形	a		
1468	LQ48	18.4	17.2	30.9	略円形	a		
1469	LQ47 LQ48	23.6	22.4	16.6	隅丸方形	a		
1470	LQ47	22.0	17.2	25.5	楕円形	b		
1471	LQ47	27.2	24.4	15.7	略円形	b		
1472	LQ47	21.6	16.8	7.4	楕円形	a		
1473	LQ47	16.0	15.2	12.2	略円形	b		
1474	LQ46	32.0	29.2	16.4	隅丸方形	a		
1475	LQ46	18.0	18.0	12.7	略円形	b		
1476	LQ46	24.4	24.0	11.9	略円形	b		
1477	LQ51	22.0	17.2	0.4	楕円形	b		
1478	LQ50	19.6	16.8	15.3	略円形	b		
1479	LQ47 LR47	29.2	16.0	14.0	楕円形	b		
1480	LQ47	22.0	20.0	7.0	略円形	a		
1481	MB52	21.2	15.2	10.0	楕円形	a		
1482	LT52	42.4	33.6	38.0	楕円形	a		青磁(碗6.9g)第73図1279、須恵器系陶器(甕52.8g)第73図1281
1483	LT51 LT52	30.4	30.0	35.0	略円形	a	SB100-P8を切る	
1484	MA52	20.0	18.8	23.0	長方形	a		
1485	LS51	31.2	30.4	36.0	隅丸方形	b		
1486	LS51	28.4	23.6	15.0	楕円形	b		
1487	LR51	22.4	20.0	7.0	略円形	b		
1488	LT48	20.0	19.2	26.0	略円形	a		
1489	LR47 LS47	17.6	15.6	12.0	略円形	a		
1490	LR47	16.0	15.6	26.0	隅丸方形	a		
1491	LP47 LQ47	26.8	20.0	3.0	楕円形	b		
1492	LP47	17.2	16.0	4.0	略円形	b		
1493	LQ47	16.8	15.2	3.0	隅丸方形	a		
1494	LP46	18.0	16.8	6.0	略円形	b		
1495	LS49	(20.8)	(19.6)	33.0	略円形	b	1496に切られる	
1496	LS49	21.6	21.2	27.0	略円形	a	1495を切る	
1497	LS49	24.0	15.6	5.0	楕円形	a		
1498	LS49	28.8	28.4	5.0	略円形	a		
1499	LR50	21.6	20.4	16.0	略円形	b		
1500	LR46 LR47	23.2	21.6	36.0	略円形	a		

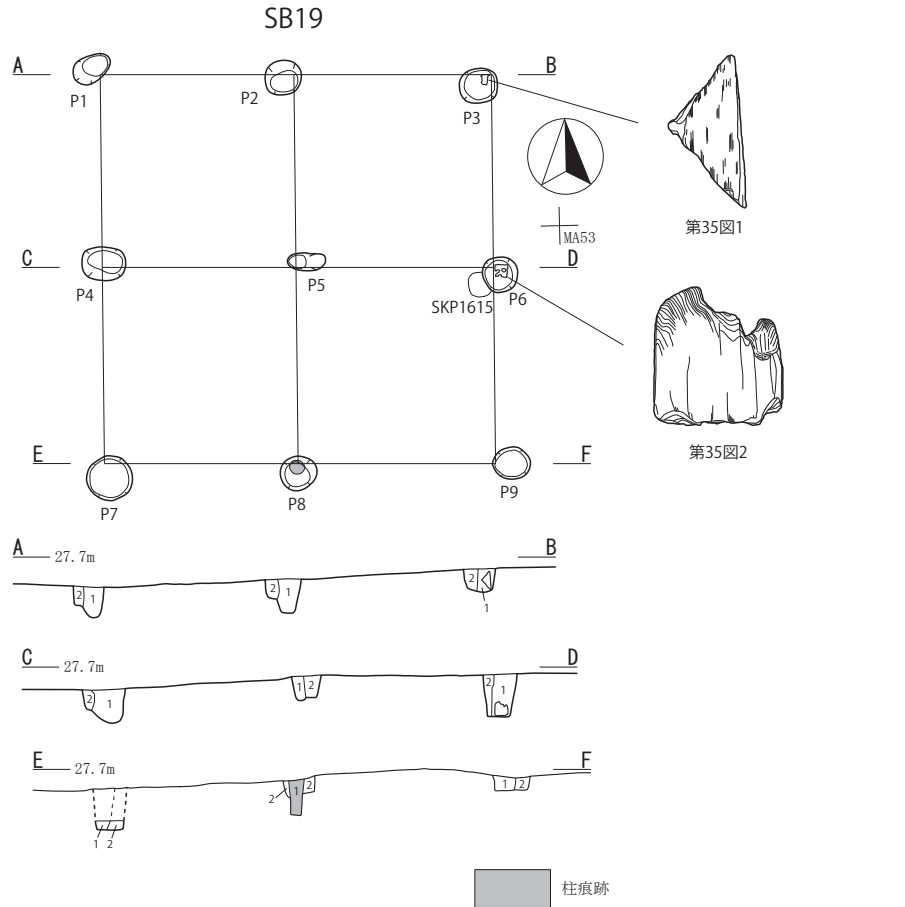
第15表 家ノ浦遺跡柱穴様ピット一覧表(14)

SKP 番号	グリッド	長径 (cm)	短径 (cm)	深さ (cm)	平面形	時期	新旧関係	出土遺物等	
1501	LR47	20.8	19.2	23.7	略円形	a			
1502	LR47	37.6	25.2	20.0	楕円形	a			
1503	LR47	28.0	16.0	23.0	楕円形	b			
1504	LS46	15.6	13.2	12.0	略円形	b			
1505	LS46	(28.0)	(25.2)	20.0	楕円形	a	1506に切られる		
1506	LS46	30.8	26.8	5.0	略円形	a	1505、1507を切る		
1507	LS46	(34.0)	(26.4)	13.0	長方形	a	1506に切られる		
1508	LS46	13.2	12.4	5.5	略円形	b			
1509	LS46	16.4	11.6	12.4	楕円形	b			
1510	LR46	17.6	15.6	27.0	略円形	b			
1511	LR46	14.0	11.2	7.0	隅丸方形	b			
1512	LR46	16.0	14.8	5.5	略円形	b			
1513	LR46	16.0	15.2	3.0	略円形	b			
1514	LQ46	LR46	24.0	23.2	12.0	略円形	b		
1515	LR45	20.0	19.2	13.7	略円形	b			
1516	LR45	22.0	17.6	17.0	楕円形	b			
1517	LR45	26.8	13.2	6.0	楕円形	b			
1518	LR45	13.6	12.0	9.5	略円形	b			
1552	LS51	34.0	34.0	37.7	隅丸方形	a	1007を切る		
1553	LR50	28.8	24.0	25.9	略円形	a	1028を切る		
1554	LR50	34.4	32.0	28.8	略円形	a	1032を切る		
1556	LS49	26.0	22.0	5.5	隅丸方形	a	1064を切る		
1557	LS48	47.6	32.8	19.6	楕円形	a	SD62、1070を切る		
1558	LS48	20.0	18.4	23.1	略円形	a	SD62、1086を切る		
1559	LS46	21.2	19.2	27.5	略円形	b			
1560	LT44	(28.4)	(24.0)	18.5	略円形	b	1171を切り、1172に切られる		
1562	LT44	(26.0)	(22.0)	18.9	楕円形	b	1230に切られる		
1563	LT47	(26.0)	(24.4)	22.1	略円形	b	141.142に切られる		
1564	LS45	(29.2)	(24.0)	30.7	楕円形	b	1256に切られる		
1565	LS49	(20.8)	(16.0)	13.4	楕円形	b	SD79を切り、1294に切られる		
1566	LS48	(21.2)	(18.0)	20.9	略円形	b	SB102-P2に切られる		
1567	LS48	(24.0)	(24.0)	21.3	略円形	b	1299に切られる		
1568	LR45	18.4	18.0	19.5	略円形	b			
1571	ME51	17.2	16.0	71.6	隅丸方形	b			
1572	MA52	(26.0)	(25.6)	19.3	略円形	b	493、1573に切られる		
1573	MA52	34.8	32.8	35.4	略円形	a	1572を切る		
1575	LQ54	28.0	26.8	37.4	隅丸方形	a	580を切る		
1576	LQ53	(28.0)	(27.2)	17.1	略円形	a	583に切られる		
1577	LQ52	(25.6)	(23.2)	30.9	略円形	b	598に切られる		
1578	LS52	(30.4)	(28.8)	47.5	略円形	b	SB101-P3に切られる		
1579	LT52	(44.0)	(36.0)	28.0	楕円形	a	1580を切り、796に切られる		
1580	LT52	(34.0)	(28.0)	28.9	楕円形	b	1579に切られる		
1581	LT51	(40.4)	(25.2)	26.5	楕円形	b	799を切り、1582に切られる		
1582	LS51	LT51	28.4	25.2	31.3	略円形	a	1581を切る	
1584	MB54	(34.0)	(29.2)	100.5	楕円形	b	956に切られる		
1585	LR51	LS51	(30.8)	(24.8)	0.0	楕円形	b	977に切られる	
1586	MB45	(48.8)	(34.0)	19.8	楕円形	b	982、983に切られる		
1587	MB44	22.0	18.4	9.1	略円形	a	SB80-P1を切る		
1589	MB44	27.2	22.4	29.2	楕円形	b			
1590	MB44	21.2	20.4	9.0	略円形	b			
1591	MB44	16.8	15.6	6.4	隅丸方形	a			
1592	MB44	26.4	26.4	15.0	正方形	b	1593を切る		
1593	MB44	(20.8)	(17.6)	5.0	略円形	b	1592に切られる		
1594	MB44	(36.8)	(33.2)	29.1	長方形	b	902に切られる		
1595	MB44	24.0	22.0	18.4	略円形	b			
1596	MB49	23.2	17.6	9.0	長方形	b	SD09に切られる。		
1597	MB49	20.0	17.2	14.2	略円形	b	763を切る		
1598	MB52	28.8	26.0	35.0	略円形	b			
1599	MB52	38.0	36.0	32.0	略円形	b			
1600	MB52	35.6	33.2	29.6	略円形	b	467を切る		
1601	MC52	17.6	14.0	29.3	略円形	b	SD11を切る		
1602	MC51	MC52	16.0	15.6	22.8	略円形	b	SD11を切る	
1603	LS50	20.0	16.4	32.5	略円形	a	1018を切る		
1604	LS50	42.0	33.6	45.4	楕円形	b			
1606	LR50	24.0	22.4	23.2	略円形	b			
1607	LS47	LS48	20.0	20.0	8.4	円形	b		
1608	LS45	33.6	24.0	0.7	楕円形	a	SD55を切る		
1609	MA56	26.0	23.2	17.5	隅丸方形	b	SD12を切る		
1610	MA53	20.8	20.0	21.2	略円形	b			
1611	MA52	MA53	28.0	25.2	28.3	略円形	a	1612を切る	
1612	MA52	MA53	(20.0)	(16.0)	9.0	略円形	b	470を切り、1611に切られる	
1615	MA52	(37.2)	(34.0)	30.6	略円形	b	SB19-P6に切られる		
1616	LT51	28.0	26.0	26.7	略円形	b			
1620	MB53	34.0	19.6	15.1	長方形	a			
1621	MB53	28.8	28.4	13.7	隅丸方形	b			
1623	LS50	(36.0)	(28.0)	15.9	長方形	b	SK42に切られる		
1624	LS49	18.0	(18.0)	31.2	略円形	b	SN76を切り、1428に切られる		
1626	MA51	MA52	26.4	23.2	22.0	略円形	a	SK41を切る	
1627	MA48	20.8	20.0	24.4	略円形	a	352を切る		
1628	MA45	37.6	30.4	31.3	楕円形	a			
1630	MA43	27.2	26.4	32.8	略円形	b			
1631	MB49	23.2	17.6	27.7	楕円形	a			
1632	MB49	21.2	18.0	19.8	略円形	b			
1633	MB49	24.0	24.0	14.7	隅丸方形	a	SD09を切り、290に切られる		
1634	MB50	27.2	25.6	22.1	隅丸方形	b	1636を切り、SD09に切られる		
1635	MB50	(19.6)	(18.0)	18.4	略円形	b	SD09に切られる		
1636	MB50	(41.6)	(29.6)	31.0	長方形	b	SD09、1634に切られる		
1638	MA44	MB44	19.6	18.0	10.8	略円形	b	SB80-P5を切る	
1639	MB51	(26.8)	(24.0)	20.0	楕円形	a		基本土層C-D断面	
1640	MB51	(9.6)	(8.0)	24.0	略円形	b	SD09に切られる	基本土層C-D断面	
1641	LS51	(9.6)	(9.6)	6.0	略円形	a		基本土層C-D断面	

第4章 調査の記録

第16表 家ノ浦遺跡柱穴様ピット一覧表(15)

SKP 番号	グリッド	長径 (cm)	短径 (cm)	深さ (cm)	平面形	時期	新旧関係	出土遺物等
1642	LR51	(12.0)	(12.0)	26.0	略円形	a		
1643	LR51	(20.8)	(20.0)	10.0	略円形	a		基本土層C-D断面
1644	LQ51	(14.4)	(16.8)	20.0	略円形	b		基本土層C-D断面
1645	LT48	(24.8)	(19.2)	32.0	略円形	a		基本土層A-B断面
1646	LT50	(20.0)	(13.2)	6.0	略円形	a		基本土層A-B断面
1647	LT50	(48.0)	(22.0)	14.0	略円形	a		基本土層A-B断面
1649	MA43	16.8	15.2	10.0	略円形	a	SK29を切る	
1650	MB49	19.6	16.8	21.0	隅丸方形	a	SD09を切る	
1651	MA53	38.4	(34.4)	6.0	略円形	b	328に切られる	
1652	LS51	(22.8)	(20.0)	16.4	略円形	b	SB99-P3に切られる	
1654	MB44	(36.0)	(32.8)	7.4	略円形	b	SB80-P4に切られる	
1655	MB44	(40.0)	(28.4)	20.1	略円形	b	901に切られる	
1656	MB43	20.4	16.0	15.2	隅丸方形	a		
1657	MC50	(44.0)	(41.6)	15.2	長方形	b	SB87-P5に切られる	
1658	MA53	(18.0)	(16.0)	7.2	略円形	b	322に切られる	
1659	MC45	20.0	16.0	24.0	楕円形	a	SK50を切る	
1660	MA54	24.0	22.0	28.0	略円形	a	SI22を切る	
1661	MA43	15.6	14.0	7.0	略円形	a	SK59を切る	
1662	MA52	18.0	16.0	16.0	略円形	a	SK21を切る	
1663	MA52	22.0	18.0	30.0	略円形	a	SK21を切る	
1664	MA52	20.0	14.0	20.0	略円形	a	SK21を切る	
1665	ME49	16.0	12.0	16.5	隅丸方形	a	SK25を切る	
1666	MC45	20.9	17.6	22.1	隅丸方形	a	SK50を切る	
1667	MC45	21.4	15.2	17.8	略円形	a	SK50を切る	
1668	MC45	12.4	11.0	17.1	略円形	a	SK50を切る	
1669	MC45	14.3	11.4	12.4	隅丸方形	a	SK50を切る	
1670	MA43	30.0	22.6	10.0	略円形	a	SK59を切る	
1671	MA45	20.0	18.0	31.0	略円形	a	SK72、948、949を切る	
1672	MA45	22.0	20.0	32.0	略円形	a	SK72を切る	
1673	LS49	22.0	18.0	21.0	略円形	a	SK76を切る	
1674	LS49	16.0	14.0	22.0	略円形	a	SK76を切る	

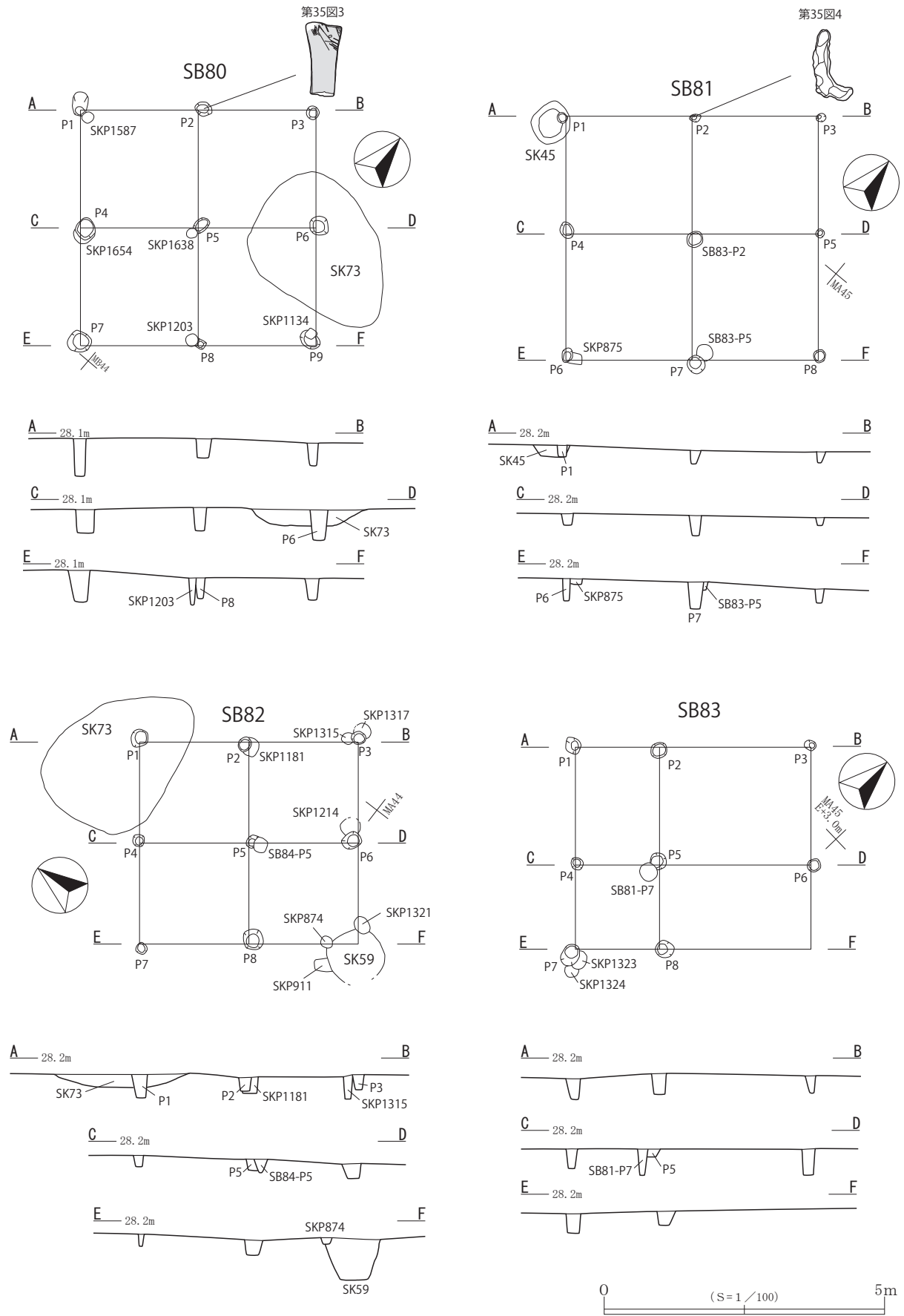


- P1**
 1 褐灰色土(10YR4/1) シルト質土 粘性中 しまり強 地山土塊 φ5~12mm5% 炭化物粒 φ5~8mm3%
 2 にぶい黄褐色土(10YR4/3) シルト質土 粘性中 しまり強 地山土塊 φ5~13mm10% 炭化物粒 φ5~10mm3%
- P2**
 1 褐灰色土(10YR4/1) シルト質土 粘性中 しまり強 地山土塊 φ5~10mm5% 炭化物粒 φ3~5mm2%
 2 にぶい黄褐色土(10YR4/3) シルト質土 粘性中 しまり強 地山土塊 φ5~13mm8% 炭化物粒 φ3~5mm3%
- P3**
 1 褐灰色土(10YR4/1) シルト質土 粘性中 しまり強 地山土塊 φ5~8mm5% 炭化物粒 φ3~5mm3%
 2 にぶい黄褐色土(10YR4/3) シルト質土 粘性中 しまり強 地山土塊 φ5~8mm10% 炭化物粒 φ2~3mm2%
- P4**
 1 褐灰色土(10YR4/1) シルト質土 暗褐色土 粘性中 しまり中 地山土塊 φ5~8mm5% 炭化物粒 φ3~5mm3% 礫 φ5cm丸石1
 2 にぶい黄褐色土(10YR4/3) シルト質土 粘性中 しまり強 地山土30% 炭化物粒 φ2~3mm2%
- P5**
 1 褐灰色土(10YR4/1) シルト質土 暗褐色土 粘性中 しまり強 地山土塊 φ5~8mm5% 炭化物粒 φ2~3mm2%
 2 灰黄褐色土(10YR4/2) シルト質土 粘性中 しまり強 地山土塊 φ5~12mm10% 炭化物粒 φ3~5mm3%
- P6**
 1 褐灰色土(10YR4/1) シルト質土 粘性中 しまり強 地山土塊 φ5~8mm5% 炭化物粒 φ2~3mm3%
 2 にぶい黄褐色土(10YR4/3) シルト質土 粘性中 しまり強 地山土10% 炭化物粒 φ5~8mm3%
- P7**
 1 褐灰色土(10YR4/1) シルト質土 粘性中 しまり中 地山土塊 φ5~8mm10% 炭化物粒 φ3~5mm3%
 2 にぶい黄褐色土(10YR4/3) シルト質土 粘性中 しまり中 地山土塊 φ5~12mm8% 炭化物粒 φ2~3mm2%
- P8**
 1 オリーブ黒色土(10Y) シルト質土 粘性中 しまり強 地山土塊 φ5~13mm8% 炭化物粒 φ5~8mm5%
 2 にぶい黄褐色土(10YR4/3) シルト質土 粘性中 しまり強 地山土塊 φ5~8mm15% 炭化物粒 φ8~10mm3%
- P9**
 1 褐灰色土(10YR4/1) シルト質土 粘性中 しまり強 地山土塊 φ5~8mm10% 炭化物粒 φ2~3mm3%
 2 にぶい黄褐色土(10YR4/3) シルト質土 しまり強 地山土15% 炭化物粒 φ2~3mm2%

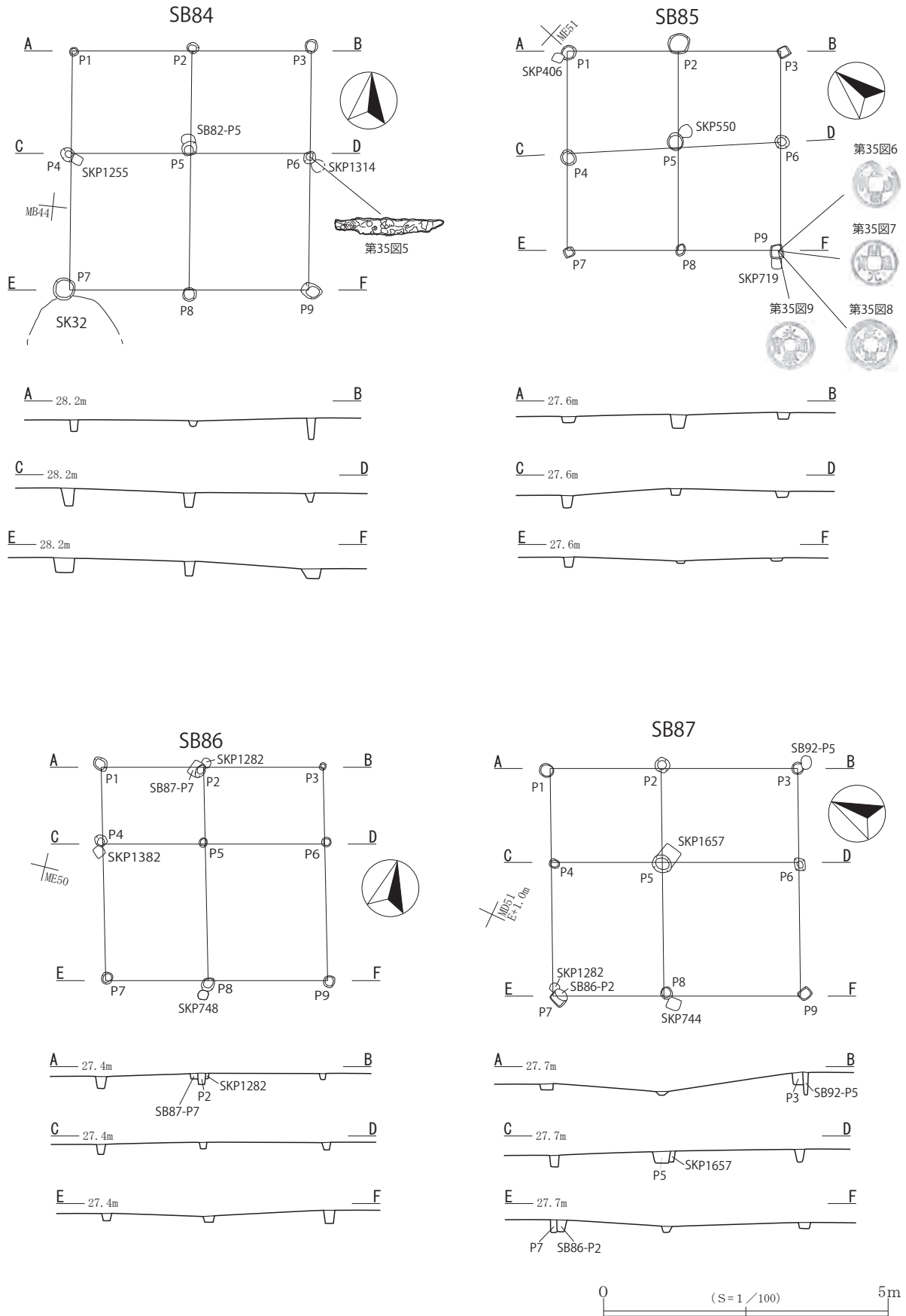
0 (S=1/100) 5m

第10図 SB19

第4章 調査の記録

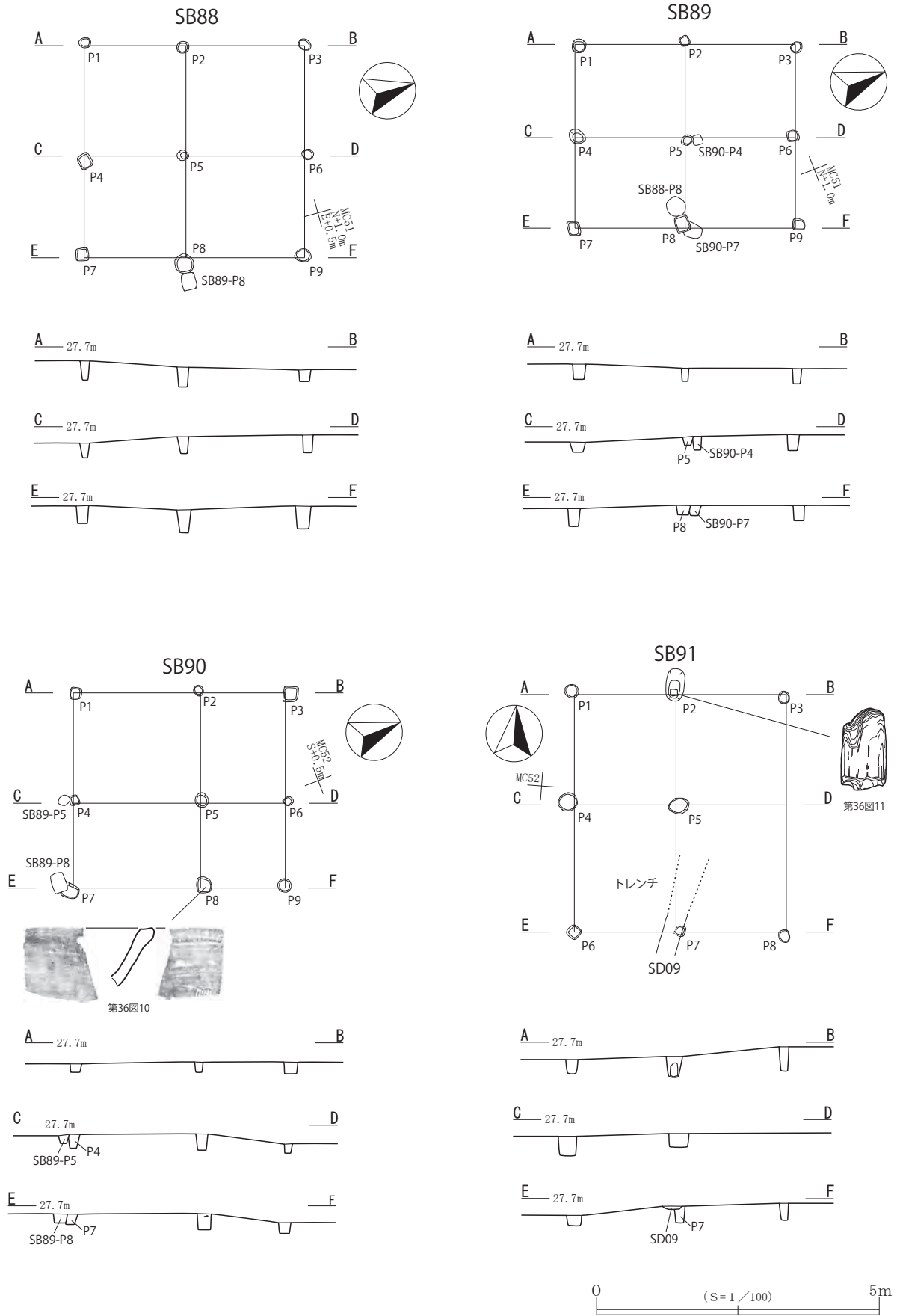


第11図 SB80・81・82・83

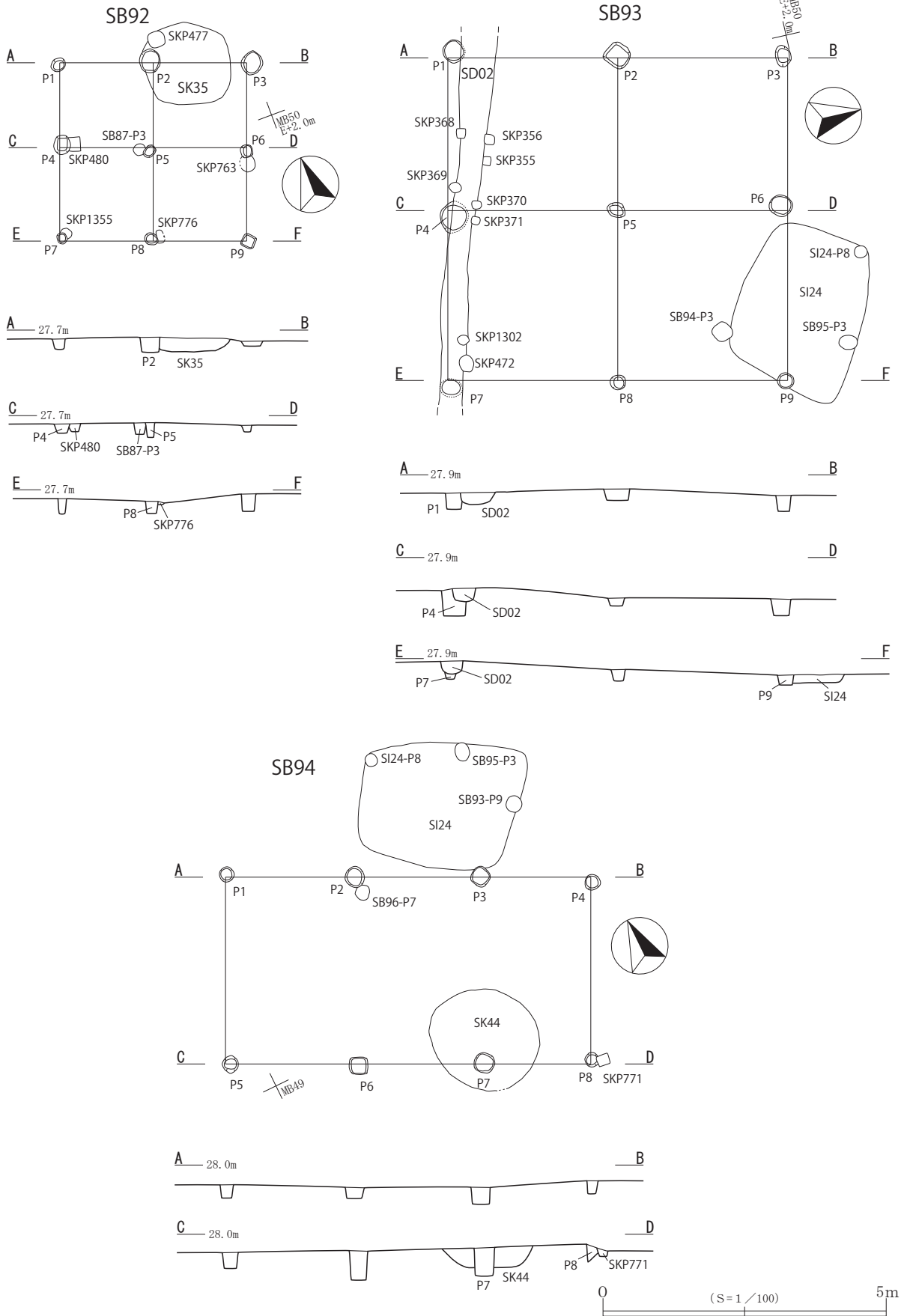


第12図 SB84・85・86・87

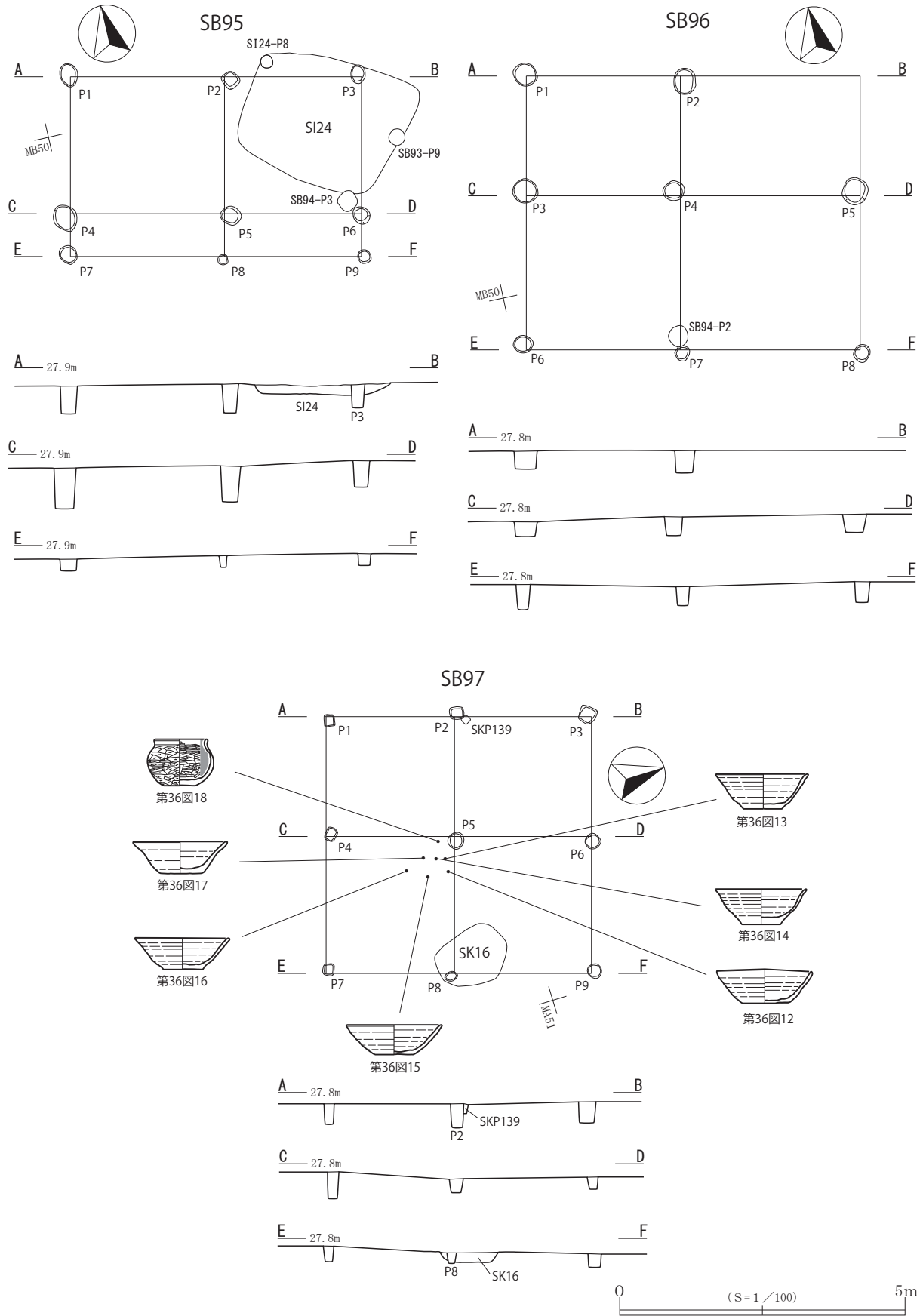
第4章 調査の記録



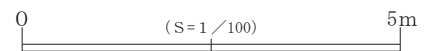
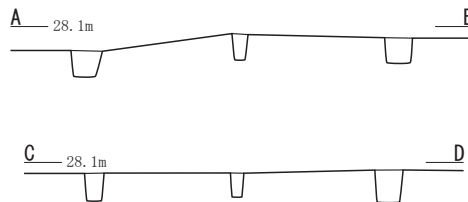
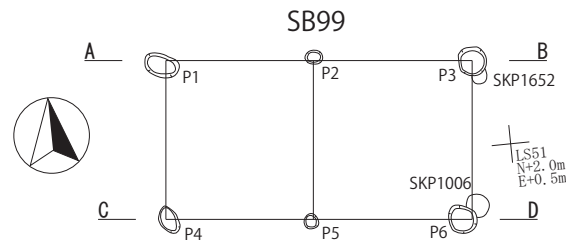
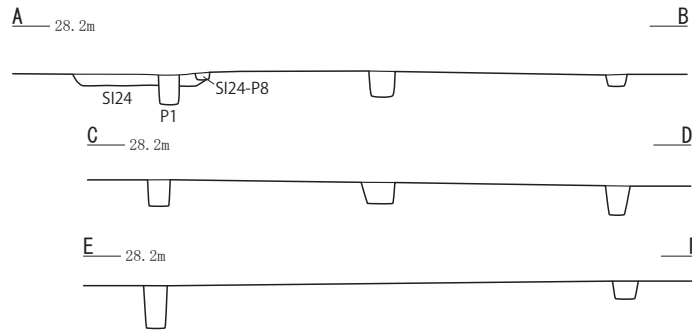
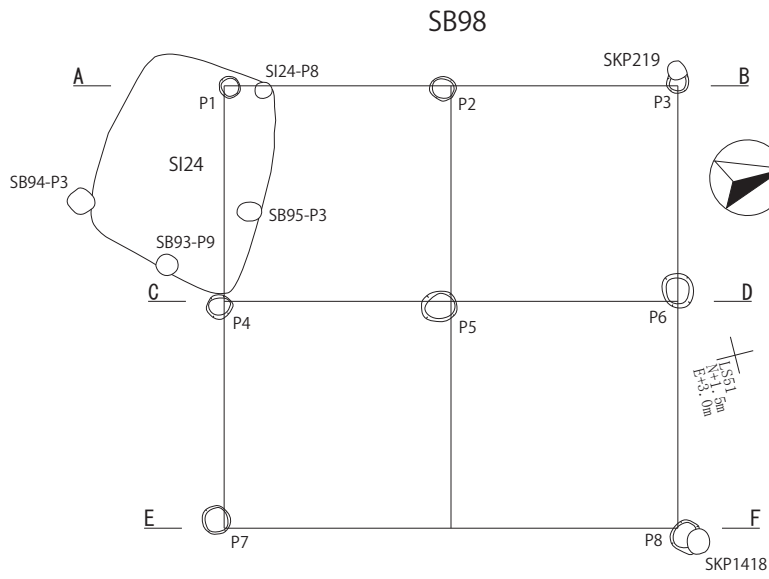
第13図 SB88・89・90・91



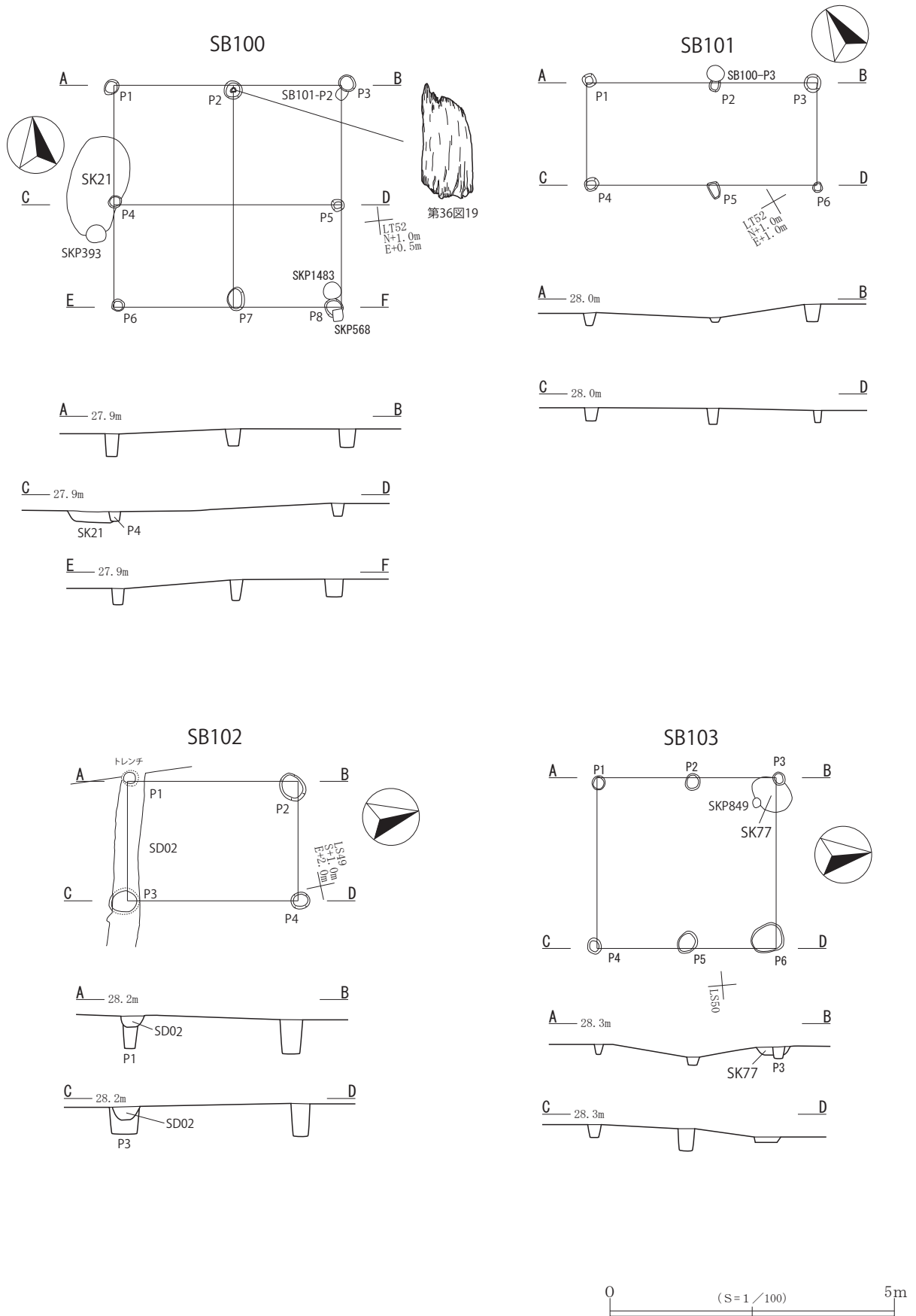
第14図 SB92・93・94



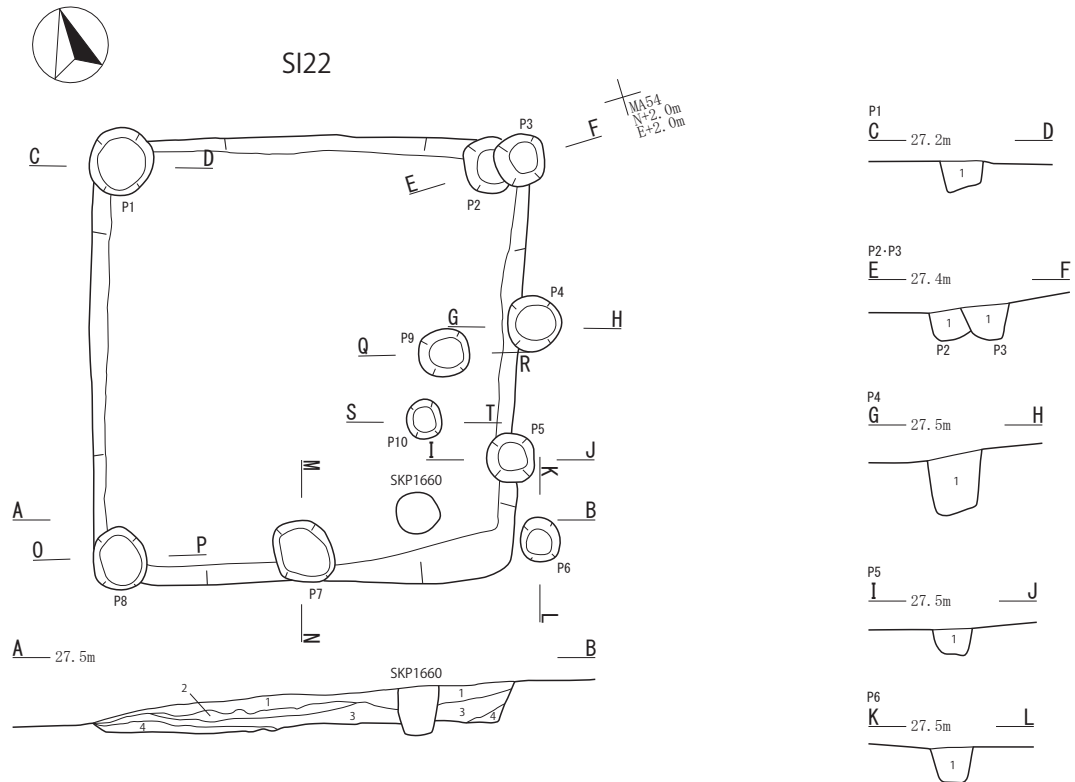
第15図 SB95・96・97



第 16 図 SB98・99



第17図 SB100・101・102・103



SI22

- 1 オリーブ黒色土(10Y3/2) シルト質土 粘性中 しまり中 地山土塊φ5~30mm15% 炭化物粒φ1~5mm5%
- 2 黒色土(10YR1.7/1) シルト質土 粘性弱 しまり弱 地山土塊φ5~20mm10%
- 3 褐灰色土(10YR4/1) シルト質土 粘性中 しまり中 地山土塊φ5~20mm30% 炭化物粒φ1~5mm2%
- 4 にぶい黄褐色土(10YR5/4) シルト質土 粘性中 しまり中 黒色土粒φ1~5mm20%

P1

- 1 黒褐色土(10YR2/2) シルト質土 粘性中 しまり強 地山土塊φ5~8mm3% 炭化物粒φ5~8mm5%

P2

- 1 黒褐色土(10YR2/3) シルト質土 粘性中 しまり強 地山土塊φ5~10mm5% 炭化物粒φ5~10mm5%

P3

- 1 黒色土(10YR2/1) シルト質土 粘性中 しまり中 地山土塊φ8~15mm5% 炭化物粒φ8~13mm5%

P4

- 1 黒褐色土(10YR3/2) シルト質土 粘性中 しまり強 地山土塊φ5~13mm5% 炭化物粒φ3~5mm3%

P5

- 1 黒褐色土(10YR3/2) シルト質土 粘性中 しまり強 地山土塊φ5~10mm5% 炭化物粒φ3~5mm1%

P6

- 1 黒褐色土(10YR3/2) シルト質土 粘性中 しまり強 地山土塊φ1~10mm7% 炭化物粒φ1~5mm3%

P7

- 1 黒褐色土(10YR3/2) シルト質土 粘性中 しまり強 地山土塊φ1~15mm5% 炭化物粒φ1~3mm5%

P8

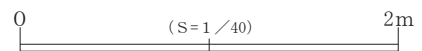
- 1 黒褐色土(10YR3/2) シルト質土 粘性中 しまり強 地山土塊φ3~10mm5% 炭化物粒φ1~5mm1%

P9

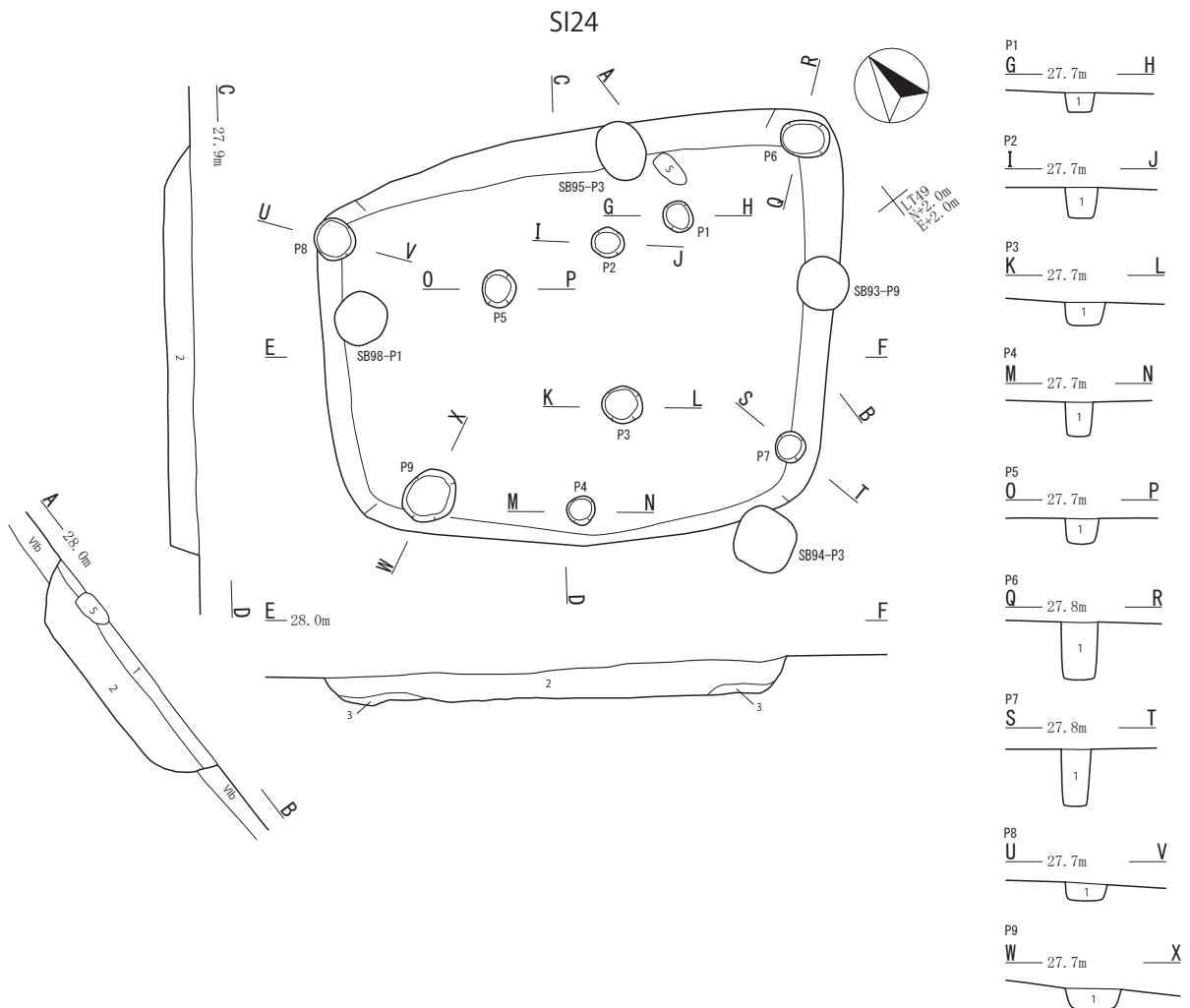
- 1 黒褐色土(10YR3/2) シルト質土 粘性中 しまり強 地山土塊φ5~15mm3% 炭化物粒φ1~3mm3%

P10

- 1 黒褐色土(10YR3/2) シルト質土 粘性中 しまり強 地山土塊φ3~10mm5% 炭化物粒φ1~5mm5%



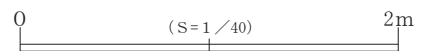
第18図 SI22



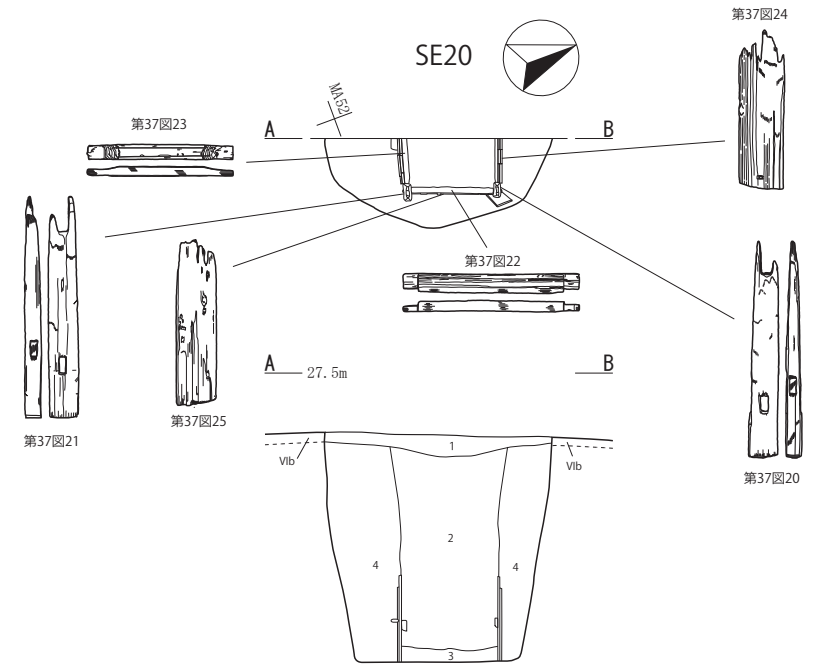
SI24 (A-B・C-D・E-F)

- 1 暗褐色土(10YR3/3) シルト質土 粘性中 しまり強 地山土塊 ϕ 1~50mm30% 炭化物粒 ϕ 1~10mm5% 焼土粒 ϕ 1~3mm1%
- 2 暗褐色土(10YR3/3) シルト質土 酸化し赤化する 粘性強 しまり強 地山土塊 ϕ 1~50mm30% 炭化物粒 ϕ 1~10mm10% 焼土粒 ϕ 1~5mm3%
- 3 黒色土(10YR2/1) シルト質土 粘性強 しまり強 炭化物粒 ϕ 1~5mm3%

- P1
1 黒褐色土(10YR3/2) 砂質シルト 粘性強 しまり中 地山土塊 ϕ 1~20mm30% 炭化物粒 ϕ 1~5mm 5%
- P2
1 オリーブ黒色土(5Y3/1) シルト質土 粘性強 しまり強 地山土塊 ϕ 1~20mm30% 炭化物粒 ϕ 1~5mm3%
- P3
1 暗褐色土(10YR3/3) シルト質土 粘性弱 しまり強 地山土塊 ϕ 1~30mm30% 炭化物粒 ϕ 1~10mm5%
- P4
1 オリーブ黒色土(5Y3/1) シルト質土 粘性強 しまり強 地山土塊 ϕ 1~20mm30% 炭化物粒 ϕ 1~5mm3%
- P5
1 オリーブ黒色土(5Y3/1) シルト質土 粘性強 しまり強 地山土塊 ϕ 1~20mm20% 炭化物粒 ϕ 1~5mm3%
- P6
1 オリーブ黒色土(5Y3/1) シルト質土 粘性強 しまり強 地山土塊 ϕ 1~20mm10% 炭化物粒 ϕ 1~3mm3%
- P7
1 オリーブ黒色土(5Y3/1) シルト質土 粘性強 しまり強 地山土塊 ϕ 1~10mm20% 炭化物粒 ϕ 1~5mm5%
- P8
1 オリーブ黒色土(5Y3/1) シルト質土 粘性強 しまり強 地山土塊 ϕ 1~30mm20% 炭化物粒 ϕ 1~5mm5%
- P9
1 オリーブ黒色土(5Y3/1) シルト質土 粘性強 しまり強 地山土塊 ϕ 1~20mm10% 炭化物粒 ϕ 1~3mm3%



第19図 SI24



- SE20
 1 暗褐色土(10YR3/3) 砂質シルト質土 粘性弱 しまり中 地山土塊φ1~5mm10% 炭化物粒φ1~5mm1%
 2 黒褐色土(10YR2/2) シルト質土 粘性弱 しまり強 地山土塊φ1~50mm30% 炭化物粒φ1~10mm5%
 3 黒色土(10YR2/1) シルト質土 粘性強 しまり弱 地山土塊φ1~5mm5% 炭化物粒φ1~10mm10%
 4 灰色土(10Y4/1) 粘性シルト質土 粘性強 しまり強 地山土塊φ1~50mm40% 炭化物粒φ1~10mm3%

- SE28
 1 灰黄褐色土(10YR4/2) シルト質土 粘性強 しまり強 地山土塊φ1~5mm20% 基盤土粒・塊φ1~5mm10% 炭化物粒φ1~10mm5% 焼土粒φ1~5mm5%
 2 灰黄褐色土(10YR4/2) シルト質土 粘性中 しまり中 地山土塊φ1~5mm20% 基盤土粒・塊φ1~5mm10% 炭化物粒φ1~10mm3% 焼土粒φ1~5mm3% 礫φ200~300mm10%
 3 黒褐色土(10YR3/2) シルト質土 粘性中 しまり中 地山土塊φ1~30mm30% 基盤土粒・塊φ1~5mm10% 炭化物粒φ1~10mm5% 焼土粒φ1~5mm3% 礫φ100~200mm
 4 黒褐色土(10YR3/2) シルト質土 粘性強 しまり強 地山土塊φ1~50mm20% 基盤土粒・塊φ1~5mm10% 炭化物粒φ1~10mm5%
 5 オリーブ黒色土(5Y3/2) シルト質土 粘性中 しまり中 地山土塊φ1~5mm10% 基盤土粒・塊φ1~5mm10% 炭化物粒φ1~10mm5%

- SK29
 1 灰黄褐色土(10YR4/2) シルト質土 粘性弱 しまり強 地山土塊φ1~10mm5% 基盤土粒・塊φ1~5mm5% 炭化物粒φ1~5mm3%
 2 灰黄褐色土(10YR4/2) シルト質土 粘性中 しまり中 地山土塊φ1~30mm20% 基盤土粒・塊φ1~5mm5% 炭化物粒5%
 3 黒褐色土(10YR3/2) シルト質土 粘性弱 しまり中 地山土塊φ1~50mm30% 基盤土粒・塊φ1~5mm5% 炭化物粒3%

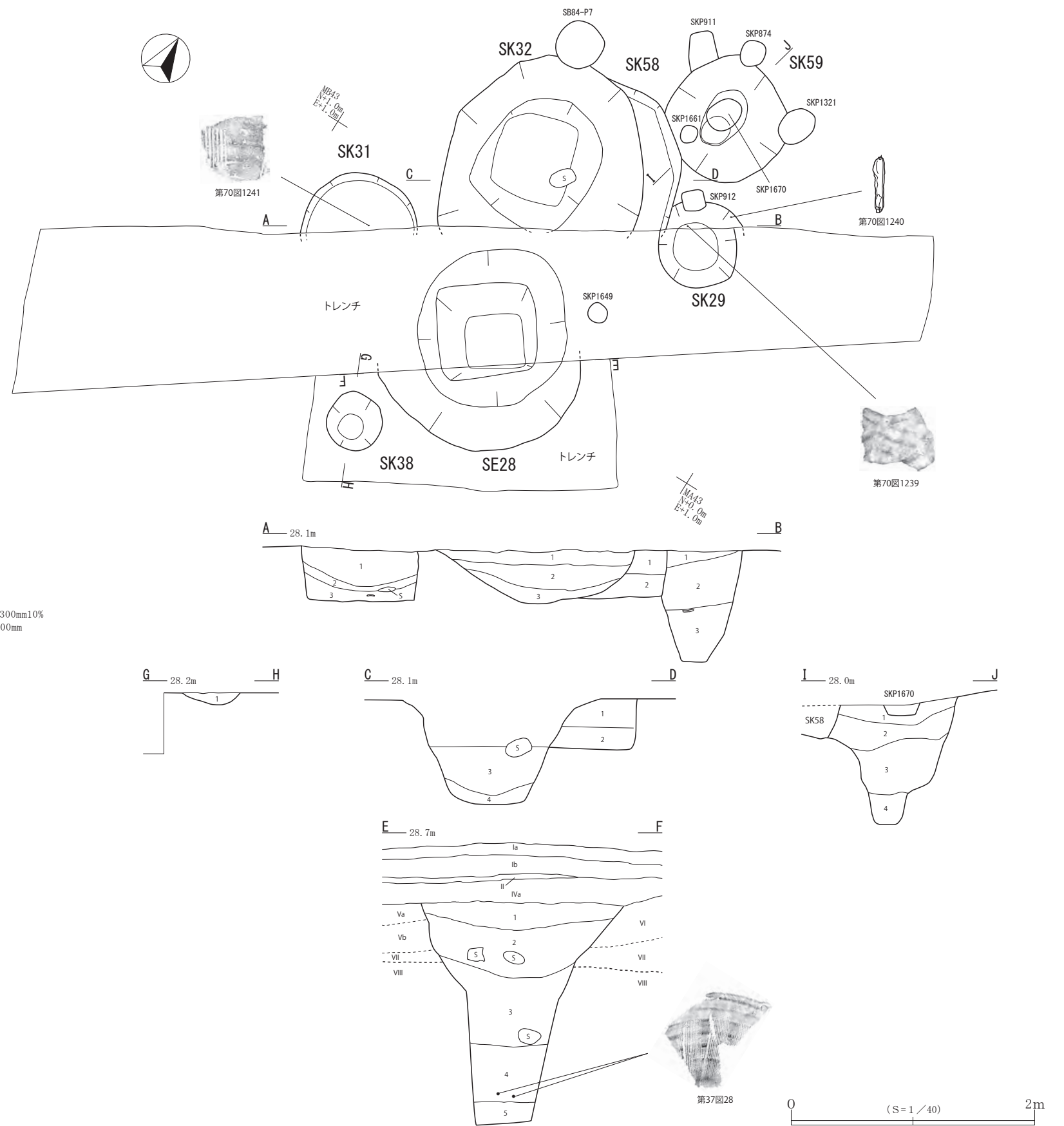
- SK31
 1 灰黄褐色土(10YR4/2) シルト質土 粘性強 しまり中 地山土塊φ1~100mm30% 基盤土粒・塊φ1~5mm10% 炭化物粒φ1~5mm5%
 2 灰黄褐色土(10YR4/2) シルト質土 粘性強 しまり弱 基盤土粒・塊φ1~5mm10% 炭化物粒層状に10% 焼土粒・塊φ5~10mm3%
 3 黒褐色土(10YR3/2) シルト質土 粘性強 しまり強 基盤土粒・塊φ1~5mm10% 炭化物粒φ1~10mm20% 焼土粒・塊φ5~10mm3%

- SK32
 1 灰黄褐色土(10YR4/2) シルト質土 粘性強 しまり中 地山土粒・塊φ1~5mm5% 基盤土粒φ1~5mm10% 炭化物粒φ1~5mm3%
 2 灰黄褐色土(10YR4/2) シルト質土 粘性強 しまり中 地山土粒・塊φ1~5mm5% 基盤土粒φ1~5mm10% 炭化物粒φ1~10mm5%
 3 黒褐色土(10YR3/2) シルト質土 粘性中 しまり中 地山土粒・塊φ1~5mm5% 基盤土粒φ1~5mm10% 炭化物粒φ1~10mm5%
 4 黒褐色土(10YR3/2) シルト質土 粘性弱 しまり弱 地山土粒・塊φ1~10mm10% 基盤土粒φ1~5mm10% 炭化物粒φ1~5mm5%

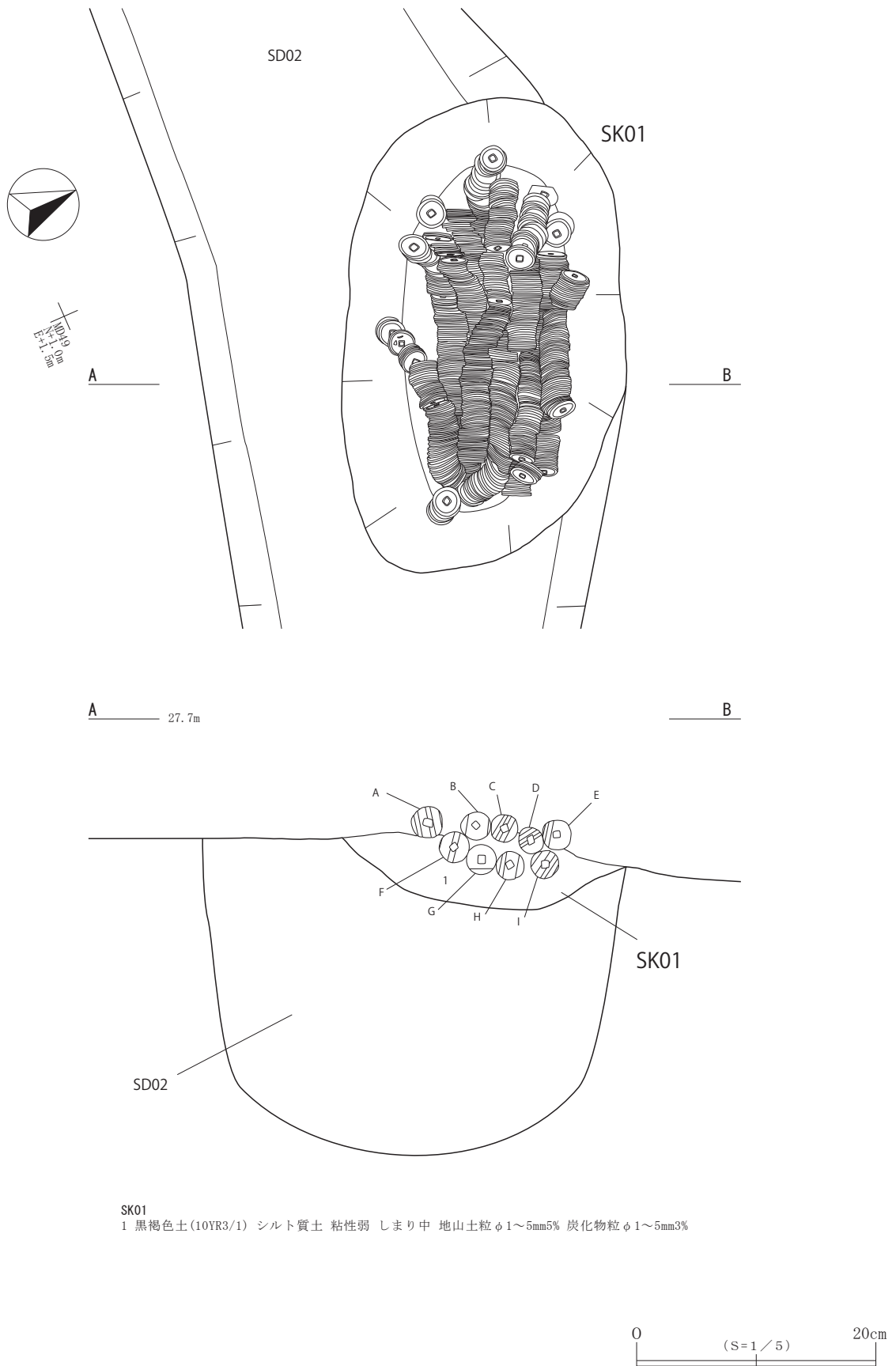
- SK38
 1 褐色土(10YR4/4) シルト質土 粘性強 しまり強 地山土塊φ1~5mm10% 基盤土粒φ1~5mm3% 炭化物粒φ1~5mm3%

- SK58
 1 暗褐色土(10YR3/4) シルト質土 粘性強 しまり中 地山土塊φ1~40mm30% 基盤土粒・塊φ1~5mm5% 炭化物粒・塊φ1~10mm5% 砂礫φ0.1~5mm5%
 2 暗褐色土(10YR3/3) シルト質土 粘性中 しまり中 地山土塊φ1~20mm20% 基盤土粒・塊φ1~5mm5% 炭化物粒・塊φ1~10mm5% 砂礫φ0.1~5mm5%

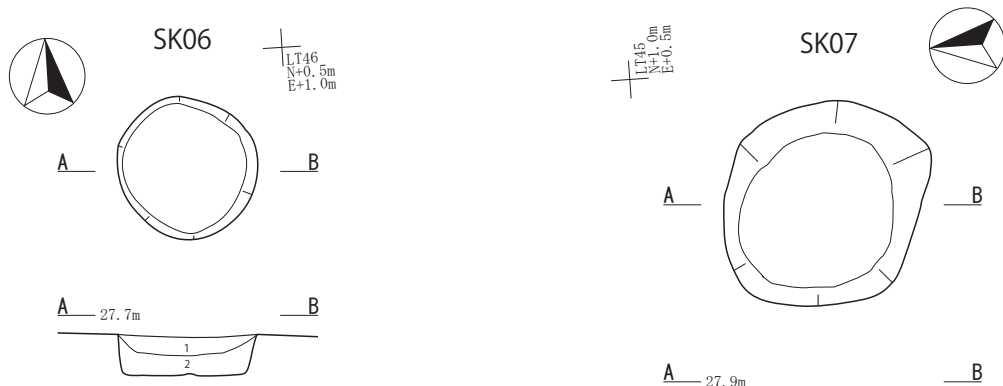
- SK59
 1 灰黄褐色土(10YR4/2) シルト質土 粘性強 しまり強 地山土塊φ1~20mm20% 基盤土粒φ1~5mm10% 炭化物粒・塊φ1~30mm10% 焼土φ1~5mm1%
 2 灰黄褐色土(10YR4/2) シルト質土 粘性中 しまり中 地山土塊φ1~30mm30% 基盤土粒φ1~5mm10% 炭化物粒・塊φ1~20mm10% 焼土φ1~30mm30%
 3 オリーブ黒色土(5Y3/2) シルト質土 粘性弱 しまり弱 地山土塊φ1~30mm20% 基盤土粒φ1~5mm10% 炭化物粒・塊φ1~20mm5%
 4 オリーブ黒色土(5Y3/2) シルト質土 粘性弱 しまり弱 地山土塊φ1~40mm30% 基盤土粒φ1~5mm10% 炭化物粒・塊φ1~10mm1%



第20図 SE20・28・SK29・31・32・38・58・59

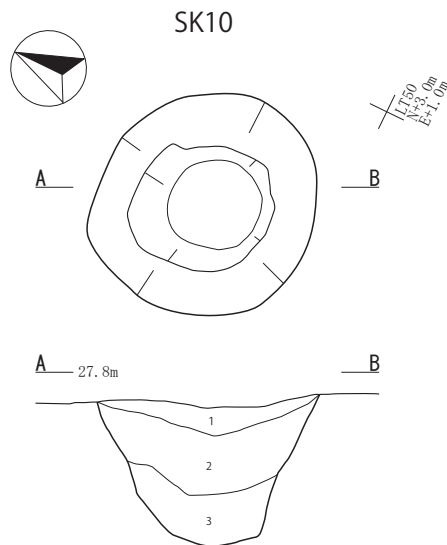


第21図 SK01

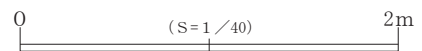


SK06
 1 オリーブ黒色土(10Y3/2) シルト質土 粘性中 しまり中
 地山土塊φ5~8mm15% 炭化物粒φ8~12mm10%
 2 にぶい黄褐色土(10YR5/3) シルト質土 粘性中 しまり中
 地山土粒φ1~2mm30% 炭化物粒φ2~3mm2%

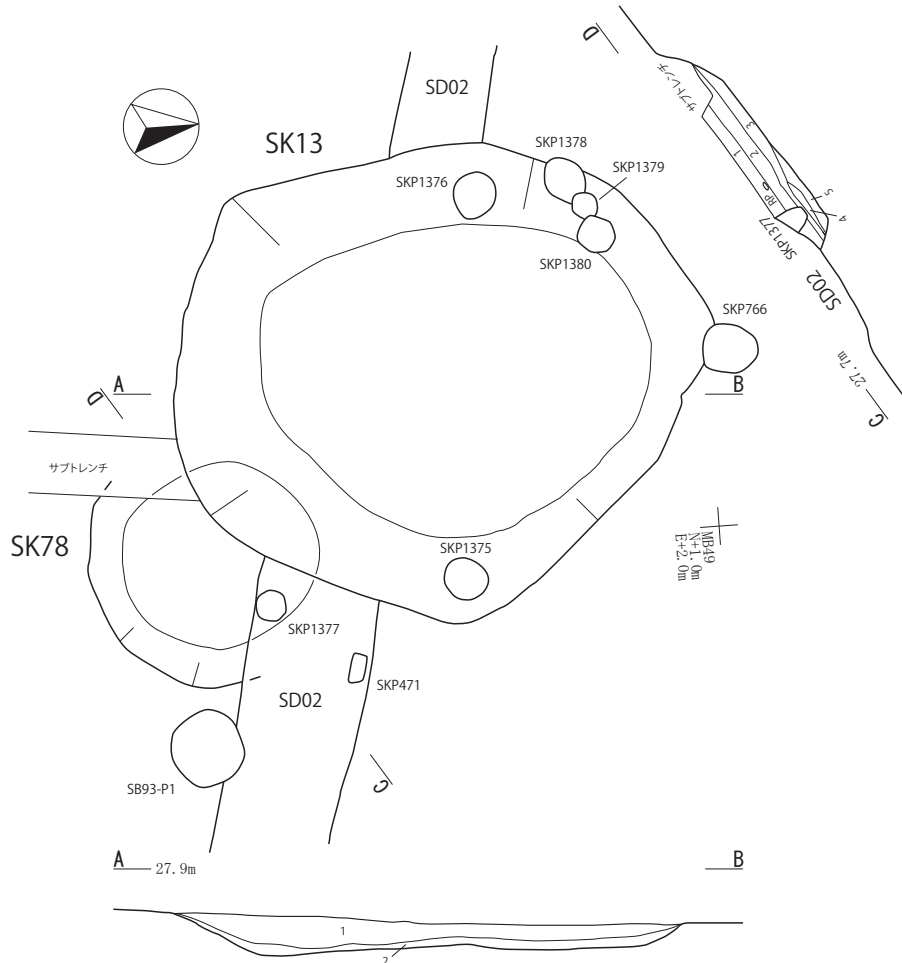
SK07
 1 オリーブ黒色土(10Y3/2) シルト質土 粘性中 しまり強
 地山土塊φ5~23mm15% 炭化物粒φ5~20mm10%
 2 にぶい黄褐色土(10YR4/3) シルト質土 粘性中 しまり中
 地山土粒φ1~2mm30% 炭化物粒φ3~5mm2%



SK10
 1 暗褐色土(10YR3/3) シルト質土 粘性強 しまり中 地山土粒φ1~3mm5% 炭化物粒φ1~20mm5%
 2 黒褐色土(2.5Y3/1) シルト質土 粘性中 しまり強 地山土塊φ1~50mm40% 炭化物粒φ1~20mm5%
 3 黒褐色土(2.5Y3/1) シルト質土 粘性中 しまり弱 地山土塊φ5~10mm30% 炭化物粒φ1~5mm3%



第22図 SK06・07・10

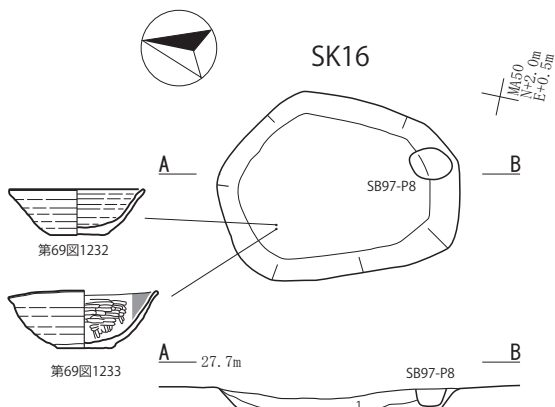


SK13 (A-B)

- 1 黒褐色土(10YR3/1) シルト質土 粘性中 しまり中 地山土塊φ3~10mm20% 炭化物粒φ1~20mm5%
- 2 にぶい黄褐色土(10YR4/3) シルト質土 粘性強 しまり強 黒色土斑状に30% 炭化物粒φ1~20mm3%

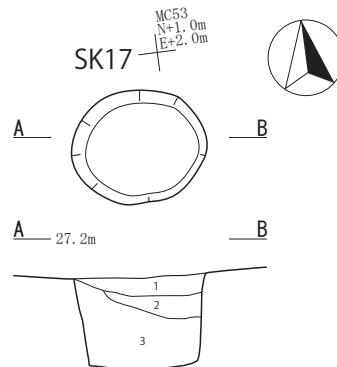
SK78 (C-D)

- 1 にぶい黄褐色土(10YR4/3) シルト質土 粘性強 しまり強 地山土塊φ1~10mm20% 炭化物粒・塊φ1~10mm10% 焼土粒φ1~5mm3%
- 2 にぶい黄褐色土(10YR4/3) シルト質土 粘性中 しまり中 地山土塊φ1~20mm30% 炭化物粒φ1~5mm3% 焼土粒φ1~5mm3%
- 3 黒褐色土(10YR3/2) シルト質土 粘性中 しまり中 地山土塊φ1~20mm10% 炭化物粒・塊φ1~10mm30% 焼土粒φ1~5mm3%
- 4 黒褐色土(10YR3/2) シルト質土 粘性弱 しまり弱 地山土塊φ1~20mm10% 炭化物粒・塊φ1~10mm10% 焼土粒φ1~5mm30%
- 5 黒褐色土(10YR2/2) シルト質土 粘性弱 しまり弱 地山土塊φ1~20mm10% 炭化物粒・塊φ1~10mm40% 焼土粒φ1~5mm10%



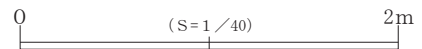
SK16

- 1 暗褐色土(10YR3/4) シルト質土 粘性弱 しまり強 地山土塊φ3~5mm20% 炭化物粒φ1~3mm3%
- 2 褐灰色土(10YR4/1) シルト質土 粘性強 しまり中 地山土塊φ3~5mm10% 炭化物粒φ1~5mm5%



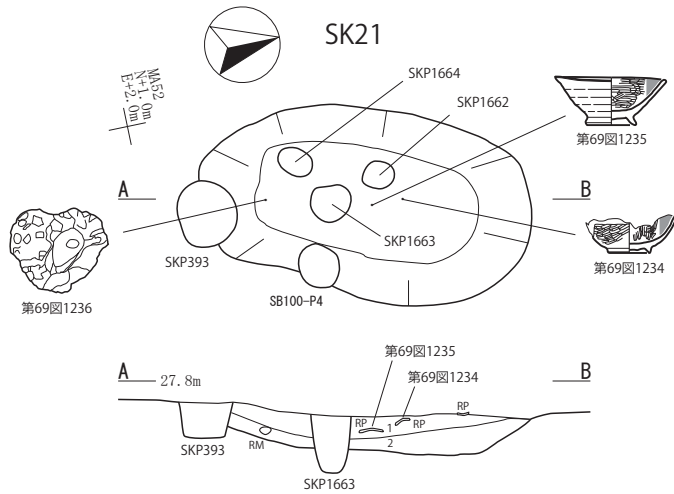
SK17

- 1 灰黄褐色土(10YR4/2) シルト質土 粘性中 しまり中 地山土塊φ5~12mm3% 炭化物粒φ3~5mm3%
- 2 オリーブ黒色土(10Y3/1) シルト質土 粘性中 しまり弱 地山土塊φ1~2mm5% 炭化物粒φ5~8mm3% 植物遺体を多量に含む
- 3 オリーブ黒色土(10Y3/2) シルト質土 粘性中 しまり弱 地山土塊φ5~8mm5% 炭化物粒φ3~5mm3% 砂礫φ0.1~150mm

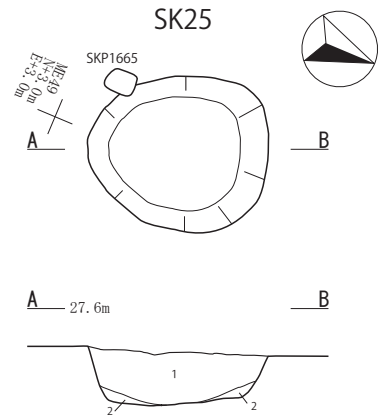


第23図 SK13・16・17・78

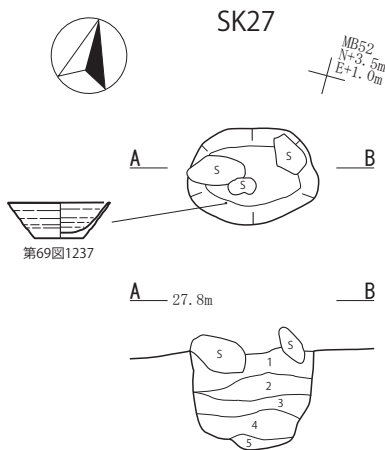
第4章 調査の記録



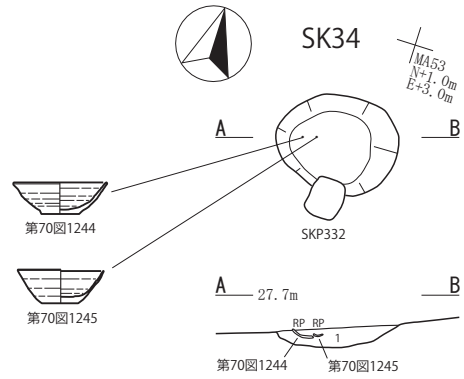
- SK21**
- 1 オリーブ黒色土(10Y3/2) シルト質土 粘性中 しまり中
地山土塊φ5~23mm15% 炭化物粒φ5~15mm5%
 - 2 暗灰黄色土(2.5Y4/2) シルト質土 粘性中 しまり強
地山土塊φ3~5mm3% 炭化物粒φ5~8mm3%



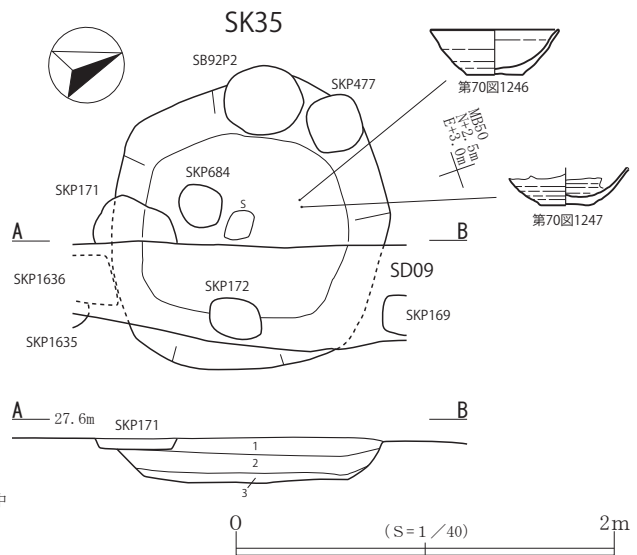
- SK25**
- 1 オリーブ黒色土(5Y3/2) シルト質土 粘性中 しまり中 地山土塊φ1~50mm30%
炭化物粒φ1~5mm3% 砂礫φ1~70mm5%
 - 2 オリーブ黒色土(5Y3/2) シルト質土 粘性中 しまり中 地山土塊φ1~5mm10% 炭化物粒φ1~5mm5%



- SK27**
- 1 にぶい黄褐色土(10YR4/3) シルト質土 粘性中 しまり強
地山土塊φ5~8mm7% 炭化物粒φ3~5mm2%
 - 2 灰黄褐色土(10YR4/2) シルト質土 粘性弱 しまり強
地山土塊φ5~10mm10% 炭化物粒φ3~5mm2%
 - 3 暗褐色土(10YR3/4) シルト質土 粘性中 しまり強
地山土塊φ1~2mm 2% 炭化物φ2~3mm2%
 - 4 オリーブ黒色土(10Y3/2) シルト質土 粘性弱 しまり弱
地山土塊φ1~2mm 2% 炭化物粒φ3~5mm2%
 - 5 オリーブ黒色土(10Y3/1) シルト質土 粘性中 しまり弱
地山土塊φ1~2mm 2% 炭化物粒φ2~3mm2%

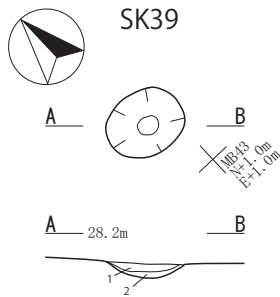


- SK34**
- 1 灰黄褐色土(10YR4/2) シルト質土 粘性中 しまり強
地山土塊φ5~13mm5% 炭化物粒φ5~15mm5%

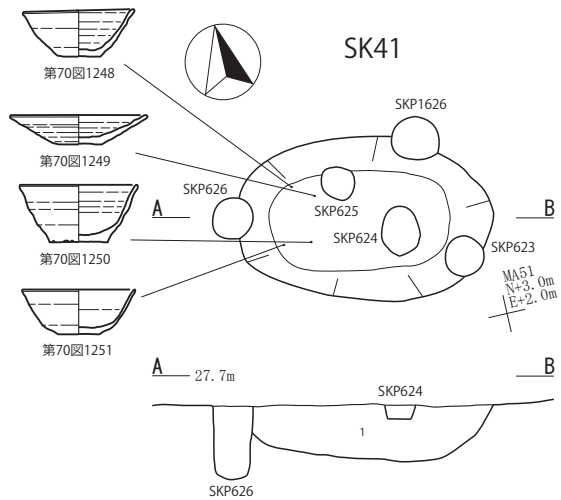


- SK35**
- 1 黒褐色土(10YR3/2) シルト質土 粘性強 しまり強
地山土塊φ1~5mm10% 炭化物粒φ1~5mm3%
 - 2 黒褐色土(10YR2/2) シルト質土 粘性強 しまり中
地山土塊φ1~20mm30% 炭化物粒φ1~10mm5%
 - 3 オリーブ黒色土(5Y3/1) シルト質土 粘性強 しまり中
地山土塊φ1~5mm5% 炭化物粒φ1~5mm3%

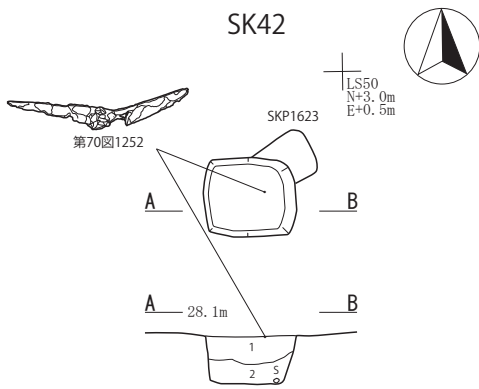
第24図 SK21・25・27・34・35



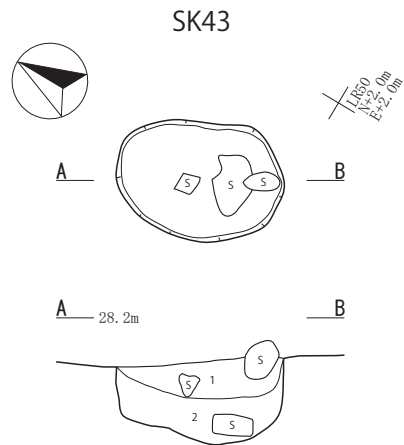
- SK39**
 1 黒色土(10YR1.7/1) シルト質土 地山土粒・塊 φ1~20mm20%
 黒色土 φ1~10mm10% 炭化物粒 φ1~5mm40%
 2 明褐色土(7.5YR5/6) シルト質土
 基盤土粒 φ1~3mm1% 炭化物粒 φ1~5mm5%



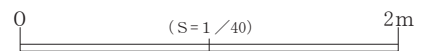
- SK41**
 1 黒褐色土(10YR3/2) シルト質土 粘性中 しまり強
 地山土塊 φ8~23mm15% 炭化物塊 φ10~20mm10%



- SK42**
 1 褐灰色土(10YR4/1) シルト質土 粘性中 しまり中
 灰白塊 φ5~10mm5% 炭化物粒・塊 φ5~15mm5%
 2 オリーブ黒色土(10Y3/2) シルト質土 粘性中 しまり弱
 炭化物粒 φ5mm2%

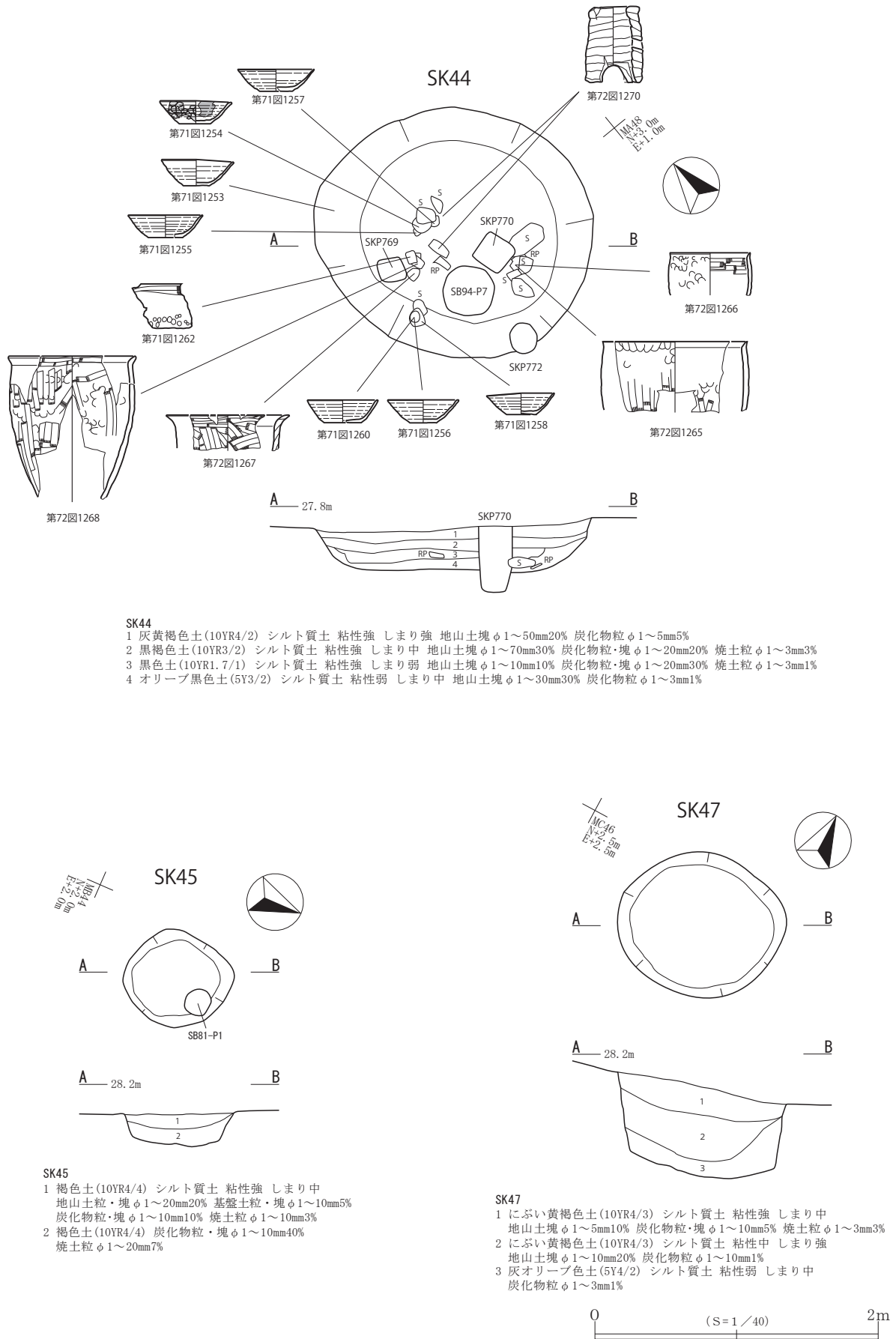


- SK43**
 1 褐灰色土(10YR5/1) シルト質土 粘性中 しまり中
 地山土塊 φ5~8mm3% 炭化物粒 φ2~3mm2% 礫(大)
 2 褐灰色土(10YR4/1) シルト質土 粘性弱 しまり中
 地山土塊 φ5~8mm3% 炭化物粒・塊 φ5~8mm2% 砂粒混入 礫(大)

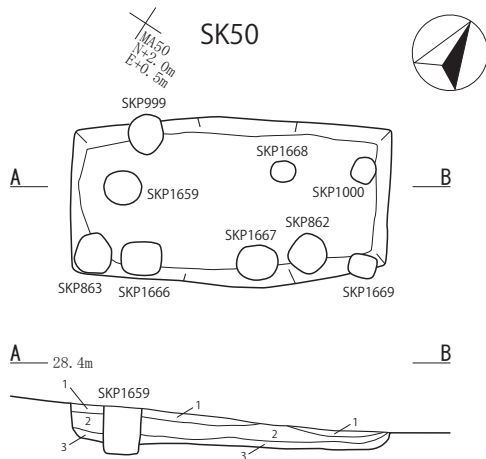


第25図 SK39・41・42・43

第4章 調査の記録

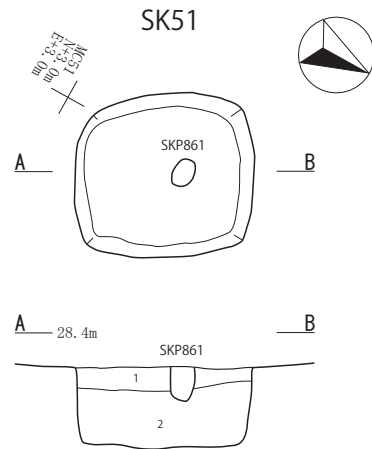


第26図 SK44・45・47



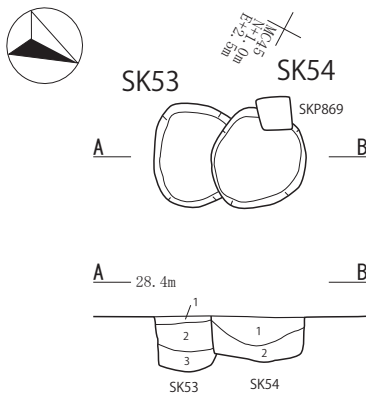
SK50

- 1 褐色土(7.5YR4/4) シルト質土 粘性中 しまり強
地山土塊 φ1~5mm10% 炭化物粒・塊 φ1~5mm20% 焼土粒 φ1~5mm2%
- 2 褐色土(7.5YR4/4) シルト質土 粘性中 しまり弱
地山土塊 φ1~10mm10% 炭化物粒・塊 φ1~10mm30% 焼土粒 φ1~5mm3%
- 3 褐色土(7.5YR4/4) シルト質土 粘性中 しまり中
地山土塊 φ1~10mm40% 炭化物粒・塊 φ1~5mm3%



SK51

- 1 褐色土(7.5YR4/4) シルト質土 粘性強 しまり強
地山土塊 φ1~10mm30% 炭化物粒・塊 φ1~10mm5%
- 2 褐色土(7.5YR4/4) シルト質土 粘性中 しまり中
地山土塊 φ1~10mm10% 炭化物粒・塊 φ1~10mm1%

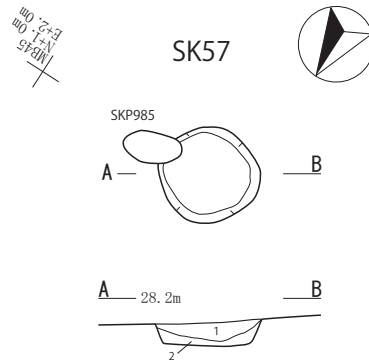


SK53

- 1 褐色土(7.5YR4/4) シルト質土 粘性中 しまり強
地山土塊 φ1~10mm20% 炭化物粒・塊 φ1~10mm10% 焼土粒 φ1~2mm5%
- 2 褐色土(10YR4/6) シルト質土 粘性弱 しまり中
地山土塊 φ1~10mm10% 炭化物粒・塊 φ1~5mm5% 焼土粒 φ1~3mm1%
- 3 褐色土(10YR4/6) シルト質土 粘性弱 しまり中
地山土塊 φ1~10mm5% 炭化物粒・塊 φ1~5mm5% 焼土粒 φ1~5mm3%

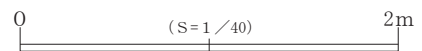
SK54

- 1 褐色土(10YR4/6) シルト質土 粘性中 しまり強
地山土塊 φ1~20mm30% 炭化物粒 φ1~5mm5% 焼土粒 φ1~3mm3%
- 2 褐色土(10YR4/6) シルト質土 粘性弱 しまり中
地山土塊 φ1~10mm5% 炭化物粒 φ1~5mm5% 焼土粒 φ1~5mm3%

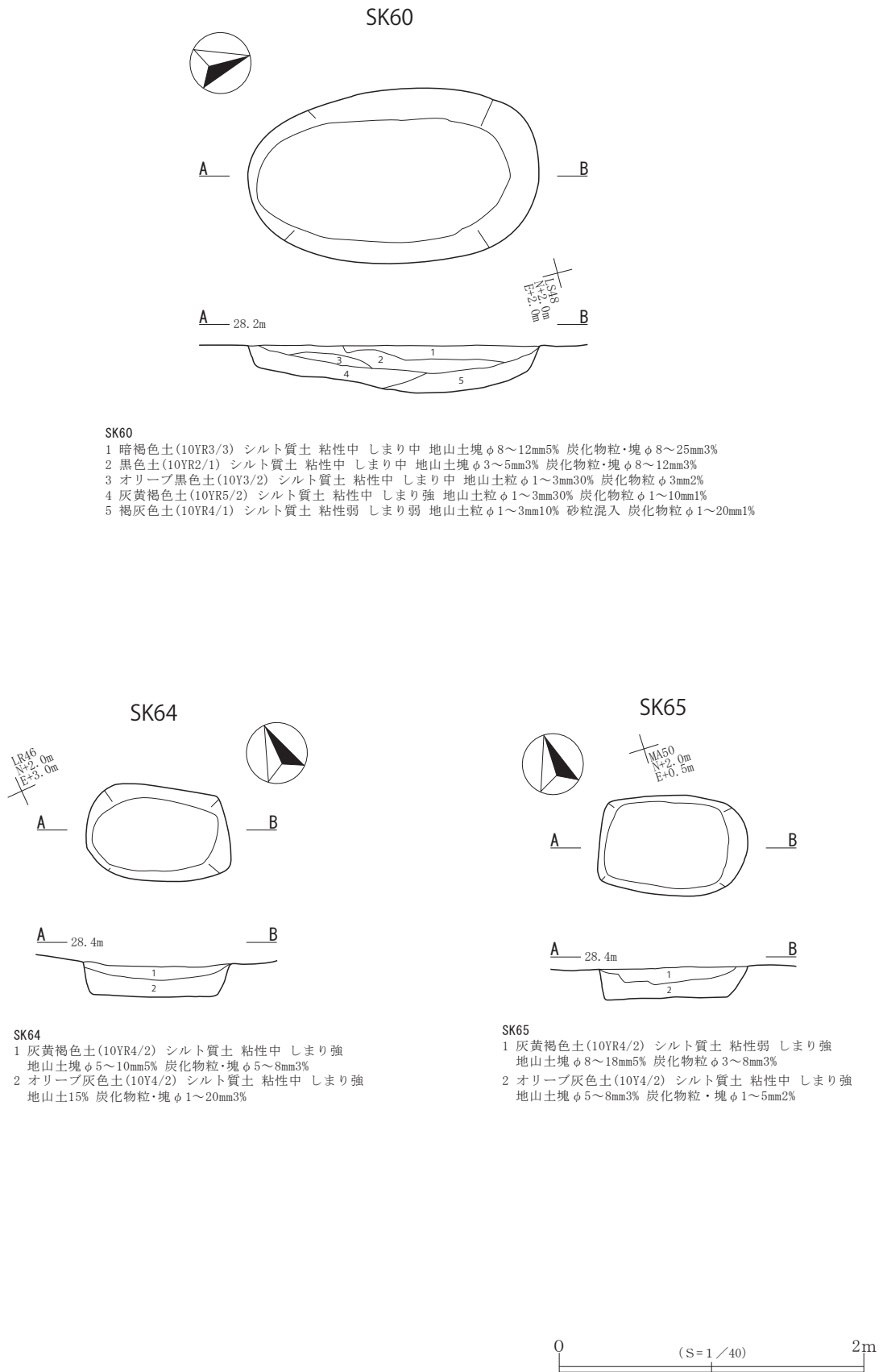


SK57

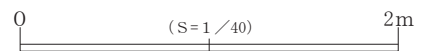
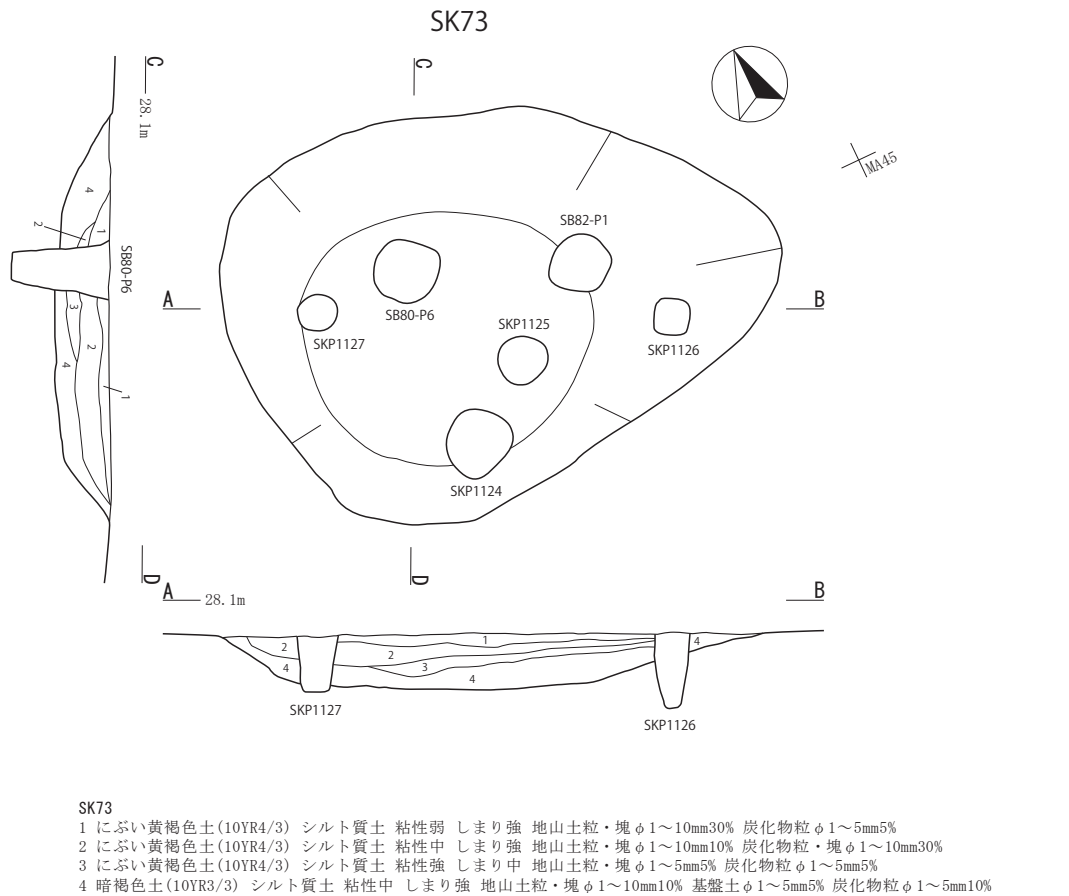
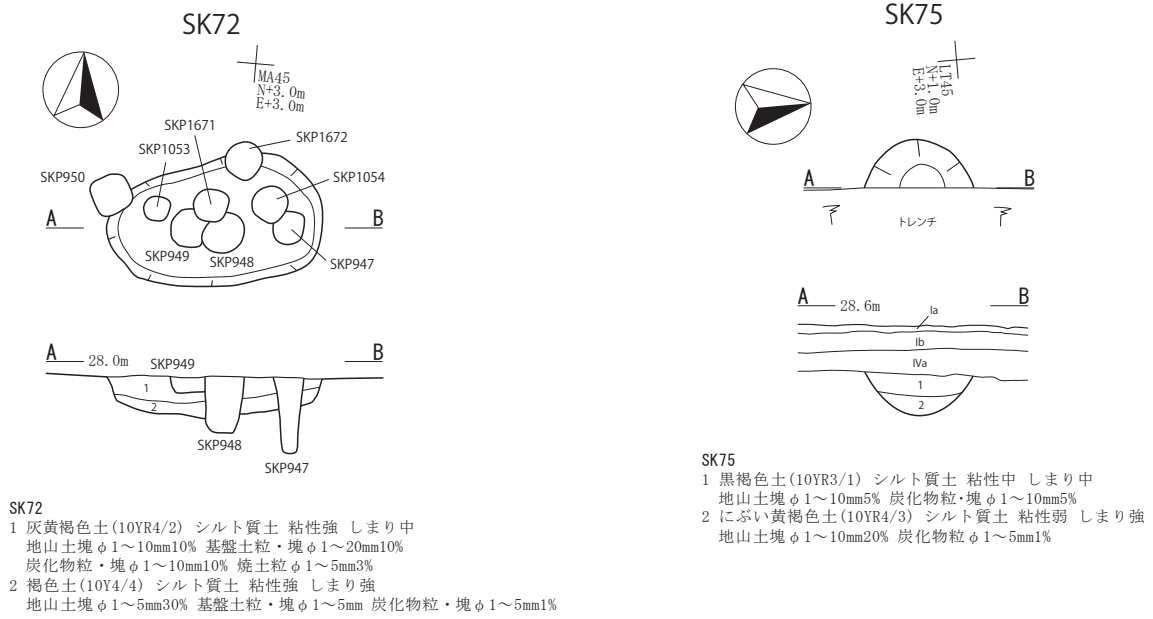
- 1 褐色土(10YR4/4) シルト質土 粘性強 しまり中
地山土粒・塊 φ1~20mm20% 基盤土粒・塊 φ1~10mm5%
炭化物粒・塊 φ1~10mm15%
- 2 褐色土(10YR4/4) 炭化物粒・塊 φ1~10mm30%



第27図 SK50・51・53・54・57

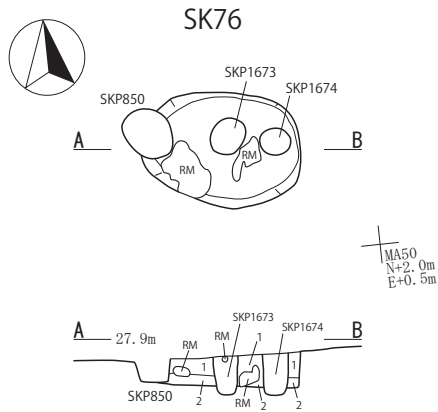


第28図 SK60・64・65



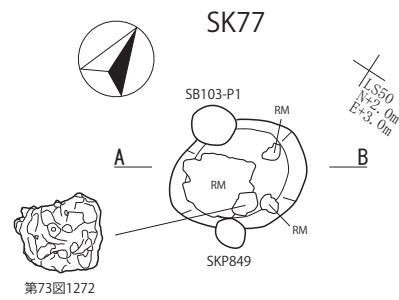
第29図 SK72・73・75

第4章 調査の記録



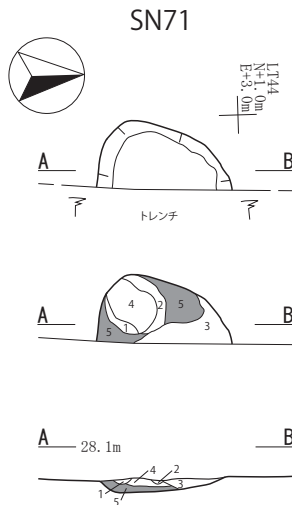
SK76

- 1 オリーブ黒色土(10Y3/2) シルト質土 粘性中 しまり中
焼土塊 ϕ 12~15mm15% 炭化物粒 ϕ 5~8mm3%
- 2 オリーブ灰色土(10Y4/2) シルト質土 粘性中 しまり弱
焼土塊 ϕ 5~8mm5% 炭化物粒 ϕ 3~5mm3%



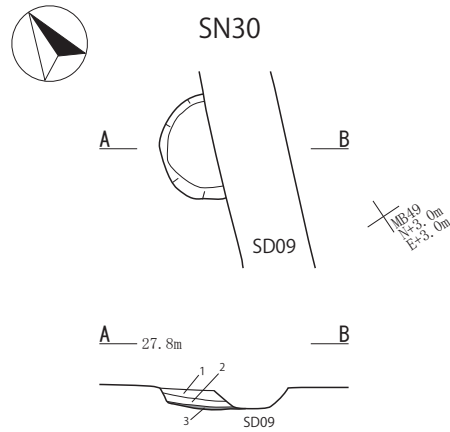
SK77

- 1 オリーブ黒色土(10Y3/2) シルト質土 粘性中 しまり強
炭化物粒・塊 ϕ 5~15mm15% 焼土塊 ϕ 5~8mm5%
- 2 黒色土(10YR1.7/1) シルト質土 粘性弱 しまり中
地山土塊 ϕ 5~8mm5% 炭化物粒・塊 ϕ 5~20mm30%



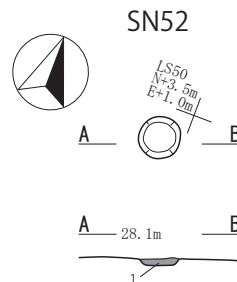
SN71

- 1 暗褐色土(10YR3/3) シルト質土 粘性弱 しまり強
地山土塊 ϕ 1~5mm2% 焼土塊 ϕ 1~10mm10%
- 2 にぶい黄褐色土(10YR5/4) シルト質土 粘性弱 しまり中
地山土塊 ϕ 1~20mm30% 炭化物粒 ϕ 1~5mm3% 焼土粒 ϕ 1~5mm1%
- 3 黒褐色土(10YR3/2) シルト質土 粘性中 しまり強
地山土粒 ϕ 1~3mm2% 焼土塊 ϕ 1~10mm3%
- 4 黒褐色土(10YR3/2) シルト質土 粘性弱 しまり強
地山土粒 ϕ 1~3mm2% 炭化物粒 ϕ 1~3mm2%
- 5 赤褐色土(10R5/4) 焼土 粘性弱 しまり弱 旧表土斑状に7%



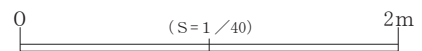
SN30

- 1 黒褐色土(10YR3/1) シルト質土 粘性弱 しまり強
地山土塊 ϕ 1~20mm20% 炭化物粒・塊 ϕ 1~10mm20%
焼土粒 ϕ 1~5mm5%
- 2 黒褐色土(10YR3/2) シルト質土 粘性中 しまり中
炭化物粒 ϕ 1~10mm5%
- 3 褐色土(7.5YR4/6) 焼土 粘性弱 しまり強

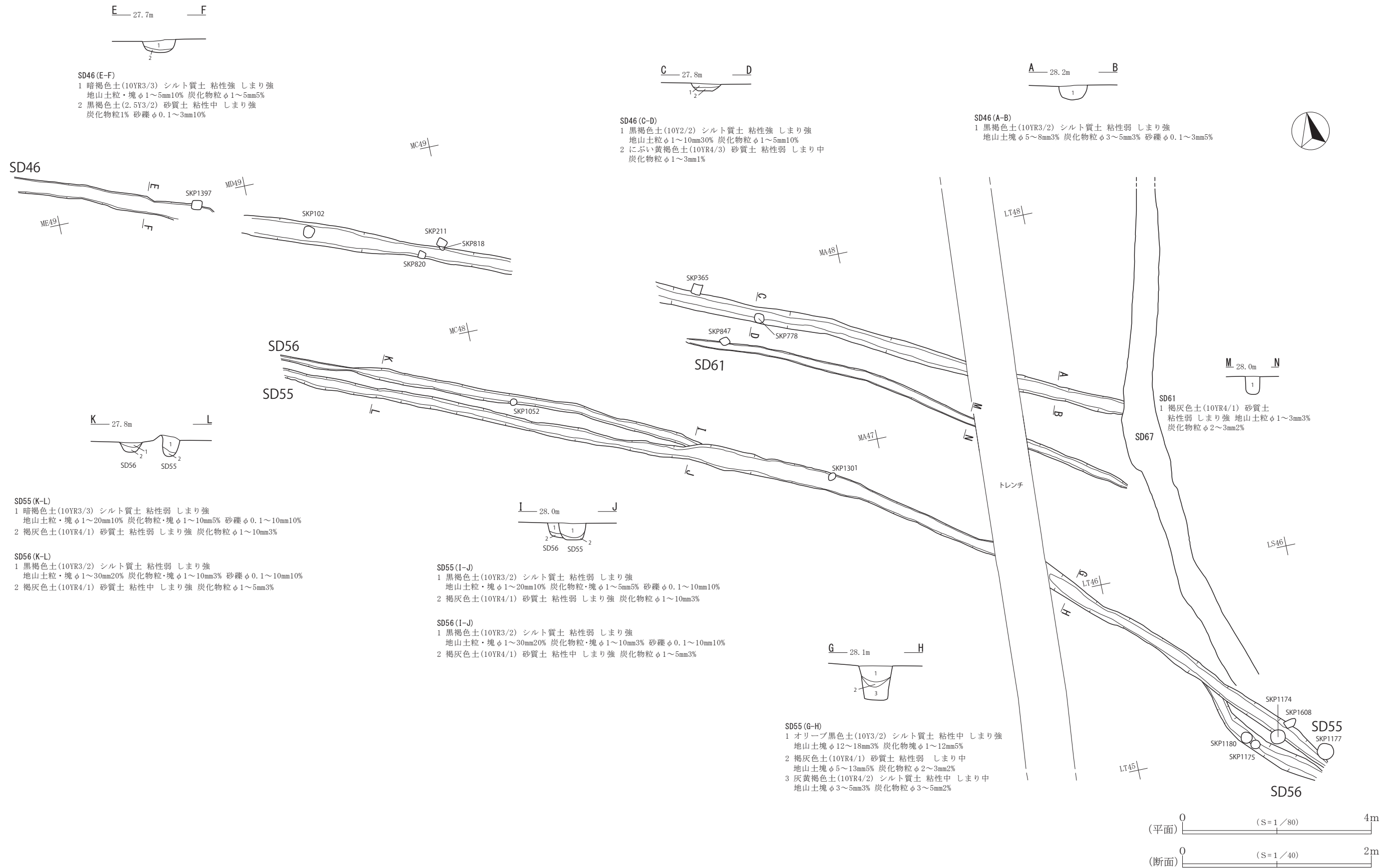


SN52

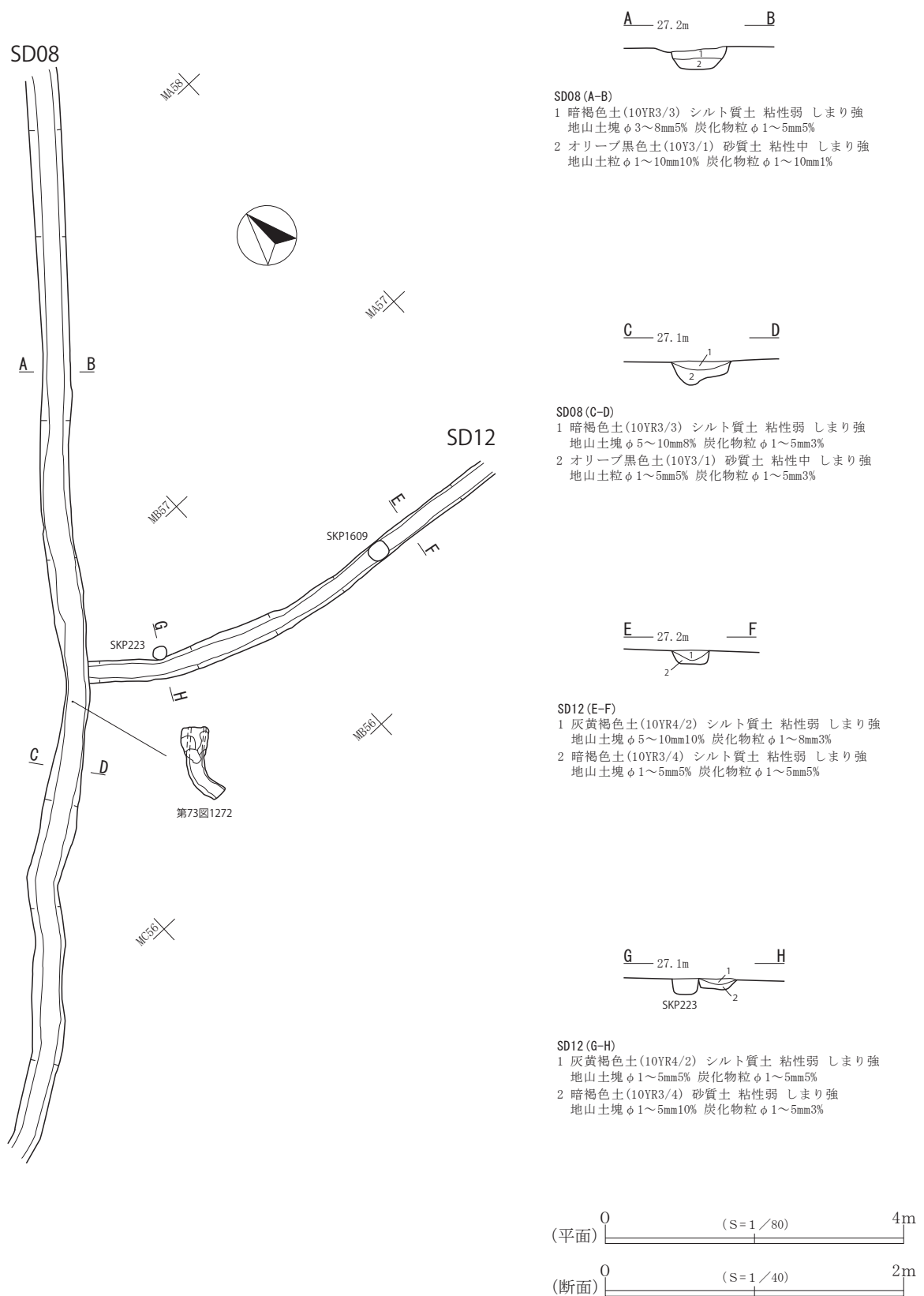
- 1 暗赤褐色土(5YR3/2) 焼土 粘性弱 しまり強
炭化物粒・塊 ϕ 5~8mm5%



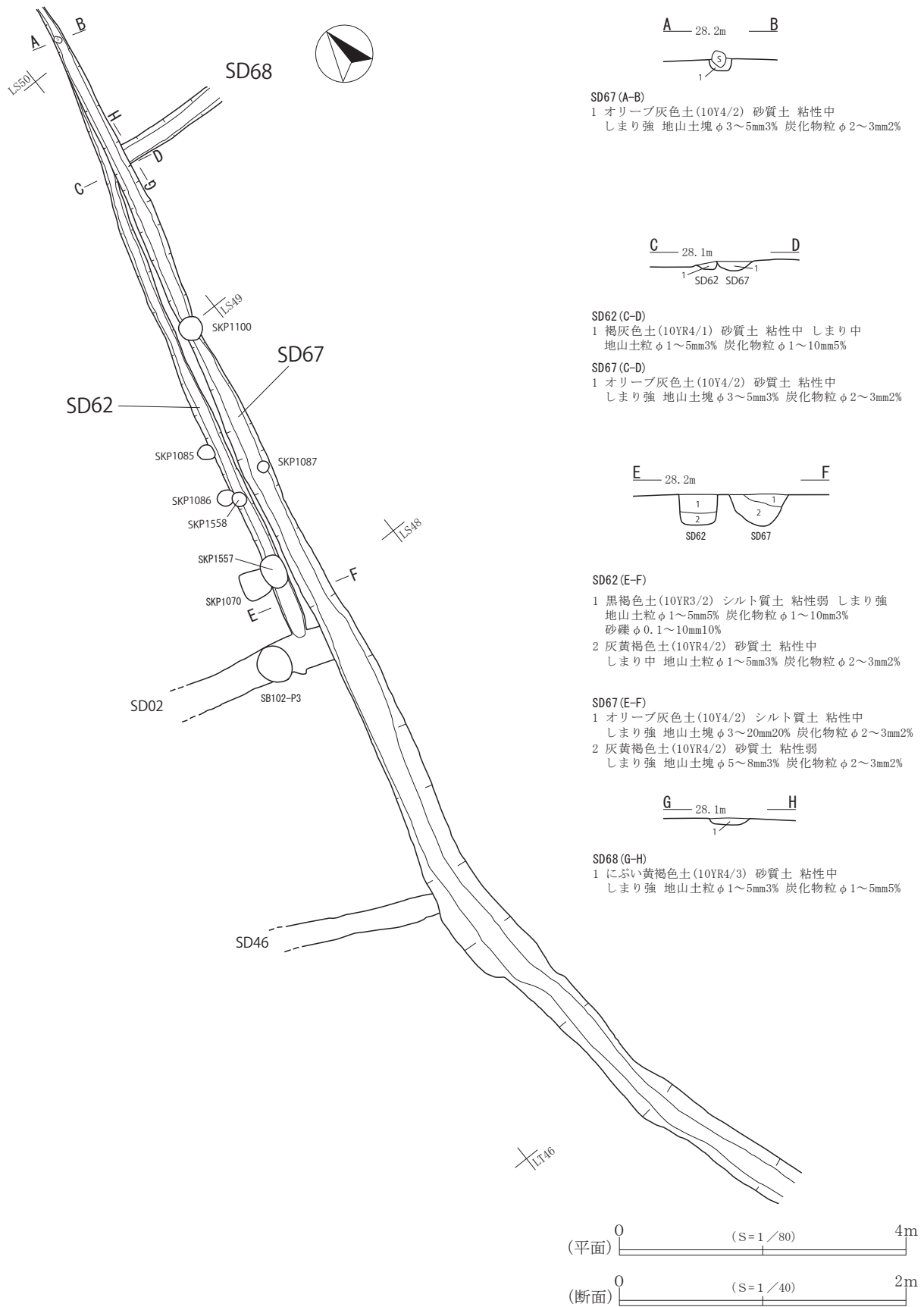
第30図 SK76・77・SN30・52・71



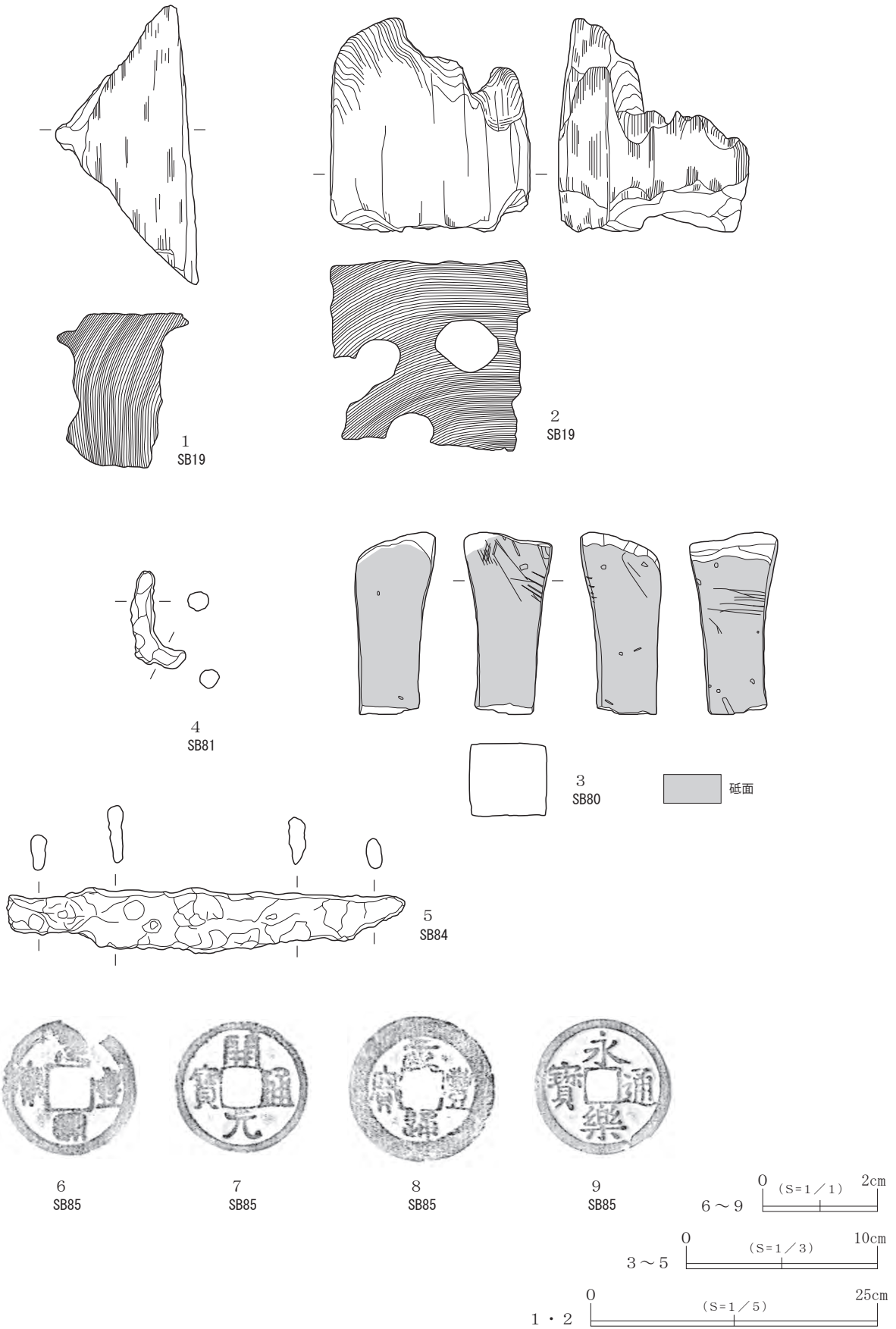
第32図 SD46・55・56・61



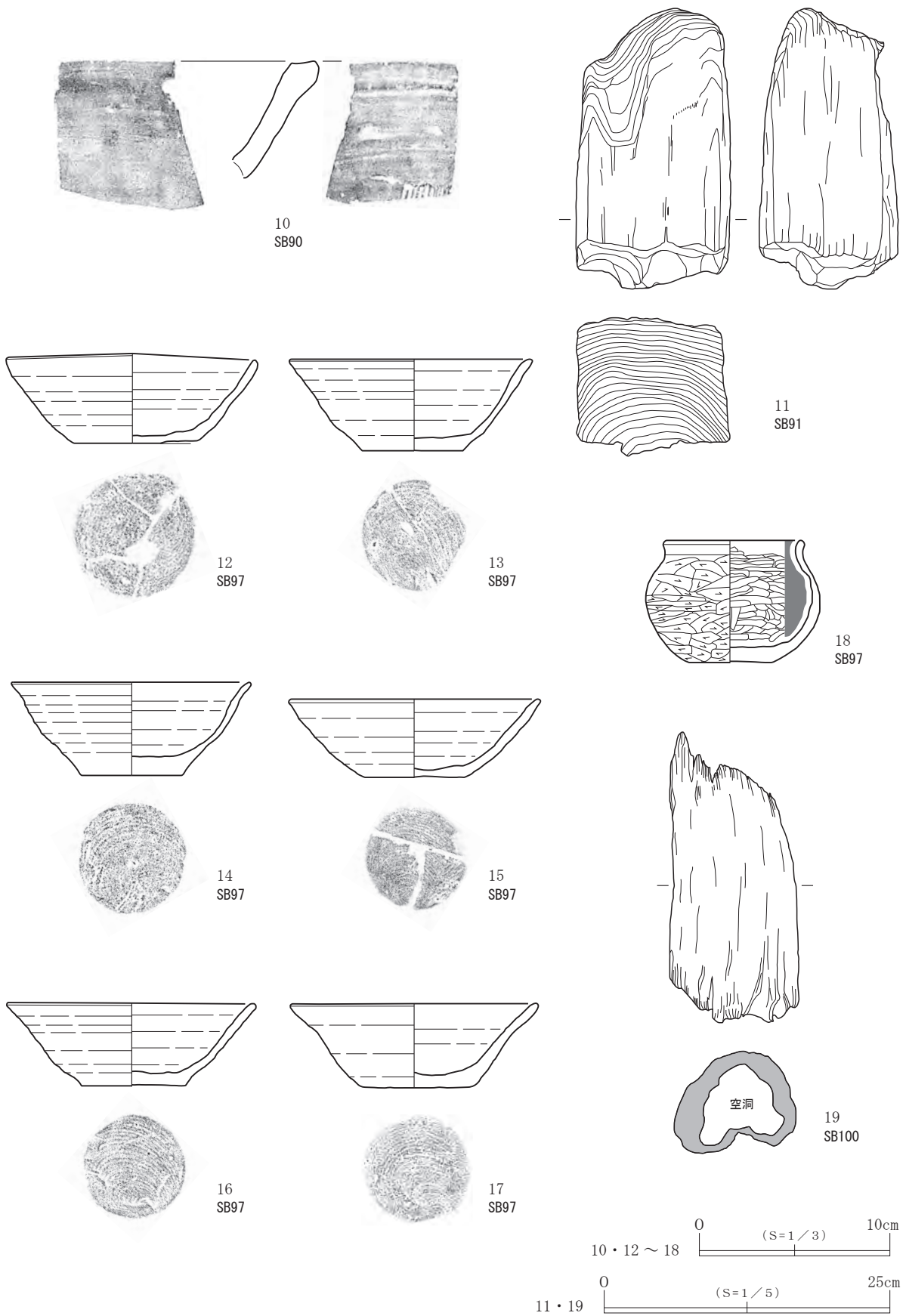
第33図 SD08・12



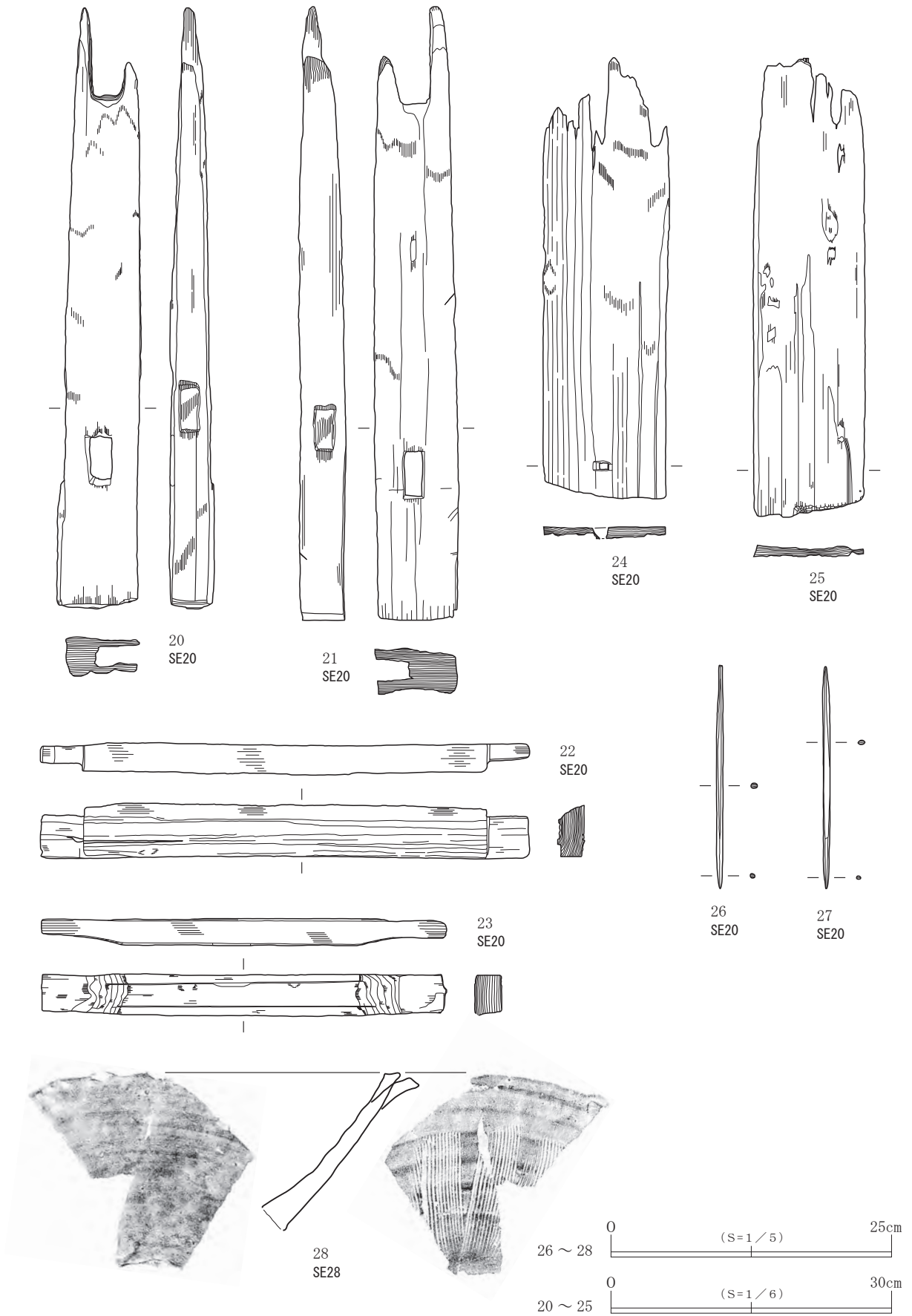
第34図 SD62・67・68



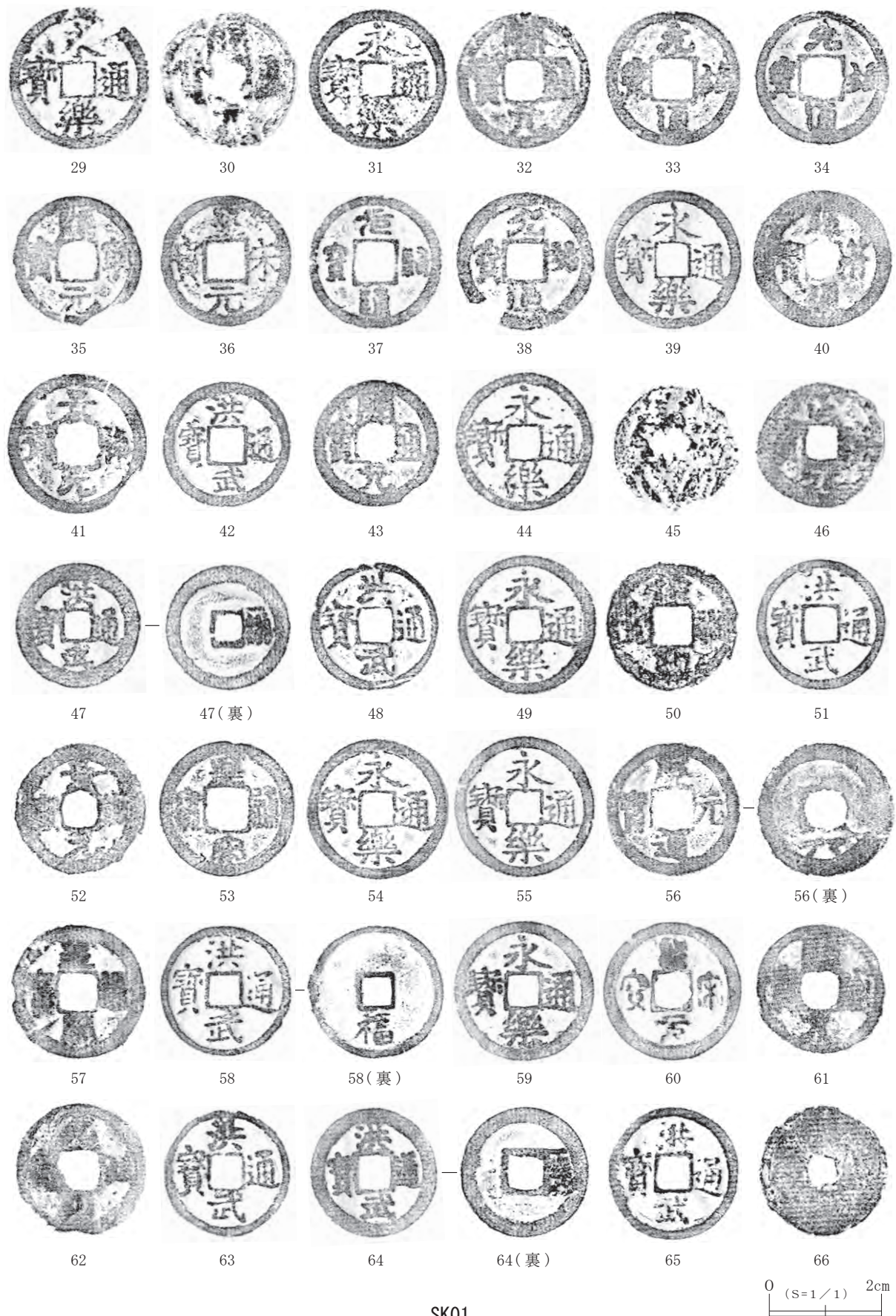
第35図 遺構内出土遺物(1)



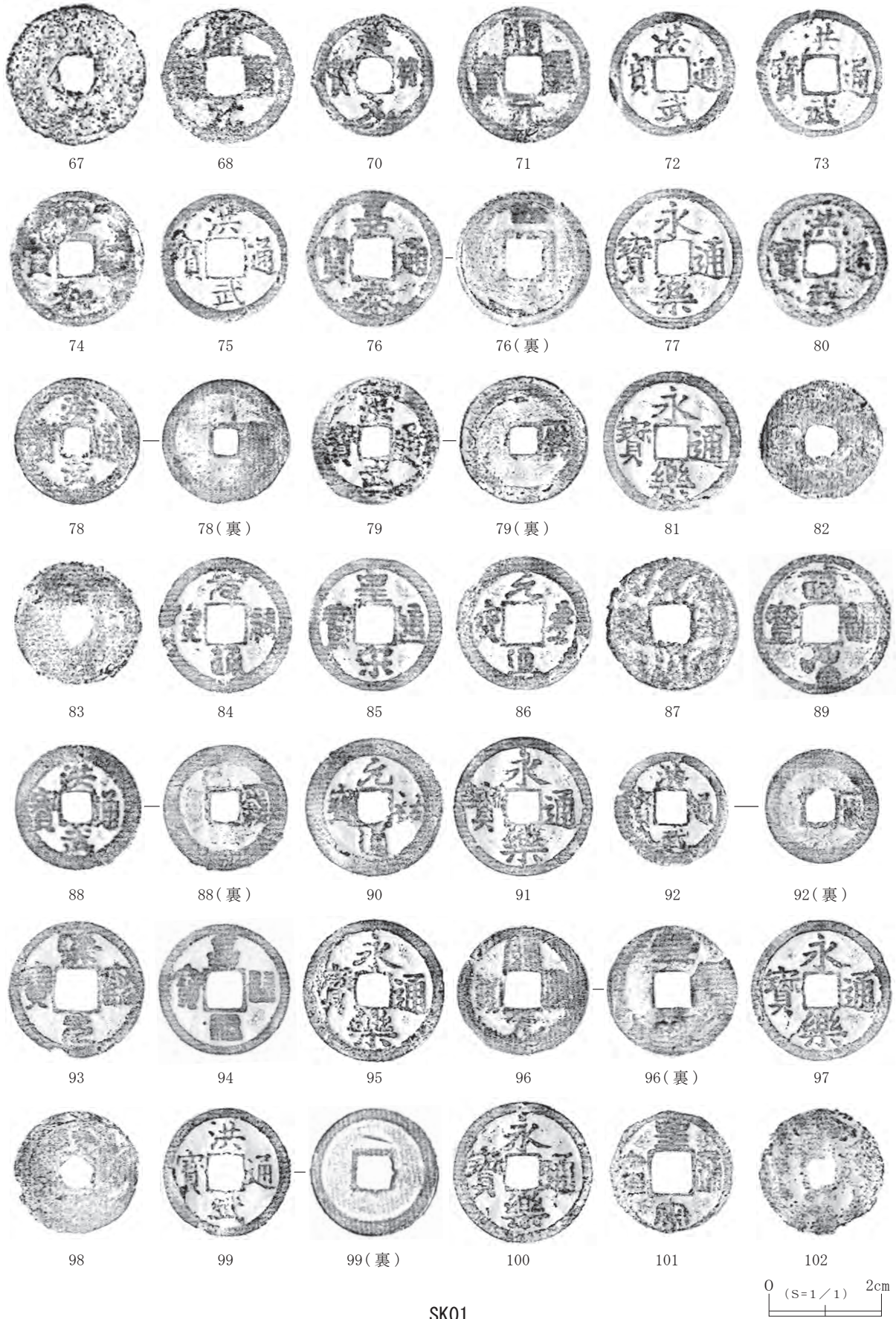
第36図 遺構内出土遺物(2)



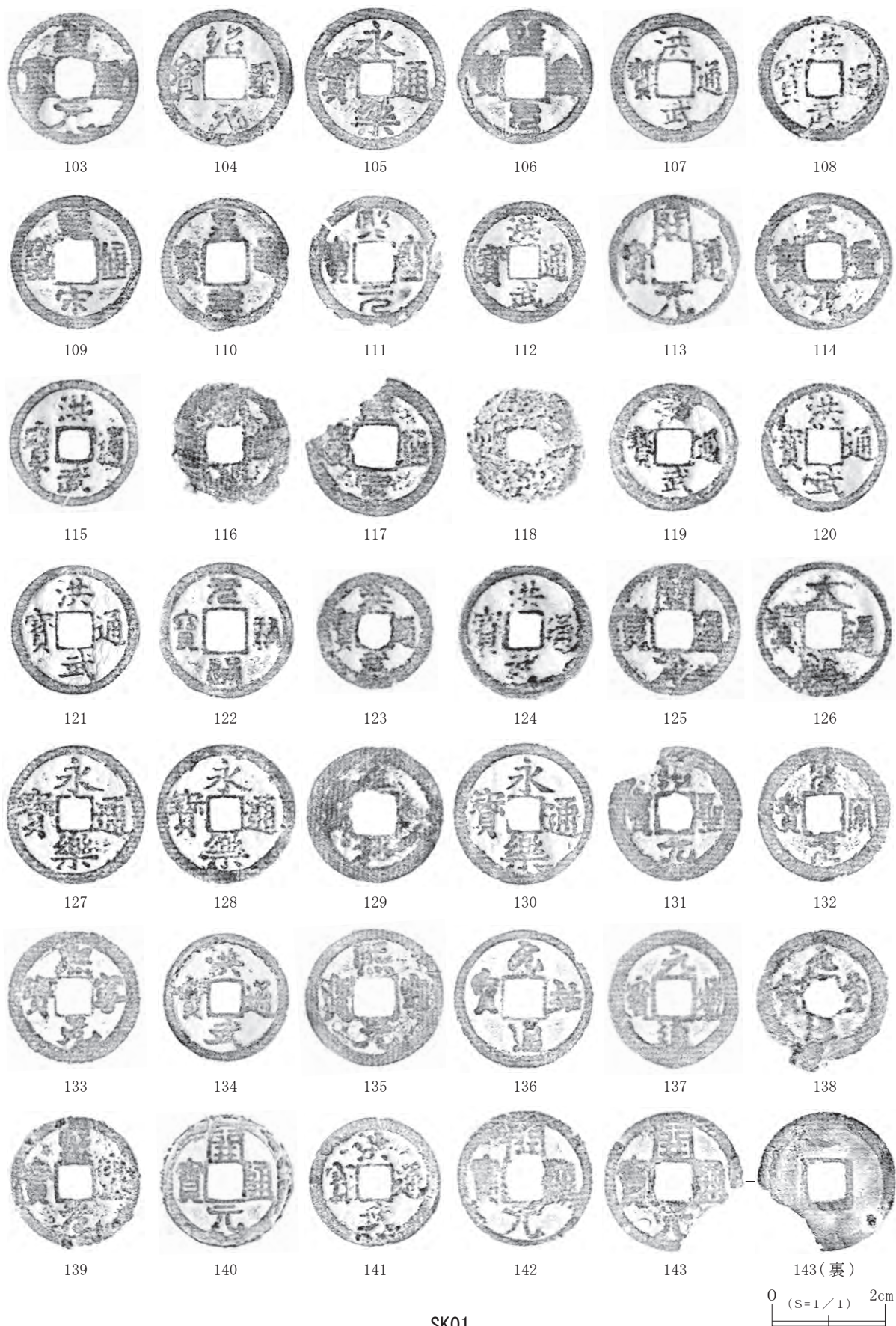
第37図 遺構内出土遺物(3)



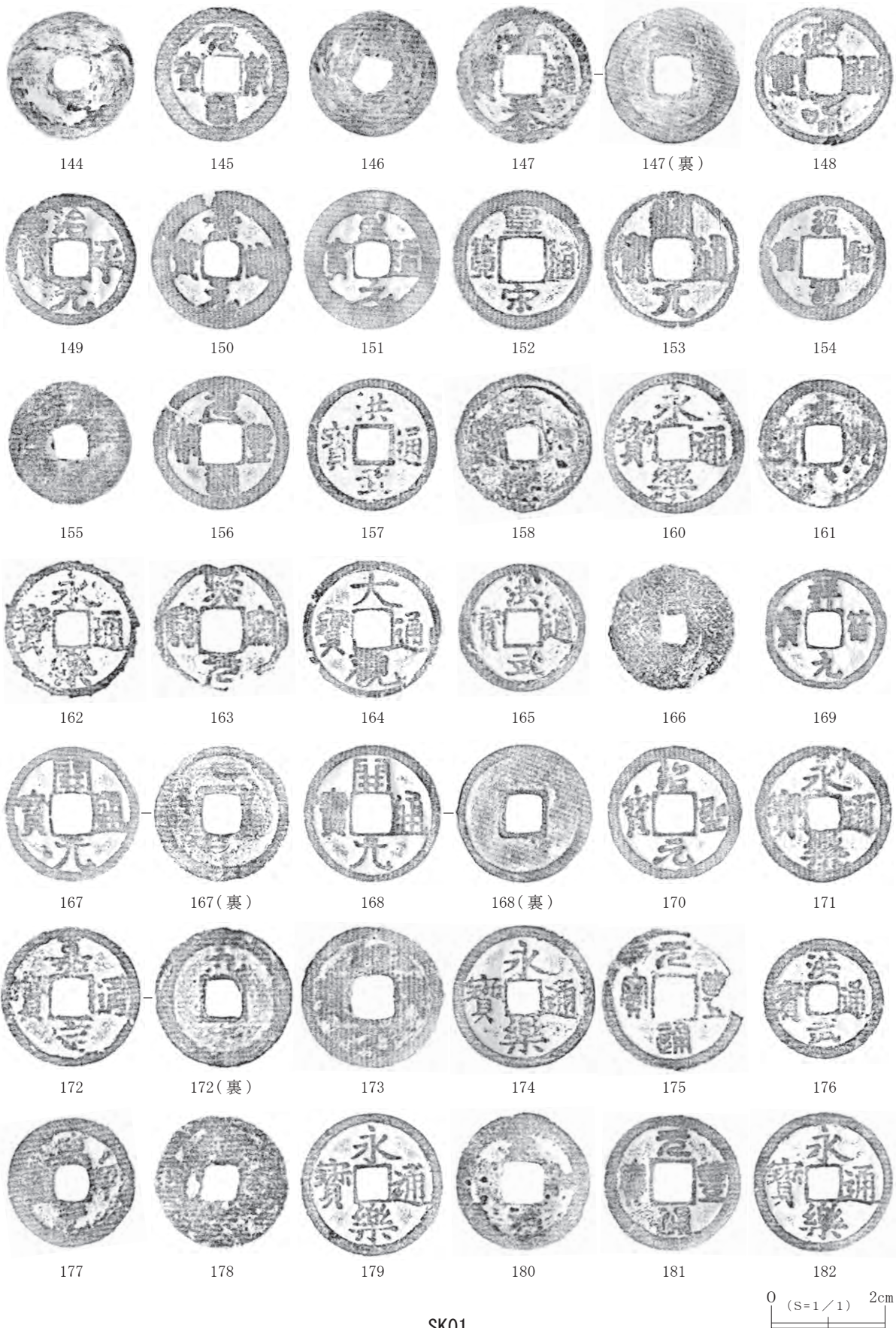
第38図 遺構内出土遺物(4)



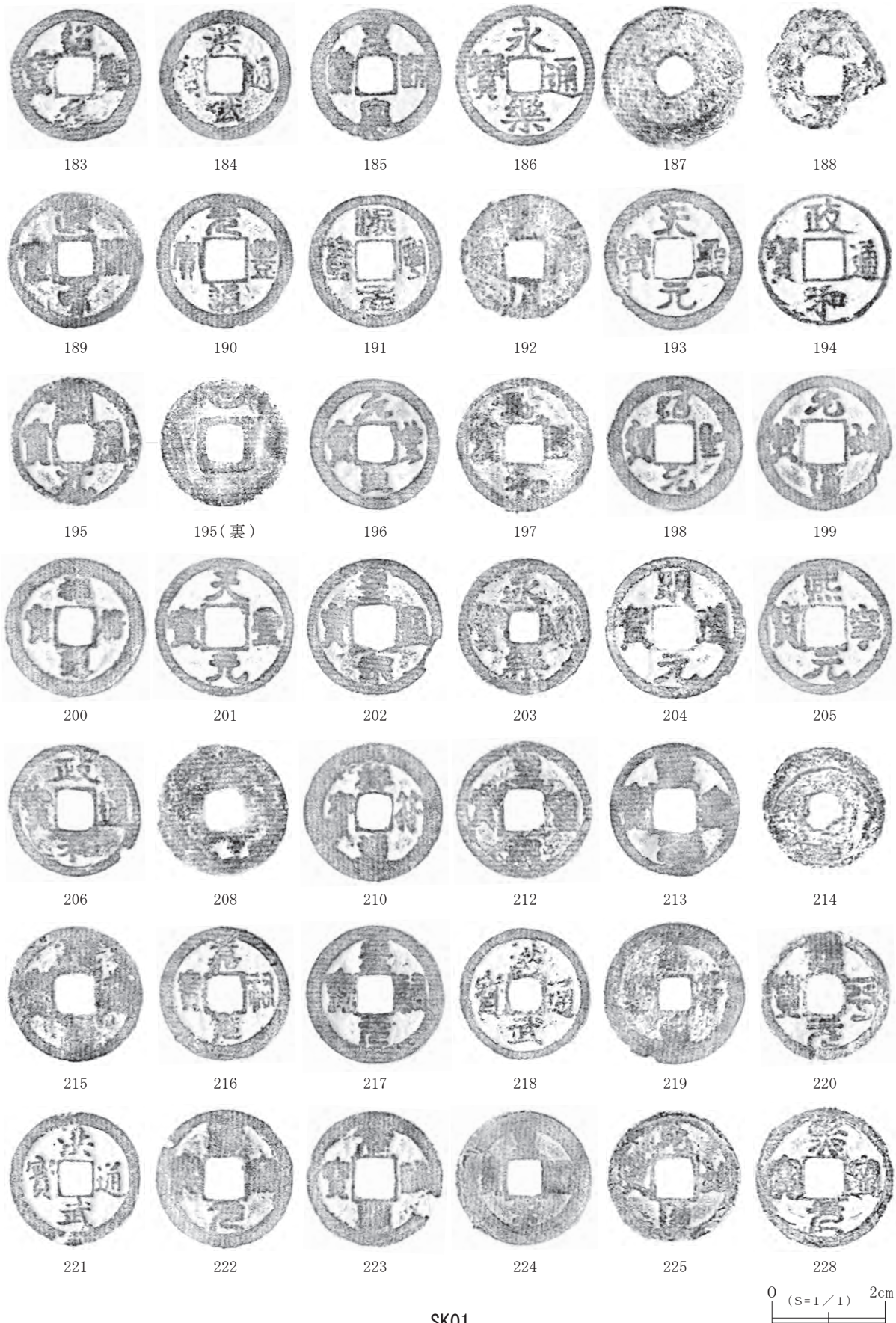
第39図 遺構内出土遺物(5)



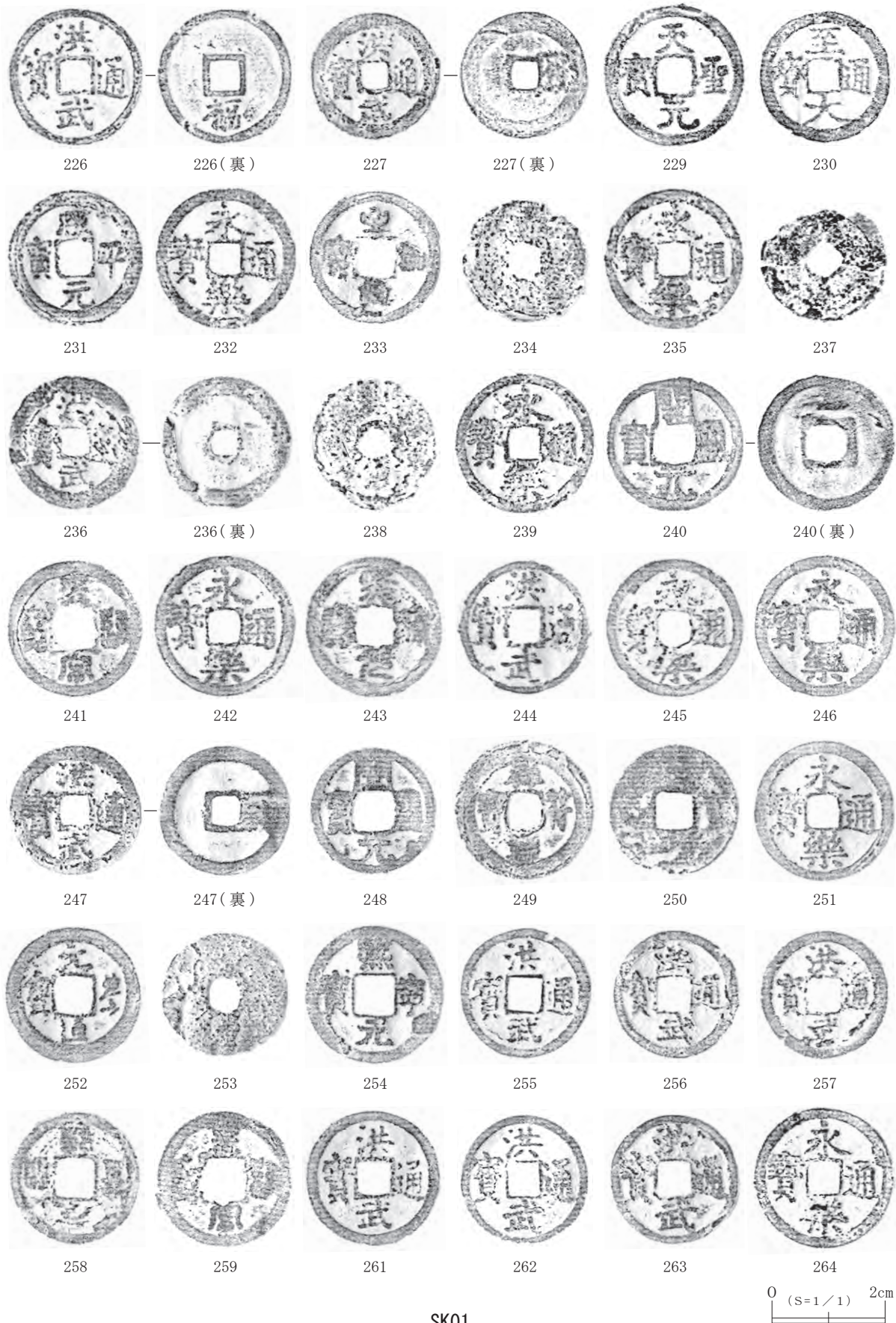
第40図 遺構内出土遺物(6)



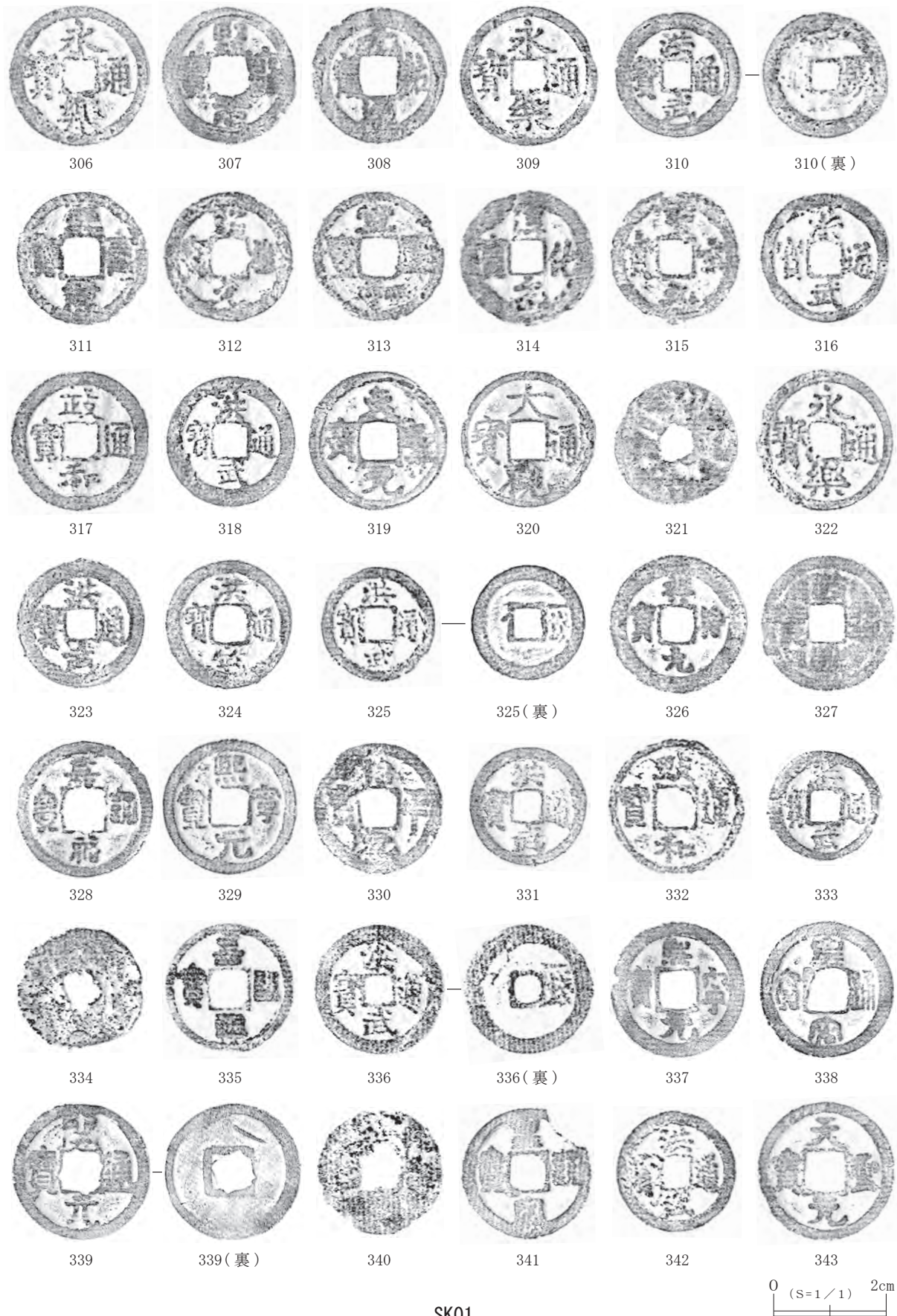
第41図 遺構内出土遺物(7)



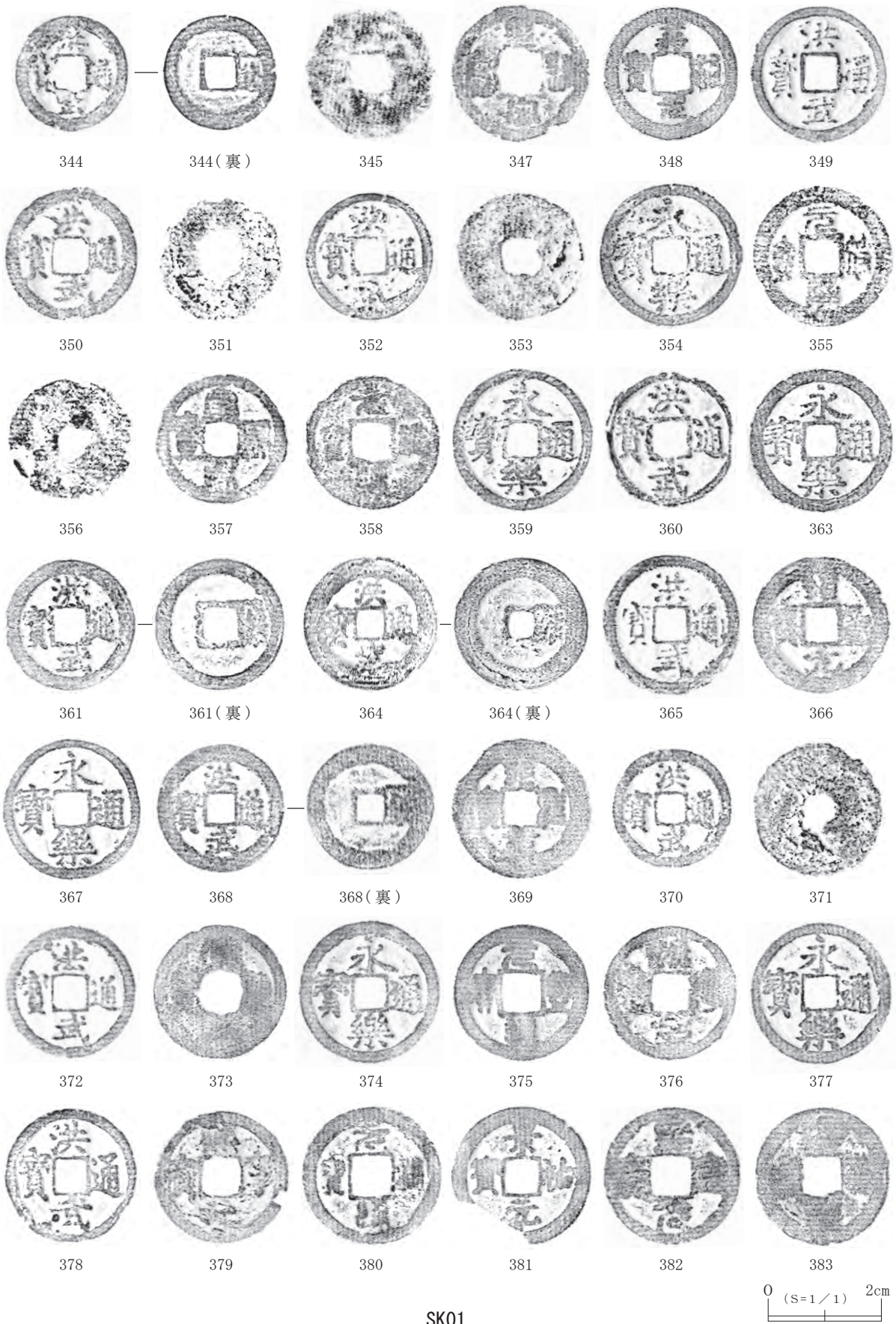
第42図 遺構内出土遺物(8)



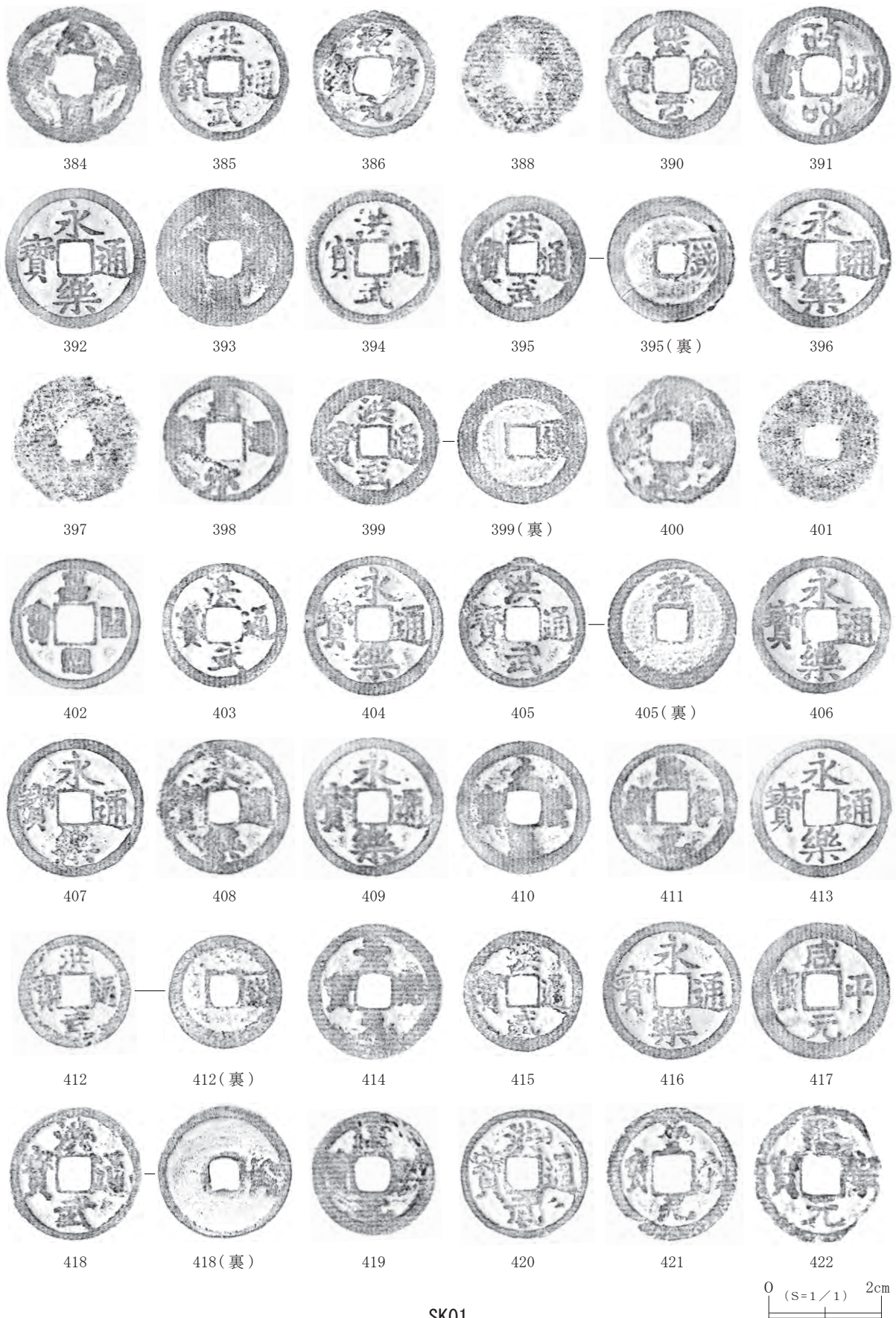
第43図 遺構内出土遺物(9)



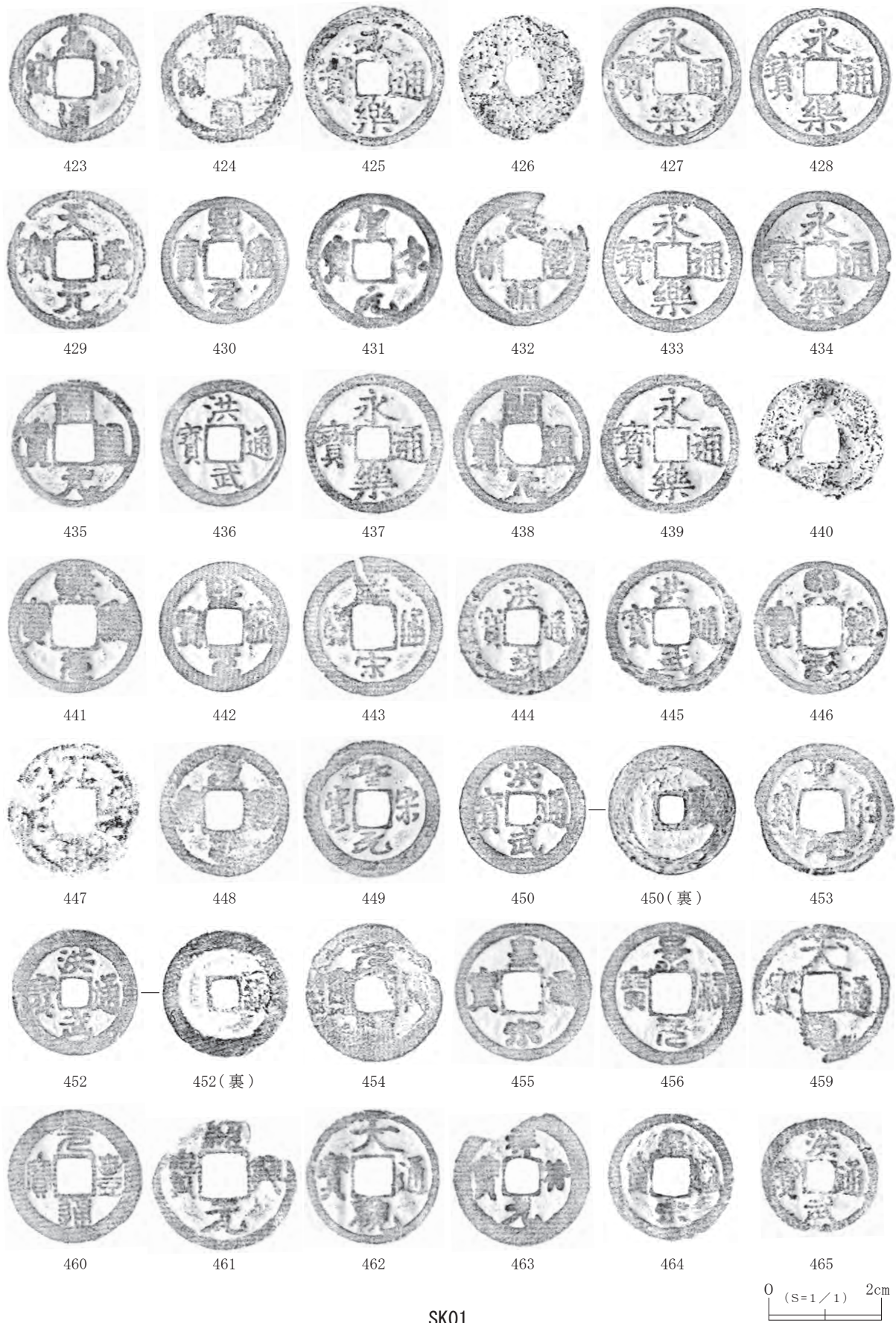
第45図 遺構内出土遺物(11)



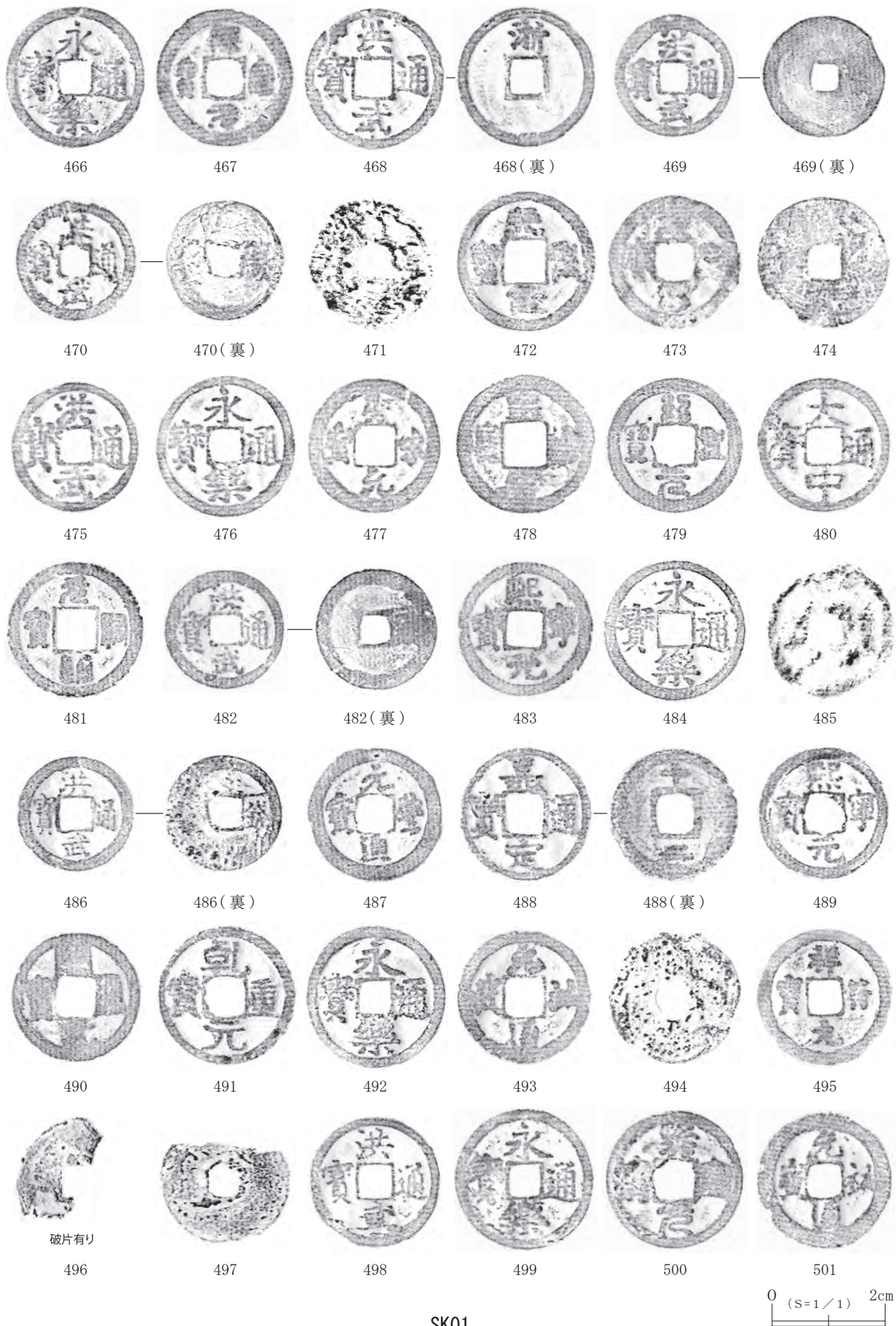
第46図 遺構内出土遺物(12)



第47図 遺構内出土遺物 (13)

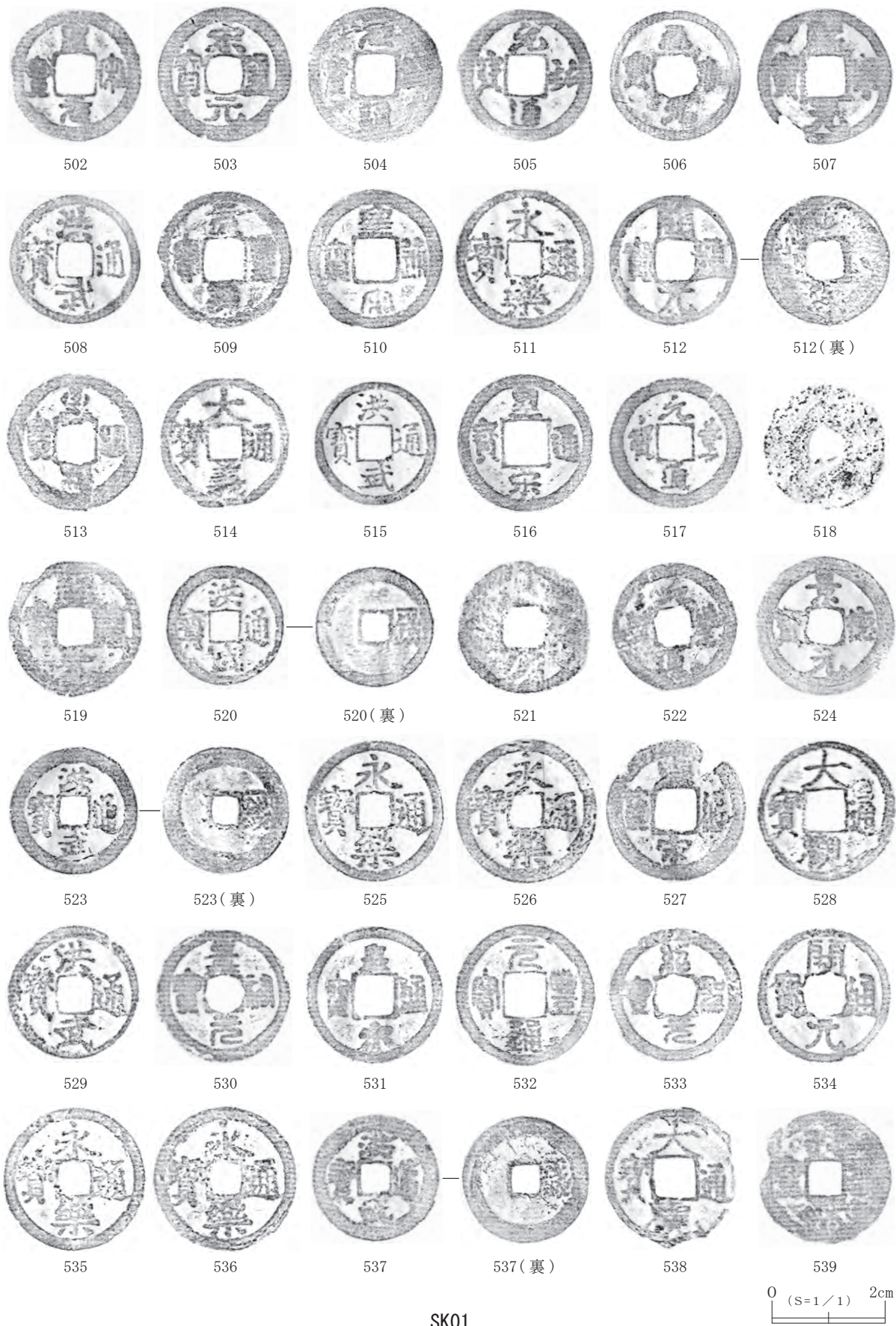


第48図 遺構内出土遺物(14)

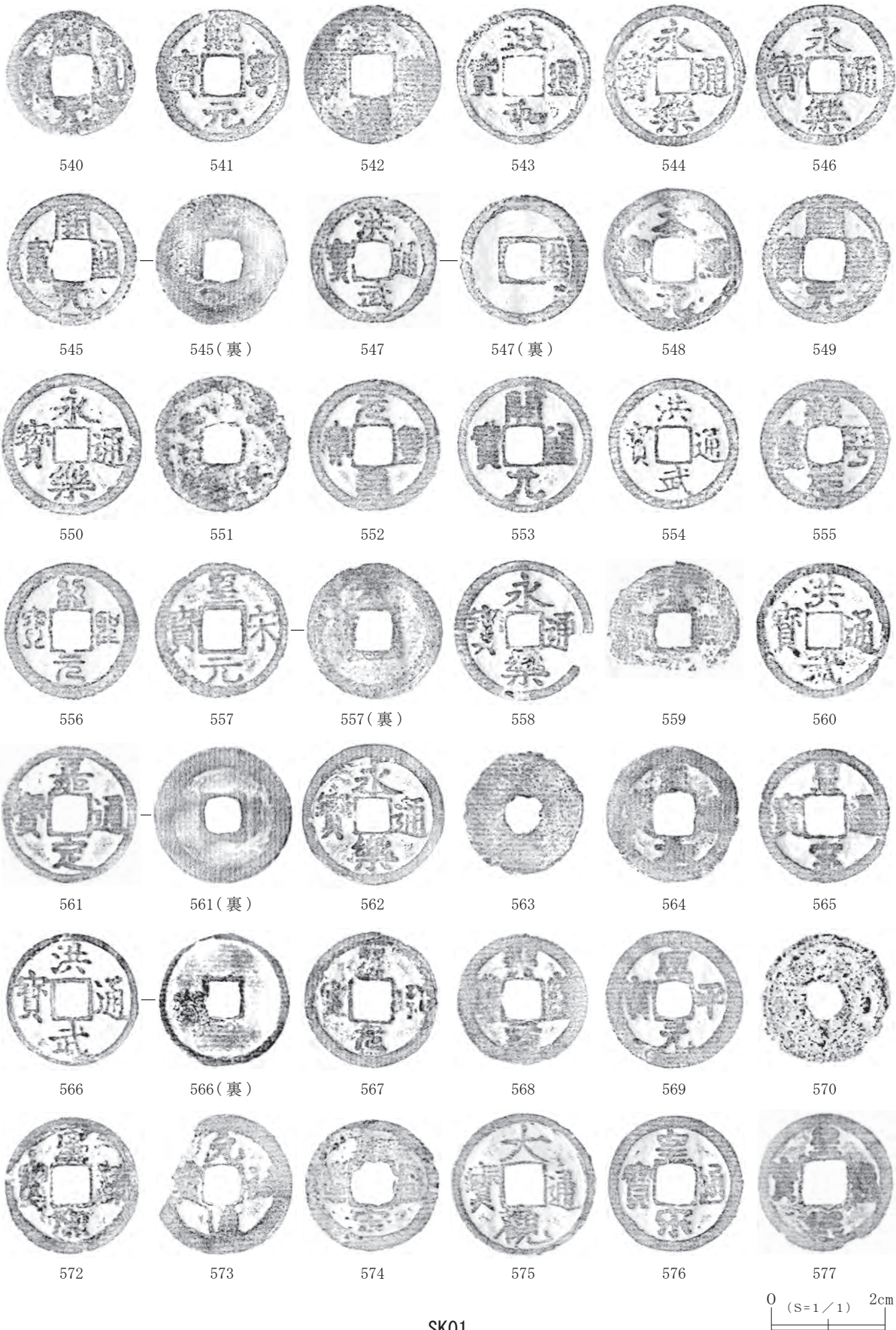


SK01

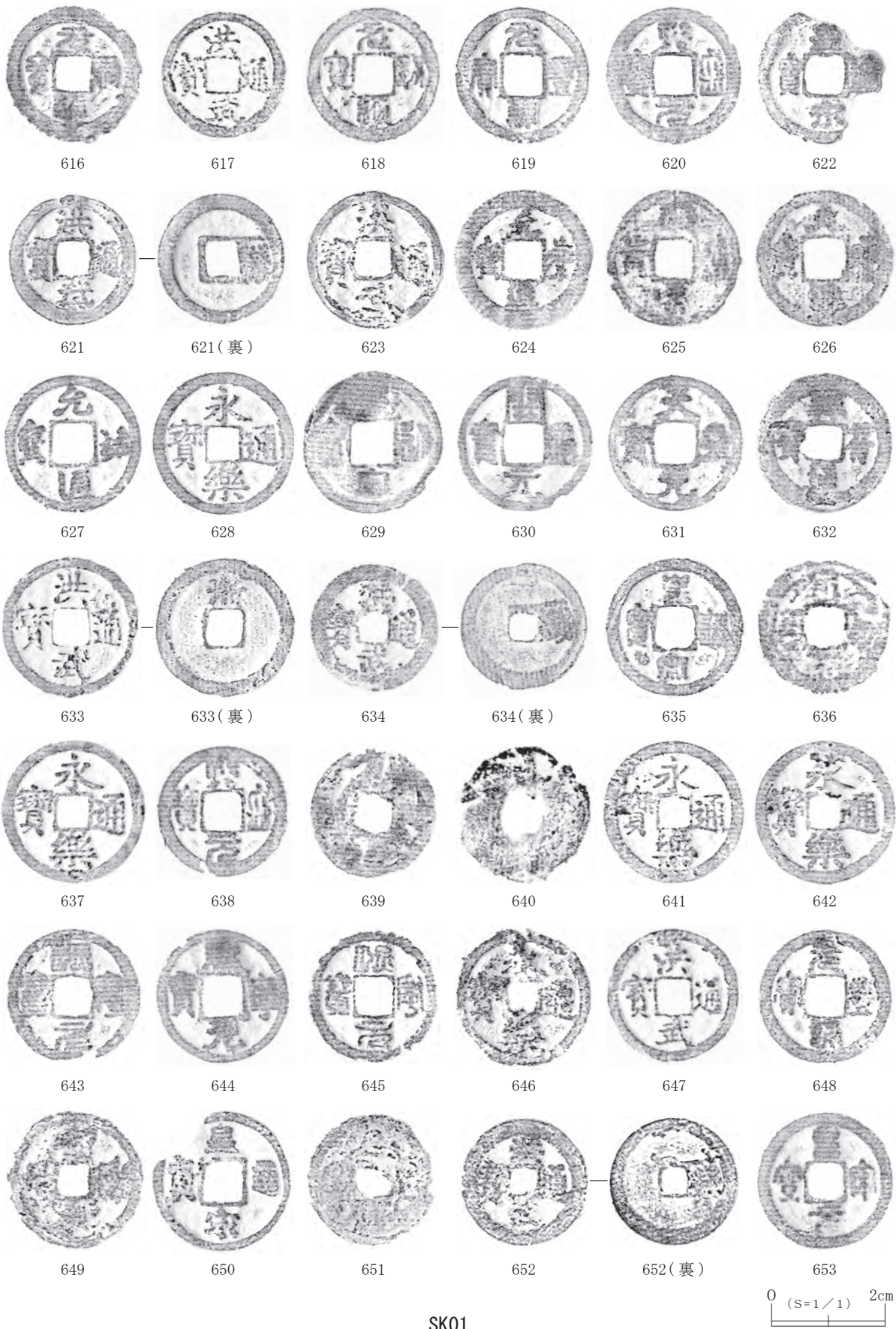
第49図 遺構内出土遺物(15)



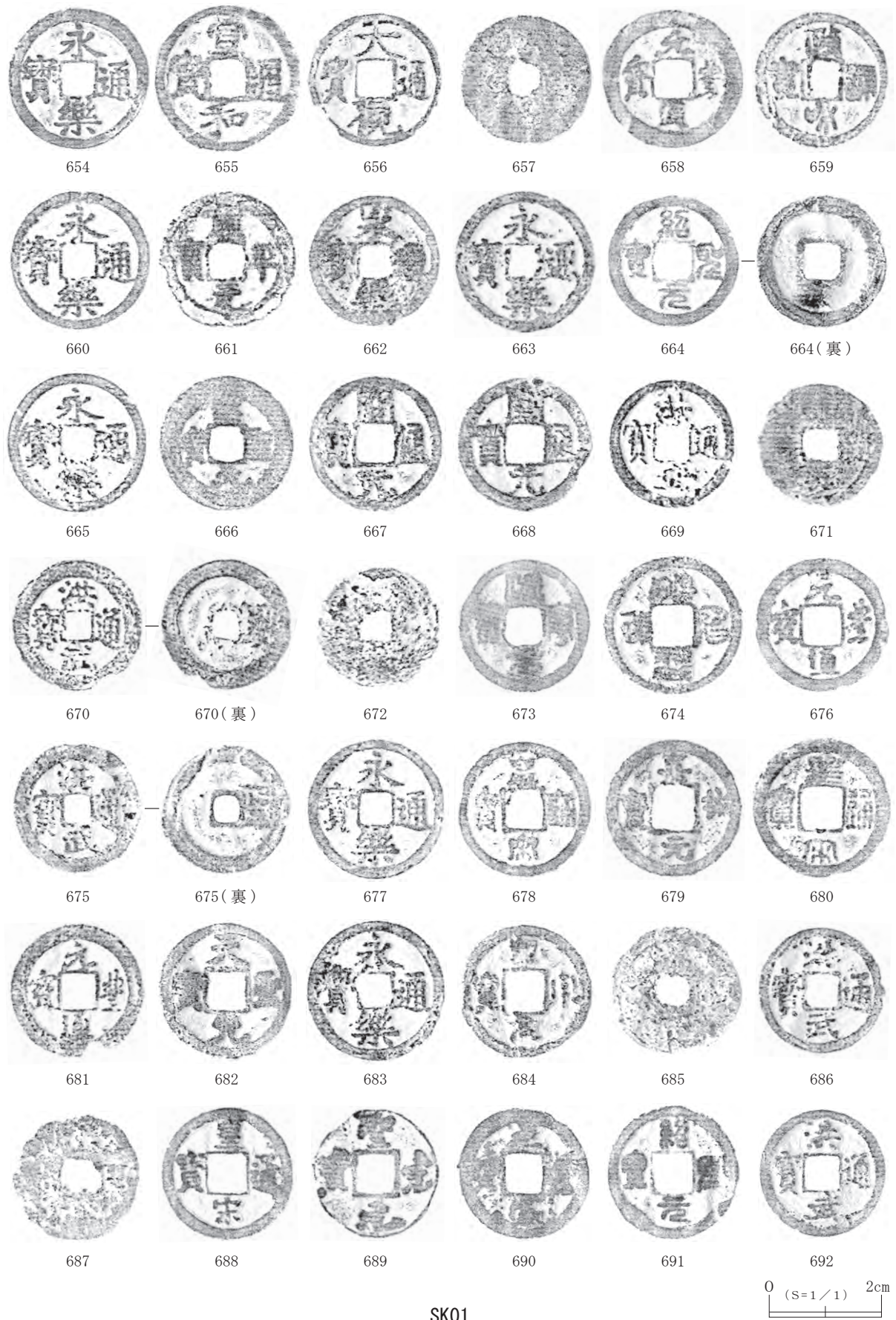
第50図 遺構内出土遺物(16)



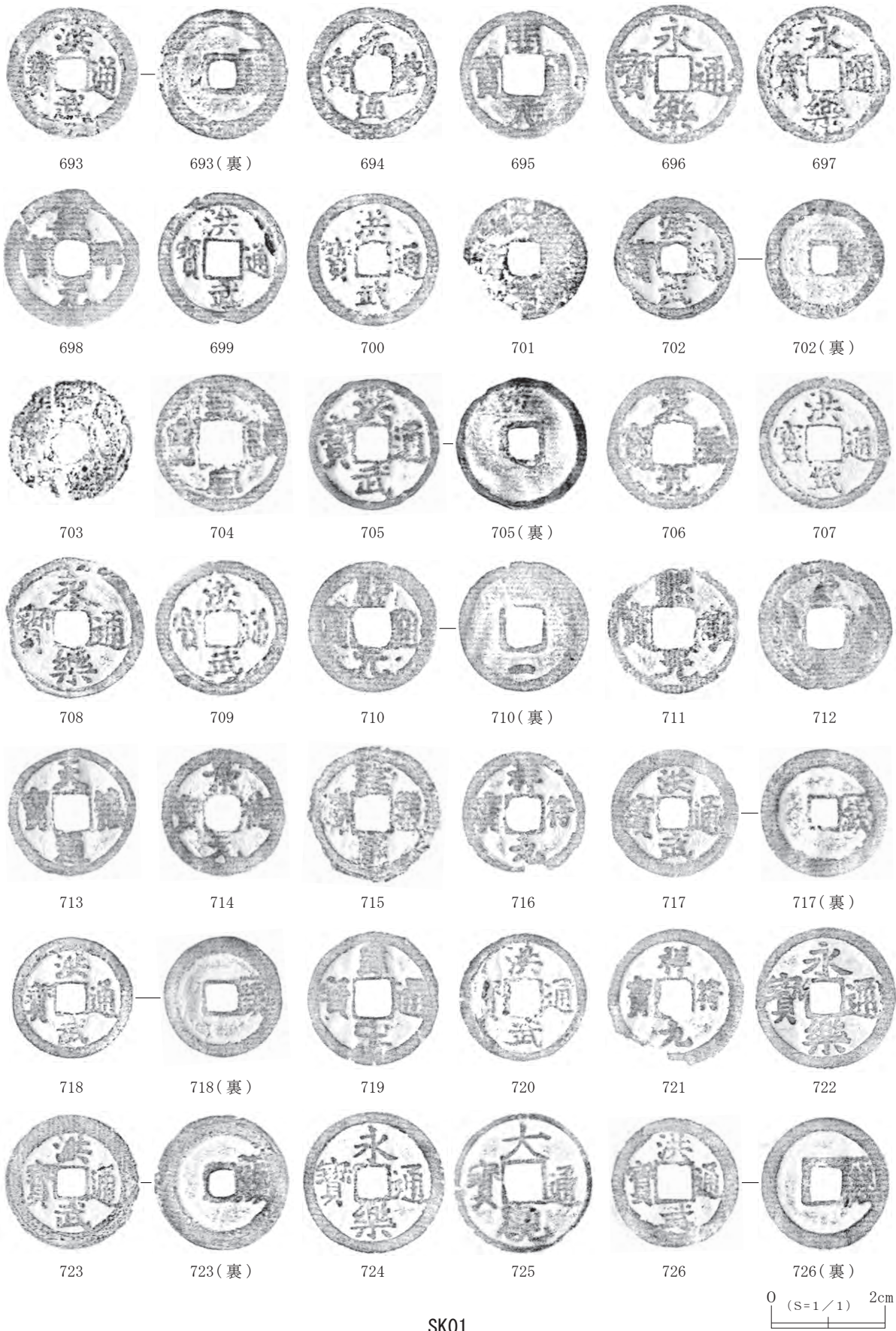
第51図 遺構内出土遺物 (17)



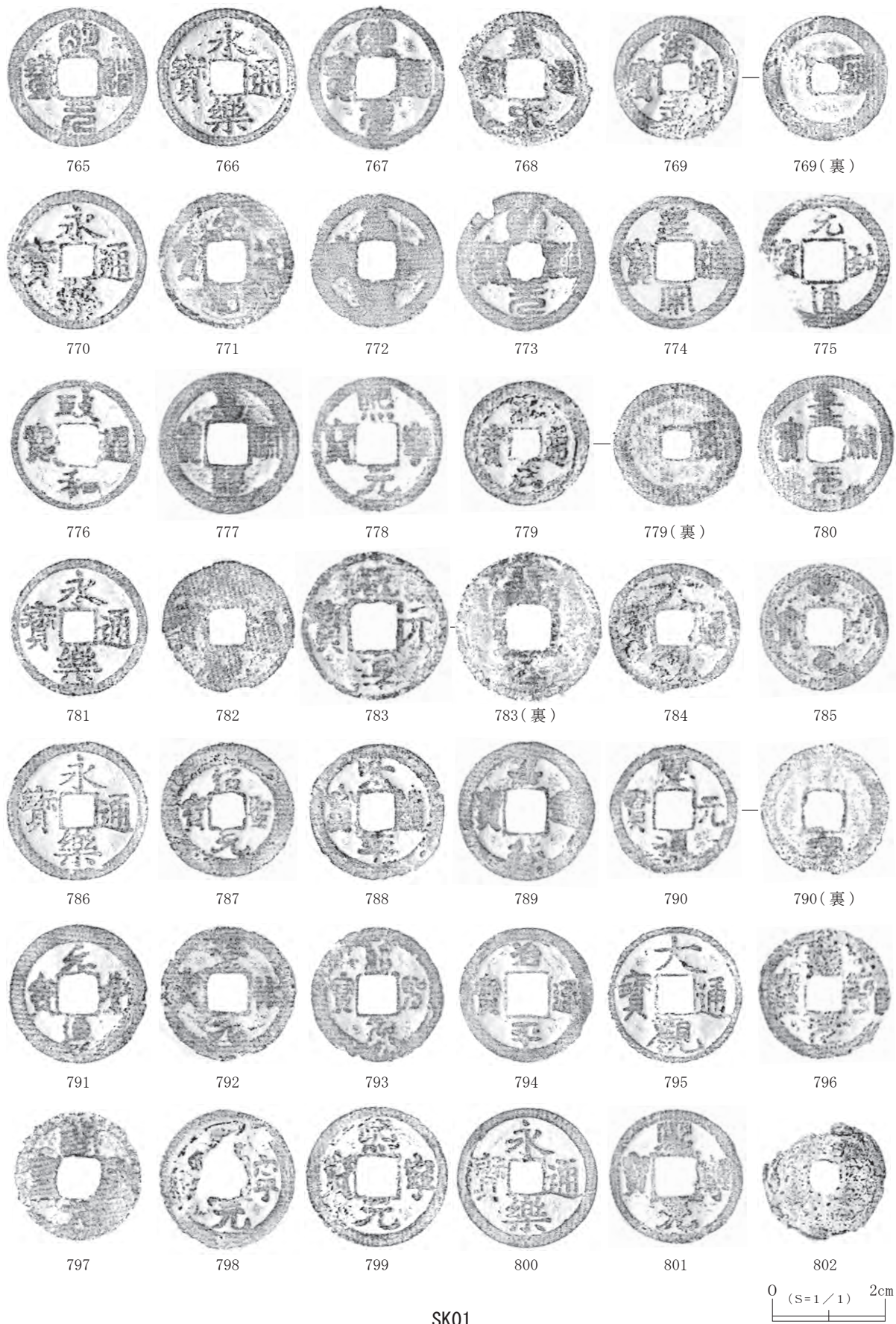
第53図 遺構内出土遺物(19)



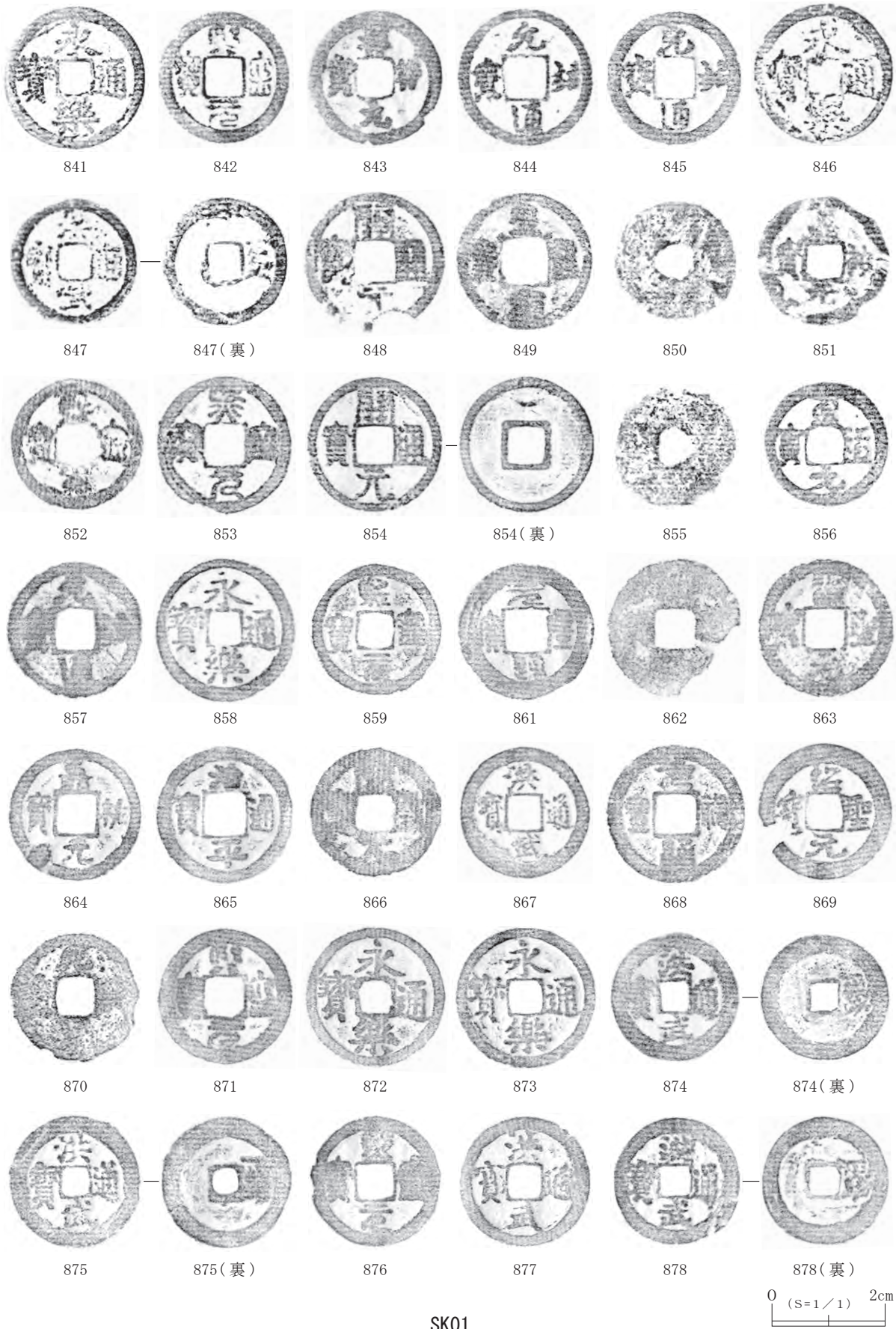
第54図 遺構内出土遺物 (20)



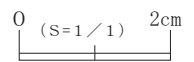
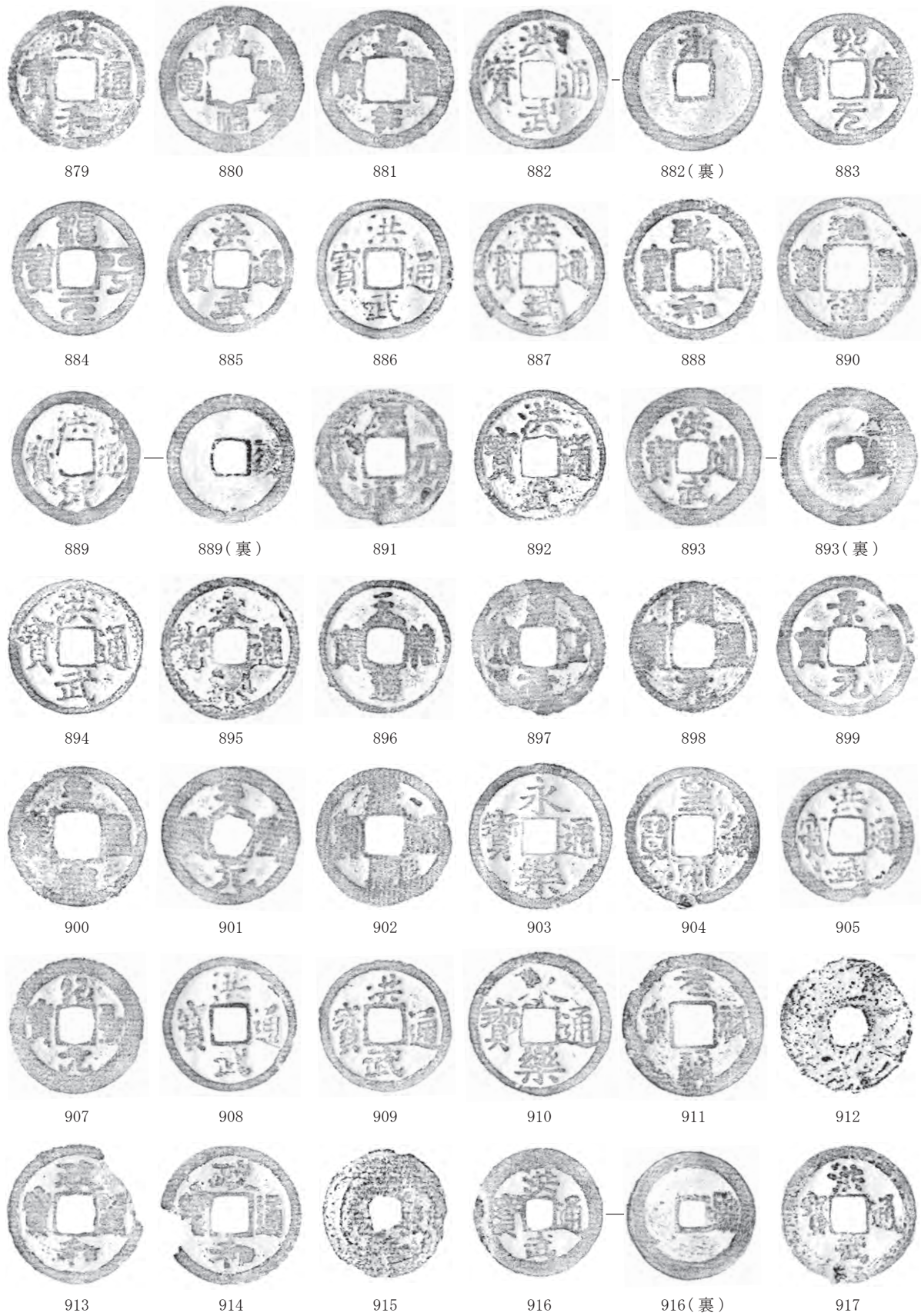
第55図 遺構内出土遺物(21)



第57図 遺構内出土遺物 (23)

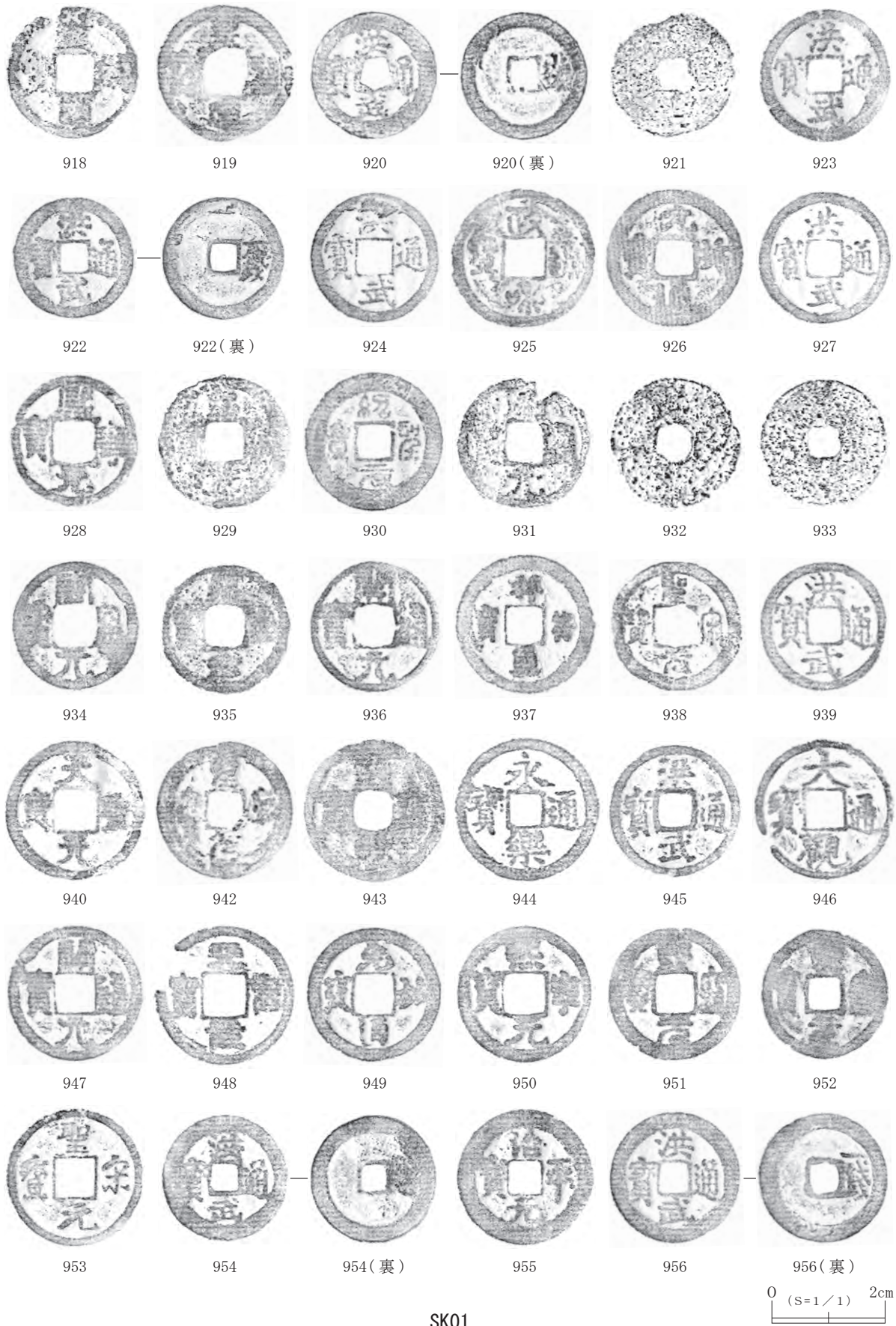


第59図 遺構内出土遺物 (25)

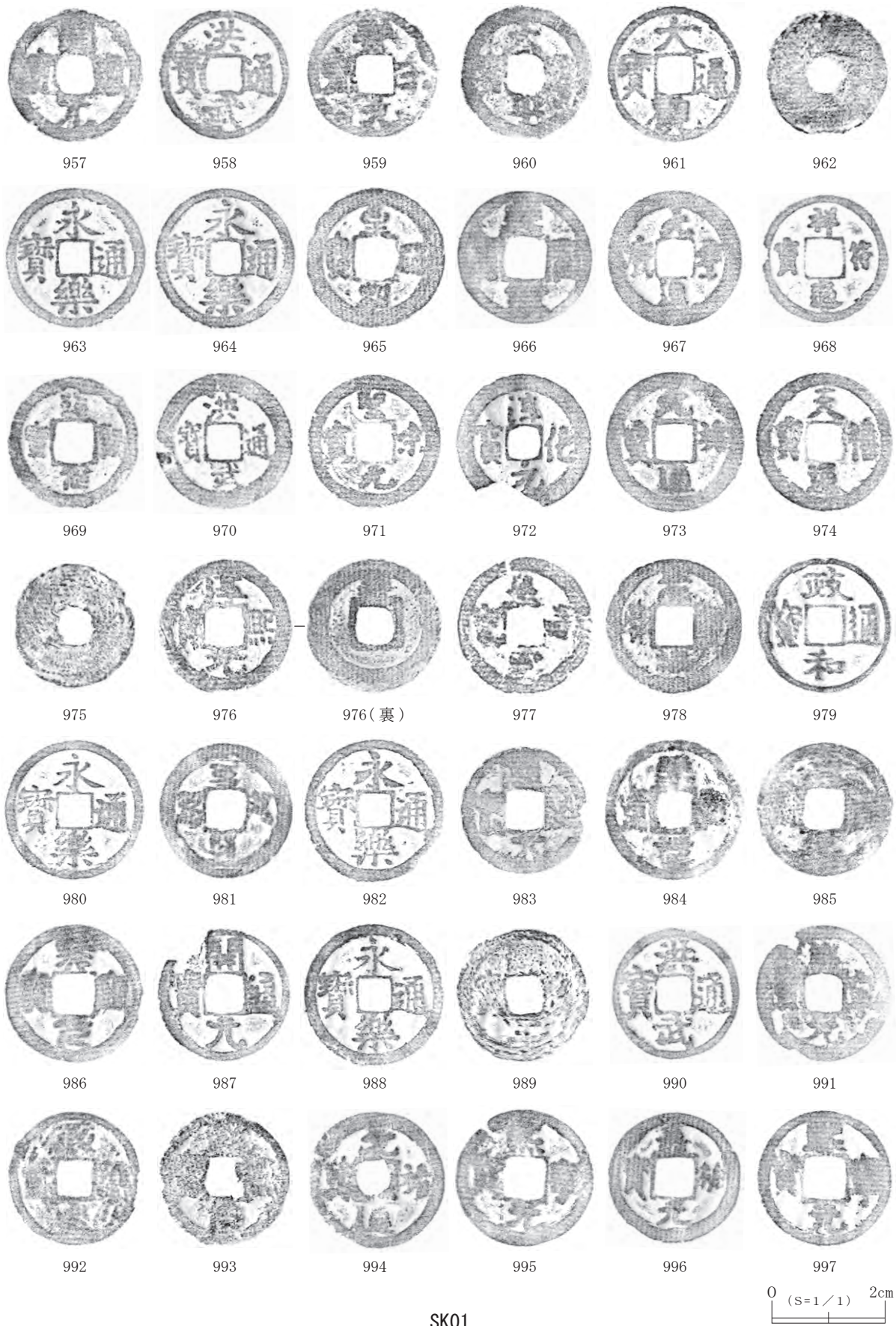


SK01

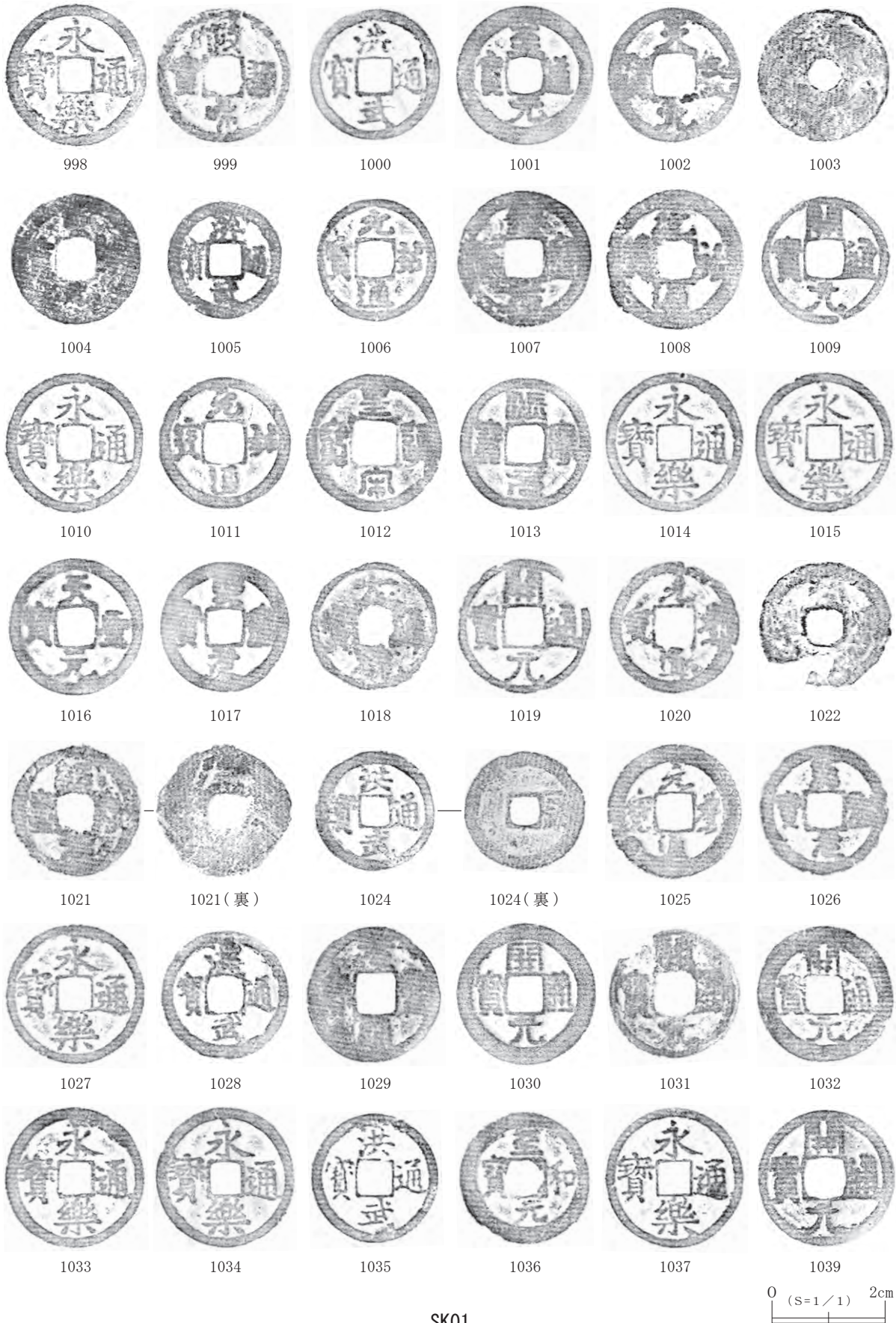
第60図 遺構内出土遺物(26)



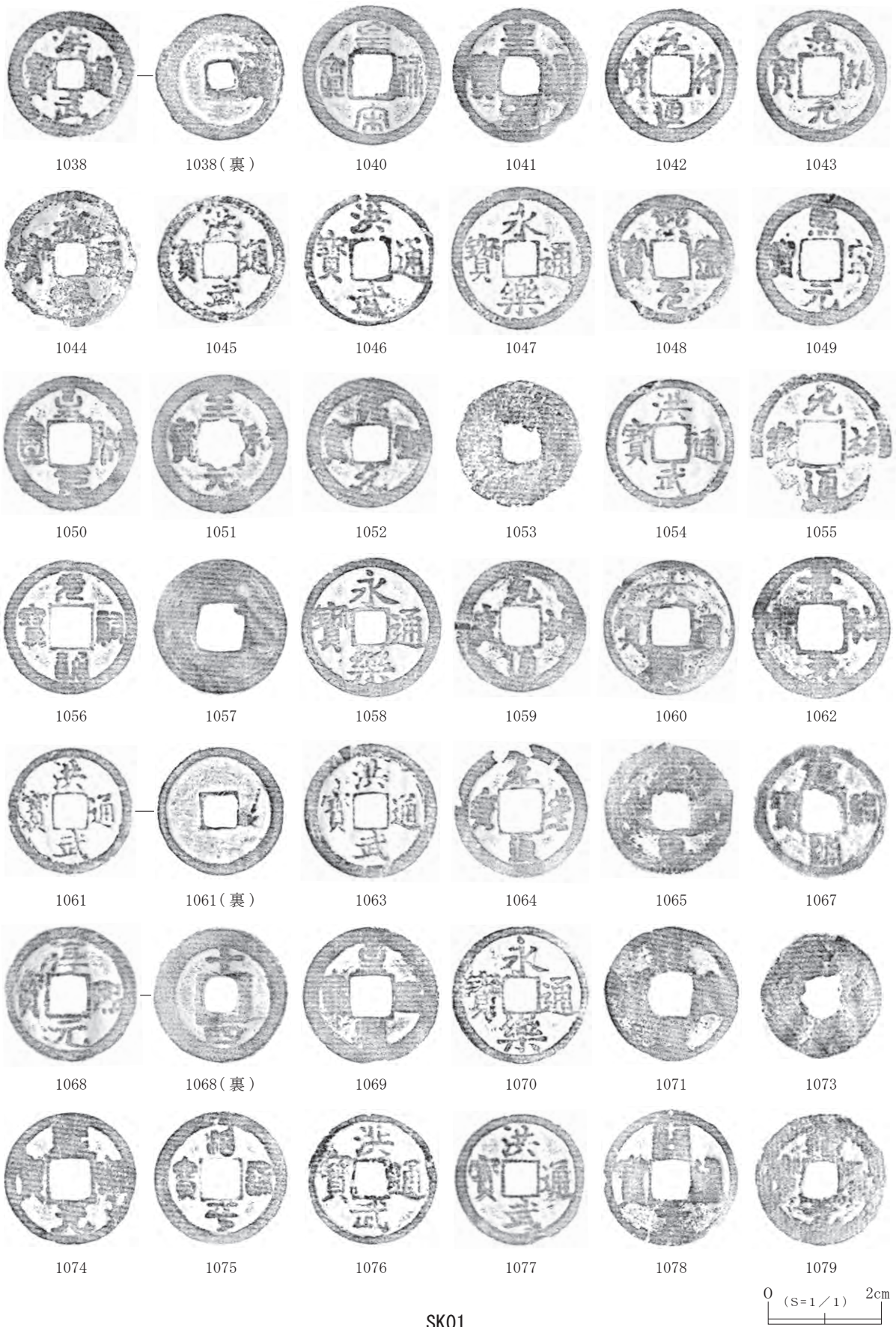
第61図 遺構内出土遺物 (27)



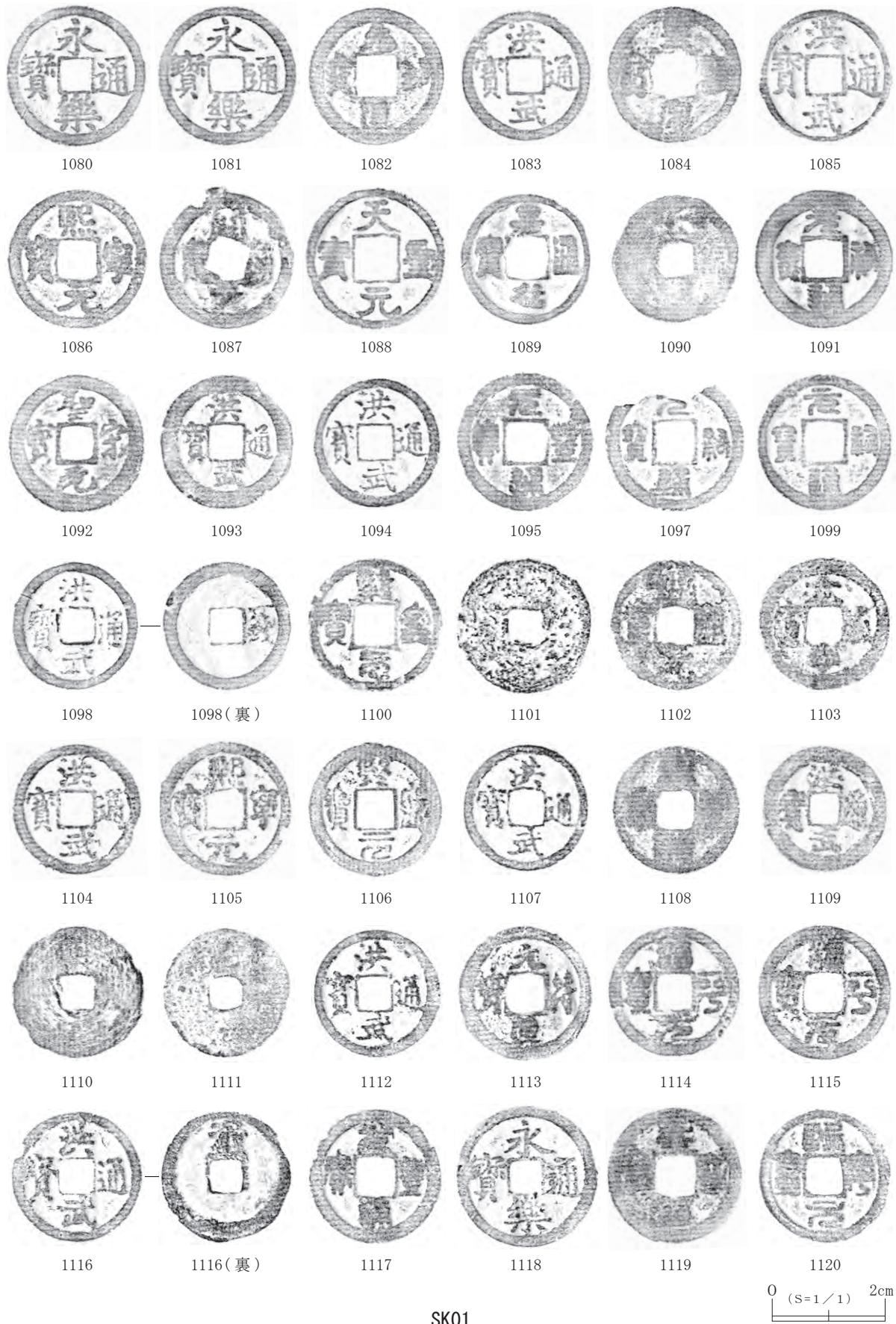
第62図 遺構内出土遺物 (28)



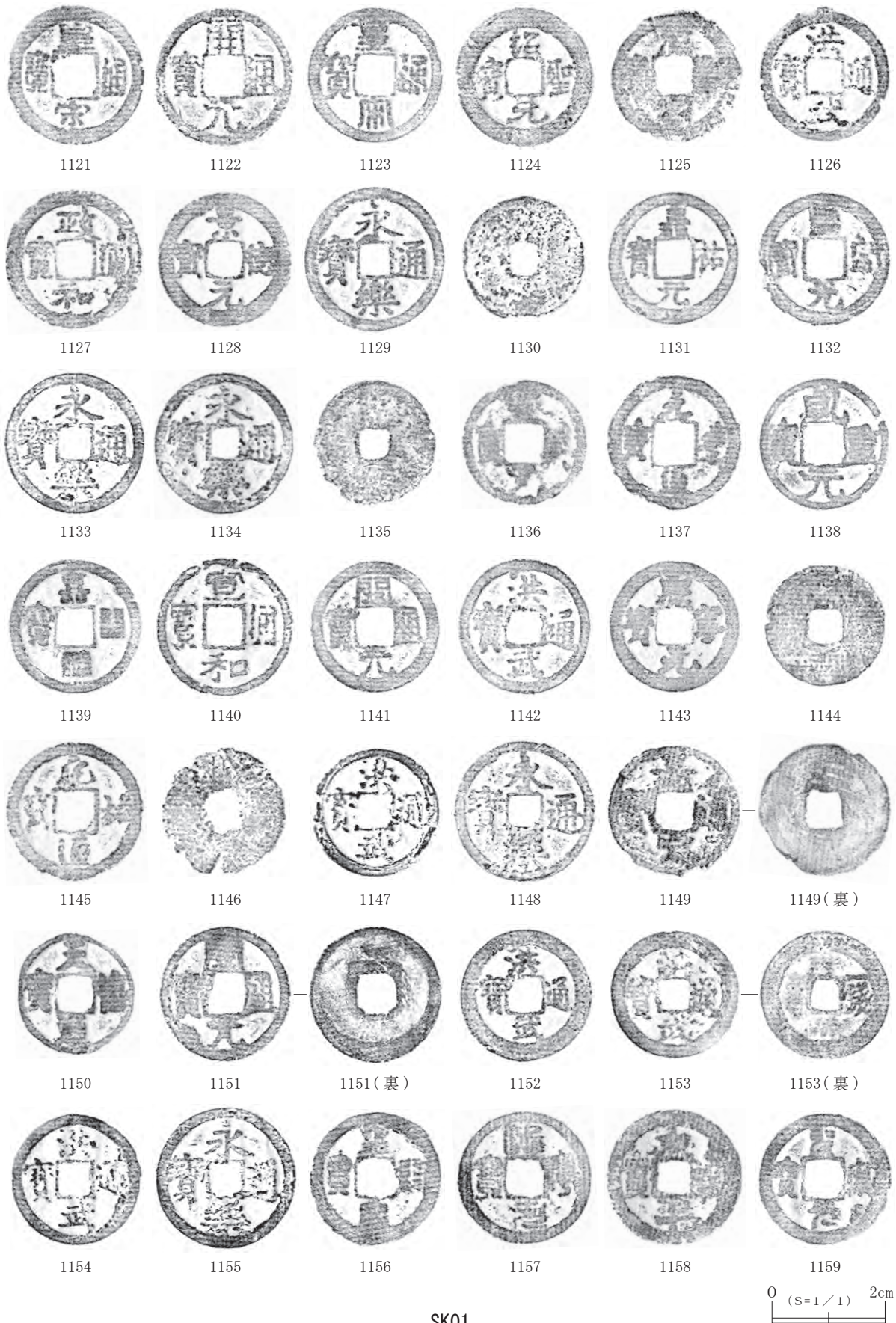
第63図 遺構内出土遺物 (29)



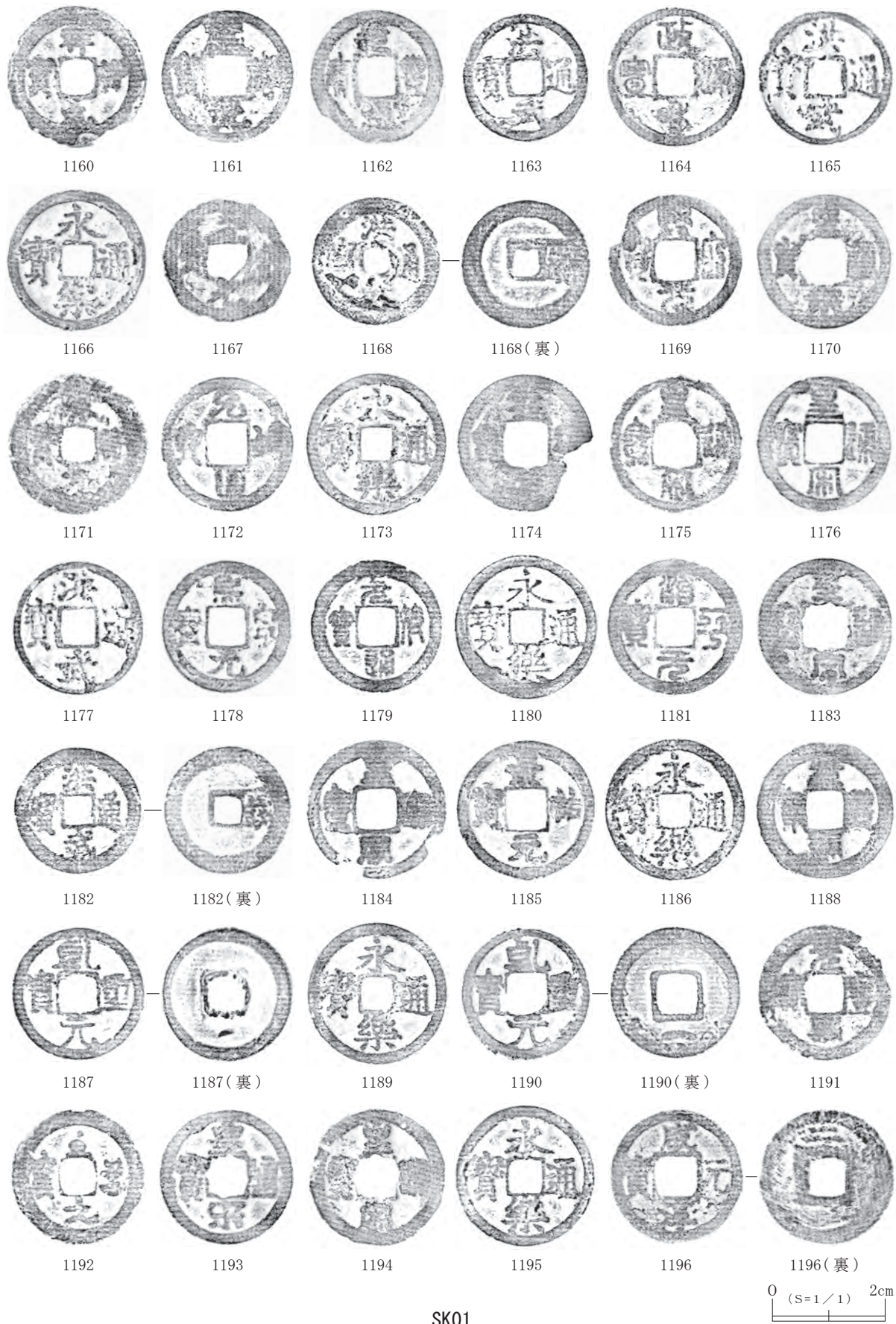
第64図 遺構内出土遺物 (30)



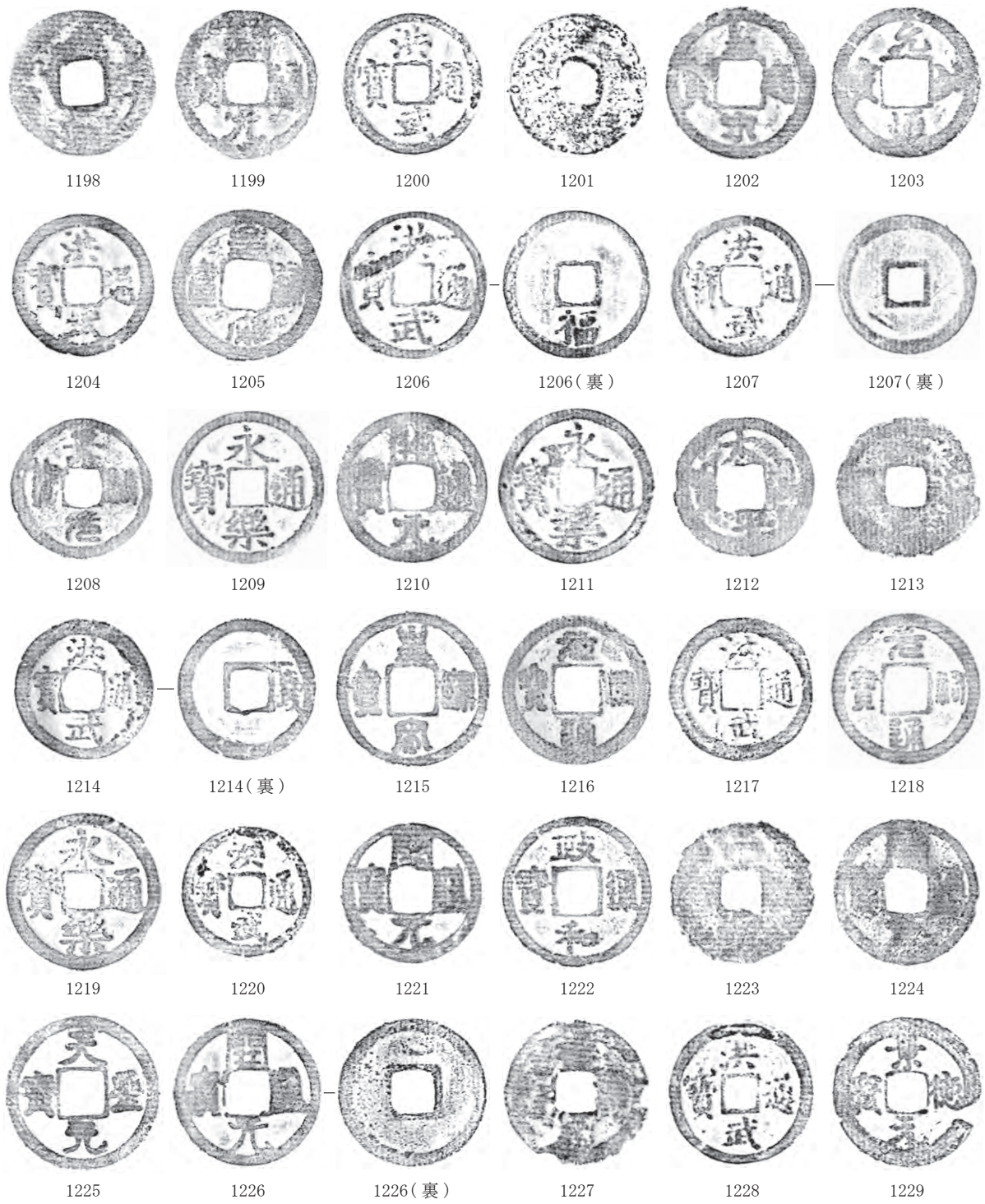
第 65 図 遺構内出土遺物 (31)



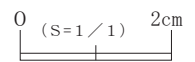
第66図 遺構内出土遺物 (32)



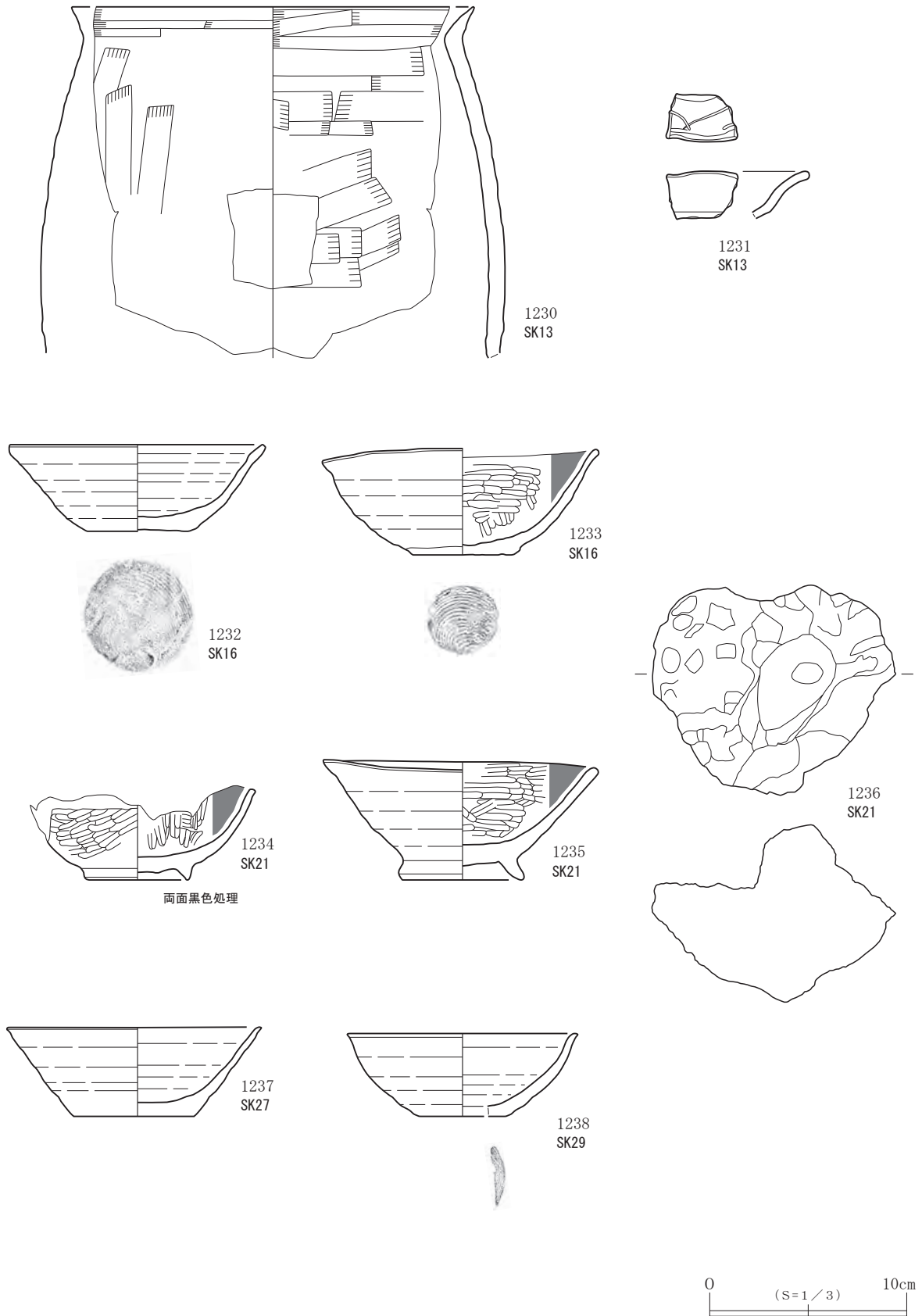
第 67 図 遺構内出土遺物 (33)



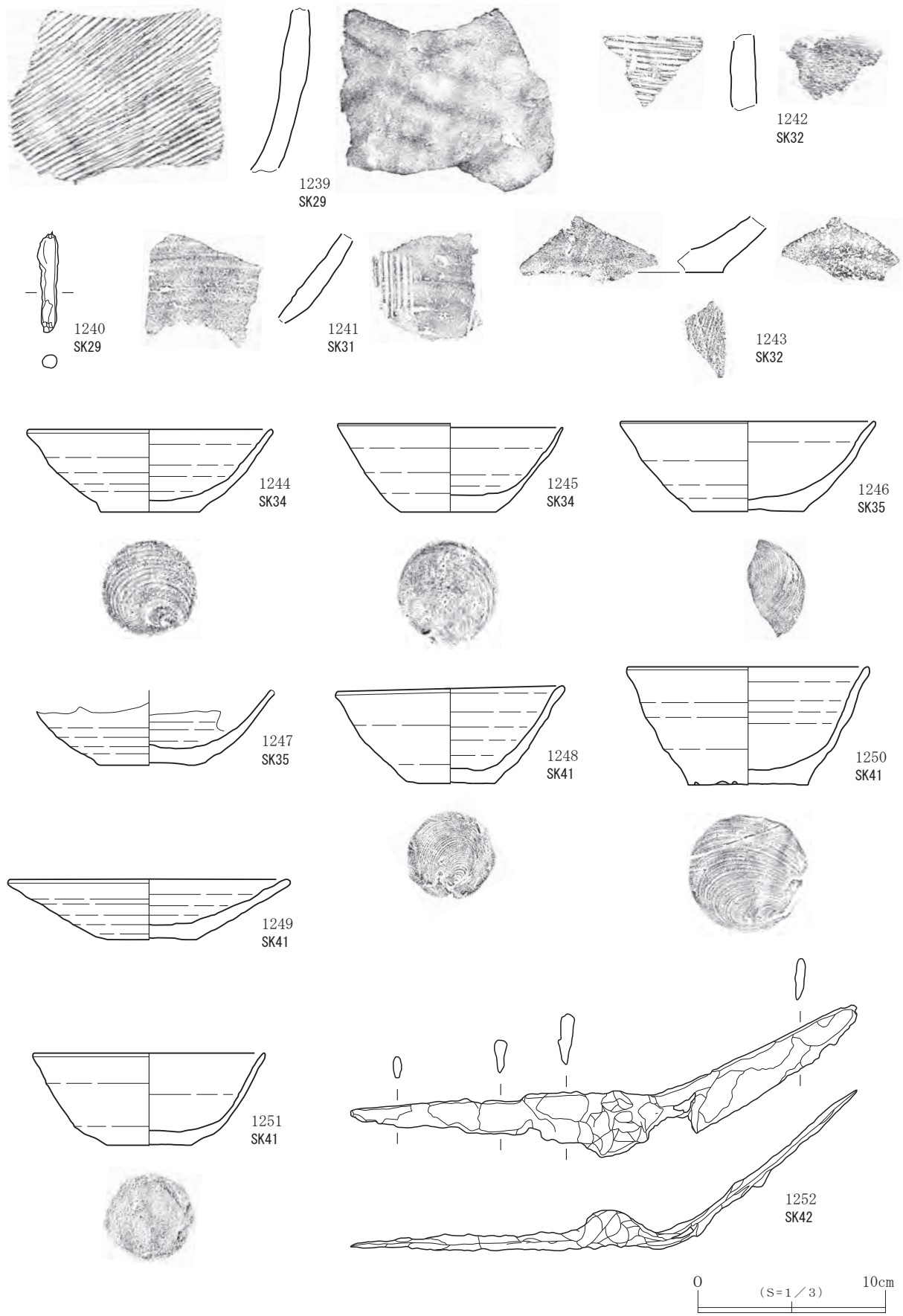
SK01



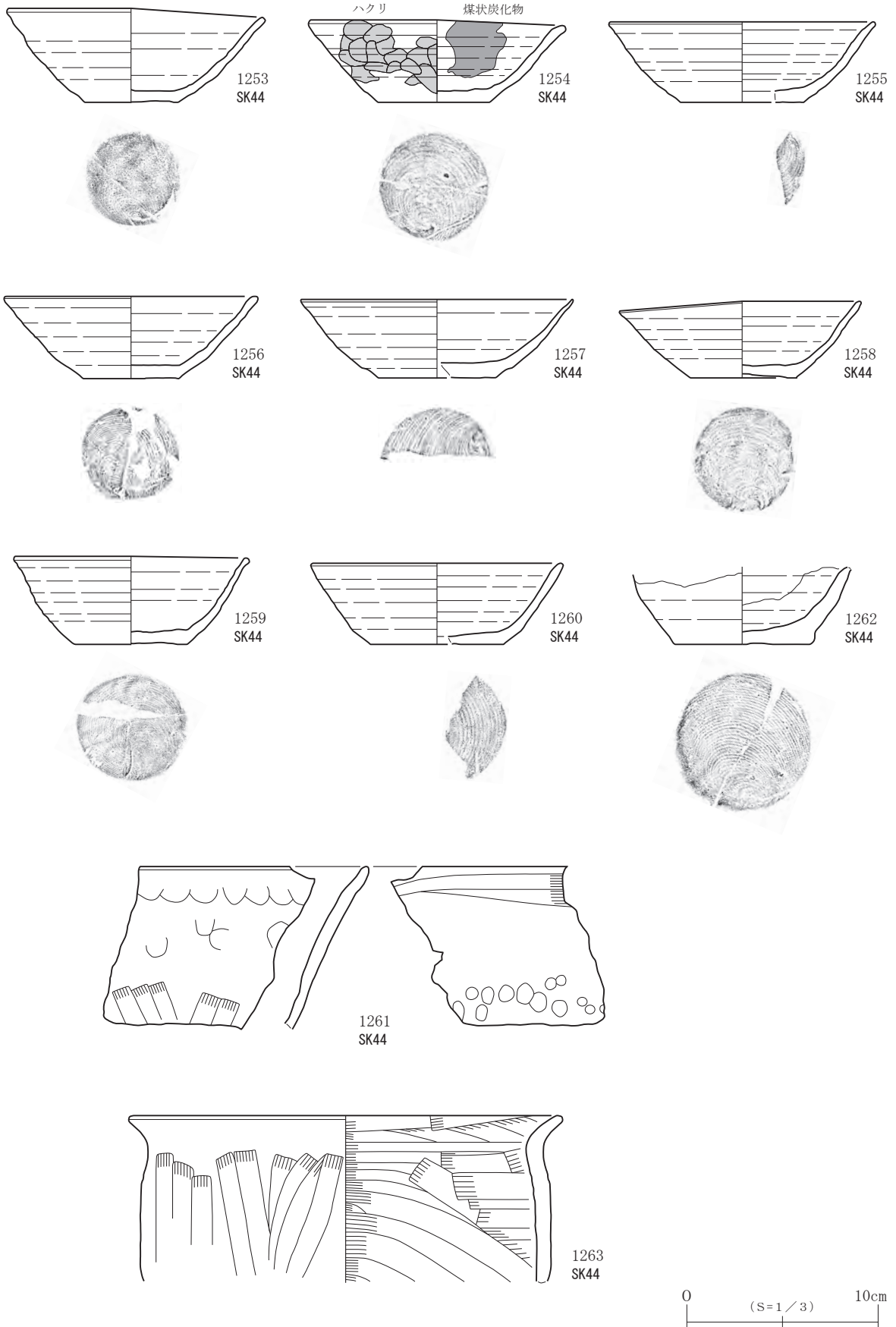
第 68 図 遺構内出土遺物 (34)



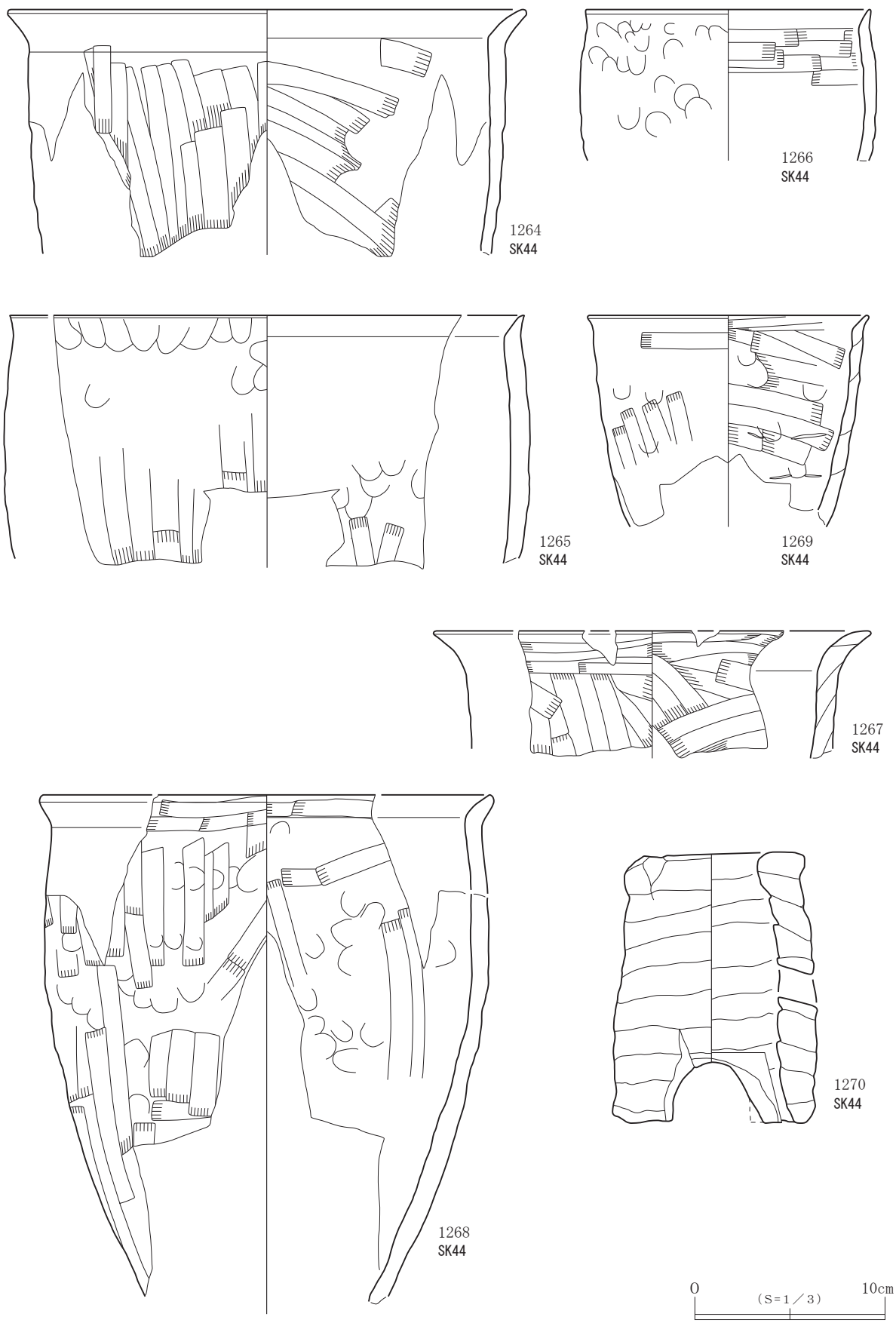
第69図 遺構内出土遺物 (35)



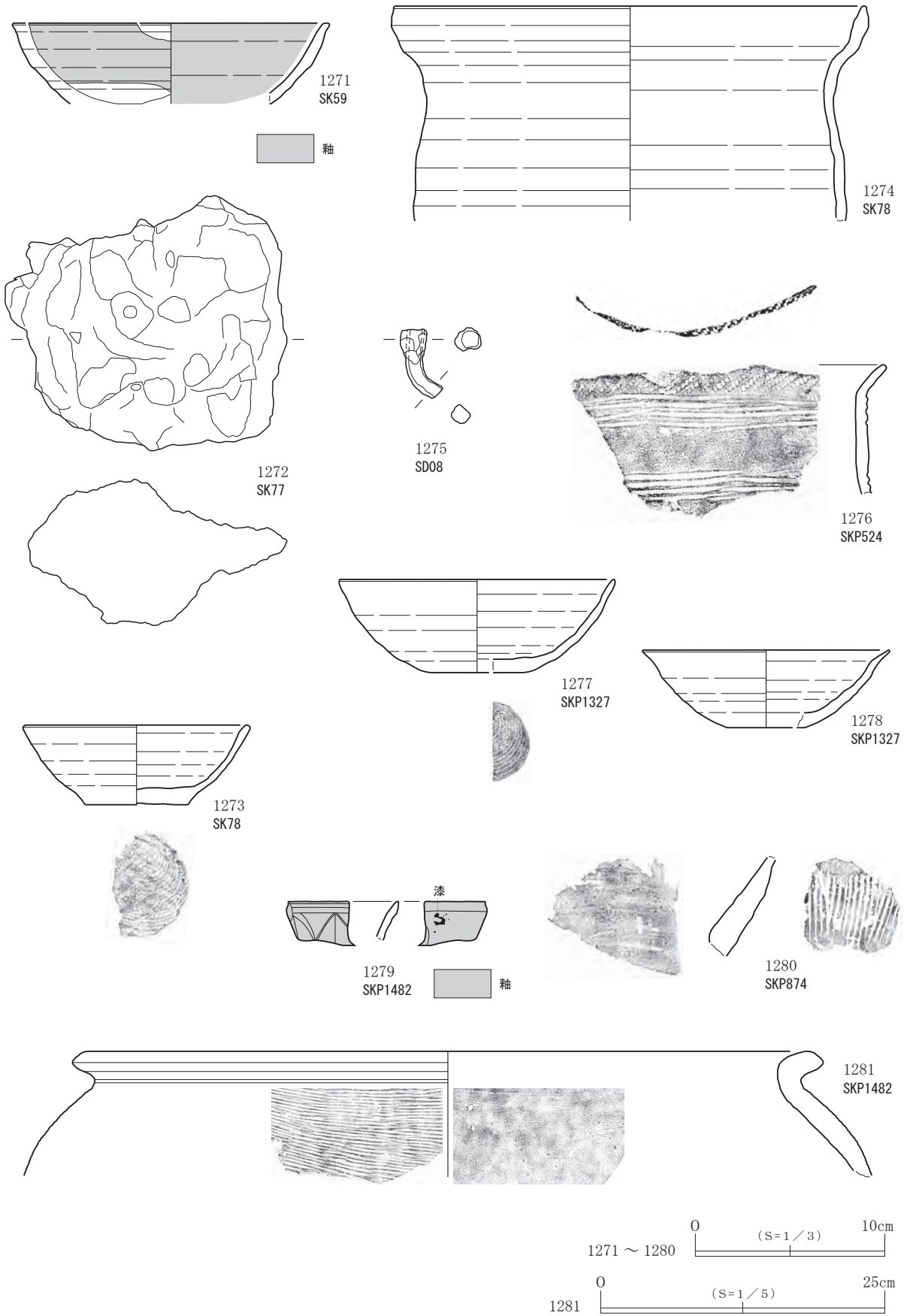
第70図 遺構内出土遺物 (36)



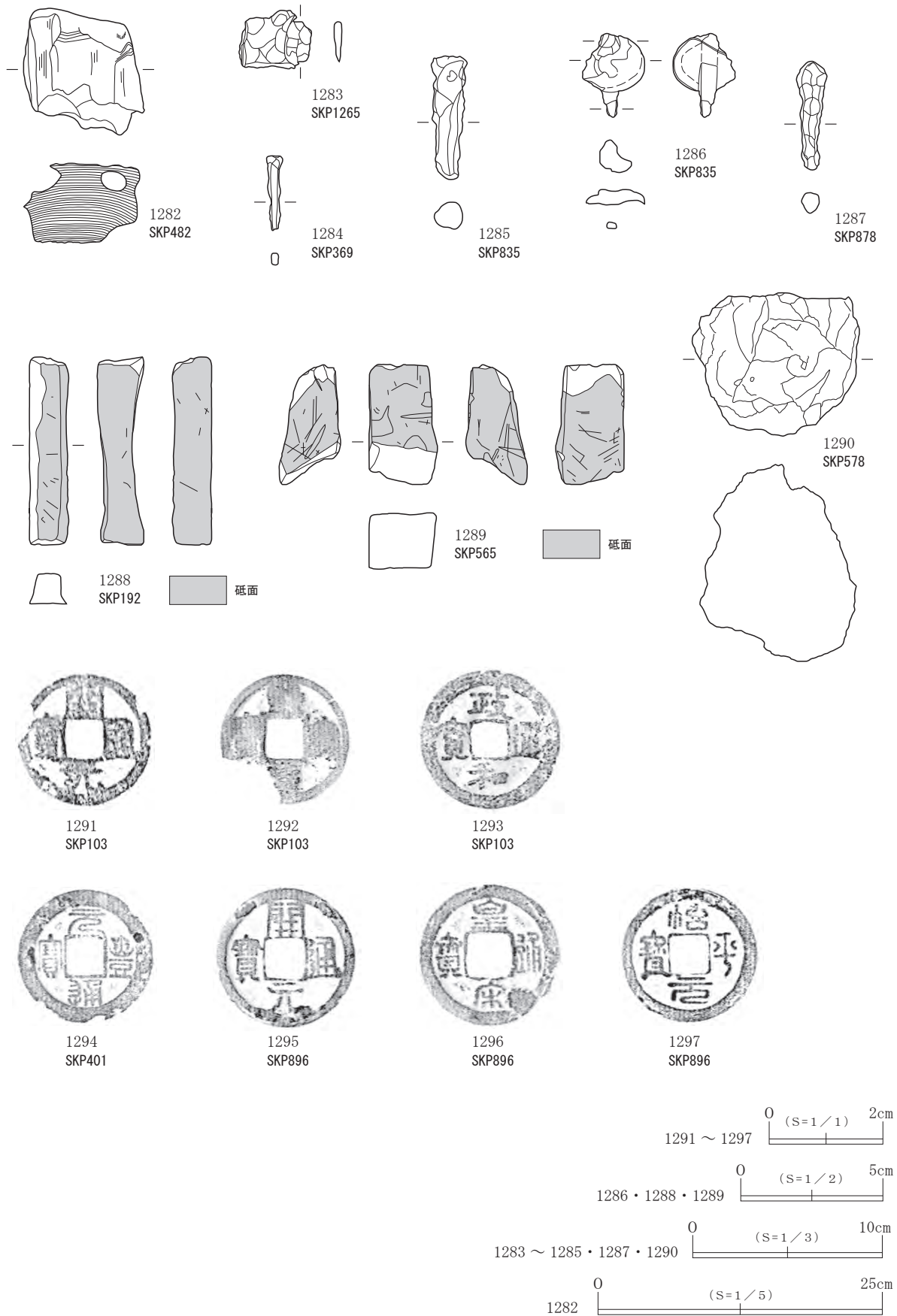
第71図 遺構内出土遺物 (37)



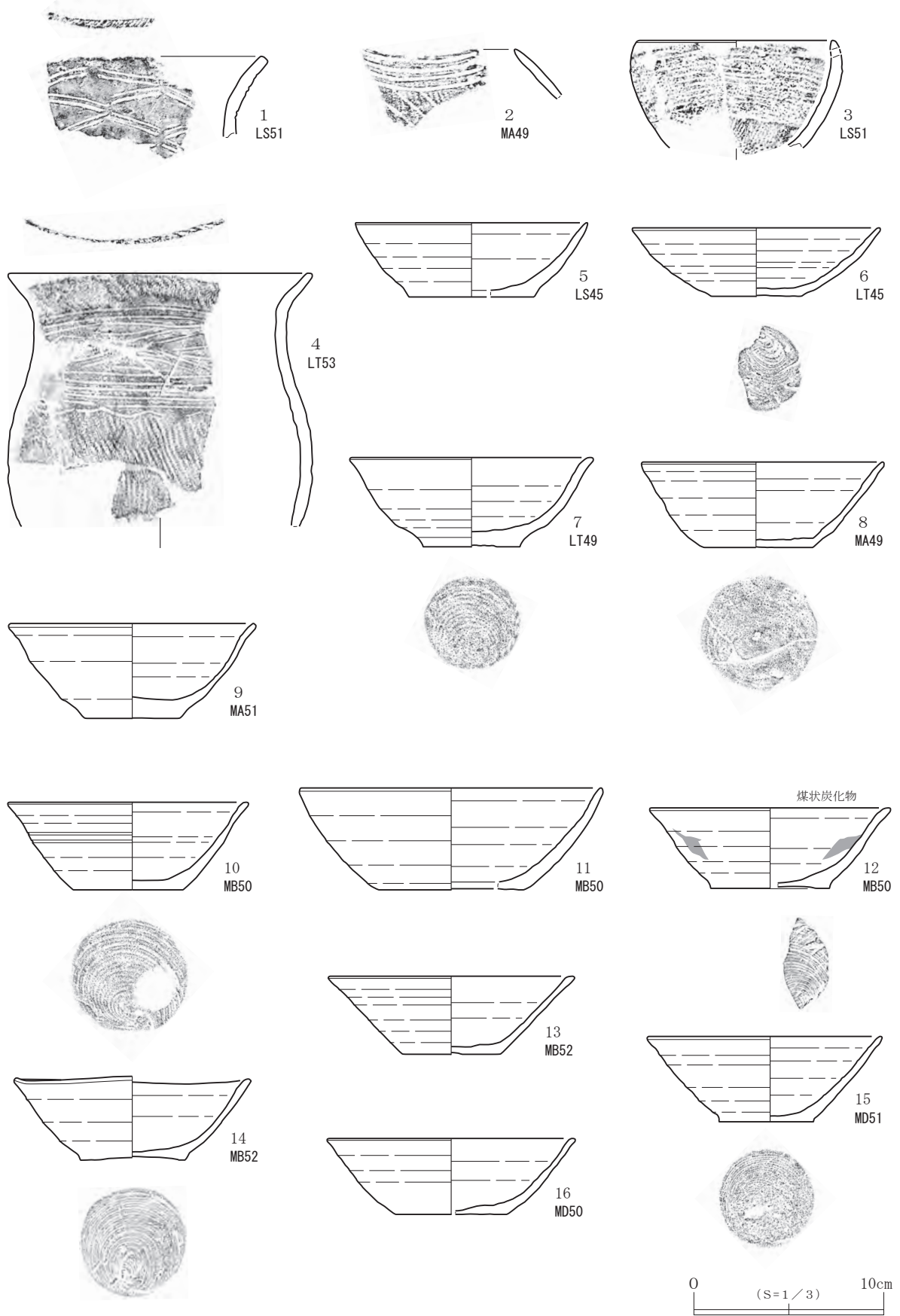
第72図 遺構内出土遺物 (38)



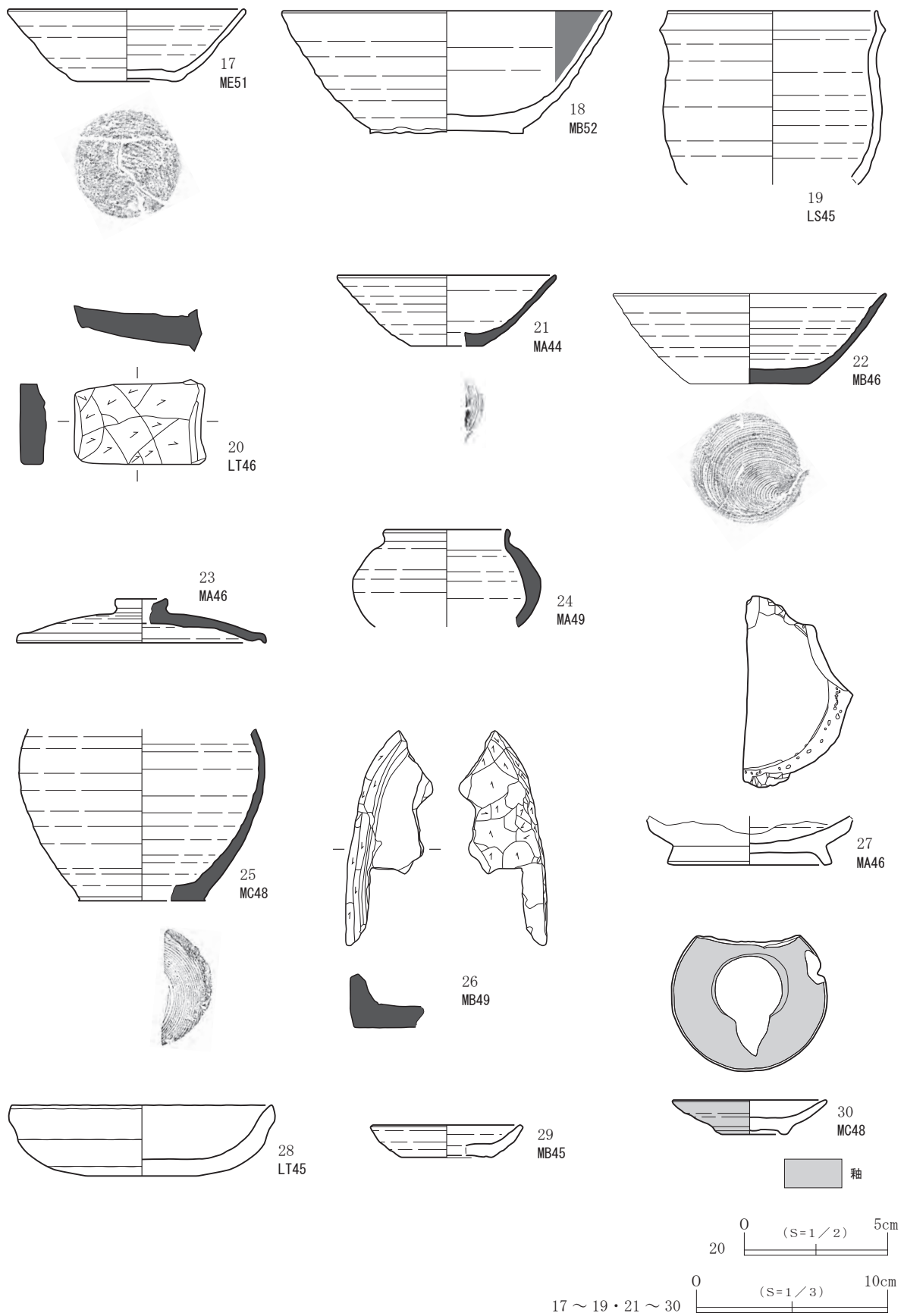
第73図 遺構内出土遺物 (39)



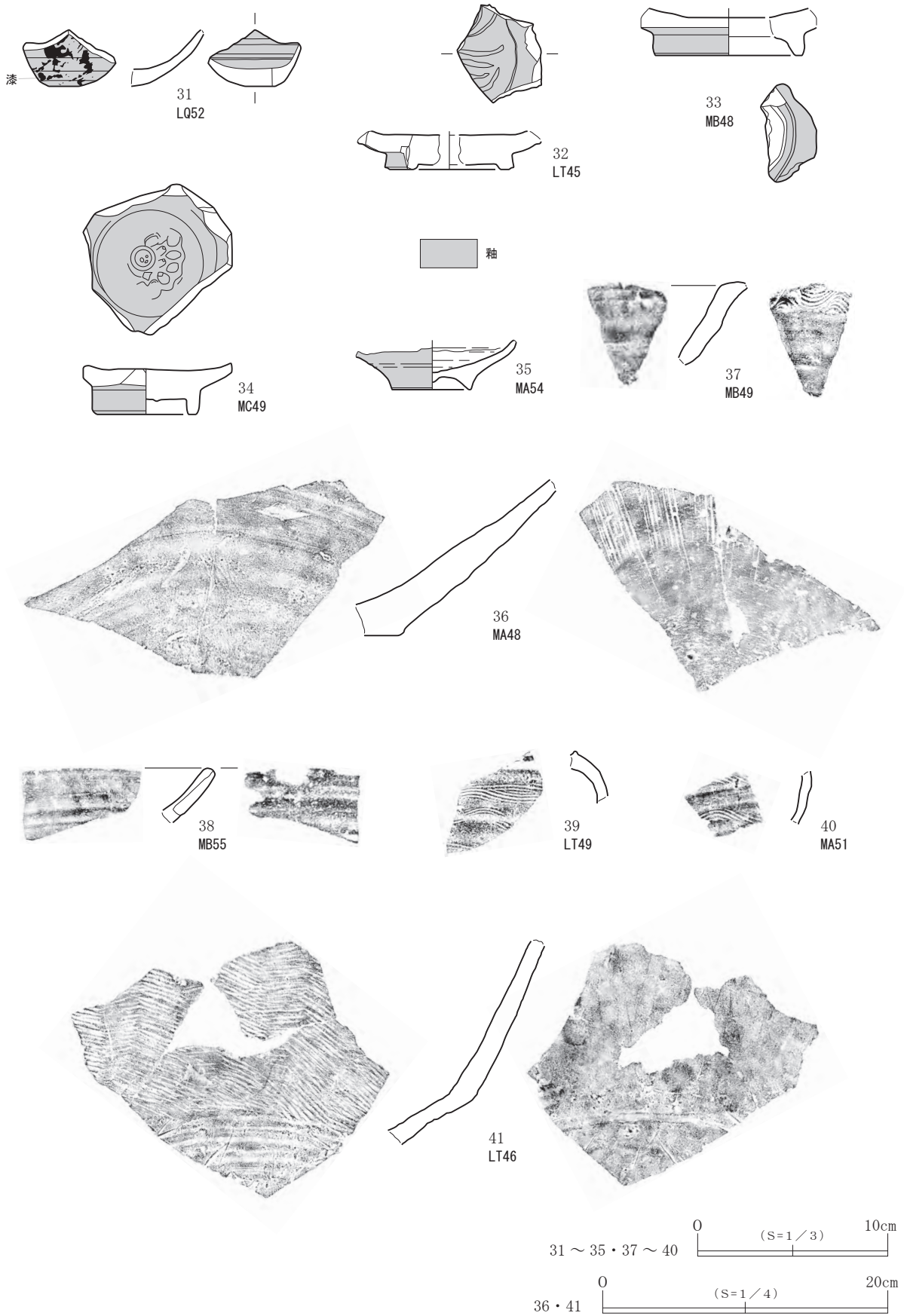
第74図 遺構内出土遺物(40)



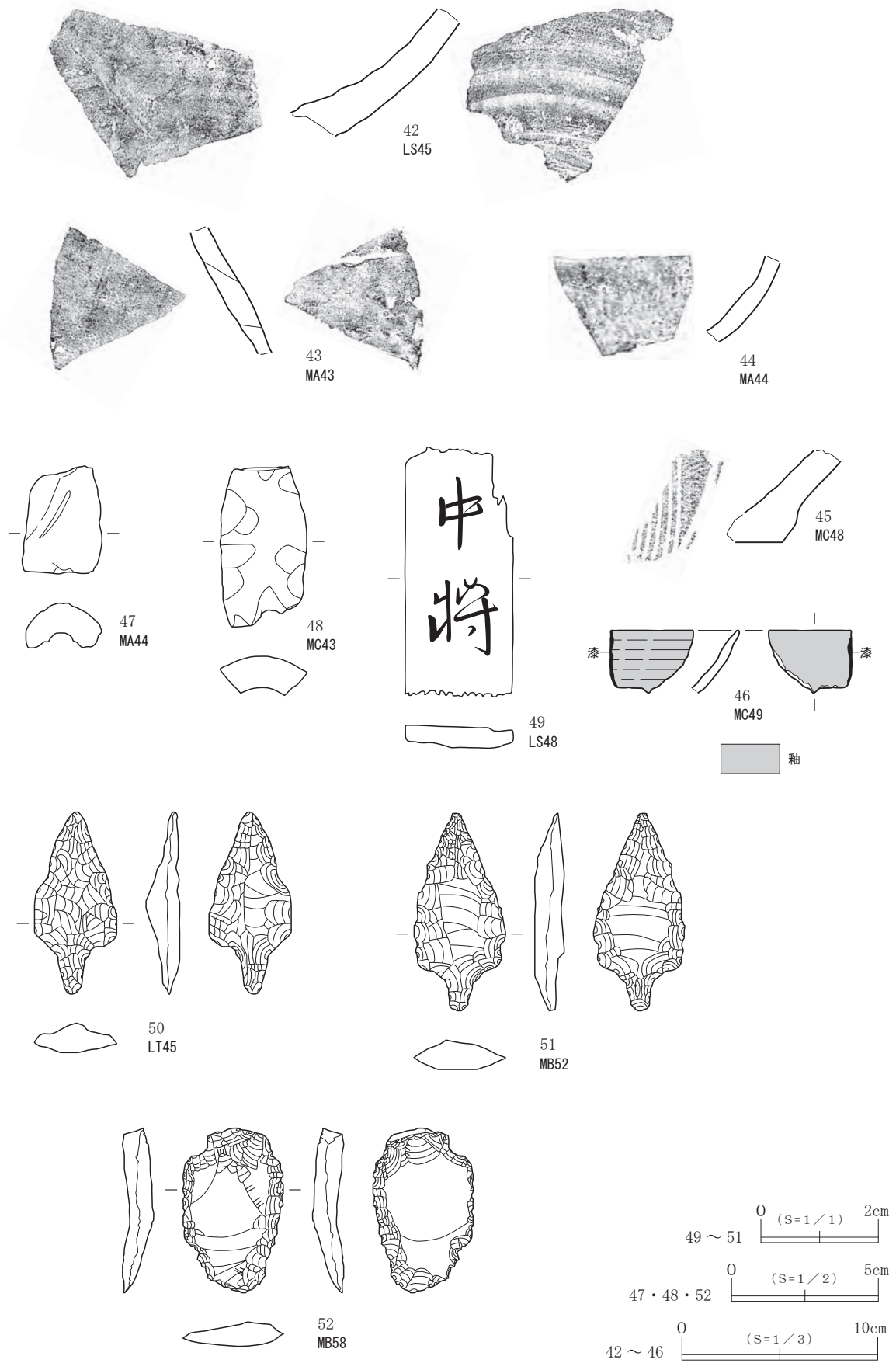
第75図 遺構外出土遺物(1)



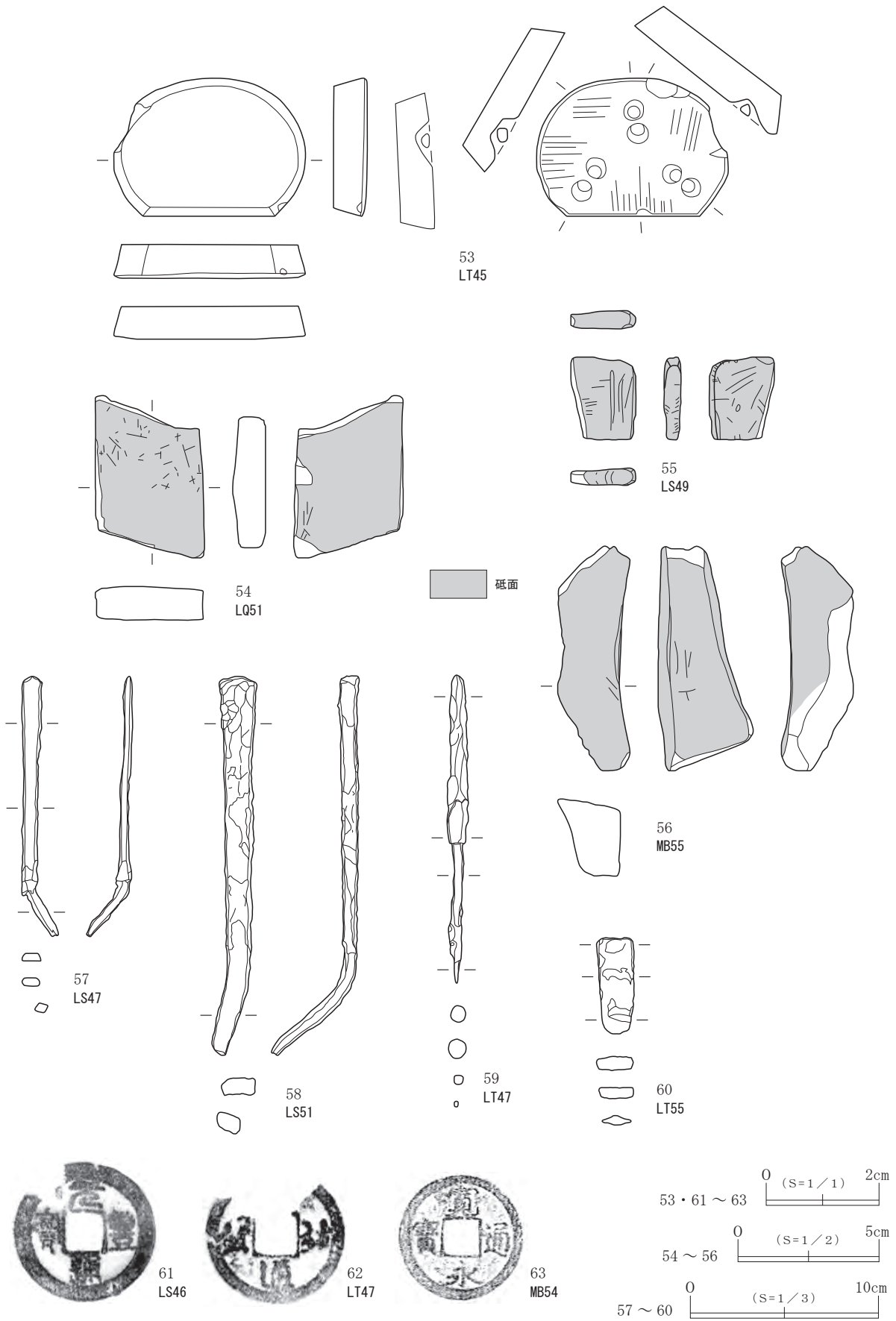
第76図 遺構外出土遺物(2)



第77図 遺構外出土遺物(3)



第78図 遺構外出土遺物(4)



第79図 遺構外出土遺物(5)

第17表 遺構内出土遺物観察表(1)

※木・石・土・金属製品の大きさは最大長・最大幅・最大厚の順。底径のうち高台は高台径。

挿 図	番号	遺構・グリッド	層 位	種類・器種	残存状態		大きさ(cm)			重量 (g)	色調		備 考
					口縁 ～ 底部	口縁 ～ 器高	口径	底径	高台		外面(表面)	内面(裏面)	
	1	SB19 P3		柱材	-	-	24.3	12.5	13.5	294.0			角柱、杉材。
	2	SB19 P6		柱材	-	-	18.6	17.4	1112.0				角柱、杉材、放射性炭素年代測定結果(981～1148年)
	3	SB80 P2	1	砥石	-	-	9.5	4.6	4.0	247.0			底面4面。
	4	SB81 P2	1	釘?	-	-	5.1	1.3	1.5	16.7			
35	5	SB84 P6	1	刀子	-	-	20.7	3.5	2.2	130.0			
	6	SB85 P9	1	元豊通寶	-	-	23.71	23.78	1.27	1.27			初録年1078年、篆書。
	7	SB85 P9	1	開元通寶	-	-	23.56	23.80	1.06	1.81			初録年621年、真書。
	8	SB85 P9	1	元豊通寶	-	-	25.84	25.93	1.17	3.01			初録年1078年、篆書、潤縁。
	9	SB85 P9	1	永樂通寶	-	-	24.88	24.89	1.34	2.88			初録年1408年、真書。
	10	SB90 P8	1	須恵器系陶器 指鉢	-	-	-	-	-	82.0		灰	口縁～体部片、口縁部は肥厚した内端に広く面取り。深い押し目。琺瑯IV期相当(1300年代)
	11	SB91 P5		柱材	-	-	24.5	13.5	12.1	977.0			角柱、放射性炭素年代測定結果(1270～1385年)
	12	SB97	No.1	土師器 坏	9/10	9/10	13.2	4.7	6.2	161.5		灰黄	内外面摩滅中。胎土に砂粒多く含む。体部上位から口縁部まで備かに内傾。
	13	SB97	No.2	土師器 坏	7/10	9/10	12.7	5.4	4.8	103.0		浅黄～橙	内外面摩滅中。胎土に砂粒多く含む。体部上位から口縁部まで外傾。口唇部先細り。口縁部内外面に一部に煤炭化物付着、灯明皿に底用か。
	14	SB97	No.3	土師器 坏	6/10	9/10	12.6	5.4	4.9	26.2		浅黄～灰	内外面摩滅中。胎土に砂粒多く含む。体部内傾し、口縁部外傾。
36	15	SB97	No.4	土師器 坏	8/10	10/10	13.2	5.2	4.1	125.6		にぶい橙	内外面摩滅中。胎土に砂粒多く含む。体部内傾し、口縁部外傾。口唇部先細り。
	16	SB97	No.5	土師器 坏	8/10	10/10	13.0	5.4	4.4	124.2		浅黄橙	内外面摩滅中。胎土に砂粒多く含む。体部中位から口縁部まで備かに外傾。口唇部先細り。
	17	SB97	No.6	土師器 坏	10/10	10/10	13.0	5.6	4.4	180.9		にぶい橙	内外面摩滅中。胎土に砂粒多く含む。体部中位から口縁部まで外傾。口唇部先細り。
	18	SB97	No.7	土師器 壺	7/10	10/10	(7.4)	4.4	6.4	118.7		黒	内黒土師器。体部は内傾し、口縁部は短く外反する。体部外面はほぼ全面にアズリが施されている。
	19	SB100 P2		柱材	-	-	25.4	11.3	9.4	530.0			丸柱、クリ材、放射性炭素年代測定結果(1299～1410年)。
	20	SE20		井戸枠 隅柱(北東)	-	-	64.1	9.0	4.7	558.0			
	21	SE20		井戸枠 隅柱(南東)	-	-	65.5	9.1	5.1	642.0			放射性炭素年代測定結果(726～935年)。
	22	SE20		井戸枠 横椽(北)	-	-	52.3	5.9	3.4	223.0			
	23	SE20		井戸枠 横椽(南)	-	-	43.3	4.5	2.9	136.0			端部に方形の穿孔を伴う、屋根材等の転用品か。
37	24	SE20		井戸枠 北側板(2)	-	-	47.1	13.5	12.5	114.0			
	25	SE20		井戸枠 東側板(7)	-	-	48.0	12.0	1.2	90.0			
	26	SE20		箸状木製品	-	-	19.5	0.6	0.5	1.3			先端に向けて不規則な削りで多面に尖らす。
	27	SE20		箸状木製品	-	-	19.7	0.6	0.4	0.9			先端に向けて不規則な削りで多面に尖らす。
	28	SE28	4	須恵器系陶器 指鉢	3/10	1/10以下	-	-	14.0	505.0		灰	片口鉢。口縁～底面片。器体はほぼ直線的に開き、口縁部は備かに肥厚した内端に広く面取り。深い押し目も本が1単位。琺瑯IV～V期相当(1300～1400年代)。
29～1229	SK01出土銭貨別表。												
1230	SK13		1	土師器 甕	-	-	20.4	-	-	338.0		浅黄～橙	SK78・LT45グリッド出土遺物と接合。口縁～体部片。口縁～体部上位に最大径があり、備かに内傾し、口縁部は先細りで外傾する。外面は口縁部が傾位のヘラナデ。体部が傾位のヘラナデ。内面は傾位のヘラナデを施す。
1231	SK13		1	青磁 碗	-	-	-	-	-	8.9		オリブ灰	口縁～体部片。口縁部輪花模に作られ、内面の口縁部は沿って翻もしく縁で溝を1～2と染。口縁部と腹の片影りでやや大きい斜状の二線が交叉する文様を施す。15世紀の中国産。
1232	SK16		2	土師器 坏	8/10	10/10	13.0	5.4	4.4	130.0		浅黄	内外面摩滅中。胎土に砂粒多く含む。
1233	SK16		2	土師器 坏	9/10	10/10	(14.0)	(5.8)	5.4	151.3		黒～浅黄橙	内黒土師器。外面摩滅中。体部内傾し、口縁部外傾。
1234	SK21		1	土師器 坏	8/10	10/10	-	5.0	(4.6)	120.9		黒	黒色土師器。体部内傾し、口縁部外傾。

第18表 遺構内出土遺物観察表(2)

※木・石・土・金属製品の大きさは最大長・最大幅・最大厚の順。底径のうち高台付は高台径。

挿 図	番号	遺構・グリッド	層位	種類・器種 ~器類	残存状態		大きさ(cm)			重量 (g)	器面調整等	色調		備 考
					口縁 ~ 底部	底 部	口径	底径 高台	器高			外面(表面)	内面(裏面)	
69	1235	SK21	2	土師器 坏	8/10	10/10	14.0	6.1	6.0	166.1	【外面】 【内面】	黒~浅黄緑	黒	内黒土師器。外面摩滅中。体部中位から外傾。
	1236	SK21	2	鉄滓	-	-	9.0	12.4	10.7	842.0	【外面】 【内面】	浅黄~黒	橙	杓形鍛冶滓。
	1237	SK27	3	土師器 坏	6/10	10/10	13.0	6.1	4.5	104.4	【外面】 【内面】	橙	橙	内面摩滅強。体部中位から外傾。口唇部薄く先細り。
	1238	SK29	3	土師器 坏	3/10	1/10以下	(13.0)	(6.6)	4.2	27.3	【外面】 【内面】	灰	灰	内外面摩滅中。胎土に砂粒多く含有。体部内彎し、口縁部外傾。口唇部先細り。
	1239	SK29	3	須恵器系陶器 器 壺	-	-	-	-	-	171.3	【外面】	灰	灰	体部破片。
	1240	SK29	1	釘	-	-	5.2	1.2	0.9	7.0	【外面】	灰	灰	円錐形分。
	1241	SK31	3	須恵器系陶器 器 瑠鉢	-	10/10	-	5.2	-	47.5	【外面】	暗灰	暗灰	体部破片。深い卸し目。珠洲Ⅲ~Ⅳ期相当(1250~1300年代)。
	1242	SK32		須恵器系陶器 器 瑠鉢	-	-	-	-	-	27.2	【外面】	灰	灰	体部破片。緻密なタタキ目を施す。
	1243	SK32		須恵器系陶器 器 瑠鉢	-	1/10以下	-	-	-	46.8	【外面】 【内面】	灰	灰	底~体部破片。内面は滑らかな擦り面。
	1244	SK34		土師器 坏	8/10	10/10	12.9	5.2	4.4	107.5	【外面】 【内面】	浅黄	浅黄	内外面摩滅強。体部内彎し、口縁部外傾。口唇部先細り。
	1245	SK34		土師器 坏	8/10	10/10	11.9	5.1	4.7	110.3	【外面】 【内面】	浅黄	浅黄	内外面摩滅強。胎土に砂礫粒多く含有。体部中位から外傾。口唇部薄く先細り。
	70	1246	SK35	RP1	土師器 坏	4/10	4/10	(13.6)	(6.0)	4.8	60.0	【外面】 【内面】	浅黄緑~橙	浅黄緑~橙
1247		SK35	RP2	土師器 坏	-	10/10	-	5.4	(4.0)	125.8	【外面】 【内面】	橙	橙	胎土に砂粒多く含有。体部内彎し、口縁部外傾。
1248		SK41	1	土師器 坏	7/10	10/10	12.2	4.4	5.2	88.2	【外面】 【内面】	橙	橙	外面摩滅中。胎土に砂粒多く含有。
1249		SK41	1	土師器 坏	6/10	10/10	15.0	5.3	3.2	131.3	【外面】 【内面】	橙	橙	内面一部被熱剥離痕か。底部から直線上に外傾。皿状。
1250		SK41	1	土師器 坏	2/10	10/10	(13.0)	6.4	6.3	89.3	【外面】 【内面】	橙	橙	内外面摩滅強。体部内彎し、口縁部外傾。底部の一部露状工具でナデ、底部に直線上の沈線。
1251		SK41		土師器 坏	4/10	10/10	(12.4)	4.6	4.9	67.7	【外面】 【内面】	明黄褐	明黄褐	外面摩滅強。胎土に砂礫粒多く含有。体部内彎し、口縁部外傾。
1252		SK42	1	刀子	-	-	30.1	3.6	2.0	95.0	【外面】 【内面】	浅黄	浅黄	内外面摩滅強。胎土に砂粒多く含有。体部上位から口縁部外傾。
1253		SK44		土師器 坏	8/10	10/10	13.5	4.8	4.9	133.3	【外面】 【内面】	にぶい橙	にぶい橙	内面一部に煤状炭化物、外面一部被熱剥離か。灯明皿に転用。
1254		SK44	Mo1	土師器 坏	9/10	10/10	13.4	5.8	4.3	136.2	【外面】 【内面】	浅黄~黒	浅黄~黒	体部内彎し、口縁部外傾。口唇部先細り。
1255		SK44	Mo2	土師器 坏	3/10	2/10	(14.0)	(6.4)	4.2	34.7	【外面】 【内面】	浅黄~にぶい橙	浅黄~にぶい橙	内外面摩滅中。胎土に砂礫粒多く含有。体部内彎し、口縁部外傾。口唇部先細り。
1256		SK44	Mo4	土師器 坏	6/10	9/10	13.2	4.8	4.3	96.3	【外面】 【内面】	浅黄緑	浅黄緑	体部内彎し、口縁部外傾。口唇部先細り。
71		1257	SK44	Mo5	土師器 坏	1/10	4/10	(14.2)	(6.2)	4.1	34.2	【外面】 【内面】	暗灰~橙	暗灰~橙
	1258	SK44	Mo6	土師器 坏	7/10	9/10	12.6	5.6	4.0	109.0	【外面】 【内面】	浅黄	浅黄	体部内彎し、口縁部短く外反。
	1259	SK44	Mo7	土師器 坏	7/10	9/10	12.3	5.7	4.6	97.7	【外面】 【内面】	橙	橙	体部中位から外傾。口唇部先細り。内面に煤状炭化物付着、灯明皿に転用か。
	1260	SK44		土師器 坏	3/10	3/10	(13.2)	(7.0)	4.3	37.4	【外面】 【内面】	浅黄	浅黄	口縁~体部片。胎土に砂礫粒多く含有。口縁部と体部外面境に指面オサエが連続する。体部中位は縦位のヘラナデ。口縁~体部内面は縦位のヘラナデ。胎土に砂礫粒多く含有。体部内彎し、口縁部外傾。口唇部薄く先細り。
	1261	SK44	3	土師器 鏝	-	-	-	-	-	87.9	【外面】 【内面】	にぶい橙	浅黄	体~底部下位片。外面に煤状炭化物付着。
	1262	SK44	3	土師器 鏝	-	10/10	-	7.1	(4.1)	156.4	【外面】 【内面】	浅黄	浅黄	口縁~体部片。胎土に砂礫粒多く含有。口縁部は外反する。体部外面は縦位のヘラナデ。口縁~体部内面は縦位のヘラナデ。
	1263	SK44	3	土師器 鏝	2/10	-	(22.6)	-	-	157.7	【外面】 【内面】	黒褐~にぶい橙	黒褐~にぶい橙	MB50グリッドと適合。口縁~体部片。内外面摩滅強。口縁部は外傾する。体部外面は縦位にヘラナデ。内面は縦位にヘラナデ。体部内面に煤状炭化物付着。
	1264	SK44	Mo1	土師器 鏝	-	-	27.2	-	-	243.0	【外面】 【内面】	黒褐~にぶい橙	黒褐~にぶい橙	体部内面に煤状炭化物付着。

第19表 遺構内出土遺物観察表(3)

※木・石・土・金属製品の大きさは最大長・最大幅・最大厚の順。底径のうち高台付は高台径。

挿図	番号	遺構・グリップ	層位	種類・器種	残存状態	大きさ(cm)			重量(g)	器面調整等		色調		備考
						口径	底径	高台		器高	外面(表面)	内面(裏面)		
	1265	SK44	No2	土師器 甕	-	-	27.0	-	269.0	【外面】ロクロナデ→指頭オサエ・ヘラナデ 【内面】ロクロナデ→指頭オサエ・ヘラナデ	浅黄	浅黄	口縁～体部破片。胎土に砂礫多し含む。体部は僅かに内彎し、口縁部は短く先細りで外傾する。口縁と体部内面境界は指頭オサエが縦位に連続し、体部中央は縦位のヘラナデ。体部内面中央位は指頭オサエ後に縦位のヘラナデ。体部内面に炭灰炭化物付着。	
	1266	SK44	No3	土師器 甕	-	-	15.6	-	72.9	【外面】ロクロナデ→指頭オサエ 【内面】ロクロナデ→指頭オサエ	浅黄～褐灰	褐灰～浅黄	口縁～体部上。体部は僅かに内彎し、口縁部は短く先細りで僅かに外傾する。体部内面は縦位のヘラナデ。外面の全面と口縁部内面に炭灰炭化物付着。	
72	1267	SK44		土師器 甕	-	-	23.0	-	91.2	【外面】ヘラナデ 【内面】ヘラナデ	黒褐～にぶい黄褐	灰黄褐	口縁～体部片。口縁部は先細りで外傾する。口縁と口唇部外内面は縦位のヘラナデ。ヘラナデを隔無く変態。破面に粘土巻き上り痕。	
	1268	SK44		土師器 甕	-	-	23.4	-	527.0	【外面】指頭オサエ・ヘラナデ 【内面】指頭オサエ・ヘラナデ	黒褐～にぶい黄褐	浅黄褐	SK78・L1745グリップ出土遺物と接合。口縁～体部破片。内外面磨滅強。体部は内彎し口縁部は外傾する。口縁と体部上内面は縦位のヘラナデ。体部は指頭オサエと縦位のヘラナデ。内面に炭灰炭化物付着。	
	1269	SK44		土師器 甕	-	-	14.8	-	151.0	【外面】指頭オサエ・ヘラナデ 【内面】指頭オサエ・ヘラナデ	褐灰～にぶい黄褐	褐灰～にぶい黄褐	SK78出土遺物と接合。口縁～体部破片。内外面磨滅強。体部は外傾し口縁部は短く外反する。口縁部は不規則に細い外傾面を作る。体部外面は縦位に、内面は縦位にヘラナデ。内面と破面に粘土巻き上り痕。	
	1270	SK44		土製支脚	-	-	10.9	14.2	733.0	【外面】粘土組痕 【内面】粘土組痕	にぶい黄褐～褐灰	にぶい黄褐	口唇部。胎土は粗い砂礫多し含む。左右対称に逆U字状の切り込み。中央位に筒状の穿孔。外面の一部に白灰系の付着物。	
	1271	SK59		瀬戸産陶器	2/10	-	(16.8)	-	41.1	【外面】ロクロナデ 【内面】ロクロナデ	灰白	灰白	口縁～体部片。灰釉のツケガガで施釉。外面体部下位露出。15世紀。	
	1272	SK77		鉄滓			7.8	14.9	1113.0		暗灰～橙	暗灰～橙	樹形鍛冶滓。	
	1273	SK78		土師器 坏	2/10	7/10	(12.0)	(5.4)	34.0	【外面】ロクロナデ 底部：回転系切リ→ナデ 【内面】ロクロナデ	暗灰～橙	暗灰～橙	体部内彎し、中央から口縁部まで外傾する。底部の一部をヘラナデ	
	1274	SK78		土師器 甕	-	-	25.2	-	102.7	【外面】ロクロナデ 【内面】ロクロナデ	にぶい黄褐	褐～にぶい黄褐	MR48グリップと接合。口縁～体部片。内外面磨滅強。体部は僅かに外傾し、口縁部は外反する。口縁部は中央位で厚くなり、僅かに外傾する。口唇部は直立気味で先細い。	
73	1275	SD08		釘?	-	-	3.6	1.4	9.4		黒褐	にぶい黄褐	棒状の鉄製品か。	
	1276	SKP524		弥生土器 壺	-	-	-	-	81.7	【外面】口唇～口縁部；ハケメ→LR細文、頸部；ハケメ→鹿ミガキ→横位沈線4条の単位。 【内面】鹿ミガキ			口縁～頸部上。頸部はほぼ直立し、口縁部が外傾。口唇部は液状に成形しLR細文。口縁部はハケメ調整後にLR細文を施す。頸部の上端と下端には4本の横走沈線がそれぞれ巡る。口縁、頸、体部の境は内面で軽く、稜をなす。	
	1277	SKP1327		土師器 坏	3/10	4/10	14.6	(4.6)	42.3	【外面】ロクロナデ 底部：回転系切リ→ナデ 【内面】ロクロナデ	橙	橙	胎土に砂礫多く含む。体部内彎し、口縁部外傾。口唇部先細り。	
	1278	SKP1327		土師器 坏	3/10	1/10以下	(13.0)	(4.0)	17.2	【外面】ロクロナデ 底部：切り離し不明 【内面】ロクロナデ	浅黄褐	黄褐	胎土に砂礫多く含む。体部内彎し、口縁部外傾。口唇部先細り。	
	1279	SKP1482		青磁 碗	-	-	-	-	6.9	【外面】ロクロナデ 【内面】ロクロナデ	オリープ灰	オリープ灰	口縁部片。口縁部玉縁。外面に銅連弁文。内面の一部に褐色の付着物、漆か。	
	1280	SKP874		須恵器系陶器 插鉢	-	-	-	-	52.8	【外面】ロクロナデ 【内面】ロクロナデ→脚し目	灰	灰	体部片。内面は擦り面。	
	1281	SKP1482		須恵器系陶器 壺	1/10以下	-	66.0	-	956.0	【外面】タタキ 【内面】球面の当て具	暗灰	暗灰	口縁～体部片。口縁部形態は擦き出しが小さく、全体にくの字に外反する。外反させる際の際の器具圧痕を段状に残す。珠洲二期相当(1200年代)	
	1282	SKP482		柱材	-	-	11.2	10.6	115.0				角柱。杉材。	
	1283	SKP1265		刀子	-	-	3.8	3.1	14.3				茎の一部。他に同一個体破片16.1g	
	1284	SKP369		釘	-	-	4.0	0.9	2.7				四角錐状。	
	1285	SKP835		釘	-	-	6.5	1.9	26.4				銅製で飾りと思われる凹形の出っ張り。	
	1286	SKP835		釘	-	-	3.0	2.2	3.7					
	1287	SKP878		釘	-	-	5.7	1.6	11.6					
	1288	SKP192		砥石	-	-	6.6	1.4	18.0				砥面3面。	
	1289	SKP565		砥石	-	-	4.2	2.4	26.0				砥面4面。	
74	1290	SKP578		鍛冶滓	-	-	10.4	8.9	661.0				樹形鍛冶滓。	
	1291	SKP103		開元通寶	-	-	23.58	23.64	1.28	1.54			初録年621年、真書。	
	1292	SKP103		開元通寶	-	-	24.13	24.24	1.52	2.41			初録年1068年、篆書。	
	1293	SKP103		政和通寶	-	-	25.16	25.41	1.44	2.89			初録年1111年、真書。	
	1294	SKP401		元豊通寶	-	-	24.07	24.25	1.56	2.42			初録年1078年、篆書。	
	1295	SKP896		開元通寶	-	-	25.26	25.10	1.19	2.59			初録年621年、真書。	
	1296	SKP896		皇宗通寶	-	-	25.21	24.99	1.26	2.43			初録年1038年、篆書。	
	1297	SKP896		治元通寶	-	-	24.25	24.13	1.26	2.45			初録年1064年、篆書。	

第21表 遺構外出土遺物観察表(2)

※木・石・土・金属製品の大きさは最大長・最大幅・最大厚の順。底径のうち高台付は高台径。

挿 図	番 号	遺 構・グ リッド	層 位	種 類・器 種	残存状態		大 き さ (cm)			重 量 (g)	器 面 調 整 等		色 調		備 考	
					口 縁 ～ 体 部	底 部	口 径	底 径	高 台		外 面(表 面)	内 面(裏 面)				
76	27	MA46	V	灰釉陶器 壺	-	5/10	-	-	(2.6)	81.8	底 部：回 転系切 り 高台	灰 白	灰 白	高台は外傾。		
	28	LT45・MB43	Va	かわらけ 壺	3/10	2/10	(13.8)	(6.0)	3.7	69.3	手 捏ね【 内面】 底 部：回 転系切 り	に ぶい 橙	に ぶい 橙	胎土に砂礫粒多く含有。体部内轆し、口縁部備かに内轆。体部外面に粉殻痕。12世紀後半。		
	29	MB45	V	かわらけ 皿	2/10	1/10	(8.0)	(4.8)	1.7	9.0	底 部：回 転系切 り	に ぶい 橙	に ぶい 橙	内外面に疎状炭化物付着。		
	30	MC48	Va	白磁 皿	9/10	-	8.1	3.5	1.8	46.9	底 部：切 り難し 不明、 高台	灰 白	灰 白	見込みは釉剥ぎ。中国製。15世紀。		
	31	LQ52	Va	青磁 碗	-	-	-	-	-	17.0	【内 面】ロ クロナ デ	オリ ー ア 灰	オリ ー ア 灰	体部片。体部内面に平行磨線4条。内面に外面に褐色の付着物。他に同一個体(LT53V層)あり。		
	32	LT45	V	青磁 碗	-	3/10	-	(6.4)	(2.0)	42.0	底 部：切 り難し 不明 高 台	暗 オリ ー ア 灰	暗 オリ ー ア 灰	削り出し高台。底部→量付き露胎。中央に片形りでやや太い曲線文。13世紀。		
	33	MB48	Va	青磁 碗	-	2/10	-	(7.8)	(2.5)	30.0	底 部：切 り難し 不明 高 台	オリ ー ア 灰	オリ ー ア 灰	削り出し高台。底部→高台内面中位露胎。見込み外縁に磨線、中央に印花文。		
	34	MC49	Va	青磁 碗	-	10/10	-	5.2	(2.7)	131.0	底 部：切 り難し 不明 高 台	オリ ー ア 灰	オリ ー ア 灰	削り出し高台。底部→高台内面中位露胎。見込み外縁に磨線、中央に印花文。		
	35	MA54	Va	朝鮮陶器 碗	-	10/10	-	4.2	(2.6)	64.0	底 部：切 り難し 不明 高 台 へ ラナデ	灰	灰	見込みに砂目積み痕。全面施釉。		
	77	36	MA48	V	須恵器系陶器 擂鉢	-	1/10以下	-	-	-	530.0	【内 面】ロ クロナ デ	灰	灰	底→体部片。MB48グリッド出土遺物と接合。体部下位の削し目は磨り減り、消滅する。深い削し目8本が1単位。削し目を全面にまくまろく施す。珠部V→V層相当(1300～1400年代)	
		37	MB49	V	須恵器系陶器 擂鉢	-	-	-	-	-	23.0	【内 面】ロ クロナ デ	灰	灰	口縁→体部片。口縁部は内端に広く面取り、細目波状文を施す。	
		38	MB55	V	須恵器系陶器 擂鉢	-	-	-	-	-	24.6	【内 面】ロ クロナ デ	灰	灰	口縁→体部片。口唇部内端に備かに凹み、片口か。内面に擦り面。	
		39	LT49	V	須恵器系陶器 皿	-	-	-	-	-	14.9	【外 面】ロ クロナ デ	暗 灰	灰	四耳壺か。外面に自然釉。	
		40	MA51	V	須恵器系陶器 皿	-	-	-	-	-	8.4	【外 面】ロ クロナ デ	褐 灰	灰	外面の一部に黒→緑色の自然釉が付着。内面のほぼ全面に赤褐色の付着物、漆か。	
		41	LT46	V	須恵器系陶器 皿	-	-	-	-	-	508.0	【外 面】ロ クロナ デ	灰	灰	体部片。体部外面は打ち込みの鋭い多面体状に磨かれた削し目と、下部は面直し、底部に向かう、ロクロナデ。体部内面は縦位にへラナデを施す。	
		42	LS45	V	中世陶器 鉢	-	-	-	-	-	193.0	【内 面】ロ クロナ デ	赤 褐	暗 青 灰	体部片。胎土に砂礫粒多く含有。大如窯産か。	
		43	MA43	V	中世陶器 壺	-	-	-	-	-	73.5	【外 面】タ タキミ カキ	暗 青 灰 ～ 灰 白	赤 褐	体部片。胎土に砂礫粒多く含有。外面は磨きによりタタキ目は消去される。大如窯産か。	
		44	MA44	V	滑石系陶器 壺	-	-	-	-	-	49.0	【外 面】タ タキミ カキ 【内 面】タ タキミ カキ	灰 オリ ー ア	明 黄 褐	体部片。胎土に砂礫粒多く含有。外面には縦磨痕が観察され、緑色の自然釉がかかる。内面には粘土巻き上げ痕と横方向のナデ調整痕が残る。12世紀後半。	
		45	MC48	V	瓦器系陶器 擂鉢	-	-	-	-	-	84.0	【外 面】ロ クロナ デ	灰	灰	底→体部片。太く、深い削目。宮城県の伊豆沼の14世紀前後か。	
	78	46	MC49	Vb	瀬戸産陶器 碗	-	-	-	-	11.0	【外 面】ロ クロナ デ	灰 白	灰 白	口縁→体部破片。内外面灰釉ツケガケで施釉。破面に漆付着、補修痕跡あり。口縁先細り。15～16世紀。		
		47	MA44	V	陶罐	-	3.6	2.7	1.5	15.6	-	灰	に ぶい 赤 褐	破片。		
		48	MC43	V	陶罐	-	5.5	29.5	1.4	21.1	-	に ぶい 赤 褐	に ぶい 赤 褐	「中略」の墨書。上端は圭頭状、下端は欠損しているが、題箋軸木簡と推定される。		
		49	LS48	Vb	木簡	-	(4.2)×1.8×0.4	-	-	1.8	-	-	-	右面素材面に残る。平基有墨跡。		
	50	LT45	Vb	石鏡	-	3.1	1.4	0.5	2.0	-	-	-	右面素材面に残る。平基有墨跡。			
	51	MB52(5トレ北18m)	Vb	石鏡	-	3.4	1.5	0.5	2.0	-	-	-	右面素材面に残る。平基有墨跡。			
	52	MB58	V	石匙	-	5.6	3.4	0.8	16.0	-	-	-	-	縦長刺片素材。両面素材面に残る。両面縁辺二次加工施し、刃部・つまみ部作中。		
	79	53	LT45	Vb	丸煎	-	2.45	3.4	0.6	9.6	-	-	黒	暗 灰	6カ所に穿孔ある裏面以外は丁寧に研磨。孔はそれぞれ三角形の頂点に2つずつ配置され、2つは中で貫通する。	
		54	LQ51	V	砥石	-	5.8	3.9	1.3	40.0	-	-	橙	灰	砥面2面。	
		55	LS49	V	砥石	-	2.9	2.3	0.6	6.0	-	-	浅 黄～ 灰	浅 黄～ 灰	砥面5面。	
		56	MB55	Vb	砥石	-	8.0	2.6	3.2	61.0	-	-	灰 オリ ー ア	灰 オリ ー ア	砥面3面。	
		57	LS47	Va	鉄鍬	-	13.8	1.1	0.9	24.6	-	-	-	-	-	
		58	LS51	Vl	鉄鍬	-	20.1	1.1	118.0	-	-	-	-	-	-	
		59	LT47	Va	鍬	-	16.4	1.1	1.1	30.0	-	-	-	-	-	
		60	LT55	V	稜	-	5.2	2.0	0.8	21.8	-	-	-	-	-	
		61	LS46	Va	元豐通寶	-	25.27	25.21	1.34	1.73	-	-	-	-	-	大きさは値は銭貨凡例A・B・最大厚、単位(mm)
		62	LT47	V	元祐通寶	-	23.03	25.09	1.17	1.11	-	-	-	-	-	大きさは値は銭貨凡例A・B・最大厚、単位(mm)
63	MB54	III	寛永通寶	-	22.38	22.37	1.07	2.44	-	-	-	-	-	大きさは値は銭貨凡例A・B・最大厚、単位(mm)		

第22表 SK 01 出土銭貨観察表(1)

銭貨No	挿図No	図版No	遺物No	銭種No	繕每No	表裏	銭貨名	裏文字	書体	外縁外径A	外縁外径B	外縁最大厚	外縁最小厚	質量	国名	初鋳年	備考
1	38		29	1	A	1	表	永樂通寶		25.31	25.47	2.29	1.41	3.05	明	1408	2に欠片付着あり
2	38		30	1	A	2	裏	開元通寶	隸書	24.72	23.91	3.13	1.26	2.61	唐	621	
3	38		31	2	A	3	表	永樂通寶		25.22	25.08	2.00	1.30	3.79	明	1408	
4	38		32	2	A	4	表	開元通寶	隸書	24.38	24.36	1.37	1.26	3.54	唐	621	
5	38		33	1	A	5	表	元祐通寶	行書	24.44	24.52	1.43	1.23	3.71	北宋	1086	
6	38		34	2	A	6	表	元祐通寶	行書	24.17	24.62	1.27	1.16	3.26	北宋	1086	
7	38		35	1	A	7	裏	熙寧元寶	真書	23.67	23.60	1.28	0.98	2.48	北宋	1068	
8	38		36	1	A	8	表	皇宋元寶	真書	23.66	23.78	1.33	1.04	2.73	南宋	1253	
9	38		37	3	A	9	裏	元祐通寶	篆書	24.31	24.51	1.41	1.21	3.51	北宋	1086	
10	38		38	4	A	10	表	元祐通寶	行書	25.12	24.86	1.24	0.96	2.61	北宋	1086	
11	38		39	3	A	11	表	永樂通寶		25.10	25.18	1.85	1.26	4.03	明	1408	
12	38		40	1	A	12	表	祥符元寶	真書	24.72	25.10	1.47	1.05	3.63	北宋	1008	
13	38		41	1	A	13	裏	景祐元寶	真書	25.41	25.36	1.28	1.01	3.14	北宋	1034	内郭の四方に刻みB
14	38		42	1	A	14	表	洪武通寶		22.75	22.85	1.74	1.55	3.69	明	1368	
15	38		43	3	A	15	表	開元通寶	隸書	22.82	22.74	1.09	0.89	2.45	唐	621	
16	38		44	4	A	16	表	永樂通寶		24.96	25.06	1.50	1.24	3.84	明	1408	
17	38		45	1	A	17	不明	無文銭		22.51	22.25	2.53	0.91	1.60			極薄い2枚が付着?
18	38	10	46	1	A	18	裏	正隆元寶	真書	22.94	23.48	1.79	1.02	2.09	金	1157	
19	38		47	2	A	19	表	洪武通寶	一銭	22.66	22.69	1.73	1.45	4.15	明	1368	重点通
20	38		48	3	A	20	表	洪武通寶		22.84	23.17	1.31	1.16	2.87	明	1368	重点通
21	38		49	5	A	21	表	永樂通寶		25.23	25.10	1.19	1.07	3.15	明	1408	
22	38		50	1	A	22	裏	判読不能		23.85	23.54	1.44	1.21	2.78			
23	38		51	4	A	23	表	洪武通寶		23.70	23.16	1.64	1.40	3.61	明	1368	コ通
24	38		52	2	A	24	表	景祐元寶	真書	23.70	23.97	1.22	1.04	2.51	北宋	1034	内郭の上・下・左に刻みA
25	38		53	1	A	25	裏	皇宋通寶	篆書	24.57	24.55	1.06	0.96	2.98	北宋	1038	
26	38		54	6	A	26	裏	永樂通寶		25.24	25.28	1.83	1.48	4.78	明	1408	
27	38		55	7	A	27	表	永樂通寶		25.51	25.49	1.49	1.32	4.13	明	1408	
28	38	10	56	1	A	28	裏	慶元通寶	六	24.23	24.44	1.27	1.08	3.63	南宋	1195	
29	38		57	2	A	29	裏	皇宋通寶	篆書	24.37	24.34	1.36	1.02	3.07	北宋	1038	
30	38		58	5	A	30	表	洪武通寶	福	23.78	24.38	1.91	1.42	3.98	明	1368	
31	38		59	8	A	31	表	永樂通寶		25.37	25.51	1.50	1.32	4.03	明	1408	
32	38		60	4	A	32	表	聖宋元寶	篆書	25.25	25.17	1.35	1.23	4.12	北宋	1101	内郭の上・右・左に刻みB
33	38		61	2	A	33	裏	熙寧元寶	真書	23.35	23.38	1.05	0.95	2.03	北宋	1068	
34	38		62	5	A	34	裏	元祐通寶	行書	23.85	23.87	1.35	1.10	2.82	北宋	1086	
35	38		63	6	A	35	表	洪武通寶		23.12	23.10	1.44	1.21	3.01	明	1368	重点通
36	38		64	7	A	36	表	洪武通寶	一銭	23.46	23.22	1.79	1.62	4.54	明	1368	
37	38		65	8	A	37	表	洪武通寶		23.82	23.56	1.82	1.73	3.79	明	1368	コ通
38	38		66	2	A	38	不明	無文銭		23.52	23.20	1.08	0.83	2.13			
39	39		67	3	A	39	不明	無文銭		22.72	22.70	1.29	0.84	1.64			
40	39		68	4	A	40	表	開元通寶	隸書	23.46	23.33	2.20	1.34	3.08	唐	621	付着あり(破片2)
41			69	4	A	41	不明	無文銭		21.78	22.40	1.36	1.01	0.94			
42	39		70	2	A	42	裏	祥符元寶	真書	21.94	22.36	1.32	1.17	2.13	北宋	1008	
43	39		71	5	A	43	裏	開元通寶	隸書	24.71	24.23	1.48	1.09	3.32	唐	621	
44	39		72	9	A	44	表	洪武通寶		22.87	23.10	1.70	1.50	3.33	明	1368	
45	39		73	10	A	45	表	洪武通寶		22.78	23.36	1.66	1.39	3.18	明	1368	コ通
46	39		74	1	A	46	裏	宣和通寶	隸書	24.60	24.70	1.78	1.50	3.45	北宋	1119	
47	39		75	11	A	47	表	洪武通寶		22.88	22.81	1.93	1.60	3.53	明	1368	
48	39	10	76	1	A	48	表	嘉泰通寶	四?	24.54	24.58	1.39	0.95	2.89	南宋	1201	
49	39		77	9	A	49	裏	永樂通寶		25.38	25.14	1.54	1.37	3.57	明	1408	
50	39		78	12	A	50	表	洪武通寶	一銭	22.70	22.71	1.87	1.56	4.36	明	1368	
51	39		79	13	A	51	裏	洪武通寶	一銭	23.00	23.11	1.95	1.48	3.87	明	1368	
52	39		80	14	A	52	表	洪武通寶		23.82	23.15	2.05	1.55	4.06	明	1368	
53	39		81	10	A	53	表	永樂通寶		25.32	25.02	1.61	1.38	3.61	明	1408	
54	39		82	5	A	54	不明	無文銭		21.82	22.02	1.17	0.60	1.60			
55	39		83	6	A	55	不明	無文銭		23.00	22.11	1.20	0.93	1.67			
56	39		84	6	A	56	表	元祐通寶	篆書	24.27	24.24	1.24	1.14	3.07	北宋	1086	
57	39		85	3	A	57	裏	皇宋通寶	真書	24.00	24.44	1.26	1.18	3.15	北宋	1038	
58	39		86	1	A	58	裏	元豐通寶	行書	24.15	24.40	1.29	1.08	3.26	北宋	1078	
59	39		87	7	A	59	不明	無文銭		24.32	24.12	1.34	1.18	2.15			
60	39		88	15	A	60	表	洪武通寶	一銭	22.73	22.81	1.70	1.29	3.87	明	1368	
61	39		89	1	A	61	表	政和通寶	篆書	25.27	25.24	1.28	0.94	3.07	北宋	1111	
62	39		90	7	A	62	裏	元祐通寶	行書	24.92	25.21	1.59	1.16	3.85	北宋	1086	
63	39		91	11	A	63	裏	永樂通寶		24.86	25.22	1.79	1.35	4.31	明	1408	
64	39		92	16	A	64	裏	洪武通寶	一銭	20.50	20.54	2.13	1.85	3.95	明	1368	コ通
65	39		93	3	A	65	表	熙寧元寶	篆書	24.70	24.63	1.71	1.42	3.90	北宋	1068	
66	39		94	1	A	66	裏	嘉祐通寶	篆書	23.64	24.13	1.68	1.34	4.05	北宋	1056	
67	39		95	12	A	67	裏	永樂通寶		25.42	25.44	1.83	1.13	3.96	明	1408	
68	39		96	1	A	68	裏	開元通寶	興	23.21	23.55	1.60	1.35	3.77	唐	845	紀地銭?、烏銭?
69	39		97	13	A	69	表	永樂通寶		25.10	24.97	1.31	1.15	2.82	明	1408	
70	39		98	8	A	70	不明	無文銭		22.31	22.45	1.29	1.05	1.74			
71	39		99	17	A	71	裏	洪武通寶	上甲文	23.14	23.37	1.71	1.47	3.07	明	1368	内郭の四方に刻みA、コ通
72	39		100	14	A	72	裏	永樂通寶		25.31	25.48	1.63	1.53	4.42	明	1408	
73	39		101	4	A	73	表	皇宋通寶	篆書	21.95	22.96	1.34	1.01	2.47	北宋	1038	
74	39		102	9	A	74	不明	無文銭		22.66	22.59	1.44	1.14	1.56			
75	40		103	1	A	75	裏	軋元重寶	真書	23.70	23.61	1.05	0.99	2.51	唐	758	
76	40		104	1	A	76	裏	紹聖元寶	行書	24.55	24.77	1.43	1.25	3.14	北宋	1094	
77	40		105	15	A	77	表	永樂通寶		25.28	25.52	1.72	1.31	3.72	明	1408	
78	40		106	4	A	78	表	熙寧元寶	篆書	24.27	24.33	1.23	1.02	2.99	北宋	1068	
79	40		107	18	A	79	表	洪武通寶		23.18	23.12	1.68	1.50	3.47	明	1368	
80	40		108	19	A	80	裏	洪武通寶		23.12	23.53	2.34	1.57	4.13	明	1368	コ通
81	40		109	5	A	81	裏	皇宋通寶	真書	23.94	23.72	1.45	1.01	3.39	北宋	1038	
82	40		110	6	A	82	表	皇宋通寶	真書	23.75	23.30	1.19	1.02	1.89	北宋	1038	
83	40		111	5	A	83	表	熙寧元寶	篆書	23.73	23.82	1.53	1.27	3.21	北宋	1068	
84	40		112	20	A	84	裏	洪武通寶		21.70	21.96	1.66	1.51	3.36	明	1368	
85	40		113	6	B	1	裏	開元通寶	隸書	23.45	23.47	1.23	1.16	3.04	唐	621	
86	40		114	1	B	2	裏	天聖元寶	真書	24.64	24.68	1.21	1.09	3.38	北宋	1023	
87	40		115	21	B	3	表	洪武通寶		22.93	23.46	1.84	1.40	3.99	明	1368	
88	40		116	10	B	4	不明	無文銭		22.65	21.36	1.64	0.97	2.50			
89	40		117	7	B	5	裏	皇宋通寶	真書	24.76	25.29	1.27	1.06	2.98	北宋	1038	

第4章 調査の記録

第23表 SK 01 出土銭貨観察表(2)

銭貨No	挿図No	図版No	遺物No	銭種No	綴銭No	表裏	銭貨名	裏文字	書体	外縁外径A	外縁外径B	外縁最大厚	外縁最小厚	質量	国名	初鋳年	備考
90	40		118	11	B	6	不明	無文銭		21.24	21.00	1.28	0.73	1.71			
91	40		119	22	B	7	表	洪武通寶		22.90	23.12	1.62	1.52	3.70	明	1368	
92	40		120	23	B	8	表	洪武通寶		23.11	23.12	1.81	1.65	3.94	明	1368	
93	40		121	24	B	9	裏	洪武通寶		23.32	23.27	1.72	1.56	3.55	明	1368	
94	40	10	122	1	B	10	表	元符通寶	篆書	24.38	24.38	1.30	1.15	2.92	北宋	1098	
95	40		123	25	B	1	表	洪武通寶		21.24	21.35	1.96	1.63	3.89	明	1368	
96	40		124	26	B	2	裏	洪武通寶		24.02	23.55	2.56	1.96	4.59	明	1368	二通
97	40		125	7	B	3	裏	開元通寶	隸書	23.92	23.96	1.52	1.08	3.71	唐	621	
98	40		126	1	B	4	表	大觀通寶	真書	23.62	24.78	1.32	1.29	3.10	北宋	1107	
99	40		127	16	B	5	表	永樂通寶		24.97	24.97	1.79	1.51	4.36	明	1408	
100	40		128	17	B	6	裏	永樂通寶		24.93	24.97	1.46	1.26	3.64	明	1408	
101	40		129	2	B	7	表	判読不能		24.55	24.74	1.42	1.27	3.50			
102	40		130	18	B	8	裏	永樂通寶		25.25	25.24	1.67	1.44	4.12	明	1408	
103	40		131	2	B	9	表	紹聖元寶	行書	24.10	24.21	1.10	1.07	2.58	北宋	1094	内郭の四方に刻みA
104	40		132	5	B	10	表	聖宋元寶	篆書	24.18	24.10	1.53	1.44	3.78	北宋	1101	
105	40		133	6	B	11	裏	熙寧元寶	真書	23.76	23.85	1.32	1.19	3.24	北宋	1068	
106	40		134	27	B	12	表	洪武通寶		23.05	23.00	1.86	1.68	3.77	明	1368	
107	40		135	7	B	13	表	熙寧元寶	真書	24.61	24.80	1.32	1.08	3.11	北宋	1068	
108	40		136	8	B	14	表	元祐通寶	行書	24.77	24.78	1.42	1.28	3.66	北宋	1086	
109	40		137	4	B	15	裏	元豐通寶	行書	24.24	23.80	1.34	1.28	3.22	北宋	1078	
110	40		138	5	B	16	表	元豐通寶	行書	24.86	24.22	1.90	1.39	4.02	北宋	1078	
111	40		139	8	B	17	表	熙寧元寶	篆書	23.38	23.21	1.56	1.30	3.27	北宋	1068	
112	40		140	8	B	18	表	開元通寶	隸書	23.68	23.73	1.16	1.00	2.21	唐	621	
113	40		141	28	B	19	裏	洪武通寶		23.20	23.56	2.03	1.32	3.48	明	1368	
114	40		142	9	B	20	裏	開元通寶	隸書	24.11	24.38	1.41	1.07	2.54	唐	621	
115	40		143	10	B	21	表	開元通寶	隸書	24.87	24.93	1.66	1.06	2.52	唐	621	
116	41		144	12	B	22	不明	無文銭		22.25	22.21	1.40	0.88	1.48			
117	41		145	2	B	23	裏	元符通寶	篆書	24.01	24.26	1.75	1.50	4.06	北宋	1098	
118	41		146	13	B	24	不明	無文銭		22.80	22.54	1.65	1.37	2.59			
119	41		147	2	B	25	表	嘉泰通寶	二 真書	24.23	24.24	1.22	1.07	3.07	南宋	1201	
120	41		148	2	B	26	表	政和通寶	篆書	24.63	24.35	1.25	1.09	3.21	北宋	1111	
121	41	10	149	1	B	27	表	治平元寶	真書	23.40	23.28	1.53	1.53	3.63	北宋	1064	
122	41		150	1	B	28	裏	景德元寶	真書	24.66	24.76	1.34	1.26	3.35	北宋	1004	
123	41		151	1	B	29	裏	至道元寶	行書	24.94	24.85	1.22	1.00	3.62	北宋	995	潤縁
124	41		152	8	B	30	裏	皇宋通寶	真書	24.85	24.80	1.20	1.18	3.09	北宋	1038	
125	41		153	11	B	31	表	開元通寶	隸書	24.43	23.97	1.33	1.21	2.87	唐	621	
126	41		154	3	B	32	裏	紹聖元寶	篆書	22.58	22.46	1.12	0.93	2.40	北宋	1094	
127	41		155	9	B	33	表	熙寧元寶	篆書	21.94	22.18	0.97	0.83	1.47	北宋	1068	
128	41		156	6	B	34	裏	元豐通寶	篆書	24.06	24.08	1.28	1.19	3.12	北宋	1078	
129	41		157	29	B	35	裏	洪武通寶		23.75	23.28	1.77	1.51	3.41	明	1368	二通
130	41		158	3	B	36	表	判読不能		24.57	24.46	1.47	1.09	2.99			下は「寶」
131	41		159	14	B	37	不明	無文銭		23.94	22.84	1.40	0.84	1.53			(破片2)
132	41		160	19	B	38	裏	永樂通寶		25.00	25.05	1.47	1.11	3.47	明	1408	
133	41		161	3	B	39	表	元符通寶	行書	23.21	23.29	1.42	1.21	2.10	北宋	1098	
134	41		162	20	B	40	裏	永樂通寶		24.81	24.93	1.42	1.23	3.28	明	1408	
135	41		163	10	B	41	裏	熙寧元寶	篆書	22.51	23.96	1.14	0.78	2.17	北宋	1068	
136	41		164	2	B	42	表	大觀通寶	真書	24.70	24.65	1.41	1.41	3.05	北宋	1107	
137	41		165	30	B	43	裏	洪武通寶		23.06	22.63	1.68	1.42	3.16	明	1368	
138	41		166	15	B	44	不明	無文銭		22.37	22.02	1.21	0.82	1.70			
139	41		167	12	B	45	裏	開元通寶	上月 隸書	24.11	24.12	1.14	1.13	2.84	唐	621	
140	41		168	13	B	46	裏	開元通寶	? 隸書	24.51	24.44	1.29	1.26	3.41	唐	621	
141	41		169	3	B	47	裏	祥符元寶	真書	21.30	21.88	1.25	1.29	2.62	北宋	1008	
142	41	10	170	4	B	48	裏	紹聖元寶	行書	23.95	23.92	1.46	1.29	3.54	北宋	1094	
143	41		171	21	B	49	表	永樂通寶		24.34	24.25	1.24	1.03	2.90	明	1408	
144	41		172	1	B	50	裏	嘉定通寶	九 真書	23.63	24.65	1.14	1.11	2.97	南宋	1208	
145	41		173	4	B	51	表	判読不能		25.29	25.19	0.77	0.77	2.13			
146	41		174	22	B	52	裏	永樂通寶		25.56	25.51	1.25	1.14	2.93	明	1408	
147	41		175	7	B	53	裏	元豐通寶	篆書	25.21	25.14	1.52	0.89	2.73	北宋	1078	
148	41		176	31	B	54	裏	洪武通寶		21.25	21.34	1.60	1.42	3.10	明	1368	
149	41		177	1	B	55	表	咸平元寶	真書	23.12	22.82	1.06	0.96	2.62	北宋	998	
150	41		178	16	B	56	不明	無文銭		24.18	23.70	1.20	0.95	2.27			
151	41		179	23	B	57	裏	永樂通寶		25.25	25.37	1.22	1.24	2.52	明	1408	
152	41		180	5	B	58	裏	判読不能		24.47	24.23	1.25	1.04	2.85			
153	41		181	8	B	59	裏	元豐通寶	篆書	24.50	24.78	1.31	1.24	3.58	明	1078	
154	41		182	24	B	60	表	永樂通寶		24.93	24.97	1.64	1.69	4.74	明	1408	
155	42		183	5	B	61	表	紹聖元寶	行書	24.15	24.02	1.40	1.38	3.59	北宋	1094	
156	42		184	32	B	62	裏	洪武通寶		23.40	23.58	1.61	1.47	3.56	明	1368	
157	42		185	9	B	63	裏	皇宋通寶	篆書	23.56	23.46	1.36	1.23	3.43	北宋	1038	
158	42		186	25	B	64	表	永樂通寶		24.94	25.00	1.30	1.21	3.35	明	1408	
159	42		187	6	B	65	裏	判読不能		25.33	25.48	(3.05)	(1.39)	(5.11)			160が付着、質量は2枚分
160	42		188	7	B	66	裏	判読不能	(行書)	21.87	21.43						159が付着
161	42		189	3	B	67	表	政和通寶	篆書	24.62	24.30	1.24	0.90	3.35	北宋	1111	
162	42		190	9	B	68	裏	元豐通寶	篆書	24.44	24.58	1.46	1.24	3.89	北宋	1078	
163	42		191	11	B	69	裏	熙寧元寶	篆書	23.90	24.07	1.34	1.30	3.67	北宋	1068	
164	42		192	8	B	70	裏	判読不能		23.58	22.64	1.42	1.25	2.75			
165	42		193	2	B	71	裏	天聖元寶	真書	25.10	25.12	1.31	1.23	3.31	北宋	1023	
166	42		194	4	B	72	裏	政和通寶	隸書	24.00	24.01	1.67	1.54	3.76	北宋	1111	磨輪
167	42		195	14	B	73	表	開元通寶	上月 隸書	22.94	23.26	1.24	1.04	2.89	唐	621	
168	42		196	10	B	74	表	元豐通寶	行書	23.20	23.22	1.26	1.29	3.21	北宋	1078	
169	42		197	5	B	75	裏	政和通寶	隸書	24.55	24.92	1.55	1.34	3.74	北宋	1111	
170	42		198	6	B	76	表	紹聖元寶	行書	24.53	24.61	1.52	1.20	4.09	北宋	1094	
171	42		199	9	B	77	裏	元祐通寶	行書	24.36	24.59	1.52	1.20	3.85	北宋	1086	
172	42		200	1	B	78	裏	祥符通寶	真書	25.00	25.03	1.18	1.06	3.15	北宋	1008	
173	42		201	3	B	79	表	天聖元寶	真書	25.06	25.17	1.47	1.42	4.32	北宋	1023	
174	42		202	56	B	80	表	皇宋通寶	真書	24.35	24.47	1.17	1.16	3.22	北宋	1038	
175	42		203	26	B	81	表	永樂通寶		24.50	23.96	1.30	1.17	2.82	明	1408	
176	42	10	204	1	B	82	表	明道元寶	真書	25.46	25.51	1.32	1.26	3.53	北宋	1032	
177	42		205	12	B	83	裏	熙寧元寶	真書	24.42	24.26	1.28	1.10	3.34	北宋	1068	
178	42		206	6	B	84	裏	政和通寶	隸書								

第24表 SK 01 出土銭貨観察表(3)

銭貨No	挿図No	図版No	遺物No	銭種No	綴銭No	表裏	銭貨名	裏文字	書体	外縁外徑A	外縁外徑B	外縁最大厚	外縁最小厚	質量	国名	初鋳年	備考
179			207	17	B	85	不明	無文銭		22.58	23.76	1.25	0.93	1.17			180に一部付着 (破片2)
180	42		208	18	B	86	不明	無文銭		23.95	23.96	1.96	0.86	2.55			
181			209	19	B	87	不明	無文銭		23.38	23.96	1.40	1.08	1.56			(破片4)
182	42	10	210	2	B	88	表	祥符通寶	真書	25.07	25.16	1.06	0.99	3.26	北宋	1008	
183			211	20	B	89	不明	無文銭		22.99	22.75	1.18	0.93	1.28			(破片3)
184	42		212	57	B	90	表	皇宋通寶	真書	24.68	24.57	1.09	1.12	3.21	北宋	1038	
185	42		213	13	B	91	表	熙寧元寶	篆書	24.14	23.71	1.16	1.17	3.08	北宋	1068	
186	42		214	21	B	92	不明	無文銭		22.24	22.25	1.33	0.84	1.59			
187	42		215	9	B	93	裏	判読不能		24.23	24.10	1.51	1.12	2.41			
188	42		216	1	B	94	表	嘉祐元寶	篆書	24.00	23.88	1.45	1.31	3.68	北宋	1056	内郭の四方に刻みA
189	42		217	3	B	95	裏	景祐元寶	篆書	24.84	24.88	1.28	1.01	2.96	北宋	1034	
190	42		218	33	B	96	表	洪武通寶		23.84	23.52	2.02	1.70	4.04	明	1368	コ通
191	42		219	10	B	97	表	判読不能		25.24	25.53	1.47	1.17	3.39			
192	42		220	2	B	98	裏	治平元寶	篆書	23.76	23.62	1.68	1.49	3.45	北宋	1064	
193	42		221	34	B	99	表	洪武通寶		23.97	23.65	1.72	1.48	3.74	明	1368	
194	42		222	14	B	100	表	熙寧元寶	篆書	25.08	24.73	1.64	1.11	3.82	北宋	1068	
195	42		223	10	B	101	表	元祐通寶	篆書	24.64	24.41	1.48	1.39	3.81	北宋	1086	
196	42		224	10	B	102	表	皇宋通寶	真書	24.40	24.50	1.12	0.94	2.99	北宋	1038	
197	43		225	11	B	103	表	元祐通寶	行書	23.65	23.73	1.31	1.04	3.08	北宋	1086	
198	42		226	35	B	104	表	洪武通寶	福	23.82	24.02	1.86	1.58	3.51	明	1368	
199	43		227	36	B	105	表	洪武通寶	一銭	22.84	22.80	1.64	1.55	3.48	明	1368	
200	43		228	15	B	106	表	熙寧元寶	篆書	25.07	24.93	1.29	1.12	3.40	北宋	1068	
201	43		229	4	B	107	表	天聖元寶	真書	25.60	25.40	1.83	1.60	5.32	北宋	1023	
202	43		230	1	B	108	表	至大通寶	真書	23.30	23.27	1.81	1.52	3.62	元	1310	
203	43		231	2	B	109	表	咸平元寶	真書	24.51	24.53	1.28	1.18	3.07	北宋	998	
204	43		232	27	B	110	裏	永樂通寶		25.24	25.31	1.50	1.36	3.35	明	1408	
205	43		233	1	B	111	表	至和元寶	篆書	23.64	23.35	1.34	1.20	2.90	北宋	1054	
206	43		234	22	B	112	不明	無文銭		21.90	22.37	1.36	0.81	1.60			
207	43		235	28	B	113	表	永樂通寶		25.13	25.08	1.61	1.38	3.82	明	1408	
208	43		236	37	B	114	表	洪武通寶	一銭	23.81	24.07	2.80	1.69	4.56	明	1368	209が一部付着
209	43		237	23	B	115	不明	無文銭		23.30	22.68	1.28	1.02	0.63			208に一部・210に半分付着 (破片2)
210	43		238	24	B	116	不明	無文銭		22.92	22.97	2.43	1.10	2.47			209が半分付着
211	43		239	29	B	117	表	永樂通寶		24.87	24.92	1.57	1.10	3.37	明	1408	
212	43		240	15	B	118	表	開元通寶	上月	24.18	24.62	1.22	1.04	2.52	唐	621	
213	43		241	11	B	119	表	皇宋通寶	篆書	24.47	24.23	1.18	1.13	3.20	北宋	1038	
214	43		242	30	B	120	表	永樂通寶		25.22	25.40	1.66	1.42	4.27	明	1408	
215	43		243	16	B	121	裏	熙寧元寶	篆書	25.10	24.82	1.47	1.09	3.84	北宋	1068	内郭の四方に刻みA
216	43		244	38	B	122	裏	洪武通寶		23.70	24.22	1.87	1.23	3.16	明	1368	
217	43		245	31	B	123	裏	永樂通寶		24.45	24.61	1.78	1.33	3.50	明	1408	
218	43		246	32	B	124	裏	永樂通寶		25.05	25.04	1.68	1.50	4.01	明	1408	
219	43		247	39	B	125	裏	洪武通寶	一銭	23.14	23.38	2.05	1.37	4.31	明	1368	
220	43		248	16	B	126	裏	開元通寶	隸書	22.51	22.34	1.04	0.90	2.06	唐	621	
221	43		249	4	B	127	裏	祥符元寶	真書	25.17	25.20	1.24	0.97	3.22	北宋	1008	
222	43		250	25	B	128	不明	無文銭		23.52	23.29	1.28	0.95	2.07			
223	43		251	33	B	129	裏	永樂通寶		25.02	25.33	1.70	1.28	4.39	明	1408	
224	43		252	11	B	130	裏	元豐通寶	行書	24.61	24.66	1.25	0.98	3.26	北宋	1078	
225	43		253	26	B	131	不明	無文銭		22.17	22.51	1.34	0.85	1.50			
226	43		254	17	B	132	表	熙寧元寶	真書	24.86	24.98	1.39	1.14	3.84	北宋	1068	
227	43		255	40	B	133	裏	洪武通寶		23.33	23.36	1.95	1.22	3.37	明	1368	コ通
228	43		256	41	B	134	裏	洪武通寶		22.97	22.87	1.81	1.48	3.17	明	1368	
229	43		257	42	B	135	裏	洪武通寶		23.22	23.15	1.85	1.50	3.09	明	1368	
230	43		258	12	B	136	表	元祐通寶	行書	24.23	23.93	1.50	1.31	3.49	北宋	1086	
231	43		259	12	B	137	裏	皇宋通寶	篆書	24.77	24.80	1.65	1.33	4.18	北宋	1038	内郭が菱形
232			260	27	B	138	不明	無文銭		23.98	23.64	1.35	1.02	1.70			(破片2)
233	43		261	43	B	139	裏	洪武通寶		24.03	24.26	1.78	1.41	4.01	明	1368	コ通
234	43		262	44	B	140	裏	洪武通寶		23.32	23.25	1.58	1.43	3.51	明	1368	
235	43		263	45	B	141	裏	洪武通寶		23.07	23.14	1.46	1.19	2.58	明	1368	
236	43		264	34	B	142	表	永樂通寶		25.16	25.32	1.82	1.41	4.21	明	1408	
237	44	10	265	1	B	143	裏	開慶通寶	元	24.65	24.53	1.21	1.07	3.02	南宋	1259	
238	44		266	7	B	144	裏	政和通寶	隸書	24.74	24.64	1.52	1.40	3.80	北宋	1111	
239	44		267	28	B	145	不明	無文銭		21.87	19.88	1.47	0.94	1.23			
240	44		268	46	B	146	裏	洪武通寶		22.87	23.13	1.75	1.60	3.60	明	1368	
241	44		269	13	B	147	裏	皇宋通寶	真書	24.31	24.46	1.47	1.22	3.22	北宋	1038	
242	44		270	2	B	148	表	聖宋元寶	篆書	24.64	24.33	1.23	1.09	2.89	北宋	1101	
243	44		271	17	B	149	裏	開元通寶	隸書	22.78	23.10	1.39	0.94	2.26	唐	621	
244			272	29	B	150	不明	無文銭		22.40	22.49	1.08	0.93	0.45			(破片1)
245	44		273	2	B	151	表	至道元寶	行書	24.03	24.56	1.18	1.09	2.88	北宋	995	
246	44		274	11	B	152	表	判読不能		23.71	23.22	1.27	1.06	2.22			
247	44		275	13	B	153	裏	元祐通寶	篆書	24.38	24.44	1.13	1.13	3.21	北宋	1086	
248	44	10	276	18	B	154	裏	開元通寶	下月	24.92	25.05	1.74	1.20	3.09	唐	621	外縁の2か所に凸、セキの痕跡か
249	44		277	35	B	155	表	永樂通寶		24.97	25.06	1.35	1.26	3.47	明	1408	
250	44		278	47	B	156	表	洪武通寶		23.14	23.41	1.87	1.57	3.73	明	1368	コ通
251	44		279	19	C	1	裏	開元通寶	隸書	23.81	24.10	1.66	1.42	3.28	唐	621	
252	44		280	36	C	2	表	永樂通寶		25.21	25.27	1.60	1.28	3.67	明	1408	
253	44		281	30	C	3	不明	無文銭		23.63	23.97	1.76	1.16	1.81			
254	44		282	18	C	4	裏	熙寧元寶	篆書	24.71	24.27	1.47	1.26	3.64	北宋	1068	
255	44		283	14	C	5	裏	元祐通寶	篆書	23.92	23.87	1.46	1.29	3.88	北宋	1086	
256	44		284	15	C	6	表	元祐通寶	行書	23.96	24.17	1.52	1.24	2.57	北宋	1086	
257	44		285	3	C	7	表	咸平元寶	真書	24.71	24.30	1.54	1.25	3.27	北宋	998	
258	44		286	31	C	8	不明	無文銭		25.60	24.38	2.03	1.37	2.57			
259	44		287	12	C	9	表	元豐通寶	篆書	24.76	24.56	1.26	1.11	3.28	北宋	1078	
260	44		288	32	C	10	不明	無文銭		23.01	22.73	1.67	1.26	1.75			
261	44		289	20	C	11	裏	開元通寶	隸書	23.24	23.27	1.36	1.06	3.15	唐	621	
262	44		290	19	C	12	表	熙寧元寶	真書	23.55	23.80	1.68	1.33	3.85	北宋	1068	
263	44		291	60	C	13	表	皇宋通寶	真書	24.35	24.33	1.33	1.18	3.49	北宋	1038	
264	44		292	2	C	14	表	嘉定通寶	真書	23.50	23.98	1.47	1.03	1.91	南宋	1208	
265	44		293	6	C	15	表	聖宋元寶	篆書	23.74	23.80	1.66	1.17	3.70	北宋	1101	

第4章 調査の記録

第25表 SK 01 出土銭貨観察表(4)

銭貨No	挿孔No	図版No	遺物No	銭種No	緡銭	緡毎	表裏	銭貨名	裏文字	書体	外縁外径A	外縁外径B	外縁最大厚	外縁最小厚	質量	国名	初鋳年	備考
266	44		294	61	C	16	表	皇宋通寶		真書	24.51	24.61	1.26	1.06	2.47	北宋	1038	
267	44		295	20	C	17	表	熙寧元寶		真書	23.92	23.79	1.35	1.17	3.11	北宋	1068	
268	44		296	2	C	18	表	嘉祐通寶		真書	25.56	25.68	1.27	1.01	3.38	北宋	1056	
269	44		297	37	C	19	裏	永樂通寶			25.30	25.47	1.97	1.42	4.33	明	1408	
270	44		298	62	C	20	裏	皇宋通寶		真書	23.79	23.71	1.21	1.05	2.72	北宋	1038	
271	44		299	38	C	21	裏	永樂通寶			25.32	25.25	1.60	1.20	3.30	明	1408	
272	44		300	48	C	22	裏	洪武通寶			23.82	23.80	1.69	1.27	3.36	明	1368	
273	44		301	21	C	23	表	開元通寶		隸書	23.10	22.68	1.46	1.01	2.88	唐	621	
274	44		302	39	C	24	裏	永樂通寶			25.45	25.27	1.41	1.08	3.09	明	1408	
275	44		303	40	C	25	裏	永樂通寶			25.05	25.31	1.96	1.43	4.31	明	1408	
276	44		304	41	C	26	表	永樂通寶			24.34	25.05	1.88	1.63	4.05	明	1408	
277	44		305	7	C	27	表	聖宋元寶		篆書	24.11	24.26	1.11	0.90	2.39	北宋	1101	
278	45		306	42	C	28	表	永樂通寶			25.47	25.36	1.84	1.18	3.97	明	1408	
279	45		307	21	C	29	表	熙寧元寶		篆書	24.57	24.61	1.44	1.05	3.64	北宋	1068	
280	45		308	16	C	30	表	元祐通寶		行書	24.55	24.57	1.40	1.16	3.39	北宋	1086	
281	45		309	43	C	31	表	永樂通寶			24.97	24.93	2.03	1.70	4.80	明	1408	
282	45		310	49	C	32	表	洪武通寶	一銭		22.65	22.79	1.66	1.44	3.74	明	1368	
283	45		311	5	C	33	裏	天聖元寶		篆書	24.08	23.81	1.52	1.27	2.82	北宋	1023	
284	45		312	7	C	34	表	紹聖元寶		行書	23.81	23.41	1.68	1.24	3.20	北宋	1094	内郭の四方に刻みA
285	45		313	2	C	35	表	宣和通寶		隸書	23.43	23.88	1.45	1.16	3.00	北宋	1119	
286	45	10	314	1	C	36	表	淳化元寶		行書	24.57	24.45	1.26	1.01	2.88	北宋	990	
287	45		315	8	C	37	表	聖宋元寶		行書	24.05	23.73	1.61	1.24	3.27	北宋	1101	
288	45		316	50	C	38	表	洪武通寶			23.38	23.51	2.01	1.54	4.08	明	1368	
289	45		317	8	C	39	裏	政和通寶		隸書	25.14	25.30	1.53	1.33	4.05	北宋	1111	
290	45		318	51	C	40	裏	洪武通寶			23.46	23.52	1.78	1.54	4.02	明	1368	
291	45		319	6	C	41	裏	天聖元寶		真書	25.04	25.17	1.15	1.10	3.25	北宋	1023	
292	45		320	3	C	42	裏	大觀通寶		真書	24.46	24.25	1.51	1.31	3.24	北宋	1107	
293	45		321	33	C	43	不明	無文銭			22.32	22.15	0.89	0.70	1.46			
294	45		322	44	C	44	裏	永樂通寶			25.34	25.49	1.95	1.61	3.87	明	1408	
295	45		323	52	C	45	表	洪武通寶			23.17	23.23	1.85	1.50	3.99	明	1368	
296	45		324	53	C	46	裏	洪武通寶			23.36	22.68	1.82	1.57	3.37	明	1368	
297	45		325	54	C	47	表	洪武通寶	一銭		20.46	20.35	2.22	1.52	3.32	明	1368	二通
298	45		326	5	C	48	裏	祥符元寶		真書	24.96	24.79	1.16	0.94	2.90	北宋	1008	
299	45		327	9	C	49	表	政和通寶		篆書	24.47	24.34	1.05	0.88	2.60	北宋	1111	
300	45	10	328	3	C	50	裏	嘉祐通寶		篆書	24.41	24.67	1.33	0.98	2.94	北宋	1056	内郭の四方に刻みA
301	45		329	22	C	51	裏	熙寧元寶		篆書	24.60	24.11	1.25	1.15	3.34	北宋	1068	
302	45		330	3	C	52	表	治平元寶		真書	23.44	23.26	2.03	1.16	3.26	北宋	1064	
303	45		331	55	C	53	表	洪武通寶			21.60	21.26	1.53	1.28	2.71	明	1368	
304	45		332	10	C	54	表	政和通寶		隸書	24.36	24.56	1.28	0.92	2.33	北宋	1111	
305	45		333	56	C	55	表	洪武通寶			21.15	21.44	2.08	1.80	4.11	明	1368	
306	45		334	34	C	56	不明	無文銭			22.60	21.84	1.43	0.79	1.58			
307	45		335	4	C	57	裏	嘉祐通寶		篆書	23.73	23.53	1.55	1.38	3.81	北宋	1056	
308	45		336	57	C	58	裏	洪武通寶	一銭		23.48	23.64	1.79	1.67	4.28	明	1368	重点通
309	45		337	23	C	59	裏	熙寧元寶		真書	24.45	24.40	1.49	1.18	3.55	北宋	1068	
310	45		338	63	C	60	裏	皇宋通寶		篆書	24.38	24.09	1.16	0.86	2.62	北宋	1038	
311	45		339	22	C	61	裏	開元通寶	上甲文	隸書	24.61	24.57	1.43	1.22	3.69	唐	621	内郭の四方に刻みB
312	45		340	35	C	62	不明	無文銭			23.02	22.66	1.24	0.88	1.95			
313	45		341	64	C	63	表	皇宋通寶		篆書	23.75	23.18	1.51	1.35	3.08	北宋	1038	
314	45		342	58	C	64	表	洪武通寶			21.72	21.45	1.94	1.52	3.59	明	1368	
315	45		343	7	C	65	表	天聖元寶		真書	25.09	24.94	1.65	1.35	3.81	北宋	1023	
316	46		344	59	C	66	裏	洪武通寶	一銭		20.60	20.23	1.99	1.51	3.37	明	1368	
317	46		345	13	C	67	表	元豐通寶		行書	23.22	23.10	2.39	1.18	3.33	北宋	1078	
318	46		346	36	C	68	不明	無文銭			22.05	21.87	1.18	1.03	1.33			317に一部付着(破片4)
319	46		347	65	C	69	表	皇宋通寶		篆書	24.58	24.71	1.23	1.11	2.92	北宋	1038	内郭の四方に刻みA
320	46		348	5	C	70	裏	嘉祐通寶		篆書	23.77	23.84	1.26	1.19	3.00	北宋	1056	
321	46		349	60	C	71	裏	洪武通寶			24.32	24.15	2.00	1.42	3.15	明	1368	
322	46		350	61	C	72	裏	洪武通寶			23.60	23.76	1.58	1.31	3.56	明	1368	
323	46		351	37	C	73	不明	無文銭			22.39	22.05	0.92	0.75	1.41			
324	46		352	62	C	74	表	洪武通寶			22.43	22.70	1.68	1.45	2.67	明	1368	
325	46		353	12	C	75	裏	判読不能			23.72	23.16	1.43	0.63	1.97			
326	46		354	45	C	76	裏	永樂通寶			25.53	25.33	1.89	1.47	3.86	明	1408	
327	46		355	4	C	77	裏	元符通寶		篆書	25.21	25.09	1.22	1.16	3.56	北宋	1098	
328	46		356	38	C	78	不明	無文銭			22.57	22.40	1.38	1.01	1.95			
329	46		357	4	C	79	裏	宣和通寶		篆書	23.44	23.67	1.56	1.38	3.03	北宋	1119	
330	46		358	17	C	80	表	元祐通寶		篆書	24.27	24.19	1.51	1.05	2.55	北宋	1086	
331	46		359	46	C	81	裏	永樂通寶			25.32	25.23	1.54	1.15	2.94	明	1408	
332	46		360	63	C	82	表	洪武通寶			23.83	23.33	2.11	1.51	3.80	明	1368	
333	46		361	64	C	83	表	洪武通寶	一銭		23.16	23.11	1.94	1.70	4.39	明	1368	
334	46		362	39	C	1	不明	無文銭			22.36	22.84	1.14	0.96	0.67			(破片1)
335	46		363	47	C	2	表	永樂通寶			25.62	25.57	1.75	1.63	4.30	明	1408	
336	46		364	65	C	3	裏	洪武通寶	一銭		23.75	23.84	2.12	1.79	5.03	明	1368	
337	46		365	66	C	4	表	洪武通寶			24.70	24.86	1.62	1.34	3.84	明	1368	
338	46		366	8	C	5	裏	紹聖元寶		行書	24.83	24.88	1.76	1.67	5.09	北宋	1094	
339	46		367	48	C	6	裏	永樂通寶			24.68	24.72	1.78	1.25	3.63	明	1408	
340	46		368	67	C	7	裏	洪武通寶	一銭		22.74	22.90	1.69	1.55	3.81	明	1368	
341	46	10	369	8	C	8	裏	天聖元寶		篆書	24.93	24.80	1.61	1.32	4.48	北宋	1023	内郭の四方に刻みA
342	46		370	68	C	9	表	洪武通寶			21.20	21.28	1.70	1.63	3.43	明	1368	
343	46		371	40	C	10	不明	無文銭			23.74	23.74	1.74	1.09	2.26			
344	46		372	69	C	11	裏	洪武通寶			23.94	23.78	1.38	1.43	3.27	明	1368	
345	46		373	13	C	12	裏	判読不能			24.08	24.06	1.20	1.10	2.92			
346	46		374	49	C	13	裏	永樂通寶			25.27	25.26	1.56	1.30	4.19	明	1408	
347	46		375	14	C	14	裏	元豐通寶		篆書	24.27	24.52	1.28	1.17	3.72	北宋	1078	
348	46		376	24	C	15	裏	熙寧元寶		真書	24.00	24.02	1.69	1.38	4.23	北宋	1068	内郭の四方に刻みB
349	46		377	50	C	16	裏	永樂通寶			25.18	25.18	1.66	1.59	4.62	明	1408	
350	46		378	70	C	17	表	洪武通寶			23.56	23.61	1.57	1.36	3.43	明	1368	
351	46		379	25	C	18												

第26表 SK 01 出土銭貨観察表(5)

銭貨No.	挿図No.	図版No.	遺物No.	銭種No.	緡銭	緡毎	表裏	銭貨名	裏文字	書体	外縁外徑A	外縁外徑B	外縁最大厚	外縁最小厚	質量	国名	初鋳年	備考
355	46		383	14	C	22	表	判読不能			24.18	24.69	1.37	1.06	2.86			
356	47		384	19	C	23	裏	元祐通寶		行書	24.63	24.50	1.56	1.49	4.00	北宋	1086	内部の四方に刻みA
357	47		385	71	C	24	表	洪武通寶			23.66	23.23	1.84	1.61	3.80	明	1368	二通
358	47		386	6	C	25	表	祥符元寶		真書	22.77	22.34	1.26	0.91	2.21	北宋	1008	
359			387	41	C	1	不明	無文銭			22.58	22.14	1.09	0.88	0.97			360に一部付着(破片4)
360	47		388	42	C	2	不明	無文銭			22.54	21.98	1.76	1.06	2.12			359が一部付着
361			389	43	C	3	不明	無文銭			24.03	23.06	1.26	0.96	2.16			(破片3)
362	47		390	27	C	4	裏	熙寧元寶		篆書	23.73	23.80	1.31	1.23	3.72	北宋	1068	
363	47	10	391	11	C	5	裏	政和通寶		篆書	24.84	24.88	0.89	0.89	2.28	北宋	1111	
364	47	10	392	51	C	6	裏	永樂通寶			25.51	25.33	1.50	1.49	4.54	明	1408	
365	47		393	3	C	7	裏	祥符通寶		真書	24.88	24.90	1.00	0.96	3.08	北宋	1008	
366	47		394	72	C	8	裏	洪武通寶			24.41	24.37	1.44	1.40	3.60	明	1368	
367	47		395	73	C	9	表	洪武通寶	一銭		22.88	22.66	1.65	1.39	3.37	明	1368	
368	47		396	52	C	10	裏	永樂通寶			25.33	25.28	1.64	1.33	4.49	明	1408	
369	47		397	44	C	11	不明	無文銭			23.11	22.83	1.20	0.98	2.02			
370	47		398	66	C	12	裏	皇宋通寶		真書	22.98	22.82	1.42	1.18	2.30	北宋	1038	
371	47		399	74	C	13	表	洪武通寶	一銭		22.80	22.98	1.58	1.54	4.16	明	1368	
372	47		400	28	C	14	表	熙寧元寶		真書	23.07	23.51	0.94	0.48	1.87	北宋	1068	
373	47		401	45	C	15	不明	無文銭			21.96	22.37	0.95	0.55	1.42			
374	47		402	6	C	16	裏	嘉祐通寶		篆書	23.74	23.49	1.49	1.38	3.70	北宋	1056	
375	47		403	75	C	17	表	洪武通寶			22.58	22.45	1.99	1.70	4.28	明	1368	
376	47		404	53	C	18	表	永樂通寶			25.14	25.00	1.33	1.19	3.43	明	1408	
377	47		405	76	C	19	表	洪武通寶	浙		23.60	23.12	1.38	1.17	2.88	明	1368	重点通
378	47		406	54	C	20	表	永樂通寶			25.11	24.95	1.67	1.51	4.15	明	1408	
379	47		407	55	C	21	裏	永樂通寶			24.89	24.69	1.62	1.36	4.22	明	1408	
380	47		408	56	C	22	表	永樂通寶			24.45	24.15	1.58	1.18	2.85	明	1408	
381	47		409	57	C	23	表	永樂通寶			25.40	25.30	1.38	1.41	4.01	明	1408	
382	47		410	15	C	24	表	元豊通寶		行書	24.25	24.32	1.42	1.32	4.05	北宋	1078	
383	47		411	29	C	25	裏	熙寧元寶		真書	23.17	23.15	1.60	1.65	4.20	北宋	1068	
384	47		412	77	C	26	表	洪武通寶	一銭		20.38	20.51	2.06	1.93	3.76	明	1368	
385	47		413	58	C	27	裏	永樂通寶			25.11	25.14	1.50	1.36	3.67	明	1408	
386	47		414	2	C	28	裏	景德元寶		真書	24.50	24.40	1.47	1.35	4.09	北宋	1004	
387	47		415	78	C	29	裏	洪武通寶			21.60	21.46	1.77	1.68	3.58	明	1368	
388	47		416	59	C	30	表	永樂通寶			24.97	24.96	1.61	1.31	3.63	明	1408	
389	47	10	417	4	C	31	裏	咸平元寶		真書	24.85	24.95	1.36	1.32	4.05	北宋	998	淵緑
390	47		418	79	C	32	裏	洪武通寶	北平		24.15	23.66	1.56	1.34	3.52	明	1368	
391	47		419	15	C	33	表	判読不能			22.49	22.36	1.44	1.25	2.75			下は「元」、左は「寶」
392	47		420	80	C	34	裏	洪武通寶			23.30	23.14	1.47	1.32	3.04	明	1368	
393	47		421	9	C	35	表	聖宋元寶		行書	24.01	23.87	1.29	1.05	2.89	北宋	1101	
394	47		422	30	C	36	裏	熙寧元寶		真書	24.64	23.06	1.32	1.14	3.04	北宋	1068	
395	48		423	20	D	1	表	元祐通寶		行書	23.61	24.10	1.33	1.25	3.55	北宋	1086	
396	48		424	7	D	2	裏	嘉祐通寶		篆書	23.94	23.65	1.29	1.13	2.30	北宋	1056	
397	48		425	60	D	3	表	永樂通寶			25.30	25.23	1.88	1.45	4.10	明	1408	
398	48		426	46	D	4	不明	無文銭			22.27	22.48	1.13	0.85	1.39			
399	48		427	61	D	5	裏	永樂通寶			24.98	25.00	1.52	1.02	2.86	明	1408	
400	48		428	62	D	6	裏	永樂通寶			24.92	25.10	1.71	1.37	4.09	明	1408	
401	48		429	9	D	7	裏	天聖元寶		真書	25.11	25.22	1.32	1.05	2.92	北宋	1023	
402	48		430	31	D	8	裏	熙寧元寶		篆書	22.85	22.89	1.47	1.07	2.88	北宋	1068	
403	48		431	10	D	9	表	聖宋元寶		行書	24.24	24.51	1.38	1.24	3.43	北宋	1101	
404	48		432	16	D	10	表	元豊通寶		篆書	24.23	24.40	1.38	1.13	2.87	北宋	1078	
405	48		433	63	D	11	表	永樂通寶			25.28	25.21	1.75	1.22	3.83	明	1408	
406	48		434	64	D	12	表	永樂通寶			25.14	25.19	1.59	1.32	4.25	明	1408	
407	48		435	23	D	13	裏	開元通寶		隸書	23.09	23.15	1.22	1.05	2.65	唐	621	
408	48		436	81	D	14	裏	洪武通寶			22.97	22.91	1.71	1.60	3.31	明	1368	
409	48		437	65	D	15	裏	永樂通寶			25.20	25.07	1.69	1.55	4.16	明	1408	
410	48		438	24	D	16	表	開元通寶		隸書	24.73	24.93	1.31	1.06	3.04	唐	621	
411	48		439	66	D	17	裏	永樂通寶			25.07	24.96	1.47	1.12	3.98	明	1408	
412	48		440	47	D	18	不明	無文銭			23.06	23.28	1.24	1.04	1.57			(破片1)
413	48		441	32	D	19	裏	熙寧元寶		篆書	24.22	24.15	1.39	1.20	3.44	北宋	1068	
414	48		442	33	D	20	裏	熙寧元寶		篆書	23.44	23.57	1.37	1.08	3.40	北宋	1068	
415	48		443	14	D	21	表	皇宋通寶		真書	25.19	25.18	1.33	1.19	3.66	北宋	1038	
416	48		444	82	D	22	表	洪武通寶			23.63	23.44	2.06	1.44	3.98	明	1368	
417	48		445	83	D	23	裏	洪武通寶			24.04	24.32	1.86	1.30	3.91	明	1368	
418	48		446	34	D	24	裏	熙寧元寶		篆書	23.91	23.26	1.78	1.52	3.82	北宋	1068	
419	48		447	48	D	25	不明	無文銭			24.12	24.12	1.15	0.90	1.56			(破片2)
420	48		448	16	D	26	裏	判読不能			24.13	23.84	1.40	0.96	3.32			
421	48	10	449	11	D	27	裏	聖宋元寶		行書	24.61	24.92	1.39	1.15	3.39	北宋	1101	
422	48		450	84	D	28	表	洪武通寶	一銭		23.05	23.03	1.92	1.60	4.65	明	1368	
423			451	49	D	29	不明	無文銭			22.34	22.28	1.36	1.17	1.50			(破片4)
424	48		452	85	D	30	裏	洪武通寶	一銭		22.80	22.67	1.74	1.53	4.32	明	1368	
425	48		453	12	D	31	裏	聖宋元寶		行書	23.65	25.20	1.18	0.87	2.20	北宋	1101	
426	48		454	21	D	32	表	元祐通寶		篆書	24.74	24.51	1.18	0.76	2.67	北宋	1086	
427	48		455	15	D	33	表	皇宋通寶		真書	24.85	24.91	1.34	1.19	3.74	北宋	1038	
428	48	10	456	5	D	34	表	景祐元寶		篆書	25.72	25.83	1.39	1.10	3.90	北宋	1034	
429			457	50	D	35	不明	無文銭			22.36	22.27	1.42	0.81	0.86			(破片7)
430			458	51	D	36	不明	無文銭			23.10	23.11	1.61	1.32	0.64			431の一部付着(破片1)
431	48		459	4	D	37	裏	大觀通寶		真書	24.81	25.05	1.44	1.21	3.01	北宋	1107	
432	48	10	460	17	D	38	裏	元豊通寶		篆書	24.37	24.47	1.39	1.21	3.80	北宋	1078	
433	48	10	461	1	D	39	裏	紹興元寶		真書	23.91	26.42	1.02	0.84	2.25	南宋	1131	
434	48		462	11	D	40	裏	大觀通寶		真書	24.43	24.32	1.39	1.30	3.52	北宋	1107	
435	48		463	7	D	41	表	祥符元寶		真書	24.15	24.95	1.35	1.11	3.89	北宋	1008	
436	48		464	16	D	42	裏	皇宋通寶		真書	22.78	22.67	0.85	0.68	1.76	北宋	1038	
437	48		465	86	D	43	裏	洪武通寶			20.94	21.23	1.76	1.62	3.59	明	1368	
438	49		466	67	D	44	表	永樂通寶			24.98	24.73	1.49	1.23	3.62	明	1408	
439	49	10	467	13	D	45	裏	聖宋元寶		篆書	24.74	24.74	1.14	0.45	3.46	北宋	1101	
440	49		468	87	D	46	裏	洪武通寶	浙		24.80							

第4章 調査の記録

第27表 SK 01 出土銭貨観察表(6)

銭貨No.	挿図No.	図版No.	遺物No.	銭種No.	緒毎No.	表裏	銭貨名	裏文字	書体	外縁外径A	外縁外径B	外縁最大厚	外縁最小厚	質量	国名	初鋳年	備考
444	49		472	10	D	50	表	天聖元寶	篆書	24.75	24.89	1.48	1.19	3.68	北宋	1023	
445	49		473	18	D	51	裏	元豐通寶	篆書	23.79	23.93	1.55	1.34	3.15	北宋	1078	
446	49		474	17	D	52	裏	判読不能		23.56	23.45	1.31	1.12	2.26			
447	49		475	90	D	53	表	洪武通寶		23.03	22.90	1.59	1.50	4.06	明	1368	
448	49		476	68	D	54	裏	永樂通寶		24.84	25.06	1.57	1.43	3.84	明	1408	
449	49		477	14	D	55	裏	聖宋元寶	行書	24.05	23.86	1.37	1.13	3.44	北宋	1101	
450	49		478	17	D	56	表	皇宋通寶	真書	24.67	24.93	1.24	1.03	2.78	北宋	1038	
451	49	10	479	9	D	57	表	紹聖元寶	篆書	24.16	24.10	1.30	1.08	3.36	北宋	1094	内郭の四方に刻みA
452	49	10	480	1	D	58	裏	大中通寶	篆書	23.97	24.13	1.56	1.34	3.71	明	1361	
453	49		481	22	D	59	裏	元祐通寶	篆書	24.46	24.17	1.29	1.26	3.63	北宋	1086	
454	49		482	91	D	60	裏	洪武通寶	一銭	21.43	21.40	1.97	1.58	3.94	明	1368	
455	49		483	35	D	61	裏	熙寧元寶	真書	24.08	24.24	1.25	1.05	3.04	北宋	1068	
456	49		484	69	D	62	裏	永樂通寶		25.19	25.07	1.55	1.28	3.78	明	1408	
457	49		485	18	D	63	裏	判読不能		24.28	23.93	1.38	1.14	1.80			二通
458	49		486	92	D	64	表	洪武通寶	一銭	20.71	20.81	2.27	1.54	3.42	明	1368	
459	49		487	19	D	65	裏	元豐通寶	行書	24.26	23.90	1.82	1.11	3.66	北宋	1078	
460	49		488	3	D	66	表	嘉定通寶	十二	23.56	23.46	1.47	1.24	3.61	南宋	1208	
461	49		489	36	D	67	裏	熙寧元寶	真書	23.70	23.28	1.44	1.06	2.76	北宋	1068	内郭の上下左に刻みA
462	49		490	25	D	68	表	開元通寶	隸書	23.14	22.98	1.02	0.93	2.39	唐	621	
463	49		491	2	D	69	表	貞元重寶	真書	24.77	24.69	1.44	1.26	3.30	唐	758	
464	49		492	70	D	70	裏	永樂通寶		25.18	24.93	1.72	1.45	4.01	明	1408	
465	49		493	23	D	71	表	元祐通寶	行書	23.74	24.19	1.26	1.11	3.16	北宋	1086	
466	49		494	53	D	72	不明	無文銭		23.75	23.66	1.46	1.22	2.38			
467	49		495	8	D	73	表	祥符元寶	真書	24.46	24.65	1.17	1.08	3.25	北宋	1008	
468	49		496	54	D	74	不明	無文銭		23.17	22.58	1.18	0.90	0.57			469の一部付着(破片2)
469	49		497	55	D	75	不明	無文銭		21.97	22.84	2.70	1.04	2.06			468の一部付着
470	49		498	93	D	76	裏	洪武通寶		23.63	23.69	1.79	1.50	3.86	明	1368	
471	49		499	71	D	77	表	永樂通寶		25.11	24.96	1.50	1.39	3.90	明	1408	
472	49		500	37	D	78	裏	熙寧元寶	篆書	24.60	24.89	1.23	1.00	3.12	北宋	1068	
473	49		501	24	D	79	表	元祐通寶	行書	24.45	24.49	1.25	1.20	3.14	北宋	1086	
474	50		502	1	D	80	表	聖宋元寶	篆書	23.66	23.76	1.29	1.04	3.39	北宋	1101	
475	50	10	503	1	D	81	表	宋通元寶	真書	24.12	24.19	0.86	0.73	2.37	北宋	960	
476	50		504	25	D	82	裏	元祐通寶	篆書	24.36	24.49	1.23	1.09	3.37	北宋	1086	
477	50		505	26	D	83	裏	元祐通寶	行書	23.89	24.26	1.32	1.18	3.38	北宋	1086	
478	50		506	2	D	84	裏	至和元寶	真書	23.51	23.63	1.31	1.26	3.11	北宋	1054	内郭が八角形
479	50		507	38	D	85	表	熙寧元寶	真書	24.33	24.34	1.47	1.38	4.08	北宋	1068	
480	50		508	94	D	86	表	洪武通寶		23.40	23.42	1.47	1.37	3.39	明	1368	重点通
481	50		509	20	D	87	表	元豐通寶	篆書	24.34	24.22	1.37	1.28	3.30	北宋	1078	
482	50		510	18	D	88	裏	皇宋通寶	篆書	25.07	24.56	1.57	1.28	4.58	北宋	1038	
483	50		511	72	D	89	表	永樂通寶		24.97	24.81	1.38	1.09	3.14	明	1408	
484	50		512	26	D	90	裏	開元通寶	上月	23.25	22.98	1.24	1.11	2.53	唐	621	
485	50		513	4	D	91	裏	至和通寶	篆書	24.78	24.58	1.28	1.16	3.25	北宋	1054	
486	50	10	514	1	D	92	表	大義通寶	真書	23.69	24.00	1.78	1.57	3.90	漢	1360	
487	50		515	95	D	93	表	洪武通寶		22.04	21.96	1.47	1.39	2.84	明	1368	二通
488	50		516	19	D	94	裏	皇宋通寶	真書	24.55	24.54	1.16	1.10	3.11	北宋	1038	
489	50	10	517	21	D	95	表	元豐通寶	行書	23.78	23.77	1.51	1.39	3.83	北宋	1078	
490	50		518	56	D	96	不明	無文銭		22.49	22.29	1.67	0.96	1.78			
491	50		519	27	D	97	表	開元通寶	隸書	24.42	23.98	1.48	1.28	2.92	唐	621	
492	50		520	96	D	98	表	洪武通寶	一銭	21.31	21.07	1.72	1.47	3.24	明	1368	
493	50		521	19	D	99	裏	判読不能		24.01	24.19	1.55	1.03	2.72			
494	50		522	22	D	100	表	元豐通寶	行書	22.71	22.55	1.34	0.93	2.17	北宋	1078	
495	50		523	97	D	101	裏	洪武通寶	一銭	22.69	23.00	1.56	1.20	3.51	明	1368	
496	50		524	3	D	102	裏	景德元寶	真書	25.05	25.12	1.24	1.10	3.13	北宋	1004	
497	50		525	73	D	103	表	永樂通寶		24.90	25.01	1.43	1.14	3.36	明	1408	
498	50		526	74	D	104	裏	永樂通寶		25.38	25.39	1.83	1.42	4.08	明	1408	
499	50		527	20	D	105	裏	皇宋通寶	真書	25.07	25.33	1.57	1.10	3.57	北宋	1038	
500	50		528	12	D	106	裏	大觀通寶	真書	24.95	24.98	1.66	1.38	4.31	北宋	1107	
501	50		529	98	D	107	表	洪武通寶		23.56	23.41	1.48	1.06	3.18	明	1368	
502	50		530	6	D	108	表	景祐元寶	篆書	24.23	24.09	1.24	1.11	2.80	北宋	1034	内郭が六角形
503	50		531	21	D	109	裏	皇宋通寶	真書	24.44	24.69	1.30	1.23	3.08	北宋	1038	
504	50		532	23	D	110	表	元豐通寶	篆書	25.03	25.00	1.38	1.29	3.76	北宋	1078	
505	50		533	10	D	111	裏	紹聖元寶	篆書	23.75	24.07	1.51	1.35	3.42	北宋	1094	内郭の四方に刻みB
506	50		534	28	D	112	表	開元通寶	隸書	23.89	24.02	1.26	1.10	2.75	唐	621	内郭の四方に刻みB
507	50		535	75	D	113	裏	永樂通寶		25.22	25.48	1.56	1.25	3.72	明	1408	内郭の四方に刻みB
508	50		536	76	D	114	裏	永樂通寶		25.46	25.35	1.59	1.32	3.92	明	1408	
509	50		537	99	D	115	裏	洪武通寶	一銭	22.60	22.78	1.51	1.16	3.61	明	1368	
510	50		538	13	D	116	表	大觀通寶	真書	25.23	23.26	1.78	0.89	3.14	北宋	1107	
511	50		539	12	D	117	表	政和通寶	篆書	23.91	23.86	0.83	0.78	2.10	北宋	1111	
512	51		540	29	D	118	裏	開元通寶	隸書	22.84	23.19	1.30	1.20	2.39	唐	621	内郭の四方に刻みB
513	51		541	39	D	119	裏	熙寧元寶	真書	23.77	23.75	1.37	1.20	3.57	北宋	1068	
514	51		542	24	D	120	表	元豐通寶	篆書	24.75	24.76	1.14	1.02	3.24	北宋	1078	
515	51		543	13	D	121	表	政和通寶	隸書	24.39	24.01	1.18	0.97	2.67	北宋	1111	
516	51		544	77	D	122	裏	永樂通寶		25.22	25.37	1.64	1.38	3.58	明	1408	
517	51		545	30	D	123	表	開元通寶	下月	23.47	23.42	1.27	1.11	3.31	唐	621	
518	51		546	78	D	124	裏	永樂通寶		25.03	25.12	1.43	1.29	3.24	明	1408	
519	51		547	100	D	125	表	洪武通寶	一銭	22.98	23.01	1.97	1.64	4.15	明	1368	
520	51		548	11	D	126	表	天聖元寶	真書	25.23	24.54	1.30	1.16	3.02	北宋	1023	
521	51		549	31	D	127	裏	開元通寶	隸書	23.26	23.03	1.16	0.93	2.54	唐	621	
522	51		550	79	D	128	裏	永樂通寶		25.47	25.24	1.39	1.09	3.59	明	1408	
523	51		551	20	D	129	表	判読不能		24.38	24.34	1.40	1.05	1.97			
524	51		552	25	D	130	裏	元豐通寶	篆書	23.78	23.76	1.41	1.39	3.65	北宋	1078	
525	51		553	32	D	131	表	開元通寶	隸書	24.33	24.33	1.17	1.10	2.98	唐	621	
526	51		554	101	D	132	裏	洪武通寶		23.49	23.43	1.59	1.37	3.43	明	1368	二通
527	51		555	4	D	133	表	治平元寶	篆書	23.23	23.28	1.02	0.85	2.43	北宋	1064	
528	51		556	11	D	134	裏	紹聖元寶	篆書	24.41	24.23	1.59	1.26	3.87	北宋	1094	内郭の四方に刻みA
529	51	10	557	2	D	135	表	皇宋元寶	六	24.28	24.16	1.24	0.97	3.00	南宋	1253	
530	51		558	80	D	136	裏	永樂通寶		25.02	24.94	1.54	1.48	3.46	明	1	

第28表 SK 01 出土銭貨観察表(7)

銭貨No.	挿図No.	図版No.	遺物No.	銭種No.	緒銭No.	表裏	銭貨名	裏文字	書体	外縁外径A	外縁外径B	外縁最大厚	外縁最小厚	質量	国名	初鋳年	備考
533	51		561	4	E 2	裏	嘉定通寶	二	真書	24.43	24.26	1.15	1.04	2.88	南宋	1208	
534	51		562	81	E 3	表	永樂通寶			25.14	25.11	1.33	1.10	3.61	明	1408	
535	51		563	57	E 4	不明	無文銭			21.90	21.54	0.99	0.79	1.44			
536	51	10	564	1	E 5	表	至和通寶		真書	24.31	23.75	1.23	0.93	3.06	北宋	1054	
537	51		565	22	E 6	表	皇宋通寶		真書	23.82	23.89	1.45	1.46	3.81	北宋	1038	
538	51		566	103	E 7	表	洪武通寶	?		23.68	23.51	1.58	1.30	2.85	明	1368	磨輪
539	51		567	15	E 8	表	聖宋元寶		篆書	24.12	23.88	1.23	1.10	3.11	北宋	1101	
540	51		568	27	E 9	表	元祐通寶		篆書	23.27	23.81	1.44	1.35	4.11	北宋	1086	
541	51		569	5	E 10	表	咸平元寶		真書	24.54	24.88	1.24	1.10	3.21	北宋	998	
542	51		570	58	E 11	不明	無文銭			22.81	23.51	1.37	0.92	1.62			(破片1)
543			571	59	E 12	不明	無文銭			21.62	21.49	1.02	0.98	0.71			(破片3)
544	51		572	23	E 13	表	皇宋通寶		篆書	24.48	24.18	1.60	1.37	3.82	北宋	1038	
545	51		573	28	E 14	表	元祐通寶		行書	24.82	23.95	1.37	0.92	3.20	北宋	1086	
546	51		574	24	E 15	表	皇宋通寶		真書	23.37	23.83	1.37	1.05	2.61	北宋	1038	
547	51		575	14	E 16	表	大觀通寶		真書	25.32	25.41	1.53	1.59	3.65	北宋	1107	
548	51	10	576	25	E 17	表	皇宋通寶		真書	24.12	24.02	1.17	1.07	2.83	北宋	1038	
549	51		577	26	E 18	表	皇宋通寶		真書	24.52	24.32	1.12	0.99	2.81	北宋	1038	
550	52		578	15	E 19	表	大觀通寶		真書	23.58	23.75	1.49	1.18	2.49	北宋	1107	
551	52		579	7	E 20	裏	景祐元寶		真書	25.73	25.00	1.18	1.27	3.55	北宋	1034	
552	52		580	26	E 21	裏	元豐通寶		行書	23.02	23.52	1.66	1.45	2.88	北宋	1078	
553	52		581	104	E 22	裏	洪武通寶			23.79	23.75	1.97	1.60	3.90	明	1368	
554	52		582	60	E 23	不明	無文銭			22.57	22.37	1.07	0.92	1.70			
555	52		583	61	E 24	不明	無文銭			22.50	22.55	1.26	0.89	1.92			
556	52		584	1	E 25	裏	天禧通寶		真書	24.49	24.80	1.60	1.27	3.16	北宋	1017	
557	52		585	82	E 26	裏	永樂通寶			24.98	24.82	1.55	1.10	3.52	明	1408	
558	52	10	586	2	E 27	表	至大通寶		真書	22.75	23.02	1.41	1.42	3.27	元	1310	
559	52		587	1	E 28	表	淳祐元寶	元	真書	23.45	23.28	1.60	1.51	3.91	南宋	1241	
560	52		588	83	E 29	裏	永樂通寶			24.85	24.78	1.64	1.49	4.28	明	1408	
561	52		589	27	E 30	表	元豐通寶		行書	23.63	23.44	1.25	1.13	3.18	北宋	1078	
562	52	10	590	2	E 31	裏	淳祐元寶		真書	24.26	24.44	1.23	1.08	2.50	南宋	1241	
563	52		591	62	E 32	不明	無文銭			23.11	23.49	1.05	0.84	2.06			
564	52		592	84	E 33	表	永樂通寶			24.92	24.97	1.42	1.26	3.42	明	1408	
565	52		593	105	E 34	裏	洪武通寶			21.51	22.04	1.76	1.53	3.83	明	1368	
566	52		594	12	E 35	表	紹聖元寶		行書	24.15	24.48	1.30	1.21	3.63	北宋	1094	
567	52		595	85	E 36	表	永樂通寶			24.75	24.89	1.63	1.26	3.08	明	1408	
568	52		596	33	E 37	表	開元通寶		隸書	24.69	24.39	1.36	1.03	2.71	唐	621	
569	52		597	63	E 38	不明	無文銭			22.02	22.85	1.42	1.28	2.75			
570	52		598	106	E 39	表	洪武通寶	一銭		21.40	21.18	1.90	1.69	3.98	明	1368	
571	52		599	8	E 40	裏	嘉祐通寶		篆書	24.62	24.60	1.38	1.26	3.62	北宋	1056	
572	52		600	28	E 41	裏	元豐通寶		篆書	23.75	23.73	1.22	1.18	3.32	北宋	1078	
573	52		601	41	E 42	表	熙寧元寶		篆書	24.70	24.87	1.70	1.45	4.34	北宋	1068	
574	52		602	86	E 43	表	永樂通寶			24.82	25.15	1.63	1.32	4.77	明	1408	
575	52		603	29	E 44	表	元豐通寶		行書	25.09	24.96	1.33	1.29	3.84	北宋	1078	
576	52		604	107	E 45	表	洪武通寶			23.88	23.81	1.33	1.14	2.77	明	1368	
577	52		605	42	E 46	裏	熙寧元寶		篆書	24.25	24.45	1.73	1.69	4.43	北宋	1068	
578	52		606	16	E 47	表	聖宋元寶		行書	24.01	24.32	1.58	1.47	4.53	北宋	1101	
579	52	10	607	5	E 48	裏	嘉定通寶	六	真書	24.09	24.19	1.44	1.31	3.44	南宋	1208	
580	52		608	87	E 49	裏	永樂通寶			24.99	24.86	1.44	1.41	3.71	明	1408	
581	52		609	5	E 50	表	治平元寶		真書	24.68	24.03	1.28	1.23	3.04	北宋	1064	
582	52		610	34	E 51	表	開元通寶		隸書	24.23	24.18	1.18	1.03	2.23	唐	621	
583	52		611	43	E 52	表	熙寧元寶		真書	23.47	23.50	1.49	1.30	3.70	北宋	1068	
584	52		612	108	E 53	裏	洪武通寶	一銭		21.19	21.10	1.60	1.58	3.14	明	1368	
585	52		613	27	E 54	表	皇宋通寶		篆書	25.25	25.18	1.34	1.23	3.44	北宋	1038	
586	52		614	109	E 55	裏	洪武通寶			23.36	23.35	1.73	1.60	3.46	明	1368	
587	52		615	6	E 56	裏	咸平元寶		真書	23.90	23.99	1.38	1.07	3.09	北宋	998	
588	53		616	29	E 57	裏	元祐通寶		篆書	24.22	24.45	1.31	1.22	3.24	北宋	1086	
589	53		617	110	E 58	裏	洪武通寶			22.50	22.58	2.21	1.69	3.52	明	1368	
590	53		618	30	E 59	表	元祐通寶		篆書	24.01	24.12	1.32	1.28	3.04	北宋	1086	
591	53		619	30	E 60	表	元豐通寶		篆書	24.25	24.19	1.31	1.29	3.38	北宋	1078	
592	53		620	44	E 61	表	熙寧元寶		篆書	24.19	24.32	1.27	1.09	2.63	北宋	1068	
593	53		621	111	E 62	裏	洪武通寶	一銭		23.21	23.03	1.99	1.68	4.16	明	1368	
594	53		622	28	E 63	裏	皇宋通寶		真書	23.51	22.30	1.28	0.79	2.16	北宋	1038	
595	53		623	112	E 64	表	洪武通寶			24.71	24.42	2.10	1.28	3.59	明	1368	
596	53		624	31	E 65	表	元豐通寶		行書	24.85	24.86	1.20	0.94	2.37	北宋	1078	
597	53	10	625	3	E 66	裏	宣和通寶		篆書	24.54	24.76	1.74	1.37	2.70	北宋	1119	
598	53		626	32	E 67	表	元豐通寶		行書	24.76	24.55	1.34	1.19	3.16	北宋	1078	
599	53		627	31	E 68	表	元祐通寶		行書	24.70	24.67	1.51	1.48	4.00	北宋	1086	
600	53		628	88	E 69	表	永樂通寶			25.29	25.69	1.77	1.65	4.56	明	1408	
601	53		629	29	E 70	裏	皇宋通寶		篆書	25.36	25.08	1.57	1.18	3.74	北宋	1038	
602	53		630	35	E 71	表	開元通寶		隸書	24.38	24.57	1.31	1.28	3.14	唐	621	
603	53		631	12	E 72	裏	天聖元寶		真書	24.24	24.33	1.29	1.09	3.18	北宋	1023	
604	53		632	4	E 73	表	祥符通寶		真書	24.98	24.63	1.10	0.98	3.12	北宋	1008	
605	53		633	113	E 74	裏	洪武通寶	浙		25.03	24.73	1.46	1.38	2.86	明	1368	
606	53		634	114	E 75	裏	洪武通寶	一銭		23.07	22.94	1.86	1.47	4.18	明	1368	
607	53		635	30	E 76	表	皇宋通寶		篆書	24.43	24.65	1.28	1.21	2.80	北宋	1038	内郭の右下左に刻みB
608	53		636	21	E 77	表	判読不能			23.99	24.10	1.46	1.09	2.30			
609	53		637	89	E 78	表	永樂通寶			25.20	25.55	1.68	1.36	3.91	明	1408	
610	53		638	45	E 79	表	熙寧元寶		篆書	23.63	23.87	1.53	1.43	3.85	北宋	1068	
611	53		639	64	E 80	不明	無文銭			22.52	22.86	1.13	0.76	1.61			
612	53		640	65	E 81	不明	無文銭			24.75	24.34	1.17	0.93	1.70			(破片1)
613	53		641	90	F 1	表	永樂通寶			25.25	25.20	1.55	1.11	3.41	明	1408	
614	53		642	91	F 2	裏	永樂通寶			25.46	25.43	1.71	1.37	3.88	明	1408	
615	53		643	46	F 3	表	熙寧元寶		篆書	23.69	23.98	1.51	1.38	3.40	北宋	1068	
616	53		644	47	F 4	裏	熙寧元寶		真書	23.91	23.93	1.57	1.44	3.73	北宋	1068	
617	53		645	48	F 5	裏	熙寧元寶		篆書	23.79	23.42	1.30	1.25	2.27	北宋	1068	
618	53		646	92	F 6	表	永樂通寶			24.76	24.75	1.88	1.35	2.63	明	1408	
619	53		647	115	F 7	裏	洪武通寶			23.89	23.58	1.88	1.55	4.33	明	1368	
620	53		648	33	F 8	裏	元豐通寶		篆書	23.88	24.13	1.42	1.22	3.37	北宋		

第29表 SK 01 出土銭貨観察表(8)

銭貨No	挿図No	図版No	遺物No	銭種No	綴銭No	網每No	表裏	銭貨名	裏文字	書体	外縁外径A	外縁外径B	外縁最大厚	外縁最小厚	質量	国名	初鋳年	備考
622	53		650	31	F	10	裏	皇宋通寶		真書	24.89	24.76	1.72	0.85	3.05	北宋	1038	
623	53		651	67	F	11	不明	無文銭			23.68	22.64	1.51	0.75	1.87			
624	53		652	116	F	12	表	洪武通寶	一銭		22.46	22.58	1.72	1.40	3.88	明	1368	
625	53		653	17	F	13	表	聖宋元寶		篆書	24.37	24.34	1.23	1.01	2.52	北宋	1101	
626	54		654	93	F	14	表	永樂通寶			25.26	25.26	1.05	0.84	2.28	明	1408	
627	54		655	7	F	15	裏	宣和通寶		隸書	26.24	26.36	1.42	1.20	3.42	北宋	1119	
628	54		656	16	F	16	表	大觀通寶		真書	24.10	24.56	1.74	1.46	3.46	北宋	1107	
629	54		657	68	F	17	不明	無文銭			24.26	23.36	1.37	0.94	2.64			
630	54		658	34	F	18	表	元豐通寶		行書	24.91	25.18	1.50	1.10	3.70	北宋	1078	
631	54		659	14	F	19	表	政和通寶		篆書	24.93	24.33	1.37	1.08	2.85	北宋	1111	
632	54		660	94	F	20	裏	永樂通寶			24.95	24.83	1.46	1.25	3.45	明	1408	
633	54		661	7	F	21	表	咸平元寶		真書	24.95	24.97	1.41	1.19	3.33	北宋	998	
634	54		662	95	F	22	裏	永樂通寶			23.65	24.17	1.49	1.20	3.52	明	1408	
635	54		663	96	F	23	裏	永樂通寶			25.42	25.20	1.61	1.28	3.28	明	1408	
636	54		664	13	F	24	裏	紹聖元寶	下星	篆書	23.95	23.90	1.65	1.41	3.55	北宋	1094	
637	54		665	97	F	25	表	永樂通寶			24.96	24.92	1.53	1.38	3.49	明	1408	
638	54		666	14	F	26	裏	紹聖元寶		行書	24.53	24.48	1.54	1.37	4.06	北宋	1094	
639	54		667	36	F	27	裏	開元通寶		隸書	24.29	24.20	1.66	1.26	3.27	唐	621	
640	54		668	37	F	28	表	開元通寶		隸書	24.24	24.09	1.46	1.27	3.03	唐	621	
641	54		669	117	F	29	表	洪武通寶			23.07	22.59	1.99	1.64	3.68	明	1368	二通
642	54		670	118	F	30	裏	洪武通寶	一銭		23.67	23.55	2.04	1.75	4.51	明	1368	
643	54		671	69	F	31	不明	無文銭			22.05	21.99	1.21	0.69	1.32			
644	54		672	70	F	32	不明	無文銭			22.26	22.11	1.66	0.86	1.62			
645	54		673	49	F	33	表	熙寧元寶		篆書	23.90	24.07	1.39	1.32	3.29	北宋	1068	
646	54		674	2	F	34	裏	明道元寶		篆書	24.95	25.03	1.36	1.23	3.39	北宋	1032	
647	54		675	119	F	35	表	洪武通寶	一銭		23.47	23.55	2.17	1.86	4.21	明	1368	
648	54		676	35	F	36	裏	元豐通寶		行書	24.32	24.14	1.52	1.52	3.80	北宋	1078	
649	54		677	98	F	37	裏	永樂通寶			25.07	24.79	1.62	1.49	4.04	明	1408	
650	54		678	32	F	38	裏	皇宋通寶		篆書	24.57	24.28	1.50	1.23	3.50	北宋	1038	
651	54		679	2	F	39	裏	嘉祐元寶		真書	24.83	24.81	1.35	1.09	3.21	北宋	1056	
652	54		680	33	F	40	裏	皇宋通寶		篆書	25.52	25.15	1.70	1.46	4.18	北宋	1038	
653	54		681	36	F	41	裏	元豐通寶		行書	24.19	24.44	1.31	1.15	3.04	北宋	1078	
654	54		682	13	F	42	裏	天聖元寶		真書	24.59	24.01	1.39	0.95	2.61	北宋	1023	
655	54		683	99	F	43	裏	永樂通寶			25.08	25.03	1.81	1.49	4.62	明	1408	
656	54		684	18	F	44	裏	聖宋元寶		篆書	24.13	24.08	1.28	1.07	2.41	北宋	1101	
657	54		685	71	F	45	不明	無文銭			22.87	23.00	1.56	1.05	2.28			
658	54		686	120	F	46	表	洪武通寶			22.84	22.89	1.92	1.62	3.74	明	1368	
659	54		687	72	F	47	不明	無文銭			22.91	22.24	1.15	0.80	1.53			
660	54		688	34	F	48	裏	皇宋通寶		真書	24.03	24.23	1.53	1.43	3.77	北宋	1038	
661	54		689	19	F	49	裏	聖宋元寶		行書	23.46	23.52	1.54	1.03	3.57	北宋	1101	磨輪
662	54		690	37	F	50	表	元豐通寶		行書	23.53	23.95	1.31	1.05	2.98	北宋	1078	
663	54		691	15	F	51	裏	紹聖元寶		篆書	24.21	24.12	1.55	1.55	4.35	北宋	1094	
664	54		692	121	F	52	表	洪武通寶			22.91	22.84	1.79	1.46	3.09	明	1368	
665	55		693	122	F	53	裏	洪武通寶	一銭		23.75	23.69	2.31	2.06	5.16	明	1368	
666	55		694	38	F	54	表	元豐通寶		行書	23.60	23.19	1.23	1.08	2.68	北宋	1078	内郭の四方に刻みB
667	55		695	38	F	55	表	開元通寶		隸書	23.16	23.21	1.20	1.03	2.65	唐	621	
668	55		696	100	F	56	裏	永樂通寶			24.94	24.80	1.50	1.40	3.75	明	1408	
669	55		697	101	F	57	裏	永樂通寶			24.73	24.26	1.52	1.15	2.76	明	1408	
670	55		698	8	F	58	表	咸平元寶		真書	24.78	24.70	1.31	1.29	3.22	北宋	998	
671	55		699	123	F	59	裏	洪武通寶			23.51	23.34	1.90	1.46	3.28	明	1368	
672	55		700	124	F	60	裏	洪武通寶			23.46	23.65	1.86	1.28	3.93	明	1368	
673	55		701	73	F	61	不明	無文銭			21.89	22.40	1.03	0.97	1.30			
674	55		702	125	F	62	裏	洪武通寶	一銭		21.54	21.74	1.72	1.54	3.49	明	1368	
675	55		703	74	F	63	不明	無文銭			22.13	22.23	1.28	1.01	(0.92)			676に半分付着(破片1)
676	55		704	35	F	64	裏	皇宋通寶		篆書	24.53	24.42	2.45	1.24	3.78	北宋	1038	675が半分付着
677	55		705	126	F	65	裏	洪武通寶	浙		23.60	23.49	1.80	1.67	4.27	明	1368	裏文字が済?重点通
678	55		706	14	F	66	表	天聖元寶		真書	24.00	24.09	1.30	1.20	3.34	北宋	1023	
679	55		707	127	F	67	裏	洪武通寶			23.86	23.80	1.79	1.66	4.33	明	1368	
680	55		708	102	F	68	裏	永樂通寶			25.30	24.80	1.80	0.93	3.45	明	1408	
681	55		709	128	F	69	表	洪武通寶			24.11	23.98	1.78	1.43	3.90	明	1368	
682	55		710	39	F	70	表	開元通寶	下月	隸書	23.50	23.68	1.44	1.03	3.50	唐	621	
683	55		711	50	F	71	裏	熙寧元寶		真書	22.74	23.45	1.38	1.09	2.55	北宋	1068	
684	55		712	39	F	72	裏	元豐通寶		行書	23.39	24.34	1.25	1.10	2.29	北宋	1078	
685	55		713	2	F	73	表	天禧通寶		真書	22.88	23.23	1.73	1.37	3.37	北宋	1017	
686	55		714	4	F	74	表	景德元寶		真書	22.87	22.55	1.30	1.18	2.96	北宋	1004	
687	55		715	2	F	75	表	元豐通寶		篆書	24.45	24.11	1.53	1.23	3.07	北宋	1078	
688	55		716	9	F	76	表	祥符元寶		真書	21.61	22.26	1.55	0.95	2.22	北宋	1008	
689	55		717	129	F	77	裏	洪武通寶	一銭		22.89	23.05	1.48	1.46	3.64	明	1368	
690	55		718	130	F	78	表	洪武通寶	一銭		21.73	21.56	1.75	1.58	3.62	明	1368	
691	55		719	36	F	79	裏	皇宋通寶		真書	23.83	23.60	1.51	1.36	3.29	北宋	1038	
692	55		720	131	F	80	表	洪武通寶			23.01	22.96	2.07	1.84	3.80	明	1368	内郭の四方に刻みA
693	55		721	10	F	81	裏	祥符元寶		真書	24.52	24.71	1.27	1.34	2.92	北宋	1008	
694	55		722	103	F	82	表	永樂通寶			25.18	25.03	1.41	1.20	3.20	明	1408	
695	55		723	132	F	83	表	洪武通寶	一銭		24.13	24.19	1.99	1.95	5.20	明	1368	
696	55		724	104	F	84	表	永樂通寶			25.14	25.24	1.44	1.36	3.74	明	1408	
697	55		725	17	F	85	裏	大觀通寶		真書	24.58	24.63	1.52	1.37	3.45	北宋	1107	
698	55		726	133	F	86	裏	洪武通寶	一銭		23.16	22.80	1.68	1.44	3.64	明	1368	
699	56		727	16	F	87	裏	紹聖元寶		行書	24.27	24.30	0.98	0.89	2.19	北宋	1094	
700	56		728	22	F	88	表	判読不能			23.99	23.96	1.32	1.28	3.22			
701	56		729	3	F	89	裏	元豐通寶		行書	24.12	24.24	1.39	1.25	3.31	北宋	1078	内郭の四方に刻みB
702	56		730	105	F	90	裏	永樂通寶			24.96	24.95	1.23	1.19	2.62	明	1408	
703	56		731	40	F	91	表	元豐通寶		行書	24.27	24.34	1.35	1.25	3.41	北宋	1078	
704	56		732	134	F	92	裏	洪武通寶	一銭		21.98	21.86	2.01	1.67	3.93	明	1368	
705	56		733	41	F	93	表	元豐通寶		行書	24.28	24.37	1.40	1.48	3.75	北宋	1078	
706	56		734	95	F	94	表	熙寧元寶		篆書	25.31	25.68	1.96	1.33	4.40	北宋	1068	

第30表 SK 01 出土銭貨観察表(9)

銭貨No.	挿図No.	図版No.	遺物No.	銭種No.	綴銭No.	網目No.	表裏	銭貨名	裏文字	書体	外縁外径A	外縁外径B	外縁最大厚	外縁最小厚	質量	国名	初鋳年	備考
711	56		739	136	F	99	裏	洪武通寶	一銭		21.46	21.53	2.10	1.70	4.07	明	1368	二通
712	56		740	42	F	100	裏	元豊通寶		篆書	24.18	24.51	1.32	1.23	2.96	北宋	1078	
713	56		741	5	F	101	表	宣和通寶		隸書	24.00	24.28	1.30	1.20	3.09	北宋	1119	
714	56		742	107	F	102	裏	永樂通寶			25.26	25.29	1.45	1.46	3.82	明	1408	
715	56		743	37	F	103	裏	皇宋通寶		真書	25.15	25.13	1.57	1.34	4.18	北宋	1038	
716	56		744	137	F	104	表	洪武通寶			24.70	24.57	2.04	1.89	4.92	明	1368	
717	56		745	108	F	105	表	永樂通寶			25.08	24.96	1.38	1.35	4.11	明	1408	
718	56		746	20	F	106	裏	聖宋元寶		行書	24.88	25.08	1.13	1.18	3.48	北宋	1101	
719	56		747	51	F	107	表	熙寧元寶		真書	24.52	24.80	1.23	1.18	3.44	北宋	1068	
720	56		748	32	F	108	裏	元祐通寶		篆書	24.52	24.33	1.45	1.41	4.11	北宋	1086	
721	56		749	33	F	109	表	元祐通寶		行書	23.61	23.56	1.26	1.34	3.04	北宋	1086	
722	56	10	750	2	F	110	表	開元通寶	洛	隸書	23.97	24.25	1.43	1.18	3.38	唐	845	紀地銭?
723	56		751	43	F	111	裏	元豊通寶		行書	24.65	24.30	1.27	1.19	3.22	北宋	1078	
724	56		752	138	F	112	表	洪武通寶			23.25	23.44	2.06	1.52	3.72	明	1368	二通
725	56		753	109	F	113	表	永樂通寶			25.06	24.99	1.61	1.47	4.39	明	1408	
726	56		754	34	F	114	裏	元祐通寶		行書	24.01	24.30	1.30	0.98	3.00	北宋	1086	
727	56		755	15	F	115	表	政和通寶		篆書	24.74	25.02	1.33	1.39	2.61	北宋	1111	
728	56		756	110	F	116	裏	永樂通寶			26.12	25.12	1.76	0.93	2.24	明	1408	「永」の字二重
729	56		757	35	G	1	裏	元祐通寶		篆書	23.83	23.84	1.58	1.57	3.71	北宋	1086	
730	56		758	40	G	2	表	開元通寶	上月	隸書	25.66	25.02	1.87	1.47	3.65	唐	621	
731	56		759	18	G	3	表	紹聖元寶		篆書	24.68	24.78	1.75	1.55	3.95	北宋	1094	内郭の四方に刻みA
732	56		760	21	G	4	裏	聖宋元寶		篆書	23.98	24.11	1.71	1.46	3.71	北宋	1101	
733	56		761	23	G	5	裏	判読不能			23.24	22.70	1.52	0.76	1.59			左「寶」(破片2)
734			762	75	G	6	不明	無文銭			21.27	21.38	1.57	0.99	0.64			
735	56		763	19	G	7	裏	紹聖元寶		行書	24.07	24.01	1.63	1.44	3.28	北宋	1094	
736	56		764	22	G	8	裏	聖宋元寶		篆書	23.01	23.13	1.41	1.18	2.65	北宋	1101	
737	57	10	765	3	G	9	表	明道元寶		篆書	25.09	25.21	1.25	1.00	3.29	北宋	1032	
738	57		766	111	G	10	裏	永樂通寶			25.04	25.25	1.63	1.50	3.52	明	1408	
739	57		767	4	G	11	表	明道元寶		篆書	25.70	24.99	1.54	1.20	3.23	北宋	1032	
740	57		768	67	G	12	裏	皇宋通寶		真書	24.54	24.02	1.42	1.18	2.55	北宋	1038	
741	57		769	139	G	13	表	洪武通寶	一銭		22.56	22.69	1.52	1.35	3.10	明	1368	
742	57		770	112	G	14	表	永樂通寶			25.15	24.92	1.78	1.36	3.55	明	1408	
743	57		771	5	G	15	表	元符通寶		行書	24.53	24.52	1.47	1.06	2.78	北宋	1098	
744	57		772	36	G	16	裏	元祐通寶		行書	23.92	24.04	1.48	1.18	3.27	北宋	1086	
745	57		773	5	G	17	表	明道元寶		篆書	25.00	25.12	1.41	1.24	3.57	北宋	1032	内郭の四方に刻みA
746	57		774	68	G	18	表	皇宋通寶		篆書	24.02	24.66	1.42	1.25	3.57	北宋	1038	
747	57		775	37	G	19	表	元祐通寶		行書	24.46	24.09	1.53	1.35	2.96	北宋	1086	
748	57	11	776	16	G	20	裏	政和通寶		隸書	23.85	24.33	1.29	1.20	3.13	北宋	1111	
749	57		777	9	G	21	表	嘉祐通寶		篆書	25.46	25.48	1.29	1.08	3.51	北宋	1056	
750	57		778	52	G	22	裏	熙寧元寶		真書	25.11	24.13	1.67	1.45	4.65	北宋	1068	
751	57		779	140	G	23	表	洪武通寶	一銭		22.77	22.94	1.72	1.54	3.63	明	1368	
752	57		780	8	G	24	裏	景祐元寶		篆書	24.75	24.63	1.13	1.07	2.83	北宋	1034	
753	57		781	113	G	25	裏	永樂通寶			24.87	24.66	1.57	1.38	3.50	明	1408	
754	57		782	5	G	26	裏	大觀通寶		真書	23.82	23.94	1.13	1.11	2.30	北宋	1107	
755	57		783	1	G	27	裏	咸淳元寶	五?	真書	26.89	26.63	1.30	1.10	3.99	南宋	1265	折二銭、磨輪
756	57		784	6	G	28	表	大觀通寶		真書	23.71	23.86	1.67	1.23	3.10	北宋	1107	
757	57		785	3	G	29	裏	至和元寶		篆書	23.21	23.34	1.32	1.09	1.94	北宋	1054	
758	57		786	114	G	30	表	永樂通寶			25.14	25.50	1.90	1.69	4.98	明	1408	
759	57		787	20	G	31	裏	紹聖元寶		行書	24.50	24.25	1.40	1.26	3.89	北宋	1094	
760	57		788	1	G	32	裏	太平通寶		真書	24.28	2.45	1.46	0.99	2.90	北宋	976	
761	57		789	10	G	33	表	嘉祐通寶		真書	24.97	24.86	1.37	1.16	3.60	北宋	1056	
762	57		790	2	G	34	表	慶元通寶	四	真書	23.63	23.50	1.31	1.10	2.40	南宋	1195	
763	57		791	44	G	35	裏	元豊通寶		行書	25.02	25.13	1.28	1.11	3.03	北宋	1078	
764	57		792	9	G	36	裏	景祐元寶		真書	24.07	24.46	1.40	1.24	3.02	北宋	1034	
765	57		793	21	G	37	表	紹聖元寶		篆書	24.38	24.06	1.60	1.33	3.56	北宋	1094	
766	57		794	1	G	38	表	治平通寶		真書	24.25	24.44	1.58	1.28	3.47	北宋	1064	
767	57	11	795	7	G	39	表	大觀通寶		真書	24.51	24.74	1.66	1.43	3.47	北宋	1107	
768	57		796	6	G	40	裏	治平元寶		篆書	23.61	24.07	1.61	1.25	3.35	北宋	1064	
769	57		797	41	G	41	表	開元通寶		隸書	23.13	23.31	1.46	1.28	3.17	唐	621	
770	57		798	53	G	42	裏	熙寧元寶		真書	24.90	24.75	1.80	1.16	3.00	北宋	1068	
771	57		799	54	G	43	表	熙寧元寶		真書	25.44	25.33	1.70	1.27	4.21	北宋	1068	
772	57		800	115	G	44	表	永樂通寶			25.15	25.13	1.80	1.35	3.86	明	1408	
773	57		801	55	G	45	表	熙寧元寶		真書	24.18	24.31	1.60	1.24	3.57	北宋	1068	
774	57		802	76	G	46	不明	無文銭			22.22	21.91	1.22	0.74	1.46			775に一部付着
775	58		803	141	G	47	表	洪武通寶	一銭		21.06	21.04	2.70	1.78	3.99	明	1368	774が一部付着
776	58		804	42	G	48	裏	開元通寶		隸書	24.70	24.44	1.43	1.43	3.06	唐	621	
777	58		805	142	G	49	表	洪武通寶	北平		23.71	23.65	1.74	1.45	3.85	明	1368	
778	58		806	7	G	50	裏	治平元寶		篆書	24.03	24.20	1.47	1.36	3.60	北宋	1064	
779	58		807	56	G	51	裏	熙寧元寶		篆書	23.48	23.55	1.62	1.36	3.90	北宋	1068	
780	58		808	45	G	52	表	元豊通寶		行書	23.92	24.02	1.65	1.41	3.77	北宋	1078	
781	58		809	9	G	53	表	咸平元寶		真書	24.64	24.77	1.66	1.26	3.58	北宋	998	
782	58		810	38	G	54	裏	元祐通寶		篆書	24.57	24.50	1.23	1.14	2.91	北宋	1086	
783	58		811	143	G	55	裏	洪武通寶			21.23	21.53	1.97	1.67	4.01	明	1368	
784	58		812	17	G	56	裏	政和通寶		隸書	24.62	24.56	1.21	1.02	2.93	北宋	1111	
785	58		813	116	G	57	裏	永樂通寶			25.22	25.14	1.79	1.59	3.79	明	1408	
786	58		814	77	G	58	不明	無文銭			24.36	24.59	1.50	0.88	2.33			
787	58		815	144	G	59	裏	洪武通寶			23.01	23.05	1.76	1.58	3.38	明	1368	
788	58		816	69	G	60	表	皇宋通寶		篆書	25.23	24.85	1.15	0.84	2.66	北宋	1038	
789	58		817	70	G	61	裏	皇宋通寶		真書	24.85	25.13	1.29	1.26	3.41	北宋	1038	
790	58		818	43	G	62	裏	開元通寶		隸書	23.55	22.89	1.13	0.97	2.26	唐	621	
791	58		819	71	G	63	表	皇宋通寶		篆書	25.20	25.06	1.23	1.20	3.12	北宋	1038	
792	58		820	145	G	64	表	洪武通寶			23.75	23.60	2.16	1.54	3.29	明	1368	
793	58		821	39	G	65	表	元祐通寶		行書	24.39	24.13	1.30	1.11	3.11	北宋	1086	
794	58		822	11	G	66	裏	嘉祐通寶		真書	23.35	23.48	1.35	1.03	3.06	北宋	1056	
795	58	11	823	3	G	6												

第31表 SK 01 出土銭貨観察表 (10)

銭貨No	挿図No	図版No	遺物No	銭種No	綴銭	表裏	銭貨名	裏文字	書体	外縁外徑A	外縁外徑B	外縁最大厚	外縁最小厚	質量	国名	初鋳年	備考
800	58		828	147	G	72	裏 洪武通寶	一銭		20.84	20.93	1.58	1.44	3.08	明	1368	
801	58		829	72	G	73	表 皇宋通寶		篆書	24.06	23.90	1.29	1.15	3.12	北宋	1038	
802	58	11	830	11	G	74	表 祥符元寶		真書	24.66	25.00	1.36	1.23	3.09	北宋	1008	
803	58		831	44	G	75	表 開元通寶		隸書	23.50	23.56	1.31	1.07	2.88	唐	621	
804	58		832	119	G	76	表 永樂通寶			24.82	24.97	1.90	1.45	4.04	明	1408	
805	58		833	12	G	77	表 祥符元寶		真書	25.61	25.34	1.77	1.48	4.68	北宋	1008	
806	58		834	46	G	78	裏 元豐通寶		行書	23.86	24.01	1.29	1.19	3.24	北宋	1078	
807	58		835	120	G	79	裏 永樂通寶			24.95	24.90	1.58	1.37	3.80	明	1408	
808	58		836	73	G	80	裏 皇宋通寶		篆書	24.90	25.05	1.37	1.31	3.70	北宋	1038	
809	58		837	121	G	81	裏 永樂通寶			24.97	24.98	1.58	1.32	3.56	明	1408	
810	58		838	148	G	82	表 洪武通寶	一銭		22.64	22.13	1.88	1.30	3.81	明	1368	
811	58		839	45	G	83	表 開元通寶		隸書	23.50	23.63	1.44	1.31	3.72	唐	621	
812	58		840	46	G	84	裏 開元通寶		隸書	23.52	23.74	1.45	1.20	3.48	唐	621	
813	59		841	122	G	85	裏 永樂通寶			25.34	25.19	1.76	1.33	4.27	明	1408	
814	59		842	57	G	86	裏 熙寧元寶		篆書	23.98	24.05	1.70	1.68	4.49	北宋	1068	
815	59		843	13	G	87	裏 祥符元寶		真書	24.10	24.26	1.20	1.07	2.56	北宋	1008	
816	59		844	40	G	88	表 元祐通寶		行書	24.64	24.55	1.35	1.28	3.47	北宋	1086	
817	59		845	41	G	89	表 元祐通寶		行書	24.04	24.40	1.38	1.27	3.35	北宋	1086	
818	59		846	123	G	90	裏 永樂通寶			24.99	24.94	1.56	1.29	3.35	明	1408	
819	59		847	149	G	91	裏 洪武通寶	一銭		22.79	22.76	2.25	1.88	3.82	明	1368	
820	59		848	47	G	92	表 開元通寶		隸書	25.44	25.31	2.18	1.32	2.88	唐	621	
821	59		849	38	G	93	表 皇宋通寶		真書	24.45	24.34	1.37	1.33	3.83	北宋	1038	内郭に不規則な刻み
822	59		850	78	G	94	不明 無文銭			22.60	22.10	1.28	1.14	1.84			
823	59		851	4	G	95	裏 嘉祐元寶		真書	23.45	23.89	1.26	1.02	2.44	北宋	1056	
824	59		852	58	G	96	表 熙寧元寶		篆書	24.05	23.85	1.36	1.13	2.88	北宋	1068	
825	59		853	59	G	97	表 熙寧元寶		篆書	24.68	24.26	1.27	1.07	3.45	北宋	1068	
826	59		854	48	G	98	裏 開元通寶	上月	隸書	24.22	24.44	1.23	1.22	3.14	唐	621	
827	59		855	79	G	99	不明 無文銭			21.73	21.50	1.20	0.96	1.28			
828	59	11	856	3	G	100	表 至道元寶		行書	22.68	22.68	1.11	0.99	2.30	北宋	995	
829	59		857	42	G	101	表 元祐通寶		行書	24.29	24.45	1.23	1.23	3.05	北宋	1086	
830	59		858	124	G	102	表 永樂通寶			25.51	25.26	1.71	1.50	4.34	明	1408	
831	59		859	60	G	103	表 熙寧元寶		篆書	23.44	23.32	1.15	1.16	2.77	明	1068	
832			860	80	G	104	不明 無文銭			23.29	23.43	1.84	1.12	1.50			(破片3)
833	59		861	47	G	105	表 元豐通寶		篆書	24.36	24.74	1.24	1.14	3.31	北宋	1078	
834	59		862	24	G	106	表 判読不能			24.93	24.32	1.37	1.19	2.86			
835	59		863	22	G	107	裏 紹聖元寶		行書	24.82	24.60	1.15	1.15	3.29	北宋	1094	
836	59		864	5	G	108	表 嘉祐元寶		真書	23.60	23.79	1.54	1.46	3.95	北宋	1056	
837	59	11	865	2	G	109	表 治平通寶		真書	24.38	24.65	1.15	1.12	3.28	北宋	1064	
838	59		866	49	G	110	表 開元通寶		隸書	23.42	23.49	1.14	0.99	2.25	唐	621	
839	59		867	150	G	111	裏 洪武通寶			23.52	23.53	1.45	1.44	3.48	明	1368	
840	59		868	43	G	112	表 元祐通寶		篆書	24.68	24.82	1.09	1.20	3.30	北宋	1086	
841	59		869	23	G	113	表 紹聖元寶		行書	24.37	24.29	1.09	1.09	2.71	北宋	1094	
842	59		870	25	G	114	裏 判読不能			22.78	23.05	1.03	0.93	1.63			
843	59		871	61	G	115	表 熙寧元寶		篆書	24.20	24.39	0.91	0.86	2.62	北宋	1068	
844	59		872	125	G	116	表 永樂通寶			25.01	24.92	1.31	1.41	3.61	明	1408	内郭が八角形
845	59		873	126	G	117	裏 永樂通寶			25.20	25.21	1.48	1.38	4.33	明	1408	
846	59		874	151	G	118	裏 洪武通寶	一銭		22.66	23.01	1.63	1.54	3.87	明	1368	
847	59		875	152	G	119	表 洪武通寶	一銭		23.53	23.61	1.97	1.76	4.48	明	1368	
848	59		876	62	G	120	裏 熙寧元寶		篆書	23.18	23.42	1.37	1.36	3.51	北宋	1068	
849	59		877	153	G	121	裏 洪武通寶			23.27	23.02	1.88	1.61	4.38	明	1368	
850	59		878	154	G	122	裏 洪武通寶	一銭		22.83	22.84	1.67	1.45	3.89	明	1368	
851	60		879	18	G	123	表 政和通寶		隸書	24.46	24.33	1.37	1.47	3.76	北宋	1111	
852	60		880	12	G	124	裏 嘉祐通寶		篆書	25.59	25.64	1.18	1.10	3.46	北宋	1056	内郭の四方に刻みA
853	60		881	13	G	125	表 嘉祐通寶		真書	24.39	24.32	1.13	1.11	3.16	北宋	1056	
854	60		882	155	G	126	表 洪武通寶	浙		24.55	24.35	1.47	1.37	3.06	明	1368	
855	60		883	63	G	127	表 熙寧元寶		篆書	23.39	23.35	1.35	1.31	3.48	北宋	1068	
856	60	11	884	8	G	128	裏 治平元寶		篆書	23.54	23.56	1.47	1.58	3.93	北宋	1064	
857	60		885	156	G	129	表 洪武通寶			22.65	22.37	1.74	1.74	3.19	明	1368	
858	60		886	157	G	130	裏 洪武通寶			24.60	23.92	1.80	1.60	4.06	明	1368	二通
859	60		887	158	G	131	裏 洪武通寶			23.11	23.45	1.91	1.63	3.66	明	1368	
860	60		888	19	G	132	裏 政和通寶		隸書	24.75	24.63	1.43	1.30	3.27	北宋	1111	
861	60		889	159	G	133	裏 洪武通寶	一銭		23.27	22.46	2.04	1.83	3.86	明	1368	
862	60		890	15	G	134	裏 天聖元寶		篆書	24.60	24.54	1.44	1.04	2.61	北宋	1023	
863	60		891	3	G	135	裏 慶元通寶		真書	24.16	24.31	1.75	1.33	3.04	南宋	1195	
864	60		892	160	G	136	表 洪武通寶			23.27	22.97	1.36	1.19	2.31	明	1368	
865	60		893	161	G	137	表 洪武通寶	一銭		24.28	24.18	2.48	2.17	5.85	明	1368	
866	60		894	162	G	138	裏 洪武通寶			23.69	23.84	1.83	1.73	4.23	明	1368	
867	60		895	127	G	139	裏 永樂通寶			24.71	24.56	1.46	1.37	3.29	明	1408	
868	60		896	3	G	140	表 天禧通寶		真書	23.42	23.35	1.15	1.08	2.73	北宋	1017	
869	60		897	24	G	141	裏 紹聖元寶		篆書	23.83	23.82	1.33	1.13	2.45	北宋	1094	
870	60		898	50	G	142	表 開元通寶		隸書	22.72	22.71	1.23	1.27	2.97	唐	621	
871	60		899	5	G	143	表 景德元寶		真書	24.68	24.30	1.51	1.53	3.97	北宋	1004	
872	60		900	39	G	144	表 皇宋通寶		篆書	24.75	24.78	1.21	1.21	3.47	北宋	1038	
873	60		901	16	G	145	表 天聖元寶		真書	24.29	24.62	1.27	1.18	3.58	北宋	1023	内郭が菱形
874	60		902	40	G	146	表 皇宋通寶		篆書	24.37	23.55	1.24	0.90	2.74	北宋	1038	
875	60		903	128	G	147	裏 永樂通寶			25.24	25.31	1.54	1.48	4.04	明	1408	
876	60		904	41	G	148	表 皇宋通寶		篆書	24.76	24.01	1.65	1.33	3.18	北宋	1038	
877	60		905	163	G	149	裏 洪武通寶			23.35	23.42	1.76	1.63	4.29	明	1368	
878			906	81	G	150	不明 無文銭			23.52	23.50	1.02	0.68	1.07			(破片4)
879	60		907	25	G	151	裏 紹聖元寶		行書	23.84	23.57	1.21	1.26	3.53	北宋	1094	
880	60		908	164	G	152	裏 洪武通寶			23.51	23.70	2.02	1.68	3.86	明	1368	
881	60		909	165	G	153	表 洪武通寶			22.93	22.93	1.75	1.44	3.88	明	1368	二通
882	60		910	129	H	1	裏 永樂通寶			25.02	25.26	1.68	1.31	3.66	明	1408	
883	60		911	44	H	2	裏 元祐通寶		篆書	25.11	25.12	1.39	1.16	3.67	北宋	1086	
884	60		912	82	H	3	不明 無文銭			23.10	23.05	1.92	0.95	1.58			
885	60		913	20	H	4	裏 政和通寶		隸書	24.30	23.83	1.42	1.06	3.38	北宋	1111	
886	60		914	21	H	5	表 政和通寶		隸書	24.45	24.73	1.66	1.34	3.27	北宋	1111	

第32表 SK 01 出土銭貨観察表 (11)

銭貨No.	挿図No.	図版No.	遺物No.	銭種No.	緒銭No.	表裏	銭貨名	裏文字	書体	外縁外徑A	外縁外徑B	外縁最大厚	外縁最小厚	質量	国名	初鋳年	備考
889	60		917	167	H	8	裏 洪武通寶			24.00	23.82	1.70	1.50	3.86	明	1368	
890	61		918	42	H	9	表 皇宋通寶		篆書	23.70	23.25	1.23	1.03	1.79	北宋	1038	
891	61		919	43	H	10	裏 皇宋通寶		篆書	24.62	24.62	1.16	0.92	2.85	北宋	1038	
892	61		920	168	H	11	裏 洪武通寶	一銭		22.63	22.53	1.72	1.31	3.24	明	1368	
893	61		921	84	H	12	不明 無文銭			22.33	21.75	1.51	0.77	1.38			
894	61		922	169	H	13	表 洪武通寶	一銭		21.72	21.90	1.51	1.24	3.36	明	1368	
895	61		923	170	H	14	表 洪武通寶			23.56	23.23	1.65	1.37	3.26	明	1368	
896	61		924	171	H	15	裏 洪武通寶			23.13	23.43	1.83	1.66	3.84	明	1368	
897	61		925	22	H	16	表 政和通寶		篆書	25.00	26.03	1.58	1.36	3.83	北宋	1111	
898	61		926	45	H	17	裏 元祐通寶		行書	24.65	24.50	1.42	1.08	4.00	北宋	1086	
899	61		927	172	H	18	表 洪武通寶			23.62	23.85	1.71	1.42	3.75	明	1368	
900	61		928	64	H	19	裏 熙寧元寶		真書	23.48	23.24	1.62	1.36	3.55	北宋	1068	
901	61		929	26	H	20	裏 判読不能			23.88	24.04	1.53	1.00	2.85			
902	61		930	26	H	21	表 紹聖元寶		篆書	24.84	24.91	1.23	1.03	3.31	北宋	1094	
903	61		931	51	H	22	表 開元通寶		隸書	23.20	24.10	1.32	1.05	1.90	唐	621	
904	61		932	85	H	23	不明 無文銭			23.33	22.53	1.49	0.91	2.09			
905	61		933	86	H	24	不明 無文銭			22.91	22.63	1.33	0.70	1.88			
906	61		934	52	H	25	裏 開元通寶		隸書	23.20	23.41	1.28	1.00	3.09	唐	621	
907	61		935	27	H	26	表 判読不能			23.31	23.54	1.28	1.09	2.30			
908	61		936	53	H	27	表 開元通寶		隸書	23.44	23.36	1.44	0.93	2.89	唐	621	
909	61		937	5	H	28	裏 祥符通寶		真書	25.19	25.24	1.64	1.33	4.09	北宋	1008	
910	61		938	65	H	29	表 熙寧元寶		篆書	23.20	23.42	1.24	0.97	2.48	北宋	1068	
911	61		939	173	H	30	裏 洪武通寶			23.60	22.80	2.18	1.75	5.03	明	1368	
912	61		940	17	H	31	裏 天聖元寶		真書	25.04	25.05	1.24	1.07	2.83	北宋	1023	
913			941	87	H	32	不明 無文銭			24.52	24.70	1.90	1.12	2.34			(破片4)
914	61		942	23	H	33	裏 聖宋元寶		篆書	24.83	24.91	1.39	1.05	3.82	北宋	1101	
915	61		943	23	H	34	表 政和通寶		篆書	25.50	25.27	1.01	0.92	2.85	北宋	1111	
916	61		944	130	H	35	表 永樂通寶			25.44	25.62	1.48	1.26	3.79	明	1408	
917	61		945	174	H	36	裏 洪武通寶			23.38	23.54	1.92	1.50	3.60	明	1368	
918	61		946	18	H	37	表 大觀通寶		真書	25.01	25.03	1.43	1.39	3.71	北宋	1107	
919	61		947	54	H	38	表 開元通寶		隸書	24.31	24.33	0.96	0.83	2.25	唐	621	
920	61		948	18	H	39	表 天聖元寶		篆書	24.86	25.12	1.27	1.06	2.84	北宋	1023	
921	61		949	46	H	40	表 元祐通寶		行書	24.04	23.92	1.17	1.07	3.14	北宋	1086	
922	61		950	66	H	41	表 熙寧元寶		真書	24.44	24.39	1.25	1.15	3.35	北宋	1068	
923	61		951	67	H	42	裏 熙寧元寶		篆書	23.70	23.85	1.19	1.03	2.84	北宋	1068	
924	61		952	68	H	43	表 熙寧元寶		篆書	23.46	22.93	1.43	1.38	3.75	北宋	1068	
925	61		953	24	H	44	裏 聖宋元寶		行書	24.47	24.52	1.66	1.59	3.56	北宋	1101	
926	61		954	175	H	45	表 洪武通寶	一銭		22.64	22.50	1.69	1.40	3.70	明	1368	
927	61		955	9	H	46	表 治平元寶		真書	24.32	24.48	1.57	1.36	4.57	北宋	1064	
928	61		956	176	H	47	表 洪武通寶	一銭		23.33	23.36	1.63	1.42	3.93	明	1368	
929	62		957	69	H	48	裏 熙寧元寶		真書	23.80	24.21	1.31	1.05	2.70	北宋	1068	
930	62		958	177	H	49	表 洪武通寶			23.47	23.36	1.56	1.30	3.33	明	1368	
931	62		959	25	H	50	裏 聖宋元寶		行書	23.43	23.57	1.41	1.32	3.23	北宋	1101	
932	62		960	2	H	51	表 太平通寶		真書	23.95	23.85	1.28	1.11	2.91	北宋	976	
933	62		961	9	H	52	表 大觀通寶		真書	24.16	23.74	0.99	0.95	2.54	北宋	1107	
934	62		962	88	H	53	不明 無文銭			22.66	22.37	1.16	0.83	2.00			
935	62		963	131	H	54	裏 永樂通寶			25.26	24.88	1.36	1.20	3.90	明	1408	
936	62		964	132	H	55	裏 永樂通寶			24.84	24.84	1.38	1.09	3.57	明	1408	
937	62	11	965	2	H	56	裏 至和通寶		篆書	24.81	24.69	1.23	1.07	3.68	北宋	1054	
938	62		966	19	H	57	表 天聖元寶		篆書	23.74	24.40	1.17	0.77	2.93	北宋	1023	
939	62		967	48	H	58	裏 元豐通寶		行書	24.01	24.00	1.03	0.92	2.87	北宋	1078	
940	62		968	14	H	59	裏 祥符元寶		真書	22.81	22.63	1.22	1.05	2.65	北宋	1008	
941	62		969	27	H	60	裏 紹聖元寶		篆書	23.30	23.62	0.98	0.82	1.89	北宋	1094	
942	62		970	178	H	61	表 洪武通寶			24.28	24.56	1.56	1.23	3.92	明	1368	
943	62		971	26	H	62	表 聖宋元寶		行書	23.77	23.90	1.44	1.88	3.90	北宋	1101	
944	62	11	972	3	H	63	裏 淳化元寶		草書	23.80	24.57	1.24	1.19	3.44	北宋	990	
945	62		973	47	H	64	表 元祐通寶		行書	25.20	25.08	1.20	0.96	3.59	北宋	1086	
946	62	11	974	4	H	65	裏 天禧通寶		真書	24.65	24.54	1.32	1.15	3.44	北宋	1017	
947	62		975	28	H	66	裏 判読不能			21.98	21.45	1.08	0.61	1.30			
948	62		976	1	H	67	裏 淳熙元寶	柒?	真書	23.90	23.96	1.15	0.88	2.89	北宋	1174	
949	62		977	29	H	68	裏 判読不能			24.52	24.21	1.14	1.05	2.95			
950	62		978	49	H	69	裏 元豐通寶		篆書	24.40	24.01	1.36	1.21	3.43	北宋	1078	
951	62	11	979	24	H	70	表 政和通寶		隸書	23.94	24.04	1.45	1.39	2.94	北宋	1111	
952	62		980	133	H	71	表 永樂通寶			24.63	25.01	1.33	1.23	3.64	明	1408	
953	62		981	28	H	72	裏 紹聖元寶		篆書	24.13	23.96	1.36	1.18	3.67	北宋	1094	
954	62		982	134	H	73	裏 永樂通寶			25.31	24.93	1.30	1.20	3.30	明	1408	
955	62		983	55	H	74	表 開元通寶		隸書	22.65	22.63	1.18	1.07	2.61	唐	621	
956	62		984	20	H	75	裏 天聖元寶		篆書	24.77	25.00	2.04	1.37	4.33	北宋	1023	
957	62		985	30	H	76	表 判読不能			23.87	24.32	1.46	1.18	3.34			
958	62		986	70	H	77	表 熙寧元寶		篆書	24.70	24.66	1.08	0.99	2.93	北宋	1068	
959	62		987	56	H	78	裏 開元通寶		隸書	23.63	23.50	1.17	0.88	2.67	唐	621	
960	62		988	135	H	79	裏 永樂通寶			25.05	25.21	1.56	1.35	4.22	明	1408	
961	62		989	31	H	80	裏 判読不能			23.85	23.57	1.39	0.60	1.64			
962	62		990	179	H	81	裏 洪武通寶			24.25	24.00	1.93	1.71	4.96	明	1368	重点通
963	62		991	71	H	82	表 熙寧元寶		真書	24.50	24.62	1.24	0.99	3.16	北宋	1068	
964	62		992	25	H	83	裏 政和通寶		篆書	23.83	23.63	1.15	1.00	2.65	北宋	1111	
965	62		993	32	H	84	裏 判読不能		篆書	23.81	23.30	1.40	1.19	2.70			熙寧元寶?
966	62		994	48	H	85	表 元祐通寶		行書	24.41	24.53	1.25	1.02	2.91	北宋	1086	
967	62		995	72	H	86	裏 熙寧元寶		真書	24.41	24.53	1.41	1.03	3.49	北宋	1068	
968	62		996	6	H	87	表 嘉祐元寶		真書	23.47	23.75	1.30	1.23	3.68	北宋	1056	
969	62		997	73	H	88	裏 熙寧元寶		真書	24.25	24.26	1.24	1.17	3.33	北宋	1068	
970	63		998	136	H	89	表 永樂通寶			25.16	25.36	1.46	1.08	3.71	明	1408	
971	63		999	26	H	90	表 政和通寶		篆書	23.96	24.41	1.51	1.17	3.06	北宋	1111	
972	63		1000	180	H	91	裏 洪武通寶			23.40	23.33	1.56	1.46	3.55	明	1368	二通
973	63	11	1001	4	H	92	表 至道元寶		真書	24.96	24.83	1.39	1.07	3.50	北宋	995	
974	63		1002	21	H	93	表 天聖元寶		真書	24.23	24.15	1.26	1.01	3.51	北宋	1023	
975	63		1003	89	H	94	不明 無文銭			24.19	23.75	1.32	1.28	2.26			
976	63		1004	27	H	95	裏 聖宋元寶		行書	23.47	23.57	1.35	1.15	3.58	北宋	1101	

第33表 SK 01 出土銭貨観察表 (12)

銭貨No.	挿図No.	図版No.	遺物No.	銭種No.	綴毎No.	表裏	銭貨名	裏文字	書体	外縁外径A	外縁外径B	外縁最大厚	外縁最小厚	質量	国名	初鋳年	備考	
978	63		1006	49	H	97	表	元祐通寶	行書	21.76	21.51	1.21	0.99	2.41	北宋	1086		
979	63		1007	74	H	98	裏	熙寧元寶	篆書	24.32	24.32	1.18	1.01	3.36	北宋	1068		
980	63		1008	50	H	99	表	元祐通寶	行書	25.20	25.10	1.26	1.02	3.64	北宋	1086	内郭が六角形	
981	63		1009	57	H	100	表	開元通寶	隸書	22.87	22.91	1.06	0.94	2.17	唐	621		
982	63		1010	137	H	101	表	永樂通寶		24.83	24.85	1.44	1.24	3.02	明	1408		
983	63	11	1011	51	H	102	表	元祐通寶	行書	23.68	23.71	1.31	1.22	3.34	北宋	1086		
984	63		1012	59	H	103	裏	皇宋通寶	篆書	24.56	24.57	1.00	0.87	2.63	北宋	1038		
985	63		1013	75	H	104	表	熙寧元寶	篆書	23.65	23.81	1.13	0.88	2.72	北宋	1068		
986	63		1014	138	H	105	表	永樂通寶		24.75	24.76	1.61	1.49	4.21	明	1408		
987	63		1015	139	H	106	裏	永樂通寶		24.88	24.82	1.34	1.06	2.66	明	1408		
988	63		1016	22	H	107	表	天聖元寶	真書	24.35	24.38	1.29	1.22	3.22	北宋	1023		
989	63		1017	76	H	108	裏	熙寧元寶	篆書	23.26	23.25	1.05	1.00	2.94	北宋	1068		
990	63		1018	10	H	109	表	大觀通寶	真書	23.02	23.60	1.28	1.21	3.10	北宋	1107		
991	63		1019	58	H	110	表	開元通寶	隸書	24.28	24.10	1.22	1.08	2.70	唐	621		
992	63		1020	50	H	111	表	元豐通寶	行書	23.75	23.66	1.34	1.23	3.35	北宋	1078		
993	63		1021	77	H	112	裏	熙寧元寶	衛?	篆書	23.93	24.13	1.58	1.21	3.64	北宋	1068	1074年衛州黎陽監?
994	63		1022	33	H	113	裏	判読不能		22.84	23.88	1.44	0.58	1.83			995に欠片付着	
995	63		1023	90	H	114	不明	無文銭		24.34	23.98	2.67	1.63	1.65			(破片3)	
996	63		1024	182	H	115	裏	洪武通寶	一銭	21.24	21.45	1.59	1.50	3.42	明	1368		
997	63		1025	51	H	116	表	元豐通寶	行書	24.08	24.17	1.19	1.11	3.35	北宋	1078		
998	63		1026	29	H	117	裏	紹聖元寶	篆書	23.64	23.60	1.54	1.37	3.70	北宋	1094		
999	63		1027	140	H	118	裏	永樂通寶		24.84	24.91	1.59	1.48	4.72	明	1408		
1000	63		1028	183	H	119	裏	洪武通寶		22.96	22.91	1.54	1.27	3.27	明	1368		
1001	63		1029	52	H	120	表	元豐通寶	篆書	24.57	24.34	1.07	1.03	3.38	北宋	1078		
1002	63	11	1030	59	H	121	裏	開元通寶	隸書	25.11	24.87	1.35	1.25	4.00	唐	621		
1003	63		1031	60	H	122	表	開元通寶	隸書	23.38	23.46	1.57	1.16	2.71	唐	621		
1004	63		1032	61	H	123	裏	開元通寶	隸書	24.25	24.57	1.19	1.12	3.22	唐	621		
1005	63		1033	141	H	124	表	永樂通寶		25.03	25.25	1.56	1.40	4.88	明	1408		
1006	63		1034	142	H	125	表	永樂通寶		25.13	24.95	1.30	1.24	3.62	明	1408		
1007	63		1035	184	H	126	表	洪武通寶		23.05	23.02	1.68	1.56	3.44	明	1368		
1008	63		1036	4	H	127	表	至和元寶	真書	23.55	23.47	0.90	0.82	2.37	北宋	1054		
1009	64		1037	143	H	128	表	永樂通寶		25.02	24.95	1.39	1.33	3.64	明	1408		
1010	63		1038	185	H	129	表	洪武通寶	一銭	22.95	22.97	2.08	1.99	5.42	明	1368		
1011	64		1039	62	H	130	裏	開元通寶	隸書	24.19	24.33	1.10	1.03	3.02	唐	621		
1012	64	11	1040	44	H	131	裏	皇宋通寶	篆書	24.90	24.95	1.31	1.20	3.63	北宋	1038		
1013	64		1041	45	H	132	裏	皇宋通寶	真書	24.02	24.10	1.09	1.04	2.87	北宋	1038		
1014	64	11	1042	6	H	133	裏	元符通寶	行書	24.01	24.04	1.39	1.32	3.97	北宋	1098		
1015	64		1043	7	H	134	表	嘉祐元寶	真書	23.76	23.65	1.40	1.38	3.67	北宋	1056		
1016	64		1044	144	H	135	裏	永樂通寶		24.38	23.59	1.31	0.92	2.32	明	1408		
1017	64		1045	186	H	136	表	洪武通寶		22.57	22.72	2.35	1.54	4.21	明	1368		
1018	64		1046	187	H	137	表	洪武通寶		23.94	24.26	1.87	1.55	3.97	明	1368		
1019	64		1047	145	H	138	表	永樂通寶		25.47	25.35	1.35	1.24	3.80	明	1408		
1020	64		1048	78	H	139	表	熙寧元寶	篆書	23.25	22.93	1.20	0.92	2.84	北宋	1068		
1021	64		1049	79	H	140	表	熙寧元寶	真書	23.62	23.40	1.36	1.27	3.63	北宋	1068		
1022	64	11	1050	5	H	141	表	至和元寶	篆書	24.35	24.23	1.10	1.02	3.14	北宋	1054		
1023	64	11	1051	6	H	142	裏	至和元寶	真書	24.73	24.63	1.35	1.19	3.64	北宋	1054	内郭の四方に刻みA	
1024	64		1052	30	H	143	裏	紹聖元寶	行書	23.40	23.31	1.13	0.99	2.99	北宋	1094		
1025	64		1053	91	H	144	不明	無文銭		22.42	22.18	0.91	0.69	1.63				
1026	64		1054	188	H	145	裏	洪武通寶		23.11	22.98	1.47	1.26	3.17	明	1368		
1027	64		1055	52	H	146	裏	元祐通寶	行書	25.25	25.60	1.65	1.39	3.30	北宋	1086		
1028	64	11	1056	53	H	147	表	元祐通寶	篆書	24.13	24.10	1.38	1.23	3.83	北宋	1086		
1029	64		1057	34	H	148	表	判読不能	真書	23.84	23.79	0.72	0.59	1.59			下は「通」、左は「寶」	
1030	64		1058	146	H	149	表	永樂通寶		24.89	25.07	1.51	1.37	3.58	明	1408		
1031	64		1059	54	H	150	表	元祐通寶	行書	23.64	23.78	1.35	1.18	2.88	北宋	1086		
1032	64		1060	8	H	151	表	大觀通寶	真書	24.08	23.45	1.28	0.93	2.80	北宋	1107		
1033	64		1061	189	H	152	裏	洪武通寶	?	23.04	22.74	2.02	1.60	4.11	明	1368		
1034	64		1062	10	H	153	裏	景祐元寶	真書	25.23	24.96	1.12	0.93	2.85	北宋	1034		
1035	64		1063	190	H	154	裏	洪武通寶		23.94	23.96	1.64	1.37	3.63	明	1368		
1036	64		1064	53	H	155	裏	元豐通寶	行書	23.85	24.02	1.35	1.25	2.96	北宋	1078		
1037	64		1065	54	H	156	表	元豐通寶	行書	23.67	23.69	1.69	1.24	3.14	北宋	1078		
1038	64		1066	92	H	157	不明	無文銭		22.53	22.13	1.24	0.68	1.33			(破片1)	
1039	64		1067	55	H	158	裏	元祐通寶	篆書	23.46	23.93	1.47	1.14	2.94	北宋	1086		
1040	64	11	1068	2	H	159	表	淳熙元寶	十四	真書	23.85	23.85	1.30	1.19	3.40	南宋	1174	
1041	64		1069	3	H	160	裏	至和通寶	篆書	24.17	24.46	0.93	0.90	2.70	北宋	1054		
1042	64		1070	147	H	161	裏	永樂通寶		24.40	24.40	1.60	1.31	3.75	明	1408		
1043	64		1071	80	H	162	表	熙寧元寶	篆書	24.00	24.30	1.11	1.01	2.67	北宋	1068		
1044	64		1072	93	H	163	不明	無文銭		23.67	23.72	1.28	0.94	1.17			1045に一部付着(破片6)	
1045	64		1073	94	H	164	不明	無文銭		23.09	22.35	2.15	0.69	2.69				
1046	64		1074	81	H	165	裏	熙寧元寶	真書	23.73	24.03	1.32	0.77	3.52	北宋	1068		
1047	64	11	1075	3	H	166	表	治平通寶	篆書	23.74	24.00	1.31	1.13	3.52	北宋	1064		
1048	64		1076	191	H	167	表	洪武通寶		23.14	22.93	1.81	1.62	3.41	明	1368		
1049	64		1077	192	H	168	表	洪武通寶		23.27	23.43	1.33	1.17	3.15	明	1368	二通	
1050	64		1078	63	H	169	表	開元通寶	隸書	24.26	24.23	1.22	1.12	2.94	唐	621		
1051	64		1079	2	H	170	表	宋通元寶	真書	23.42	23.41	1.18	0.90	2.40	北宋	960		
1052	65		1080	148	H	171	表	永樂通寶		24.95	25.01	1.39	1.23	3.80	明	1408		
1053	65		1081	149	H	172	表	永樂通寶		24.95	25.03	1.40	1.29	3.77	明	1408		
1054	65		1082	56	H	173	表	元祐通寶	行書	24.44	24.41	1.18	1.07	3.42	北宋	1086		
1055	65	11	1083	193	H	174	表	洪武通寶		23.40	23.28	2.08	1.67	4.71	明	1368		
1056	65		1084	46	H	175	裏	皇宋通寶	篆書	24.38	24.39	1.02	0.87	2.77	北宋	1038	内郭の四方に刻みB	
1057	65		1085	194	H	176	表	洪武通寶		23.71	24.08	1.64	1.51	3.85	明	1368		
1058	65	11	1086	82	H	177	表	熙寧元寶	真書	24.81	24.93	1.10	0.95	3.26	北宋	1068		
1059	65		1087	64	H	178	表	開元通寶	隸書	24.63	24.06	1.60	1.20	3.41	唐	621		
1060	65	11	1088	23	H	179	表	天聖元寶	真書	25.17	25.25	1.17	1.10	3.30	北宋	1023		
1061	65	11	1089	14	H	180	裏	嘉祐通寶	真書	23.21	23.15	1.17	0.69	2.57	北宋	1056		
1062	65		1090	95	H	181	不明	無文銭		23.15	22.75	1.34	1.04	2.81				
1063	65		1091	57	H</													

第34表 SK 01 出土銭貨観察表 (13)

銭貨No.	挿図No.	図版No.	遺物No.	銭種No.	綴銭No.	表裏	銭貨名	裏文字	書体	外縁外径A	外縁外径B	外縁最大厚	外縁最小厚	質量	国名	初鋳年	備考
1067	65		1095	55	H 186	表	元豊通寶		篆書	24.81	24.75	1.35	1.13	3.99	北宋	1078	
1068			1096	96	H 187	不明	無文銭			23.11	23.28	1.24	0.88	1.40			(破片5)
1069	65		1097	58	H 188	裏	元祐通寶		篆書	22.68	25.00	1.73	1.43	4.03	北宋	1086	
1070	65		1098	197	H 189	表	洪武通寶	一銭		22.51	22.80	1.92	1.68	3.79	明	1368	
1071	65		1099	59	H 190	表	元祐通寶		篆書	24.42	24.31	1.28	1.16	3.81	北宋	1086	
1072	65		1100	83	I 1	裏	熙寧元寶		篆書	23.90	24.23	1.81	1.51	3.66	北宋	1068	
1073	65		1101	97	I 2	不明	無文銭			24.21	24.29	1.34	1.05	2.53			
1074	65		1102	84	I 3	表	熙寧元寶		篆書	23.40	23.54	1.42	0.93	3.23	北宋	1068	
1075	65		1103	3	I 4	表	太平通寶		真書	23.78	23.78	1.34	1.03	2.93	北宋	976	
1076	65		1104	198	I 5	裏	洪武通寶			23.26	23.20	1.84	1.50	4.00	明	1368	
1077	65		1105	85	I 6	表	熙寧元寶		真書	24.04	23.87	1.47	1.14	3.58	北宋	1068	
1078	65	11	1106	86	I 7	裏	熙寧元寶		篆書	24.00	23.79	1.48	1.31	3.98	北宋	1068	
1079	65		1107	199	I 8	裏	洪武通寶			22.27	22.41	2.24	1.86	3.84	明	1368	内郭の四方に刻みB
1080	65		1108	87	I 9	表	熙寧元寶		篆書	22.73	23.07	1.17	1.00	2.43	北宋	1068	
1081	65		1109	200	I 10	表	洪武通寶			22.67	22.86	1.75	1.56	3.96	明	1368	
1082	65		1110	35	I 11	裏	判読不能			23.50	23.50	1.31	1.15	2.54			
1083	65		1111	98	I 12	不明	無文銭			22.66	22.94	1.56	1.27	3.04			
1084	65		1112	201	I 13	表	洪武通寶			22.81	22.53	1.72	1.51	3.23	明	1368	
1085	65		1113	7	I 14	表	元符通寶		行書	24.24	24.13	1.37	1.21	3.51	北宋	1098	
1086	65		1114	10	I 15	表	治平元寶		篆書	23.44	23.69	1.75	1.61	3.86	北宋	1064	
1087	65		1115	11	I 16	表	治平元寶		篆書	24.02	23.97	1.37	1.14	3.04	北宋	1064	
1088	65		1116	202	I 17	裏	洪武通寶			23.31	23.37	1.41	1.19	2.87	明	1368	
1089	65		1117	56	I 18	裏	元豊通寶		篆書	24.11	23.97	1.34	1.17	3.05	北宋	1078	
1090	65		1118	150	I 19	裏	永樂通寶			25.15	25.31	1.75	1.35	4.37	明	1408	
1091	65		1119	57	I 20	表	元豊通寶		篆書	24.35	24.56	1.24	1.05	2.76	北宋	1078	
1092	65		1120	88	I 21	表	熙寧元寶		篆書	23.83	23.90	1.40	1.23	2.90	北宋	1068	
1093	66		1121	47	I 22	表	皇宋通寶		真書	24.84	24.58	1.36	1.24	3.63	北宋	1038	
1094	66		1122	65	I 23	表	開元通寶		隸書	24.71	25.05	1.25	1.10	2.51	唐	621	
1095	66		1123	48	I 24	表	皇宋通寶		篆書	24.20	24.30	1.37	1.24	3.30	北宋	1038	
1096	66		1124	31	I 25	裏	紹聖元寶		行書	24.88	24.48	1.41	1.22	3.69	北宋	1094	
1097	66		1125	36	I 26	裏	判読不能		篆書	23.72	23.61	1.38	1.13	2.43			上は「元」
1098	66		1126	203	I 27	表	洪武通寶			23.98	23.07	2.30	1.80	4.09	明	1368	重点通
1099	66		1127	27	I 28	表	政和通寶		隸書	24.81	24.65	1.20	1.02	3.15	北宋	1111	
1100	66	11	1128	6	I 29	表	景德元寶		真書	24.21	24.38	1.35	1.21	3.07	北宋	1004	
1101	66		1129	151	I 30	表	永樂通寶			25.50	25.27	1.67	1.20	3.52	明	1408	
1102	66		1130	99	I 31	不明	無文銭			21.93	21.78	1.34	0.88	1.82			
1103	66	11	1131	8	I 32	裏	嘉祐元寶		真書	23.67	23.78	1.64	1.37	3.84	北宋	1056	
1104	66		1132	89	I 33	裏	熙寧元寶		真書	24.05	23.76	1.54	1.45	3.74	北宋	1068	
1105	66		1133	152	I 34	表	永樂通寶			25.01	25.10	1.63	1.14	3.79	明	1408	
1106	66		1134	153	I 35	表	永樂通寶			25.00	25.15	1.68	1.23	3.83	明	1408	
1107	66		1135	100	I 36	不明	無文銭			22.20	22.00	1.06	0.85	1.30			
1108	66		1136	37	I 37	裏	判読不能			22.60	22.52	2.20	1.95	5.07			
1109	66		1137	58	I 38	裏	元豊通寶		行書	23.87	24.21	1.56	1.27	3.26	北宋	1078	
1110	66		1138	3	I 39	裏	軋元重寶		真書	23.36	23.27	1.07	0.80	2.08	唐	758	内郭が八角形
1111	66		1139	15	I 40	表	嘉祐通寶		篆書	23.80	23.77	1.82	1.72	4.83	北宋	1056	
1112	66	11	1140	6	I 41	表	宣和通寶		隸書	24.28	24.65	1.45	1.22	3.13	北宋	1119	
1113	66		1141	66	I 42	裏	開元通寶		隸書	23.46	23.27	1.07	0.93	2.29	唐	621	
1114	66		1142	204	I 43	表	洪武通寶			24.08	23.67	1.69	1.17	3.30	明	1368	コ通
1115	66		1143	90	I 44	表	熙寧元寶		真書	23.34	23.47	1.42	1.23	3.64	北宋	1068	
1116	66		1144	101	I 45	不明	無文銭			21.74	21.78	1.25	0.89	1.89			
1117	66		1145	60	I 46	表	元祐通寶		行書	24.72	24.71	1.50	1.21	3.23	北宋	1086	
1118	66		1146	102	I 47	不明	無文銭			21.96	22.56	1.33	0.88	1.76			
1119	66		1147	205	I 48	裏	洪武通寶			22.68	22.72	2.19	1.77	3.84	明	1368	
1120	66		1148	154	I 49	裏	永樂通寶			25.00	25.19	1.57	1.22	3.37	明	1408	
1121	66		1149	7	I 50	表	嘉定通寶	二	真書	23.70	23.70	1.37	1.16	2.84	南宋	1208	
1122	66		1150	5	I 51	表	天禧通寶		真書	22.04	21.24	1.33	1.22	2.55	北宋	1017	磨輪
1123	66		1151	67	I 52	表	開元通寶	上月	隸書	23.93	23.56	1.20	0.91	2.46	唐	621	
1124	66		1152	206	I 53	裏	洪武通寶			23.35	23.55	1.79	1.59	4.02	明	1368	
1125	66		1153	207	I 54	裏	洪武通寶	一銭		22.77	22.91	1.55	1.40	3.63	明	1368	
1126	66		1154	208	I 55	表	洪武通寶			23.47	23.16	1.82	1.50	3.32	明	1368	
1127	66		1155	155	I 56	裏	永樂通寶			24.98	25.30	1.67	1.27	3.58	明	1408	
1128	66		1156	58	I 57	表	皇宋通寶		篆書	23.80	23.64	1.37	0.90	2.66	北宋	1038	
1129	66		1157	91	I 58	表	熙寧元寶		篆書	24.16	24.16	1.62	1.47	4.39	北宋	1068	
1130	66		1158	4	I 59	裏	太平通寶		真書	24.30	24.32	1.56	1.34	3.58	北宋	976	
1131	66		1159	29	I 60	表	聖宋元寶		篆書	23.64	23.85	1.41	1.27	3.65	北宋	1101	
1132	67		1160	15	I 61	裏	祥符元寶		真書	25.22	25.11	1.57	1.06	3.71	北宋	1008	
1133	67		1161	92	I 62	表	熙寧元寶		真書	23.93	24.00	1.58	1.37	3.84	北宋	1068	
1134	67		1162	59	I 63	表	元豊通寶		篆書	24.04	24.29	1.66	1.23	3.89	北宋	1078	
1135	67		1163	209	I 64	裏	洪武通寶			22.54	22.50	2.44	2.24	4.75	明	1368	
1136	67		1164	28	I 65	裏	政和通寶		篆書	24.99	24.80	1.55	1.41	4.20	北宋	1111	
1137	67		1165	210	I 66	裏	洪武通寶			23.70	24.23	1.77	1.44	3.21	明	1368	
1138	67		1166	156	I 67	表	永樂通寶			25.24	24.86	2.02	1.36	4.25	明	1408	
1139	67		1167	3	I 68	裏	聖宋元寶		行書	22.24	22.98	1.51	1.09	2.21	北宋	1101	
1140	67		1168	211	I 69	裏	洪武通寶	一銭		22.58	22.85	1.71	1.32	3.53	明	1368	
1141	67		1169	93	I 70	裏	熙寧元寶		篆書	23.62	23.94	1.55	1.28	3.71	北宋	1068	
1142	67		1170	49	I 71	裏	皇宋通寶		真書	24.16	24.47	1.15	1.07	2.92	北宋	1038	
1143	67		1171	16	I 72	表	祥符元寶		真書	25.22	25.25	1.80	1.32	3.90	北宋	1008	
1144	67		1172	61	I 73	表	元祐通寶		行書	24.03	23.95	1.40	1.15	3.11	北宋	1086	
1145	67		1173	157	I 74	裏	永樂通寶			25.17	25.11	1.54	1.12	3.14	明	1408	
1146	67		1174	9	I 75	裏	嘉祐元寶		篆書	24.64	24.40	1.19	1.12	2.68	北宋	1056	
1147	67		1175	50	I 76	表	皇宋通寶		篆書	24.40	24.04	1.10	1.00	2.19	北宋	1038	
1148	67		1176	51	I 77	表	皇宋通寶		篆書	24.39	24.52	1.41	1.22	3.65	北宋	1038	
1149	67		1177	212	I 78	裏	洪武通寶			23.67	23.60	1.73	1.58	3.14	明	1368	
1150	67		1178	94	I 79	表	熙寧元寶		真書	23.66	23.54	1.54	1.46	3.90	北宋	1068	
1151	67		1179	8	I 80	表	元符通寶		篆書	23.80	23.80	1.50	1.16	3.52	北宋	1098	
1152	67		1180	158	I 81	裏	永樂通寶			25.61	25.54	1.55	1.15	3.63	明	1408	
1153	67		1181	12	I 82	表	治平元寶		篆書	2							

第35表 SK 01 出土銭貨観察表 (14)

銭貨No	挿図No	図版No	遺物No	銭種No	緒銭	絹毎No	表裏	銭貨名	裏文字	書体	外縁外径A	外縁外径B	外縁最大厚	外縁最小厚	質量	国名	初鋳年	備考
1156	67		1184	53	I	85	裏	皇宋通寶		篆書	24.92	25.02	1.29	1.12	3.19	北宋	1038	
1157	67	11	1185	11	I	86	裏	景祐元寶		真書	25.42	24.87	1.47	1.29	3.74	北宋	1034	
1158	67		1186	159	I	87	表	永樂通寶			24.97	24.93	1.69	1.30	3.76	明	1408	
1159	67		1187	4	I	88	裏	軋元重寶	下月	真書	23.58	23.60	1.65	1.47	3.29	唐	758	
1160	67		1188	60	I	89	裏	元豐通寶		篆書	24.62	24.70	1.40	1.17	3.73	北宋	1078	
1161	67		1189	160	I	90	表	永樂通寶			25.30	25.15	1.49	1.30	3.62	明	1408	
1162	67	11	1190	5	I	91	表	軋元重寶	下月	真書	23.31	23.16	1.22	1.06	2.32	唐	758	
1163	67		1191	61	I	92	表	元豐通寶		篆書	24.34	24.35	1.45	1.31	2.96	北宋	1078	
1164	67	11	1192	5	I	93	裏	至道元寶		草書	23.92	23.91	1.07	0.96	2.19	北宋	1095	
1165	67		1193	54	I	94	裏	皇宋通寶		真書	23.97	24.04	1.20	1.07	3.02	北宋	1038	内郭が菱形
1166	67		1194	55	I	95	表	皇宋通寶		篆書	24.47	24.54	1.41	1.27	3.18	北宋	1038	内郭の四方に刻みA
1167	67		1195	161	I	96	裏	永樂通寶			25.03	25.16	1.68	1.40	3.78	明	1408	
1168	67	11	1196	2	I	97	表	咸淳元寶	二	真書	23.84	23.73	1.43	1.17	3.51	南宋	1265	
1169			1197	103	I	98	不明	無文銭			22.58	22.75	1.26	1.04	0.80			1170に一部付着(破片1)
1170	68		1198	38	I	99	表	判読不能			23.73	24.10	2.23	1.31	2.89			
1171	68		1199	68	I	100	裏	開元通寶		隸書	24.16	23.86	1.37	1.13	2.99	唐	621	
1172	68		1200	214	I	101	表	洪武通寶			22.78	22.80	1.85	1.53	3.63	明	1368	
1173	68		1201	104	I	102	不明	無文銭			23.05	23.34	1.64	0.97	1.55			(破片1)
1174	68		1202	74	I	103	表	皇宋通寶		真書	24.66	24.53	1.25	1.05	3.20	北宋	1038	
1175	68		1203	62	I	104	表	元祐通寶		行書	24.34	24.25	1.35	1.13	3.39	北宋	1086	
1176	68		1204	215	I	105	表	洪武通寶			22.94	23.03	1.64	1.47	3.17	明	1368	
1177	68		1205	75	I	106	裏	皇宋通寶		篆書	24.80	24.74	1.20	0.95	3.43	北宋	1038	
1178	68		1206	216	I	107	表	洪武通寶	福		23.88	23.77	2.04	1.52	4.49	明	1368	
1179	68		1207	217	I	108	裏	洪武通寶	?		22.85	22.72	1.77	1.39	3.40	明	1368	
1180	68		1208	12	I	109	裏	景祐元寶		篆書	23.03	23.06	1.29	1.14	3.00	北宋	1034	
1181	68		1209	162	I	110	裏	永樂通寶			25.22	24.92	1.62	1.30	3.24	明	1408	
1182	68		1210	69	I	111	裏	開元通寶		隸書	24.67	24.71	1.25	1.12	3.82	唐	621	
1183	68		1211	163	I	112	表	永樂通寶			25.10	25.17	1.70	1.39	4.03	明	1408	
1184	68	11	1212	5	I	113	表	太平通寶		真書	22.70	22.96	1.43	1.19	2.87	北宋	976	
1185	68		1213	39	I	114	裏	判読不能			23.31	23.86	1.50	1.15	3.23			
1186	68		1214	218	I	115	表	洪武通寶	一銭		22.80	22.69	2.14	1.68	4.39	明	1368	
1187	68		1215	76	I	116	表	皇宋通寶		篆書	25.11	25.17	1.46	1.30	3.79	北宋	1038	
1188	68		1216	63	I	117	表	元祐通寶		篆書	24.27	24.25	1.65	1.30	3.64	北宋	1086	
1189	68		1217	219	I	118	表	洪武通寶			23.41	23.49	1.70	1.51	3.34	明	1368	
1190	68		1218	64	I	119	裏	元祐通寶		篆書	24.53	24.51	1.50	1.23	3.67	北宋	1086	
1191	68		1219	164	I	120	裏	永樂通寶			25.58	24.95	1.41	1.05	3.21	明	1408	
1192	68		1220	220	I	121	裏	洪武通寶			21.21	21.09	1.58	1.21	2.68	明	1368	
1193	68		1221	70	I	122	裏	開元通寶		隸書	22.82	22.84	1.43	1.25	3.35	唐	621	
1194	68		1222	29	I	123	裏	政和通寶		隸書	24.35	24.46	1.26	1.10	2.99	北宋	1111	
1195	68		1223	40	I	124	裏	判読不能			23.60	23.44	1.47	1.28	2.47			
1196	68		1224	71	I	125	表	開元通寶		隸書	23.69	23.68	0.98	0.88	2.32	唐	621	
1197	68		1225	24	I	126	表	天聖元寶		真書	25.15	25.33	1.31	1.12	3.52	北宋	1023	
1198	68		1226	72	I	127	表	開元通寶	上月	隸書	24.18	24.25	1.26	1.19	3.09	唐	621	
1199	68		1227	105	I	128	不明	無文銭			23.71	23.68	1.35	1.18	2.15			
1200	68		1228	221	I	129	表	洪武通寶			23.56	23.82	1.89	1.46	3.96	明	1368	
1201	68		1229	7	I	130	裏	景德元寶		真書	24.41	24.14	1.35	1.20	3.45	北宋	1004	

註1)書体列の空欄のうち、洪武通寶と永樂通寶は銭文が真書一種のみである。

註2)備考列の「内郭の四方に刻みA」は四辺のそれぞれの中心に刻みのあるもの。「B」は中心を外した位置に規則的に刻みのあるものである。

第36表 SK 01 出土銭貨種別集計表

銭種 No.	銭貨名	出土 枚数	出土 割合	出土 順位	全国 順位	裏文字	銭種	王朝名	初鑄年
1	開元通寶	72	6.0	5	5	上月(9)・下月(3)・上甲文(1)・?(1)		唐	621
2	乾元重寶	5	0.4	24	31	下月(2)		唐	758
3	開元通寶	2	0.2	34	(5)	興(1)・洛(1)	紀地銭?	唐	845
4	宋通元寶	2	0.2	34	33			北宋	960
5	太平通寶	5	0.4	24	26			北宋	976
6	淳化元寶	3	0.2	31	25			北宋	990
7	至道元寶	5	0.4	24	19			北宋	995
8	咸平元寶	9	0.7	17	16			北宋	998
9	景德元寶	7	0.6	20	13			北宋	1004
10	祥符通寶	5	0.4	24	18			北宋	1008
11	祥符元寶	16	1.3	13	12			北宋	1008
12	天禧通寶	5	0.4	24	14			北宋	1017
13	天聖元寶	24	2.0	11	7			北宋	1023
14	明道元寶	5	0.4	24	29			北宋	1032
15	景祐元寶	12	1.0	15	21			北宋	1034
16	皇宋通寶	76	6.3	4	1			北宋	1038
17	至和元寶	6	0.5	23	24			北宋	1054
18	至和通寶	4	0.3	30	32			北宋	1054
19	嘉祐元寶	9	0.7	17	22			北宋	1056
20	嘉祐通寶	15	1.2	14	15			北宋	1056
21	治平通寶	3	0.2	31	27			北宋	1064
22	治平元寶	12	1.0	15	17			北宋	1064
23	熙寧元寶	95	7.9	3	3	衛?(1)		北宋	1068
24	元豐通寶	61	5.1	7	2			北宋	1078
25	元祐通寶	64	5.3	6	4			北宋	1086
26	紹聖元寶	31	2.6	8	8	下星(1)		北宋	1094
27	元符通寶	8	0.7	19	20			北宋	1098
28	聖宋元寶	29	2.4	9	10			北宋	1101
29	大觀通寶	18	1.5	12	23			北宋	1107
30	政和通寶	29	2.4	9	9			北宋	1111
31	宣和通寶	7	0.6	20	34			北宋	1119
32	紹興元寶	1	0.1	42				南宋	1131
33	正隆元寶	1	0.1	42	38			金	1157
34	淳熙元寶	2	0.2	34	28	柒?(1)・十四(1)		南宋	1174
35	慶元通寶	3	0.2	31	35	元(1)・六(1)		南宋	1195
36	嘉泰通寶	2	0.2	34		二(1)・四?(1)		南宋	1201
37	嘉定通寶	7	0.6	20	30	二(2)・六(1)・九(1)・十一(1)・十二(1)		南宋	1208
38	淳祐元寶	2	0.2	34	40	元(1)		南宋	1241
39	皇宋元寶	2	0.2	34		六(1)		南宋	1253
40	開慶通寶	1	0.1	42		四(1)		南宋	1259
41	咸淳元寶	2	0.2	34		二(1)・五?(1)	折二銭1	南宋	1265
42	至大通寶	2	0.2	34				元	1310
43	大義通寶	1	0.1	42				漢	1360
44	大中通寶	1	0.1	42				明	1361
45	洪武通寶	221	18.4	1	11	一銭(67)・浙(5)・福(3)・北平(2)・上甲文(1)・?(3)		明	1368
46	永樂通寶	164	13.7	2	6			明	1408
(47)	判読不明	40	3.3						
(48)	無文銭	105	8.7						
総合計		1201							

註1) 全国(総出土銭)順位は鈴木公雄『出土銭貨の研究』1999(平成11)年東京大学出版会による。空欄は40位以下。

第5章 自然科学的分析

第1節 放射性炭素年代測定

(株)加速器分析研究所

1 測定対象試料

家ノ浦遺跡は、秋田県にかほ市両前寺字家ノ浦25-4外の丘陵地に所在する。測定対象試料は、建物跡の柱材や井戸枠の隅柱などから採取された木片4点、土坑出土炭化物1点の合計5点(IAAA-101577～101581)である(第37表)。

2 測定の意義

建物跡や井戸跡などの遺構の時期を明らかにし、遺跡内に位置する複数の遺構の前後関係および集落の継続期間を検討する。

3 化学処理工程

- (1)メス・ピンセットを使い、根・土等の付着物を取り除く。
- (2)酸-アルカリ-酸(AAA: Acid Alkali Acid)処理により不純物を化学的に取り除く。その後、超純水で中性になるまで希釈し、乾燥させる。AAA処理における酸処理では、通常1 mol/ℓ (1 M)の塩酸(HCl)を用いる。アルカリ処理では水酸化ナトリウム(NaOH)水溶液を用い、0.001Mから1 Mまで徐々に濃度を上げながら処理を行う。アルカリ濃度が1 Mに達した時には「AAA」、1 M未満の場合は「AaA」と第37表に記載する。
- (3)試料を燃焼させ、二酸化炭素(CO₂)を発生させる。
- (4)真空ラインで二酸化炭素を精製する。
- (5)精製した二酸化炭素を鉄を触媒として水素で還元し、グラファイト(C)を生成させる。
- (6)グラファイトを内径1 mmのカソードにハンドプレス機で詰め、それをホイールにはめ込み、測定装置に装着する。

4 測定方法

3 MVタンデム加速器(NEC Pelletron 9SDH-2)をベースとした¹⁴C-AMS専用装置を使用し、¹⁴Cの計数、¹³C濃度(¹³C/¹²C)、¹⁴C濃度(¹⁴C/¹²C)の測定を行う。測定では、米国国立標準局(NIST)から提供されたシュウ酸(HOx II)を標準試料とする。この標準試料とバックグラウンド試料の測定も同時に実施する。

5 算出方法

- (1) δ¹³C は、試料炭素の¹³C 濃度(¹³C/¹²C)を測定し、基準試料からのずれを千分偏差(‰)で表した値である(第37表)。AMS装置による測定値を用い、表中に「AMS」と注記する。
- (2) ¹⁴C年代(Libby Age: yrBP)は、過去の大気中¹⁴C濃度が一定であったと仮定して測定され、1950

年を基準年(0yrBP)として遡る年代である。年代値の算出には、Libbyの半減期(5568年)を使用する(Stuiver and Polach 1977)。 ^{14}C 年代は $\delta^{13}\text{C}$ によって同位体効果を補正する必要がある。補正した値を第37表に、補正していない値を参考値として第38表に示した。 ^{14}C 年代と誤差は、下1桁を丸めて10年単位で表示される。また、 ^{14}C 年代の誤差($\pm 1\sigma$)は、試料の ^{14}C 年代がその誤差範囲に入る確率が68.2%であることを意味する。

- (3) pMC (percent Modern Carbon)は、標準現代炭素に対する試料炭素の ^{14}C 濃度の割合である。pMCが小さい(^{14}C が少ない)ほど古い年代を示し、pMCが100以上(^{14}C の量が標準現代炭素と同等以上)の場合Modernとする。この値も $\delta^{13}\text{C}$ によって補正する必要があるため、補正した値を第37表に、補正していない値を参考値として第38表に示した。
- (4) 暦年較正年代とは、年代が既知の試料の ^{14}C 濃度を元に描かれた較正曲線と照らし合わせ、過去の ^{14}C 濃度変化などを補正し、実年代に近づけた値である。暦年較正年代は、 ^{14}C 年代に対応する較正曲線上の暦年代範囲であり、1標準偏差($1\sigma = 68.2\%$)あるいは2標準偏差($2\sigma = 95.4\%$)で表示される。グラフの縦軸が ^{14}C 年代、横軸が暦年較正年代を表す。暦年較正プログラムに入力される値は、 $\delta^{13}\text{C}$ 補正を行い、下一桁を丸めない ^{14}C 年代値である。なお、較正曲線および較正プログラムは、データの蓄積によって更新される。また、プログラムの種類によっても結果が異なるため、年代の活用にあたってはその種類とバージョンを確認する必要がある。ここでは、暦年較正年代の計算に、IntCal09データベース(Reimer et al. 2009)を用い、OxCalv4.1較正プログラム(Bronk Ramsey 2009)を使用した。暦年較正年代については、特定のデータベース、プログラムに依存する点を考慮し、プログラムに入力する値とともに参考値として第38表に示した。暦年較正年代は、 ^{14}C 年代に基づいて較正(calibrate)された年代値であることを明示するために「cal BC/AD」(または「cal BP」)という単位で表される。

6 測定結果

掘立柱建物跡S B19P 6の柱材から採取された木片1の ^{14}C 年代は $1010 \pm 20\text{yrBP}$ 、暦年較正年代(1σ)は994 ~ 1030calADの範囲で示される。2 σ で較正年代を見ると、低い確率ではあるが12世紀まで断続的に広がる。掘立柱建物跡S B91P 5の柱材から採取された試料の ^{14}C 年代は $690 \pm 20\text{yrBP}$ 、暦年較正年代(1σ)は1276 ~ 1378calADの間に2つの範囲で示される。掘立柱建物跡S B100P 2の柱材から採取された試料の ^{14}C 年代は $590 \pm 20\text{yrBP}$ 、暦年較正年代(1σ)は1314 ~ 1399calADの間に2つの範囲で示される。

井戸跡S E20の井戸枠隅柱から採取された木片4の ^{14}C 年代は $1190 \pm 30\text{yrBP}$ である。暦年較正年代(1σ)は782 ~ 878calADの間に2つの範囲で示される。

土坑S K76から出土した炭化物5の ^{14}C 年代は $1000 \pm 20\text{yrBP}$ 、暦年較正年代(1σ)は995 ~ 1036calAD の範囲となっている。

試料の炭素含有率はすべて50%を超え、化学処理、測定上の問題は認められない。

第37表 測定試料及び処理・結果

測定番号	試料名	採取場所	試料形態	処理方法	$\delta^{13}\text{C}$ (‰) (AMS)	$\delta^{13}\text{C}$ 補正あり	
						Libby Age (yrBP)	pMC (%)
IAAA-101577	1	掘立柱建物跡 S B 19 P 6	木片	AAA	-24.38 ± 0.31	1,010 ± 20	88.19 ± 0.27
IAAA-101578	2	掘立柱建物跡 S B 91 P 5	木片	AAA	-25.20 ± 0.40	690 ± 20	91.76 ± 0.28
IAAA-101579	3	掘立柱建物跡 S B 100 P 2	木片	AAA	-28.27 ± 0.37	590 ± 20	92.87 ± 0.29
IAAA-101580	4	井戸跡 S E 20	木片	AAA	-25.71 ± 0.38	1,190 ± 30	86.19 ± 0.27
IAAA-101581	5	土坑 S K 76	炭化物	AAA	-28.42 ± 0.46	1,000 ± 20	88.28 ± 0.27

第38表 放射性炭素年代測定及び暦年較正の結果

測定番号	$\delta^{13}\text{C}$ 補正なし		暦年較正用 (yrBP)	1 σ 暦年代範囲	2 σ 暦年代範囲
	Age(yrBP)	pMC (%)			
IAAA - 101577	1,000 ± 20	88.30 ± 0.26	1,009 ± 24	994calAD-1030calAD(68.2%)	981calAD-1045calAD(89.1%) 1095calAD-1120calAD(5.1%) 1141calAD-1148calAD(1.1%)
IAAA - 101578	690 ± 20	91.72 ± 0.27	690 ± 24	1276calAD-1298calAD(60.5%) 1372calAD-1378calAD(7.7%)	1270calAD-1306calAD(73.5%) 1363calAD-1385calAD(21.9%)
IAAA - 101579	650 ± 20	92.24 ± 0.28	594 ± 24	1314calAD-1357calAD(54.7%) 1388calAD-1399calAD(13.5%)	1299calAD-1370calAD(70.7%) 1381calAD-1410calAD(24.7%)
IAAA - 101580	1,210 ± 20	86.07 ± 0.26	1,193 ± 25	782calAD-791calAD(8.1%) 808calAD-878calAD(60.1%)	726calAD-738calAD(1.4%) 771calAD-895calAD(93.0%) 927calAD-935calAD(0.9%)
IAAA - 101581	1,060 ± 20	87.66 ± 0.25	1,001 ± 24	995calAD-1036calAD(68.2%)	987calAD-1047calAD(81.5%) 1091calAD-1121calAD(11.2%) 1140calAD-1149calAD(2.7%)

文献

- Stuiver M. and Polach H.A. 1977 Discussion: Reporting of ^{14}C data, *Radiocarbon* 19(3), 355-363
- Bronk Ramsey C. 2009 Bayesian analysis of radiocarbon dates, *Radiocarbon* 51(1), 337-360
- Reimer, P.J. et al. 2009 IntCal09 and Marine09 radiocarbon age calibration curves, 0-50,000 years cal BP, *Radiocarbon* 51(4), 1111-1150

第2節 樹種同定

(株)加速器分析研究所

はじめに

家ノ浦遺跡では、平安時代～中世の遺構が検出されている。本報告では、遺構から出土した木材や炭化材の樹種を明らかにするために、樹種同定を実施する。

1 試料

試料は、各遺構から出土した木材4点(試料番号1-4)と炭化材1点(試料番号5)の合計5点である。

2 分析方法

木製品は、木取りを観察した上で、剃刀を用いて木口(横断面)・柾目(放射断面)・板目(接線断面)の3断面の徒手切片を直接採取する。自然木は、木片から3断面の切片を作製する。切片は、ガム・クロラール(抱水クロラール, アラビアゴム粉末, グリセリン, 蒸留水の混合液)で封入し、プレパラートとする。プレパラートは、生物顕微鏡で木材組織の種類や配列を観察する。炭化材は、自然乾燥させた後、3断面の割断面を作製して実体顕微鏡および走査型電子顕微鏡で木材組織の種類や配列を観察する。各試料の観察で確認された特徴を現生標本および独立行政法人森林総合研究所の日本産木材識別データベースと比較して種類を同定する

なお、木材組織の名称や特徴は、島地・伊東(1982)、Wheeler他(1998)、Richter他(2006)を参考にする。また、日本産木材の組織配列については、林(1991)や伊東(1995,1996,1997,1998,1999)を参考にする。

3 結果

樹種同定結果を第39表に示す。木材は、針葉樹1分類群(スギ)と広葉樹1種類(クリ)に同定された。また、炭化材は広葉樹のサクラ属に同定された。各分類群の解剖学的特徴等を記す。

・スギ(*Cryptomeria japonica* (L. f.) D. Don) スギ科スギ属

軸方向組織は仮道管と樹脂細胞で構成される。仮道管の早材部から晩材部への移行はやや急で、晩材部の幅は比較的広い。樹脂細胞はほぼ晩材部に認められる。放射組織は柔細胞のみで構成される。分野壁孔はスギ型で、1分野に2-4個。放射組織は単列、1-10細胞高。

・クリ(*Castanea crenata* Sieb. et Zucc.) ブナ科クリ属

環孔材で、孔圏部は1-3列、孔圏外でやや急激に管径を減じたのち、漸減しながら火炎状に配列する。道管は単穿孔を有し、壁孔は交互状に配列する。放射組織は同性、単列、1-15細胞高。

・サクラ属(*Prunus*) バラ科

散孔材で、管壁厚は中庸、横断面では角張った楕円形、単独または2-6個が複合、年輪界に向かって管径を漸減させながら散在する。道管は単穿孔を有し、壁孔は交互状に配列、内壁にはらせん肥厚が認められる。放射組織は異性、1-3細胞幅、1-30細胞高。

第39表 樹種同定結果

番号	グリッド	遺 構	性 格	遺物番号	器 種	状 態	樹 種
1	MA52	SB19 P6	建 物 跡		柱根	生木	ス ギ
2	MB52	SB91 P5	建 物 跡		柱根	生木	ス ギ
3	LT52	SB100 P2	建 物 跡		柱根	生木	ク リ
4	MD51/52	SE20	井 戸 跡		井戸枠(隅柱)	生木	ス ギ
5	LS49	SK76	土 坑	RC⑦		炭化材	サクラ属

4 考察

樹種同定を実施した木材は、柱根、井戸枠(隅柱)、炭化材である。柱根は、建物跡に伴うもので、そのうち、2点がスギ、1点がクリに同定された。また、井戸枠(隅柱)は、柱根と同じスギに同定され、スギが井戸枠(隅柱)としても利用されたことが推定される。

スギは木理が通直で割裂性が高く、加工は容易である。クリは、重硬で強度・耐朽性が高く、加工はやや困難な部類に入る。この結果から、本遺跡では柱材として少なくともスギとクリの2種が使われていたことが推定される。

炭化材は、土坑から出土しており、燃料材等に由来する可能性がある。落葉広葉樹のサクラ属に同定され、比較的重硬で強度の高い木材が利用されたことが推定される。サクラ属は、山野に普通に見られる落葉樹であることから、遺跡周辺にも生育していた可能性がある。

※)本分析は、パリノ・サーヴェイ株式会社の協力を得て行った。

文献

- 林 昭三,1991,日本産木材 顕微鏡写真集. 京都大学木質科学研究所.
- 伊東隆夫,1995,日本産広葉樹材の解剖学的記載Ⅰ. 木材研究・資料,31, 京都大学木質科学研究所,81-181.
- 伊東隆夫,1996,日本産広葉樹材の解剖学的記載Ⅱ. 木材研究・資料,32, 京都大学木質科学研究所,66-176.
- 伊東隆夫,1997,日本産広葉樹材の解剖学的記載Ⅲ. 木材研究・資料,33, 京都大学木質科学研究所,83-201.
- 伊東隆夫,1998,日本産広葉樹材の解剖学的記載Ⅳ. 木材研究・資料,34, 京都大学木質科学研究所,30-166.
- 伊東隆夫,1999,日本産広葉樹材の解剖学的記載Ⅴ. 木材研究・資料,35, 京都大学木質科学研究所,47-216.
- Richter H.G.,Grosser D.,Heinz I. and Gasson P.E. (編),2006,針葉樹材の識別 IAWA による光学顕微鏡的特徴リスト. 伊東隆夫・藤井智之・佐野雄三・安部 久・内海泰弘(日本語版監修),海青社,70p. [Richter H.G.,Grosser D.,Heinz I. and Gasson P.E.(2004) *IAWA List of Microscopic Features for Softwood Identification*].
- 島地 謙・伊東隆夫,1982,図説木材組織. 地球社,176p.
- Wheeler E.A.,Bass P. and Gasson P.E. (編),1998,広葉樹材の識別 IAWA による光学顕微鏡的特徴リスト. 伊東隆夫・藤井智之・佐伯 浩(日本語版監修),海青社,122p. [Wheeler E.A.,Bass P. and Gasson P.E.(1989) *IAWA List of Microscopic Features for Hardwood Identification*].

第6章 まとめ

家ノ浦遺跡は、標高28～36mの仁賀保丘陵北西端に立地する。西側約0.5kmには日本海が広がる。遺跡は同一丘陵上の北に前田表遺跡、北東に安倍館跡、南東に阿部館遺跡が隣接する。丘陵の縁辺部、または縁辺部に隣接した沖積地には南に家ノ浦Ⅱ遺跡、北西に前田表Ⅱ遺跡が立地する。遺跡の同一丘陵上の南にある横枕遺跡や沖積地にある立沢遺跡との間には両前寺川が丘陵地から西流する。発掘調査では平安時代から中世の掘立柱建物跡25棟、竪穴建物跡2棟、井戸跡2基、土坑39基、溝跡13条、焼土遺構3基などを検出した。このほか柱穴様ピットが1,298基あり、本来はより多くの掘立柱建物跡が存在したものと推測される。以下に特徴的な遺構と遺物について検討を行うことにする。

今回の発掘調査で検出された東西にほぼ平行に延びる5条の溝跡S D02・46・55・56・61の分布域内は周囲に比べて相対的に遺構分布が疎らである。調査では明確な路面は未確認であるが、これらの溝跡は調査区を東西に横断する道路の側溝であった可能性が想定される。これらの溝跡は検出層位と遺構の重複関係から、平安時代から中世以降に及び、大きくは次のⅠ～Ⅳ期の4段階の変遷が想定される。第Ⅴb層で検出された主軸方向が北から西に54～68°の範囲で弧状を描くS D56とS D61を両側溝とする幅約1.8mの道路を造成(Ⅰ期)し、その埋没後に、第Ⅴa層で検出された主軸方向が北から西に46～68°の範囲で弧状を描くS D46とS D55を両側溝とする幅約2.7mの道路を造成(Ⅱ期)、埋没後に、道路の北側の側溝として、主軸方向が北から西に73°のほぼ直線状に延びるS D02を作る(Ⅲ期)。道路は作り替えの度に拡張されたものと考えられる。なお、S D02造成時期には、ほぼ直角に交差するS D09とS D62等が、道路か区画溝として同時に作られている。さらに、S D02埋没後に、S D67が南北方向に設置される(Ⅳ期)。Ⅳ期の上限時期はS D02とS K01との切り合い関係から15世紀前葉である。

建物跡は溝跡の変遷Ⅰ～Ⅳ期に対応して、次の建物跡群が共存すると考えられる。Ⅰ期は検出層位が第Ⅴb層で、建物跡の軸方向が北から西に63～75°の範囲にある竪穴建物跡S I22・24、掘立柱建物跡S B88・97(A群)と北から西に83～89°の範囲にあるS B19・99・103(B群)が該当する。軸方向に最大で20°の差がある。Ⅱ期は本来の確認層位が第Ⅴa層下位と推定された側柱建物跡のS B94・101が該当する。これらの建物跡の軸方向は北から西に60～64°に収まり、当期の溝跡と整合するⅠ期とⅡ期には軸方向に重複する範囲があるが、検出層位で区分した。Ⅲ期は第Ⅴa層上位で検出されたS B89・90・96が該当する。これらの建物跡の軸方向は北から西に69～78°に収まり、当期の溝跡と軸方向が5°前後の差があるが、ほぼ整合する。Ⅱ期とⅢ期には軸方向に重複する範囲があるが、検出層位で区分した。15世紀以降のⅣ期には出土遺物及び放射性炭素年代測定結果からS B85・100が該当する。

なお、道路の南側に位置するS B80～84のうち、S B80～83は建物跡の軸方向が北から西に46～56°で、Ⅰ・Ⅱ期の緩やかに弧を描く溝跡に整合することから、Ⅰ・Ⅱ期に該当すると考える。

以上の溝跡と建物跡との共存関係を認めると、Ⅰ期はA群S B97出土土器とB群S B19出土柱根の放射性炭素年代測定結果から、おおそA群が10世紀代、B群が11世紀代と考えられる。Ⅱ期はⅠ期とⅢ期の時期を勘案すると、12～13世紀代と推定する。S B90出土遺物は14世紀代に帰属することから、Ⅲ期は14世紀代、Ⅳ期は15世紀代であると想定する。

本遺跡からは土坑SK01から1,201枚、掘立柱建物跡柱穴SB85P9から4枚、柱穴様ピットSKP103から3枚、SKP401から1枚、SKP896から3枚の中世に流通した銭貨が遺構内から出土した。柱穴の底部から出土した銭貨は出土状況から家屋の地鎮のために埋納されたものと考えられる。また、SK01は溝跡SD02の埋没時に廃絶に際して、意図的に掘り込んで大量の銭貨を埋納しているものと想定される。SD02廃棄後にも遺跡には居住施設が作られていることから、集落の再開発に伴う地鎮のための祭祀儀礼に関わる可能性が考えられる。本遺跡の北東側に隣接して約90mの地点(第6図阿部堂遺跡)で唐・宋代の古銭が約360枚出土している。出土地点は整地された境内との境界に隣接する山の裾野部である。現在は155枚が残存し、最新銭は政和通寶で上限年代が1111年である。^(註1)散逸した銭貨の詳細は不明だが、残存しているもので比較すると約300年の年代差がある。また、本遺跡からは昭和初期に曲物に入った銭貨が出土し、当時の土地所有者が現存する518枚を所有する。^(註2)最新銭は寛永通寶で埋納の上限年代は江戸時代以降になる。

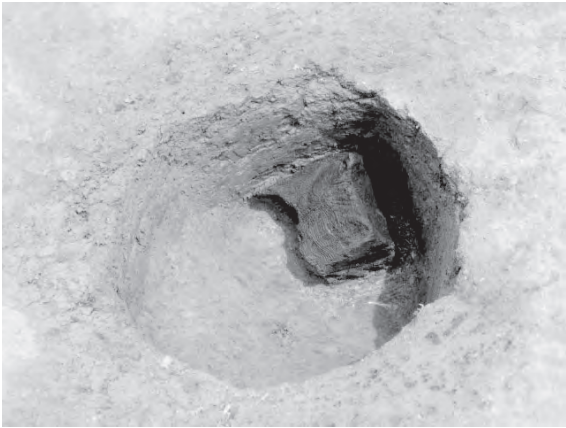
本遺跡が人々の活動の場となったのは現状では出土遺物から10世紀～15世紀までと判断される。遺跡内からは平安時代から中世の竪穴建物跡2棟、掘立柱建物跡25棟(うち2間×2間の総柱建物跡19棟)、建物とは認定できなかったが、数多くの柱穴、ほぼ東西に延びる4期に区分される道路側溝などが検出された。これらは大きく2層に分層した第VaとVb層内で検出されたが、基本土層断面では、整地地業の痕跡などは認められない。第V層の堆積は漸移的で、道路や区画溝の作り替えに対応する土地利用が連続して行われたものとする。石帯の一部である丸軋や題箋軸木簡などの出土遺物から、平安時代には官衙施設との関わりのある集落としての位置づけが可能である。その後、中世には白磁・青磁などの陶磁器を使用し、大量の銭貨を蓄え、使用できる経済的に富裕な階層の人々が住んでいたものとする。時代とともに、地域における集落の性格が変化していることが想定される。現在の両前寺の集落は本遺跡から約500m西側の海岸沿いの阿部堂周辺にあり、集落は阿弥陀堂から転住したとあるが、その地名は現在残っておらず、その位置は定かでない。^(註3)隣接する香取神社は創建が1111(天永2)年で旧両前寺村の村社であることから、この土地は両前寺村の村民にとって特別な土地であり、本遺跡の集落は両前寺村の集落が現在地に移る前の集落であった可能性がある。また、旧家安倍氏の系図によると、本遺跡の北東側に続く丘陵の上位面には安倍館跡があり、集落と密接な関連性が推測される。

本遺跡より時代は古いのが、阿部館遺跡から検出された9世紀前後に埋没したと想定される大規模な溝跡は、この地域の性格を示す特徴的な施設と考えられる。今後は本遺跡を含む7つの隣接する遺跡の発掘調査によって得られた個別の調査資料を一括して総合的に検討することで、この地域や本遺跡の性格をさらに明らかにできると考える。

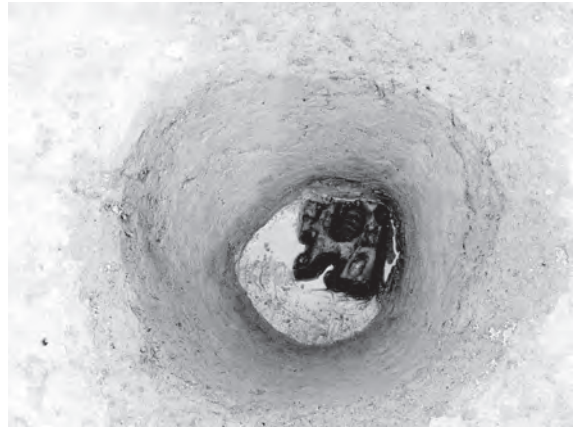
註1 高橋学 「秋田県出土の銭貨資料集成」『研究紀要』第11号 秋田県埋蔵文化財センター 1996(平成8)年

註2 家ノ浦遺跡発掘中に築瀬が実見、調査した。

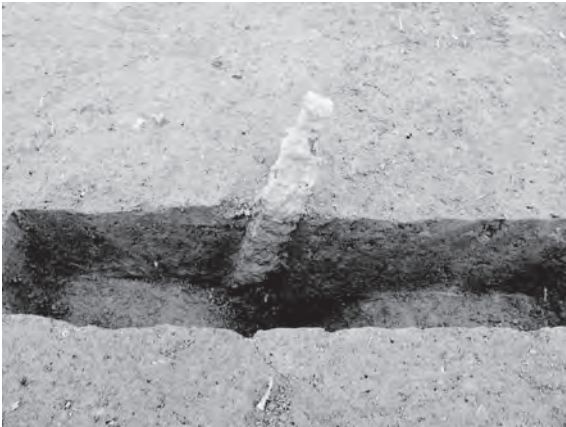
註3 仁賀保町史編纂委員会 『仁賀保町史』1972(昭和47)年に記載された旧家安倍氏の系図によると、文治年間(1185)に至って五代の孫隆任は安倍館から下って阿弥陀堂に居住し、そして応永元(1394)年には十四代利任が阿弥陀堂からさらに安倍(阿部)堂に転住して以来連綿、今日に至ったという。



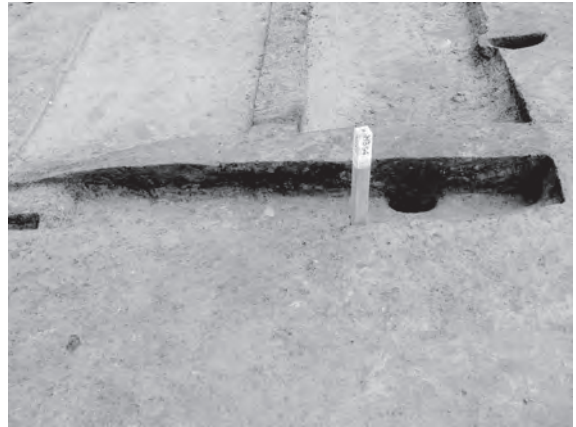
1 SB19P3 柱材出土状況 (南→)



2 SB19P6 柱材出土状況 (南→)



3 SB84P6 刀子出土状況 (南→)



4 S122 断面 (南西→)



5 S122 完掘 (南西→)



6 S124 断面 (南西→)



7 S124 完掘 (南西→)



8 SE20 断面 (東→)



1 SE28断面・SK38完掘(北→)



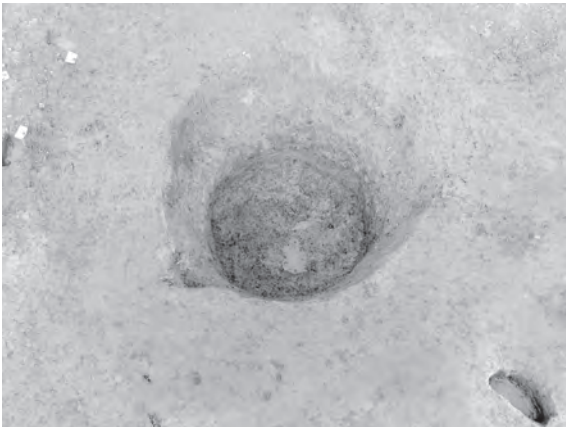
2 SE28完掘(北→)



3 SK01緡銭断面(南東→)



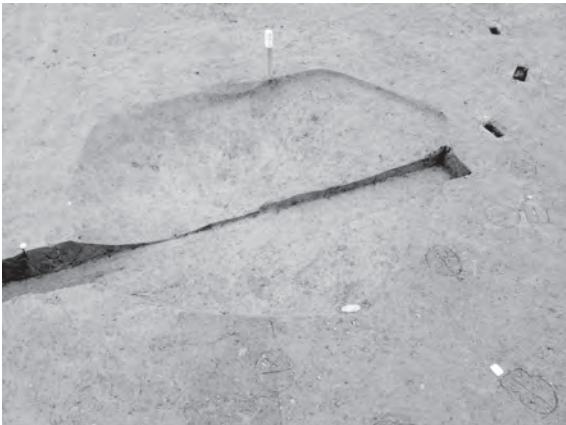
4 SK06断面(南→)



5 SK10完掘(西→)



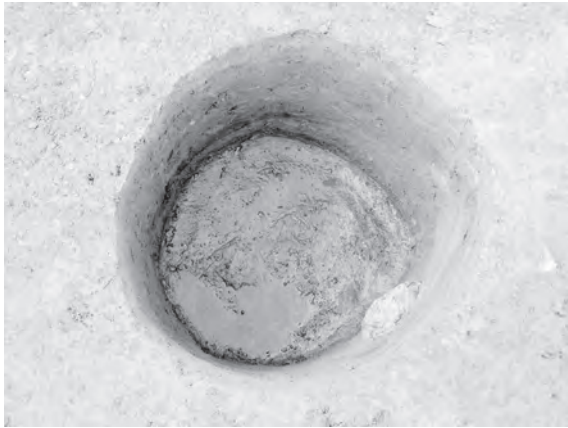
6 SK13断面(東→)



7 SK13完掘(東→)



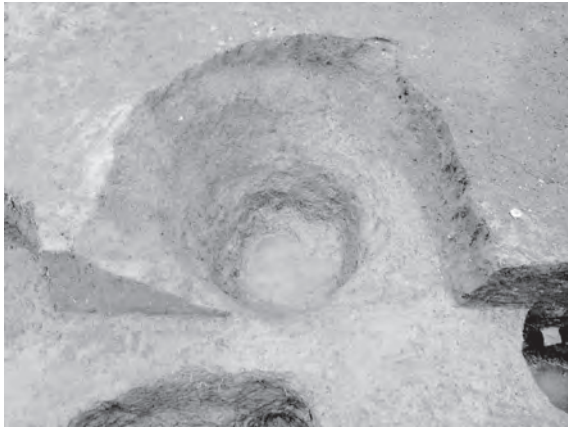
8 SK16断面(東→)



1 SK17完掘(南→)



2 SK21断面(南東→)



3 SK32完掘(南→)



4 SK34遺物出土状況(南→)



5 SK35完掘(東→)



6 SK42刀子出土状況(南→)



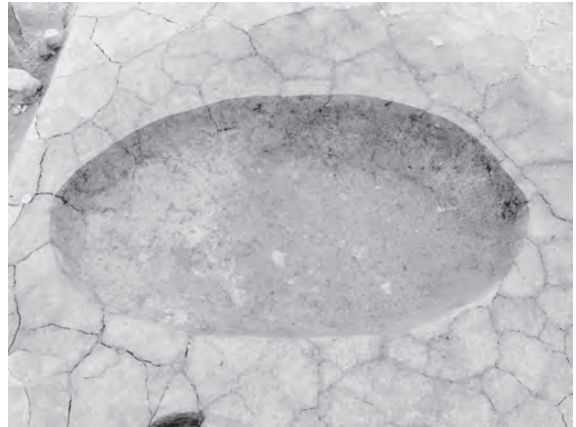
7 SK43断面(南西→)



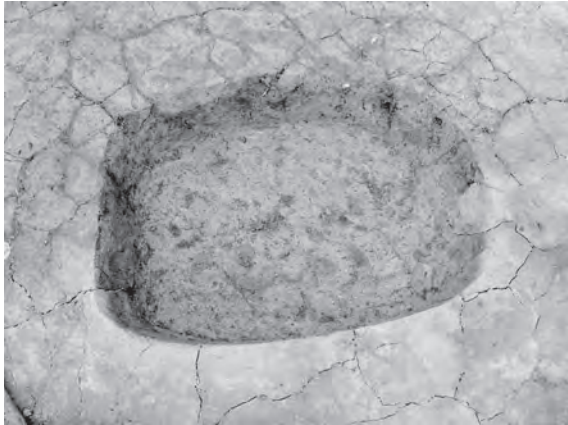
8 SK44遺物出土状況(南西→)



1 SK47断面(南東→)



2 SK60完掘(南東→)



3 SK65完掘(南西→)



4 SK73断面(南西→)



5 SK76断面(南→)



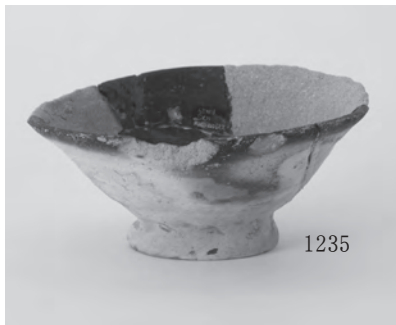
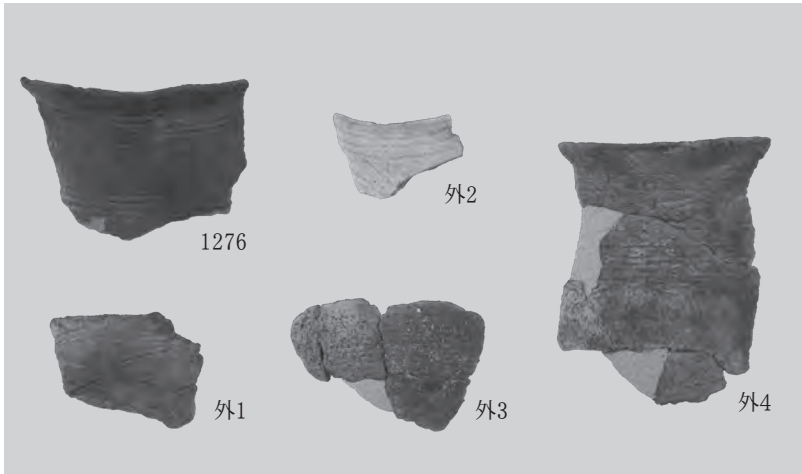
6 SK77遺物出土状況(南東→)



7 SD02完掘(東→)



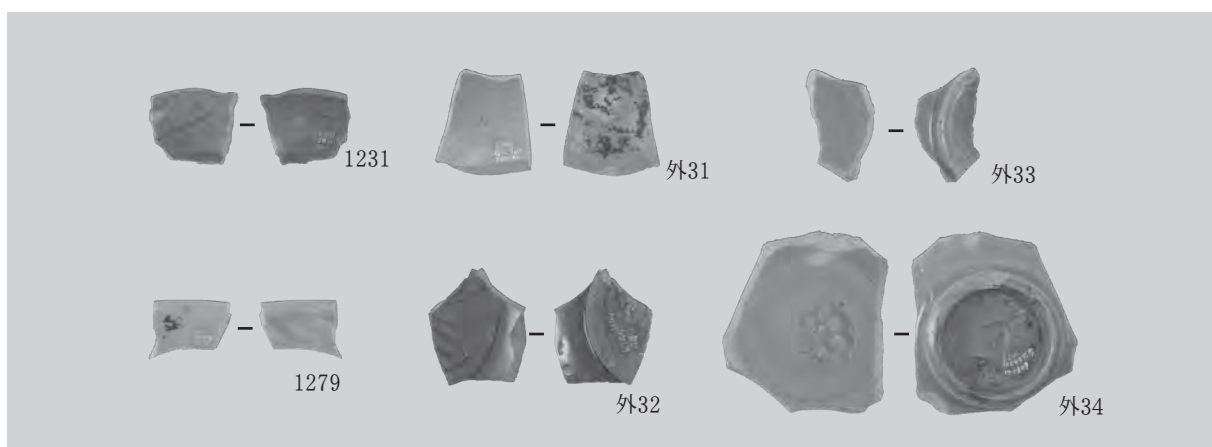
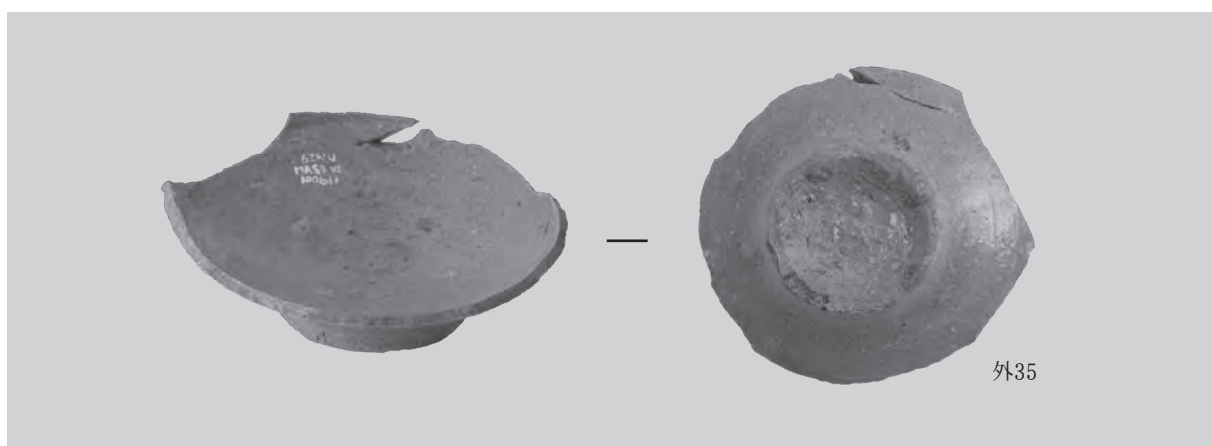
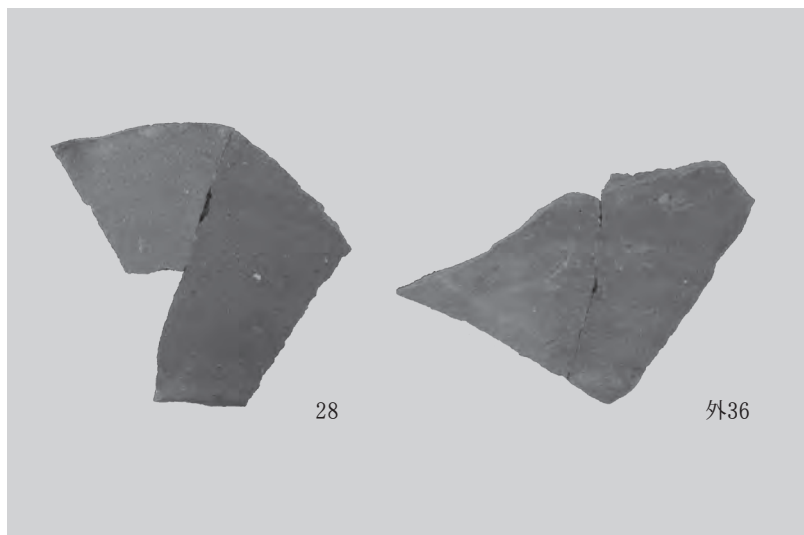
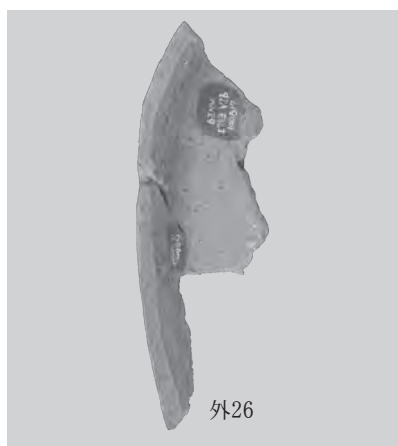
8 SD46・55・56・61付近作業風景(東→)



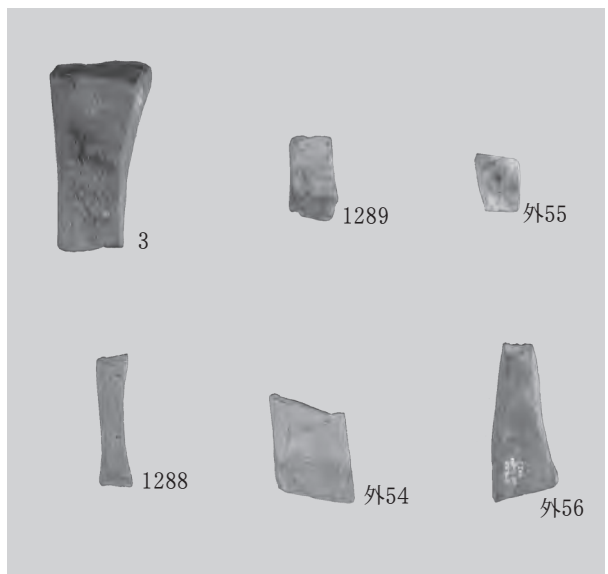
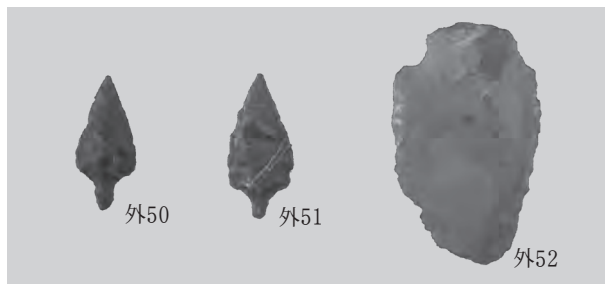
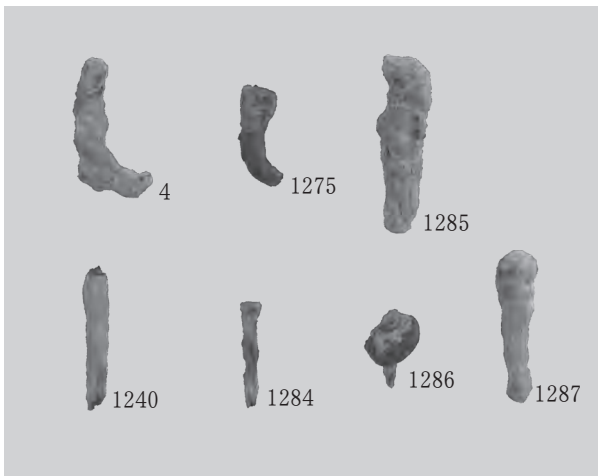
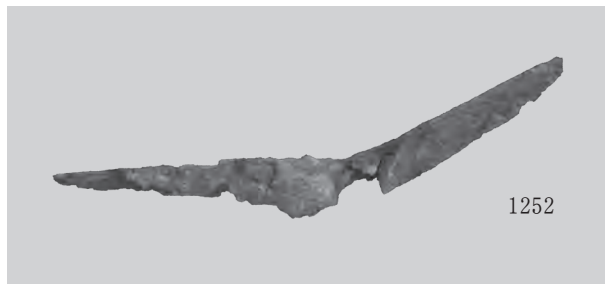
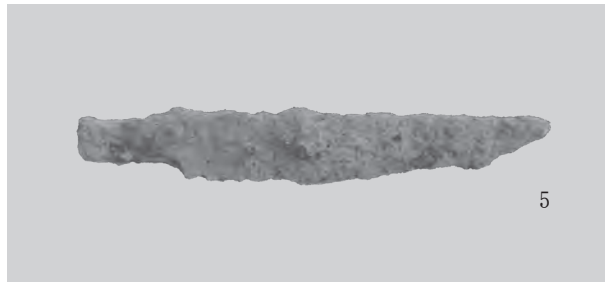
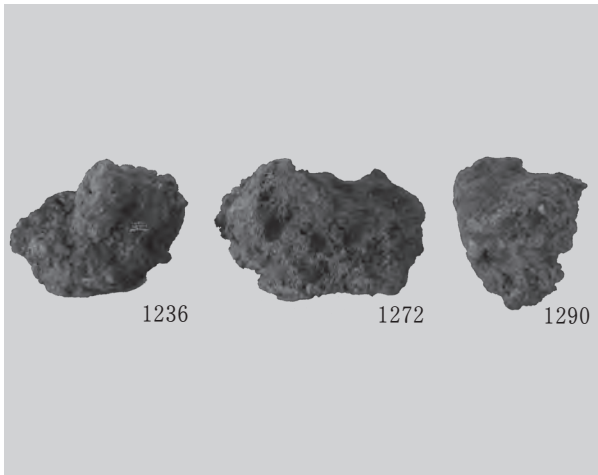
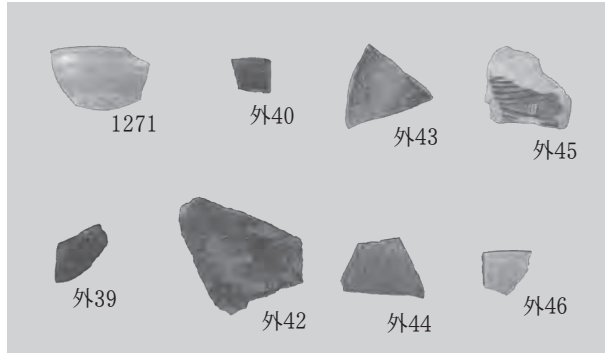
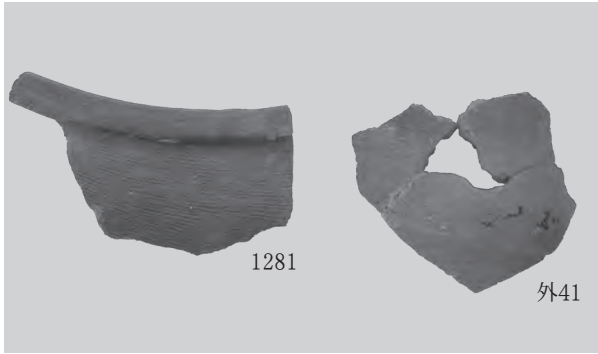
出土遺物 (1)



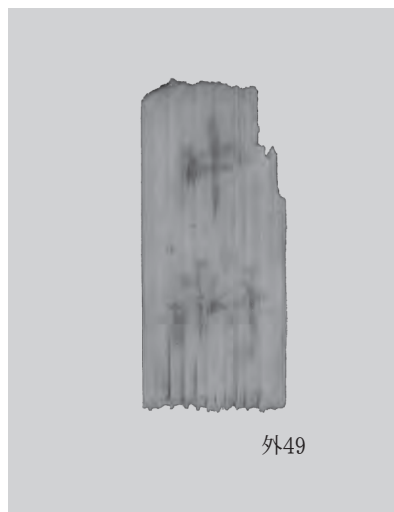
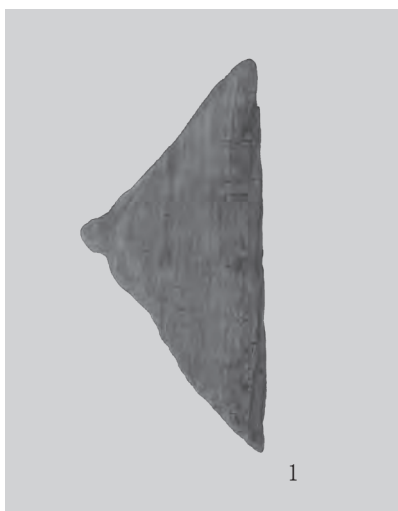
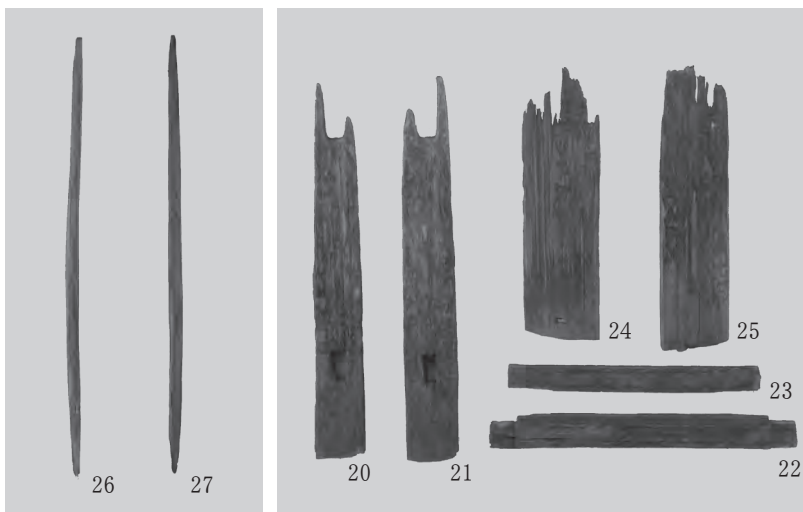
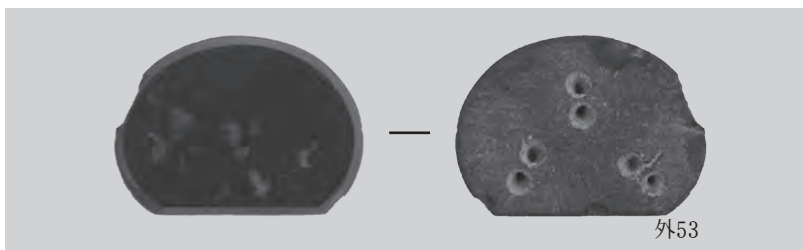
出土遺物 (2)



出土遺物 (3)



出土遺物 (4)



出土遺物 (5)



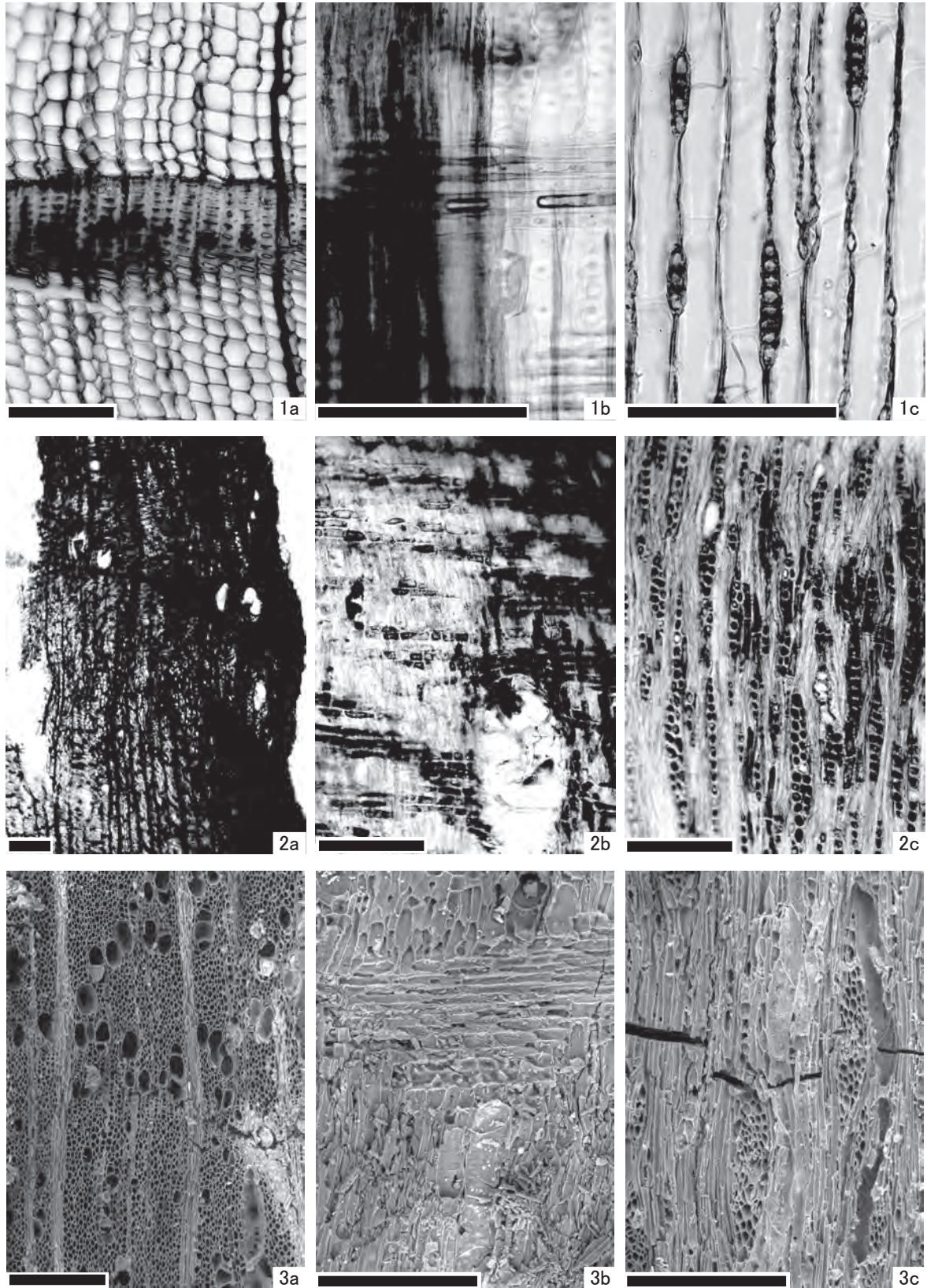
0 (S=1/1) 2cm

出土遺物 (6)



0 (S=1/1) 2cm

出土遺物 (7)



1. スギ(試料番号1)
 2. クリ(試料番号3)
 3. サクラ属(試料番号5)
 a: 木口, b: 柃目, c: 板目
 スケールは全て200 μ m

木材・炭化材

報 告 書 抄 録

ふりがな	いえのうらいせき							
書名	家ノ浦遺跡							
副書名	一般国道7号仁賀保本荘道路建設事業に係る埋蔵文化財発掘調査報告書							
巻次	V							
シリーズ名	秋田県文化財調査報告書							
シリーズ番号	第473集							
編著者名	築瀬圭二							
編集機関	秋田県埋蔵文化財センター							
所在地	〒014-0802 秋田県大仙市払田字牛嶋20番地 TEL0187-69-3331							
発行機関	秋田県教育委員会							
所在地	〒010-8580 秋田県秋田市山王三丁目1番1号 TEL018-860-5193							
発行年月日	西暦2012年2月							
ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード		北緯 °'〃	東経 °'〃	調査期間	調査面積 (㎡)	調査原因
		市町村	遺跡番号					
いえのうらいせき 家ノ浦遺跡	あきたけん 秋田県にかほ市 りょうぜんじあざいえのうら 両前寺字家ノ浦 25-4外	05214	214-35-61	39° 17' 46"	139° 58' 37"	20100601 { 20100802	2,000㎡	一般国道7号仁賀保本荘道路建設事業に係る埋蔵文化財事前発掘調査
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構		主な遺物		特記事項	
家ノ浦遺跡	集落跡	古代(平安時代) ～中世	掘立柱建物跡	25	土師器・須恵器	「中將」と記された木簡、丸鞆、最新銭が永楽通寶の緡になった1,201枚の銭貨が出土した。		
			竪穴建物跡	2	風字硯			
			井戸跡	2	灰釉陶器			
			土坑	39	石製品(丸鞆)			
			焼土遺構	3	木製品(木簡)			
			溝跡	13	白磁・青磁			
			柱穴様ピット	1,298	銭貨・刀子 鉄滓・鍛造剥片			
要約	発掘調査で検出された遺構や遺物から、この遺跡は平安時代～室町時代まで利用された集落であったと考えられる。掘立柱建物跡はほぼ東西方向を示すものが多く、平安時代から室町時代までに作られた東西に並行に延びる何本かの道路側溝を意識して建てられていると考えられる。遺跡の周辺には同じ丘陵上に前田表遺跡、阿部館遺跡、横枕遺跡が、丘陵に隣接する低地部には前田表Ⅱ遺跡、家ノ浦Ⅱ遺跡、立沢遺跡があり、出土遺物から平安時代以降の遺跡である。これらの遺跡は連続して立地しており、平安時代には一連のムラであった可能性がある。							

秋田県文化財調査報告書第473集
家ノ浦遺跡
—一般国道7号仁賀保本荘道路建設事業に係る
埋蔵文化財発掘調査報告書V—

印刷・発行 平成24年2月

編 集 秋田県埋蔵文化財センター
〒014-0802 大仙市払田字牛嶋20番地
電話 0187-69-3331 FAX0187-69-3330

発 行 秋田県教育委員会
〒010-8580 秋田市山王三丁目1番1号
電話 018-860-5193

印 刷 株式会社 三森印刷

